DocuPrint C2220/2221

取扱説明書

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

プリンターで紙幣を印刷したり、有価証券などを不正に印刷すると、その印刷物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違反し罰せられます。

ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制(電波規制や材料規制など)は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

はじめに

このたびはDocuPrint C2220/2221をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、本製品をはじめてご使用になるかたを対象に、機械の操作方法、および使用上の注意事項について記載してあります。製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、製品をご使用になる前に、必ず本書をお読みください。

本書は、読んだあとも必ず保管してください。機械をご使用中に、操作上でわからないことや機械に不具合を生じたときに読み直してご活用いただけます。

本書で使用しているイラストは、両面印刷機能付きで3トレイキャビネットを装着したモデルを例に記載しています。

［お願い］　☆保証書は大切に保管してください。

2002年1月

富士ゼロックス株式会社

この取扱説明書のなかで ⚠と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。
また、本書の「安全にご利用いただくために」をご一読ください。

この装置は、危険なレーザー光を出さない「クラスⅠのレーザーシステム」です。取扱説明書に従って操作してください。取扱説明書に書かれた以外の操作は行なわないでください。思わぬ故障や事故を起こす原因になります。

国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

弊社は、製品の研究開発から廃棄にいたる事業活動全般において、地球環境の保全を経営の重要課題のひとつに位置づけております。これまでも環境負荷を低減するために、生産施設におけるフロンの全廃など、さまざまな活動を展開してまいりました。
また、お客様の身近なところでは、複写機やプリンターで使用した用紙、消耗品のカートリッジやパーツなどのリサイクルを推進することにより、今後も資源の保護に積極的に取り組んでまいります。
このような活動の一環として、DocuPrint C2220/2221に、弊社の品質基準に適合したリサイクル・パーツを使用しております。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

受信障害について
ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチを一旦切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合せて障害を防止してください。
- 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

DocuPrint C2220/2221の特長

DocuPrint C2220/2221は、次のような特長があります。

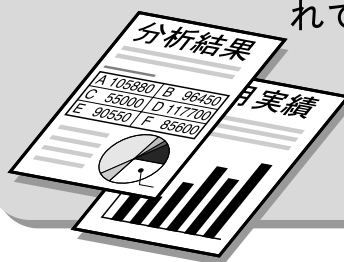
カラーも白黒も22枚/分で印刷できます。

カラー、白黒ともに、
A4用紙に毎分22枚の
速さで印刷できます。
（同一原稿を連続印刷した場合）

ビジネス文書に最適な画質で印刷できます。

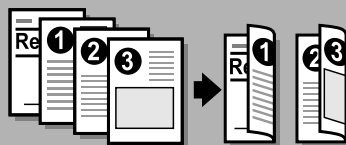
ワックストナーとクイック
オイルレス定着技術の採用で、
ビジネス文書に多い黒文字は
読みやすく、グラフィックスや
写真は、カラー印刷特有の
テカリや、ギラツキが抑えら
れています。

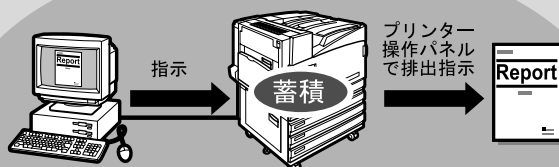
プリンタードライバーのインストールや設定が簡単です。

「CentreWare ドライバー&
ネットワークユーティリティー」
のCD-ROMにより、プリンター
ドライバーのインストールや
プリンターの設定などが、簡単
にできます。

マルチクライアント環境をサポートします。

標準のページ記述言語
[ART EX]の他に、
[PostScript®ソフトウエア]
[ART Ⅳ/エミュレーション]
がオプションで用意されて
います。

節約できます。

節電モード（スリープモード）で消費電力が節約できます。
スリープモード時は、5W以下の消費電力で、国際エネルギースタープログラムに適合しています。

両面印刷したり（両面機能付きの場合のみ）、複数ページの原稿を１枚の用紙に印刷すると（まとめて1枚機能）、用紙が節約できます。

便利な印刷機能があります。

＊ セキュリティープリントとフォーム機能には、オプションの内蔵増設ハードディスク装置が必要です。

印刷指示したデータを、いったん、プリンター本体に蓄積させて、実際の印刷は、本体の操作パネルで指示します。
第三者に見られたくない文書、機密文書を印刷する場合に便利です。

使用頻度の高い印刷フォームは、フォーム機能を利用すると、データ転送の時間が短縮できます。また、スタンプ機能では、印刷データにスタンプを重ね合わせて印刷できます。

目　次

第3章　印刷操作の前に

第4章　印刷する

第5章 便利なツールを使用する

第6章 日常管理

第7章　トラブル対処方法

第8章　共通メニューの設定

第9章　ネットワーク環境の設定について

付録

マニュアル体系について

ここでは、本製品に同梱されているマニュアルの種類と、その概要を説明します。

マニュアルの種類

この製品に関して、次の種類のマニュアルを用意しています。

設置ガイド

プリンター本体の設置、オプション製品(増設メモリー、内蔵増設ハードディスク装置)の取り付けについて説明しています。プリンターを設置するときにお読みください。

取扱説明書　＜本書＞

設置時のプリンターの設定やネットワークの環境設定、プリンタードライバーのインストール、電源の入/切、印刷の中止などの基本的な操作、用紙のセット方法、プリンターの各種設定項目、トラブル時の対応、消耗品の交換など、日常プリンターを利用するときに必要なことについて説明しています。

オプションマニュアルの種類

オプション製品に関して、次の種類のマニュアルを用意しています。

PostScript®ソフトウェアキット取扱説明書

PostScript®ソフトウェアキットのROMの設置方法、PostScript® Driver Libraryに入っているソフトウェアの説明やインストール方法、および使用方法を説明しています。

ART IV/エミュレーションキット取扱説明書

ART IV/エミュレーションキットのROMの設置方法、「ART IV」、または「ESC/P」「HP-GL/2」の各エミュレーションモードの設定方法、使用できるフォントなどについて説明しています。

補足

PostScript®ソフトウェアキットとART IV/エミュレーションキットは、同時に装着できません。

本書の読み方

ここでは、本書の読み方について説明します。

前提知識

本書の内容は、お使いのパーソナルコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を理解されていることを前提に説明しています。
お使いのパーソナルコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピューター、オペレーティングシステム、ネットワークシステムに付属の説明書をお読みください。

本書の構成

本書は、次の構成になっています。

第1章　プリンター環境の設定

ローカルプリンター、またはネットワークプリンターとして使用する場合の接続例と、本機を使用できるようにするための設定方法について説明しています。

第2章　プリンタードライバーのインストール

プリンタードライバーのインストールについて説明しています。

第3章　印刷操作の前に

各部の名称と働き、電源の入/切、節電機能について説明しています。

第4章　印刷する

印刷の基本的な操作や印刷の中止方法、主な印刷機能について説明しています。

第5章　便利なツールを使用する

クライアント側から本機の状態の確認、設定の変更をするツール(CentreWare Internet Services)について説明しています。

第6章　日常管理

用紙について、用紙のセット方法、消耗品の交換方法など、日常の管理について説明しています。

第7章　トラブル対処方法

トラブル(紙づまり、エラーメッセージなど)が発生したときの対処方法について説明しています。

第8章　共通メニューの設定

プリンターの操作パネルから設定できる、すべてのプリントモードに共通の項目の概要と、その設定方法について説明しています。

第9章　ネットワーク環境の設定について

各ネットワークの動作環境や設定手順について説明しています。

付録

主な仕様やQ&Aなどを記載しています。

本書の表記

① 本文中の「クライアント」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。

② 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

注記　注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。
補足　補足事項を記述しています。
参照　参照先を記述しています。

③ 本文中では、次の記号を使用しています。

参照「　　」：参照先は、本書内です。
参照『　　』：参照先は、本書内ではなく、ほかの説明書です。
「　　」：フォルダー、ファイル、アプリケーション、CD-ROMなどの名称を表します。
[　　]：クライアント上のメニュー、コマンド、ウィンドウやダイアログボックスとそれらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表します。
〈　　〉キー：キーボード上のキーを表しています。
【　　】：操作パネルのディスプレイに表示されるメッセージ、メニューの選択肢や設定値を表します。

④ チェックボックスがチェックされている状態をオン、チェックされていない状態をオフで表します。

⑤ ラジオボタンがチェックされている項目が、選択されている項目です。

安全にご利用いただくために

機械を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。

各図記号は以下のような意味を表しています

⚠警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。

高温注意

発火注意

感電注意

指はさみ注意

⃠記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。

禁　止

火気禁止

分解禁止

接触禁止

●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。

指　示

プラグを抜け

アースを接続せよ

設置および移動時の注意

⚠注意

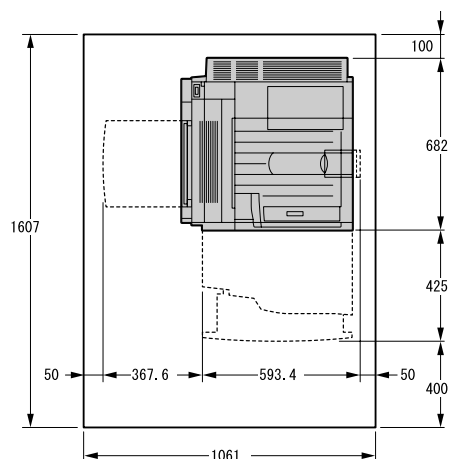
高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所には機械を設置しないでください。発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所には機械を設置しないでください。火災の原因となるおそれがあります。

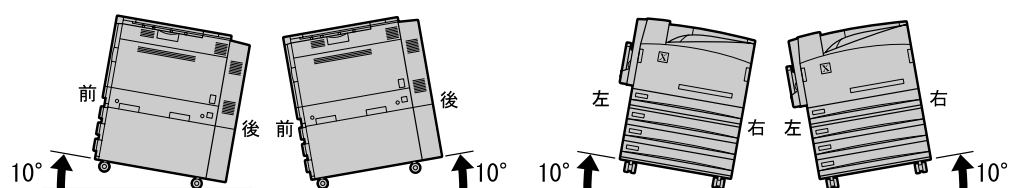
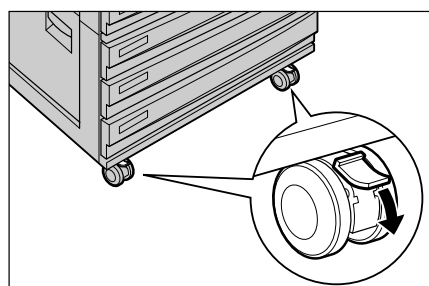
機械は、重さ122kg（フル装備機：標準＋大容量給紙キャビネットモデルの両面機でオフセット排出トレイ付き）に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。

機械を移動するときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

機械の背面、上面奥と上面左側には通気口があります。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。

また、機械の操作および消耗品類の交換、日常の点検など、機械を正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードが傷つき、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

機械を移動する場合は、機械を 10 度以上に傾けないでください。

転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。

機器を設置した後は、キャスターについている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。ストッパーをロックしないと、機械が思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。

その他

- **いつも良い状態でご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。**
  温度 10 ～ 32℃　湿度 15 ～ 85%　（結露がないこと）
  温度が32℃のときは湿度47.5%以下、湿度が85%のときは温度27.8℃以下でお使いください。

補足

冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。

- **直射日光の当たる場所には機械を置かないでください。故障の原因となることがあります。**
- **イーサネットケーブルを直接屋外に接続すると落雷などにより故障するおそれがあります。屋内接続のみ使用してください。**

電源およびアース接続時の注意

⚠警告

電源プラグは、定格電圧 100V で、定格電流 15A 以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本機の定格電源は 100V、15A となっています。

電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災のおそれがあります。

延長コードは、定格（125V、15A）未満のものは使用しないでください。発熱による火災のおそれがあります。なお、延長コードが必要な場合は、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご相談ください。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電のおそれがあります。

電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

次のようなときには直ちに使用を中止し、電源スイッチを切り、ディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると火災のおそれがあります。

- 機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき
- 異常な音やにおいがするとき
- 機械の内部に水が入ったとき

万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源プラグから出ているアース線を、次のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 650㎜ 以上地中に埋めたもの
- 接地工事（D 種）を行っている接地端子

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご相談ください。次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

電源コードが傷んだら(芯線の露出・断線)弊社のテレフォンセンターまたは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

⚠注意

機械の電源スイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

1か月に一度は機械の電源スイッチを切り、次のような点検をしてください。なお、異常がある場合は弊社のテレフォンセンターまたは販売店までご連絡ください。

- 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。
- 電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはありませんか。
- 電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
- 電源コードにき裂やすり傷などはありませんか。

連休などで長期間、機械をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、ディスプレイが消灯してから、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。

機械の本体には漏電ブレーカーが付いています。機械に漏電が起こったときに、電気回路を自動的に遮断して漏電や火災などの事故を防ぐためのものです。通常は入っている状態(「|」の状態)にしておきます。1ヶ月に1度は漏電ブレーカーが正常に働くかを確認してください。また、アースを必ず接続してください。アースが接続されていないと、漏電ブレーカーが働かなくなり感電の原因となるおそれがあります。

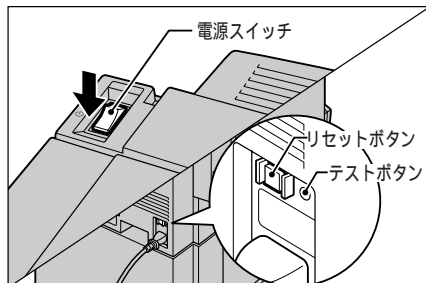
なお、漏電ブレーカーの確認手順は以下のとおりです。異常などがある場合は弊社のテレフォンセンターまたは販売店までご連絡ください。

① プリンターの電源を切ります。

② ブレーカーのリセットボタンを押し込みます。このとき、リセットボタンから手を離しても、リセットボタンは押し込まれたままの状態となります。

③ ボールペンなどの先のとがったもので、テストボタンを軽く押します。押し込まれていたリセットボタンが解除され、突き出ます。

これで確認は終了です。

④ 再度、リセットボタンを押して、リセットボタンを押し込んだ状態に戻します。

機械の清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃や保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

インターフェイスケーブルおよびオプションを装着するときは、必ず本機とクライアントの電源スイッチを切ってください。感電の原因となるおそれがあります。

その他

- 機械には、落雷によるサージ電流からの保護回路が内蔵されています。付近に落雷が発生したときは電源スイッチを切り、電源コードを機械から外して、雷がおさまるのを待ってください。

機械使用上の注意

⚠警告

機械の上に花瓶、植木鉢、コップなど水の入った容器を置かないでください。水がこぼれた場合、火災や感電のおそれがあります。

機械の上に金属類を置かないでください。すき間から内部に、クリップやホチキスの針のような金属類や燃えやすいものが入り込むと、機械内部がショートし、火災や感電のおそれがあります。

万一、異物（金属片、水、液体）が内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、ディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

ネジで固定されているパネルやカバーなどは、取扱説明書で指示している箇所以外絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

機械を改造したり、部品を変更して使用しないでください。火災のおそれがあります。

⚠注意

機械の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。機械が作動状態になる場合があり、ケガの原因となるおそれがあります。

機械の近くまたは内部で強燃性スプレーや引火性溶剤を使用しないでください。引火による火災の原因となるおそれがあります。

この機械に固定されているカバーは外さないでください。レーザー光漏れによる失明のおそれがあります。

この商品は、レーザーの国際規格 IEC825（Class1）に適合しています。このことはレーザー被爆の危険がないことを意味しています。レーザーは商品内部で放射されますが、部品内部の漏洩防止筐体やカバーなどによって内部に閉じ込められています。従って、お客様が使用される場合はレーザーは被爆しません。取扱説明書に書かれていること以外の、カバーを外すなどの操作はしないでください。レーザーの被爆の原因になることがあります。

操作パネルの上に重い物を載せたり、ひじをついたりしないでください。ガラスが破損し、ケガをする原因となるおそれがあります。

電気を通しやすい紙（折り紙・カーボン紙・コート紙など）は使用しないでください。紙づまりのときにショートして火災の原因となるおそれがあります。

「高圧注意」を促すラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。感電の原因となることがあります。

「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着部やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。

なお、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

用紙トレイを引き出すときはゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。

つまった用紙を取り除くときは、機械内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因となるおそれがあります。なお、紙片や用紙が定着部の見えない部分およびローラーに巻き付いているときは、無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のテレフォンセンターまたは販売店に連絡してください。

狭い部屋で長時間使用する場合は、部屋の換気に注意してください。頭痛などの原因となるおそれがあります。

フューザーカートリッジを取り外すときには、必ず電源スイッチを切って、20分後にフューザーカートリッジを取り外してください。

その他

- 紙づまりの処置や故障の処置を行うときは、本書をよくお読みください。

消耗品取り扱い上の注意

⚠警告

トナーカートリッジを絶対に火中に投じないでください。カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

トナー、トナー回収ボトル、または、トナーの入った容器を絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

ボタン電池は幼児が誤って飲み込むことのないように、幼児の手の届かないところに保管してください。万一、幼児が飲み込んでしまった場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠注意

指定されていない電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂や液洩れにより火災やケガの原因となるおそれがあります。

ドラムカートリッジを絶対に加熱したり、表面をはがしたりしないでください。健康を害する原因のおそれがあります。

電池はプラスとマイナスの向きに注意して入れてください。向きをまちがえると乾電池の破裂や液漏れにより、ケガや周囲の破損をおこす原因となるおそれがあります。

その他

- 消耗品は、ご使用になるまでは開封せずに、次のような場所を避けて保管してください。
  - 高温、多湿の場所
  - 火気のある場所
  - 直射日光が当たる場所
  - ホコリが多い場所
- 消耗品を使用するときは、消耗品の箱や容器に記載された「取り扱い上の注意」をよく読んでから使用してください。
- 回収したトナーカートリッジ、ドラムカートリッジは環境保護・資源有効活用のため、リサイクルしています。

ー取り扱い上の注意ー

不要となりましたトナーカートリッジ、ドラムカートリッジは適切な処置が必要です。必ず弊社または販売店にお渡しください。

● 以下の事項に従って、応急措置を行ってください。

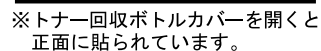
- トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- トナーが皮膚に付着した場合は、せっけんを使ってよく洗い流してください。
- トナーを吸入した場合は、多量の水でよくうがいをしてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだ物を吐き出させ、速やかに医師に相談し指示を受けてください。

電源を切るときの注意

その他

● 電源を切ると、プリンター内に残っている印刷データやプリンターのメモリー上に蓄えられた情報が消去されます。

通常の操作時に電源を切るときは、操作パネルのディスプレイに【プリントデキマス】が表示されていることを確認してから、電源を切ってください。

■警告および注意ラベルの貼り付け位置
本機には安全にお使いいただくために以下のような警告ラベルおよび注意ラベルが機械内部に貼ってあります。指示内容をよく読み安全にご利用ください。

国際エネルギースタープログラムの目的

国際エネルギースタープログラムは、大切な地球環境を守るために以下のような方法を推奨し、エネルギーを節約することを目的としています。本機は、この国際エネルギースタープログラムの基準に適合しています。

低電力モード（スリープモード）

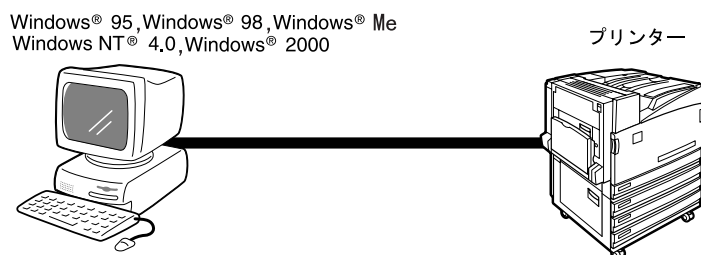
本機は電力消費量を軽減するために、自動的に消費電力を節約する機能を持っています。工場出荷時の設定では、30分以上この機器が使用されなかった場合に、自動的に定着部の電力を止めて、消費電力を節約するようになっています。この設定は、15～240分の間で1分刻みに設定できます。操作の詳細については、本書の「8.2 共通メニューの設定を変更する」(P.233)を参照してください。なお、共通メニューでは「低電力モード（スリープモード）」は、「節電モード」と表示されます。

プリンター環境の設定

1.1 使用できる環境について

本機を使用できる環境について説明します。
本機をネットワークに接続すると、ネットワークプリンターとして使用できます。また、本機はマルチプロトコルに対応しているので、異なったネットワーク環境でも、1台のプリンターを共有できます。

ローカル

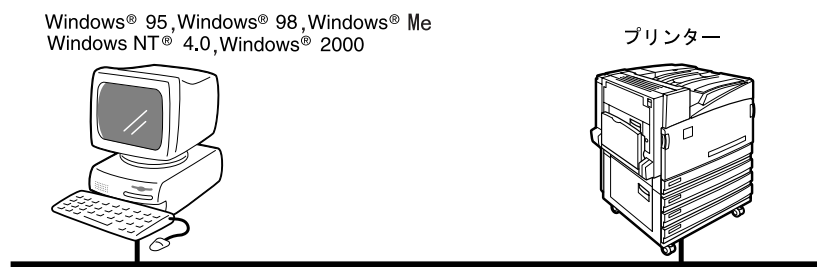
本機とコンピューターを、パラレルインターフェイスケーブルで接続して印刷します。

注記

パラレルインターフェイスケーブルは、弊社別売りのものをご使用下さい。弊社取り扱い以外のパラレルインターフェイスケーブルを使用すると、電波障害を起こすことがあります。

Windows®ネットワーク(SMB)

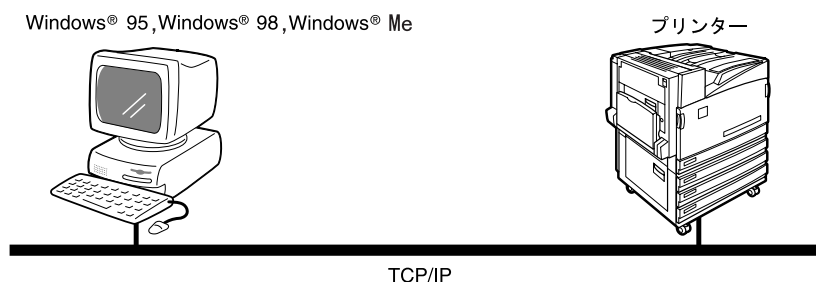
SMB (Server Message Block)とは、Windows® 95、Windows® 98、Windows® Me、Windows NT® 4.0、Windows® 2000上でファイルやプリンターを共有するためのプロトコルです。SMBを使用すると同一ネットワーク(Ethernetインターフェイス)上のプリンターに、サーバーなどを経由せず、印刷データや設定を直接送信できます。
本機のSMBポートを起動し、Windows® 95、Windows® 98、Windows® Me、Windows NT® 4.0、Windows® 2000の各OSで、ネットワーク上のプリンターを登録するだけで印刷できます。SMBのトランスポートプロトコルは、NetBEUIとTCP/IPが使用できます。

参照

「9.1　Windows® ネットワーク(SMB)環境での設定について」(P.252)を参照してください。

TCP/IP Direct Print Utility

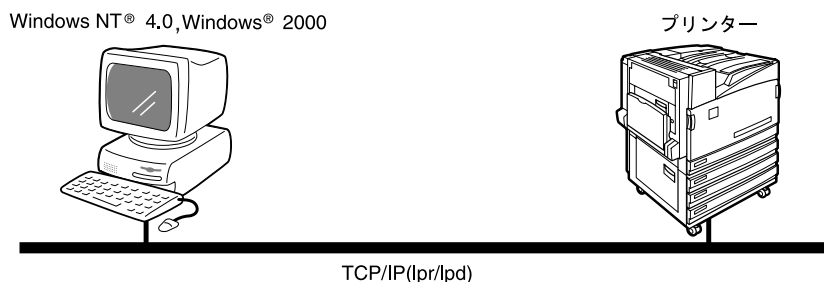
TCP/IP Direct Print Utilityとは、Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meクライアントから、同一ネットワーク(Ethernetインターフェイス)上のプリンターに、サーバーなどを経由せずに印刷データを直接送信し、印刷することを可能にした弊社製ソフトウェアツールです。本機はTCP/IP(lpd)をサポートしているので、このツールを使用すると、Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meクライアントから、印刷データを直接送信して印刷できます。この場合、本機とWindows® 95、Windows® 98、Windows® Meクライアントには、IPアドレスの設定が必要です。

参照

「1.4　IPアドレスを設定する」(P.9)、「1.5　ポートを設定する」(P.14)、「2.2.1　ネットワーク上のプリンターへダイレクトに印刷する場合」(P.27)を参照してください。

TCP/IP(lpd)

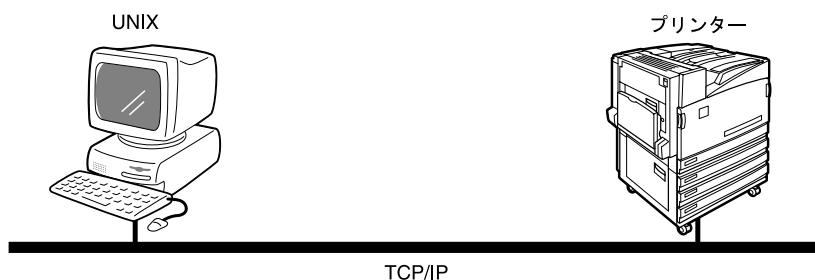
本機は、TCP/IP(lpd)をサポートしているので、Windows NT® 4.0、Windows® 2000クライアントから、SMBだけでなくlprで印刷データを直接送信し、印刷できます。この場合は、本機とWindows NT® 4.0、Windows® 2000クライアントには、IPアドレスの設定が必要です。
また、Windows NT® 4.0、Windows® 2000上に登録したプリンターを共有に設定することで、Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meクライアントからも、この共有プリンターに接続して印刷できます。

参照

「1.4　IPアドレスを設定する」(P.9)、「1.5　ポートを設定する」(P.14)、「2.2.3　サーバーを経由して印刷する場合」(P.36)を参照してください。

TCP/IP(UNIX)

本機は、トランスポートプロトコルとしてTCP/IPをサポートする、lpd(Line Printer Daemon Protocol)が使用できます。lpdを利用して、本機をUNIXのネットワーク環境で使用します。本機とUNIXクライアントには、IPアドレスの設定が必要です。本機で使用できるインターフェイスは、Ethernet 100Base-TX、Ethernet 10Base-Tです。適応するフレームタイプは、EthernetⅡに準拠しています。

参照

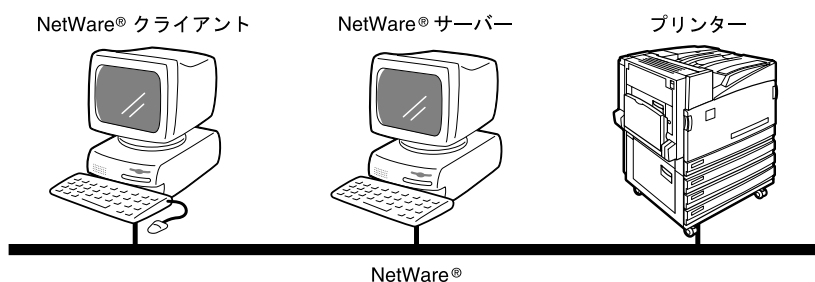
「1.4　IPアドレスを設定する」(P.9)、「9.3　UNIX環境での設定について」(P.263)を参照してください。

NetWare®

本機は、NetWare® 3.12J/3.2J/4.11J/4.2/5/5.1までの各バージョンに対応し、バインダリおよびNDS(4.11J以上)でプリントサーバー(PServer)モードだけをサポートしています。
プリントサーバーモードでは、プリンター自身がプリントサーバーとして動作し、プリントキューにあるジョブを取り出して印刷します。本機は、ファイルサーバーのユーザーライセンスを1つ消費します。
TCP/IP、IPX/SPXのどちらか、または両方を使用できます。

注記

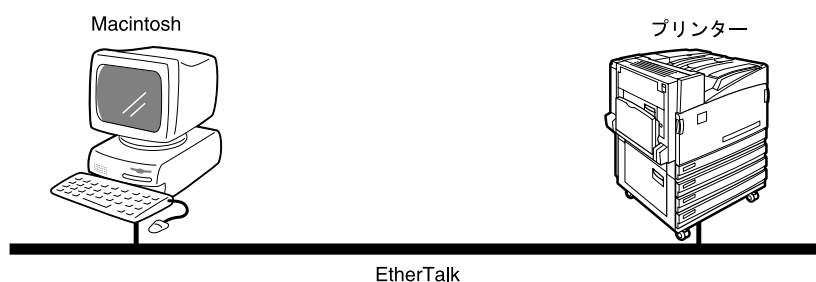
リモートプリンター(RPrinter)モードはサポートしていません。

参照

コンピューター環境や設定の流れについては、「9.2　NetWare®環境での設定について」(P.260)を参照してください。

AppleTalk

本機は、AppleTalkプロトコルをサポートしているので、Macintoshから印刷できます。

補足

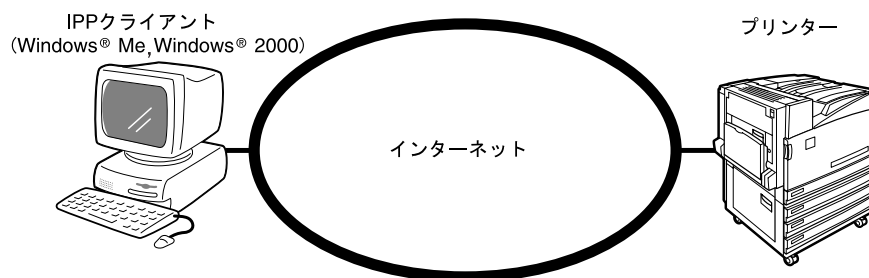
Macintoshから印刷するには、オプションのPostScript®ソフトウェアキットが必要です。

インターネット印刷

本機は、IPP(Internet Printing Protocol)をサポートしています。Windows® 2000、Windows® Meは、IPPプリンターに印刷するためのクライアントソフト(IPPポートモニタ)を装備しているので、[プリンタの追加]ウィザードから、IPP対応プリンターを指定できます。IPPを利用すれば、インターネット、またはイントラネットを経由して遠隔地のプリンターに印刷できます。
トランスポートプロトコルは、TCP/IPを使用します。対象OSは、Microsoft® Windows® 2000 Server 日本語版(ServicePack 1を含む)、Microsoft® Windows® 2000 Professional 日本語版(ServicePack 1を含む)、Microsoft® Windows® Me 日本語版です。

注記

Windows® Meの場合、インターネット印刷を利用するには、IPPポートをインストールする必要があります。IPPポートのインストール方法については、Windows® Meに付属の説明書を参照してください。

参照

IPPを利用する場合は、「9.4　インターネット印刷での設定について」(P.264)を参照してください。

1.2 プリンター本体を簡単にセットアップする

プリンター環境の設定をする場合、プリンター本体のクイックセットアップメニューを使用すると、必要最低限の項目が一度に設定できます。

クイックセットアップメニューでは、以下の設定ができます。

- **ジョブ履歴レポートを自動で印刷するかどうかの設定**
  処理を行ったプリントジョブに関する情報(ジョブ履歴レポート)を、自動的に印刷するかどうかを設定します。ジョブ履歴レポートには、最新の50件までの印刷ジョブが印刷されます。このジョブ履歴レポートを、印刷ジョブが50件超えるごとに自動的に印刷させるかどうかを設定します。
- **システム時計の設定**
  本機のシステム時計の日付(年/月/日)と時刻(時/分)を、西暦(4桁、2000～2099年の範囲)・24時間表示で設定します。ここで設定された日付/時刻がリストやレポートに印刷されます。(日付：YYYY/MM/DD、時刻：HH/MMの形式で入力します。)
- **ネットワークのポート、プロトコルおよびスプールの設定**
  (SMB、lpd、IPP、NetWare、EtherTalk(オプション)、Port9100(オプション)、SNMP)
  SMB、lpd、IPP、NetWare、EtherTalk(オプション)、Port9100(オプション)は、ネットワーク環境に合わせて、使用するポート、プロトコル、スプールの設定をします。SNMPは、CentreWareなどの複数のプリンターをリモートで管理するソフトウェアを使う場合に設定します。
- **インターネットサービスを使用するかどうかの設定**
  インターネットサービス(CentreWare Internet Services)を使用すると、Webブラウザーを介して本機の状態やジョブの状態を表示したり、本機の設定を変更したりできます。
- **DHCP、BOOTPを使用するかどうかの設定、およびIPアドレスの設定**
  (TCP/IPを使用する場合だけ設定します)
  TCP/IPを使うために必要な情報(IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス)をDHCP(Dynamic Host Configration Protcol)サーバー、またはBOOTPから自動的に取得するかどうかを設定します。DHCP(Dynamic Host Configration Protcol)サーバー、またはBOOTPを使用しない場合は、IPアドレスを手動で入力します。

クイックセットアップメニューを使用すると、一連の流れに従って複数のポートを一度に設定することができます。

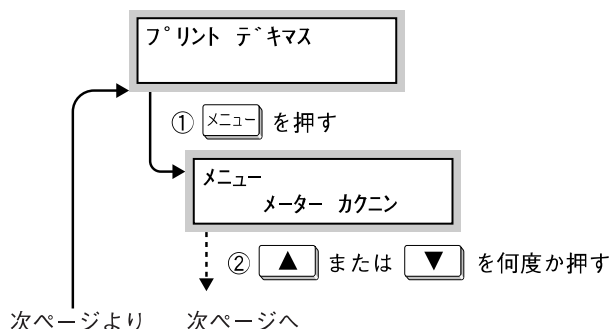
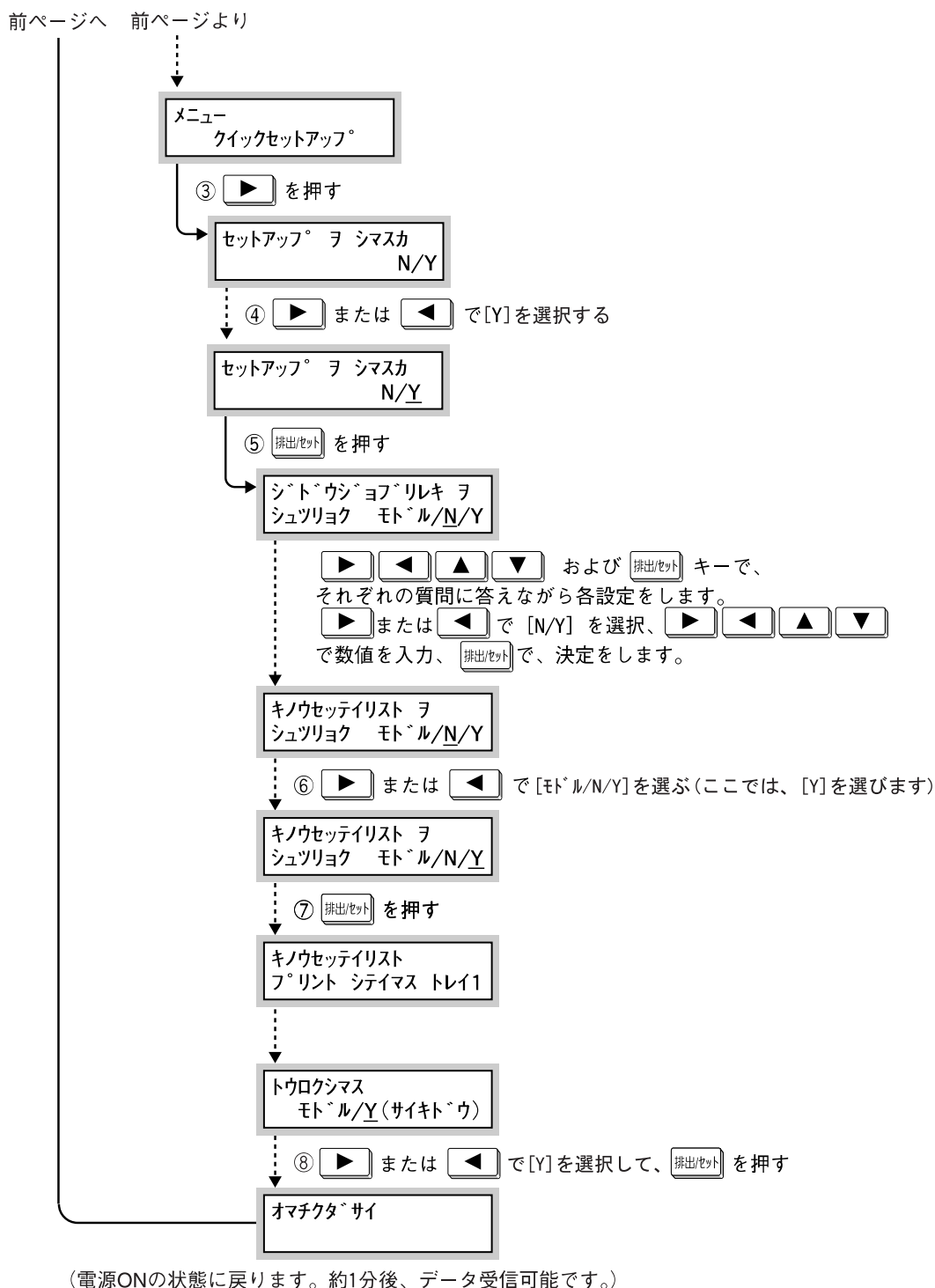
補足

クイックセットアップで設定できない項目や個別に設定する方法については、「8.2　共通メニューの設定を変更する」(P.228)を参照してください。

操作手順

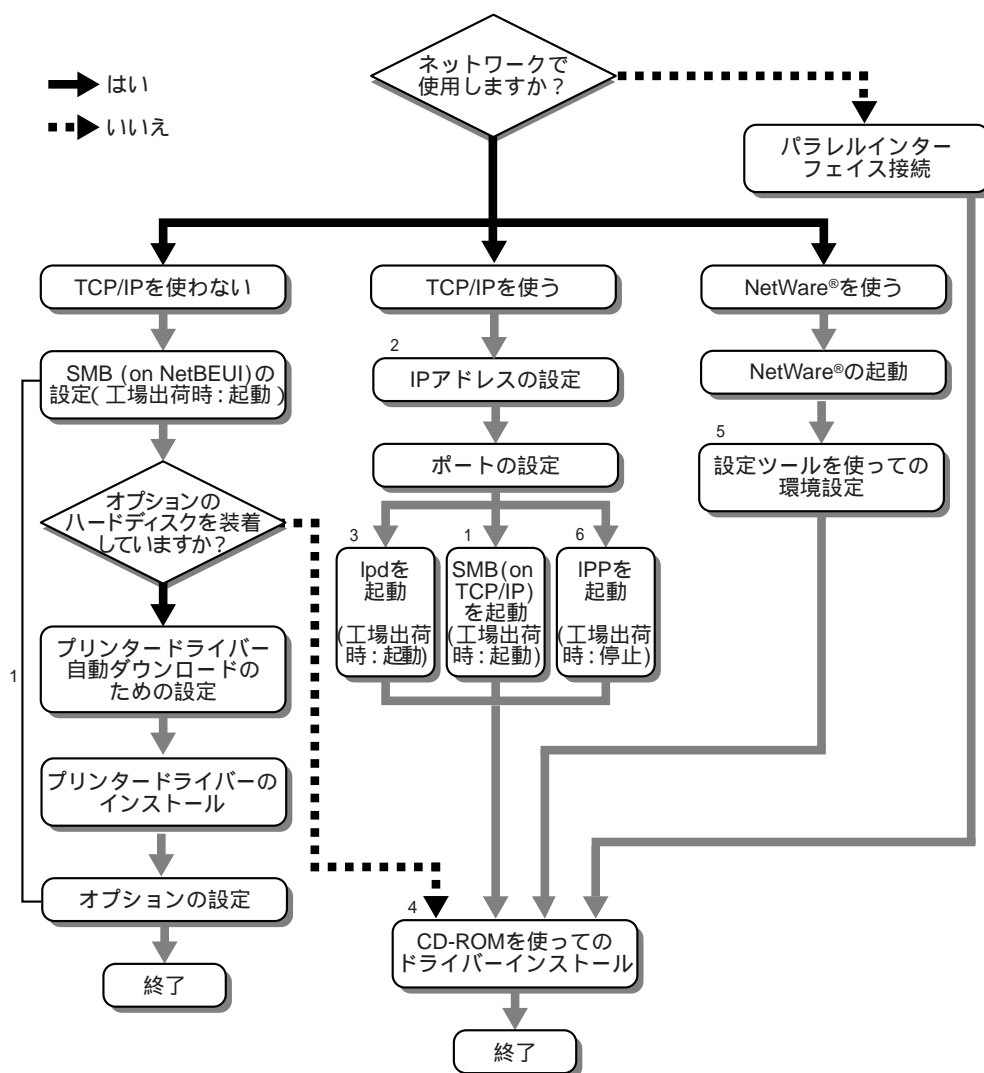
操作パネルで、以下の手順に従って、必要な設定をします。

（電源ONの状態に戻ります。約1分後、データ受信可能です。）

補足

セットアップ中に メニュー を押した場合は、設定内容は無効となります。

1.3 プリンター環境の設定の流れ

プリンターの環境を設定する流れについて説明します。

フローチャートに沿って、それぞれのプリンター環境に必要な設定を確認してください。時刻やネットワーク、IPアドレスなどの設定を簡単にセットアップすることもできます。詳細は、「1.2　プリンター本体を簡単にセットアップする」(P.6)を参照してください。

※1　「9.1　Windows® ネットワーク(SMB)環境での設定について」(P.252)を参照してください。
※2　「1.4　IPアドレスを設定する」(P.9)を参照してください。
※3　「1.5　ポートを設定する」(P.14)を参照してください。
※4　「第2章　プリンタードライバーのインストール」(P.23)を参照してください。
※5　「9.2　NetWare® 環境での設定について」(P.260)を参照してください。
※6　「9.4　インターネット印刷での設定について」(P.264)を参照してください。

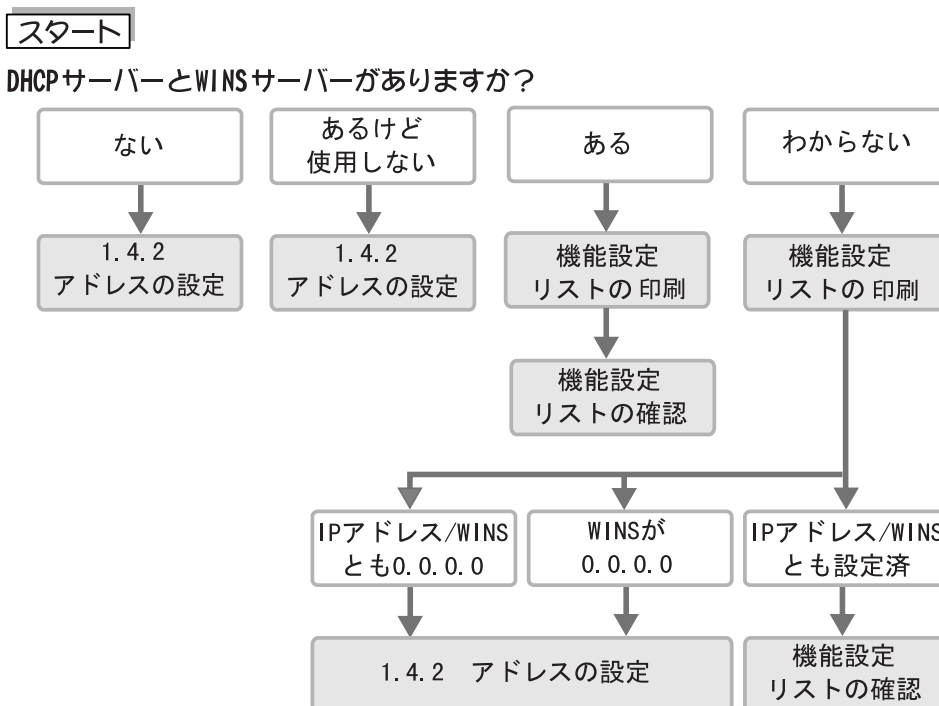
1.4 IPアドレスを設定する

ここでは、IPアドレスの設定方法について説明します。
ネットワーク環境によっては、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定が必要な場合があります。ネットワーク上に、DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)を起動しているWindows NT® 4.0、Windows® 2000クライアントがある場合、本機はこれらのアドレス情報をDHCPサーバーから取得できます。
工場出荷時の設定では、これらのアドレスをDHCPサーバーから自動的に取得するようになっています。

注記
DHCPサーバーを使用する場合、同時にWINS(Windows Internet Name Service)サーバーも使用してください。

1.4.1 設定の流れ

DHCPサーバーがあるかどうかわからないときは、ここで説明する操作手順に従って、DHCPサーバーの有無を確認します。DHCPサーバーがある場合は、IPアドレスは自動的に設定されるので、IPアドレスの入力は不要です。DHCPサーバーがない場合は、**「1.4.2 アドレスの設定」(P.11)を参照し、****IPアドレスを設定してください。**

DHCPサーバーの確認

補足
DHCP環境について不明な場合は、システム管理者にお尋ねください。

設定リストの印刷

操作手順

❶ 「6.3　レポート/リストを印刷する」(P.149)を参照して、「機能設定リスト」を印刷します。

❷ 「機能設定リスト」の[コミュニケーション設定]項目の、「TCP/IP：IPアドレス」、「TCP/IP：サブネットマスク」、「TCP/IP：ゲートウェイアドレス」、「WINS：プライマリーWINSサーバー」、「WINS：セカンダリーWINSサーバー」のアドレスを確認します。「機能設定リスト」の確認方法については、次の「設定リストの確認」を参照してください。

設定リストの確認

■TCP/IP、WINSともにアドレスが取得されていない場合

DHCPサーバーとWINSサーバーは存在しません。「1.4.2　アドレスの設定」(P.11)を参照し、IPアドレスを設定してください。

■TCP/IPにアドレスは取得されているが、WINSにアドレスが取得されていない場合

WINSサーバーは存在しません。本機に割り当てられているIPアドレスが変更になった場合に印刷できなくなる可能性があるので、DHCP環境を使用しないでください。「1.4.2　アドレスの設定」(P.11)を参照し、手動で本機のIPアドレスを設定してください。

■TCP/IP、WINS共にアドレスが取得されている場合

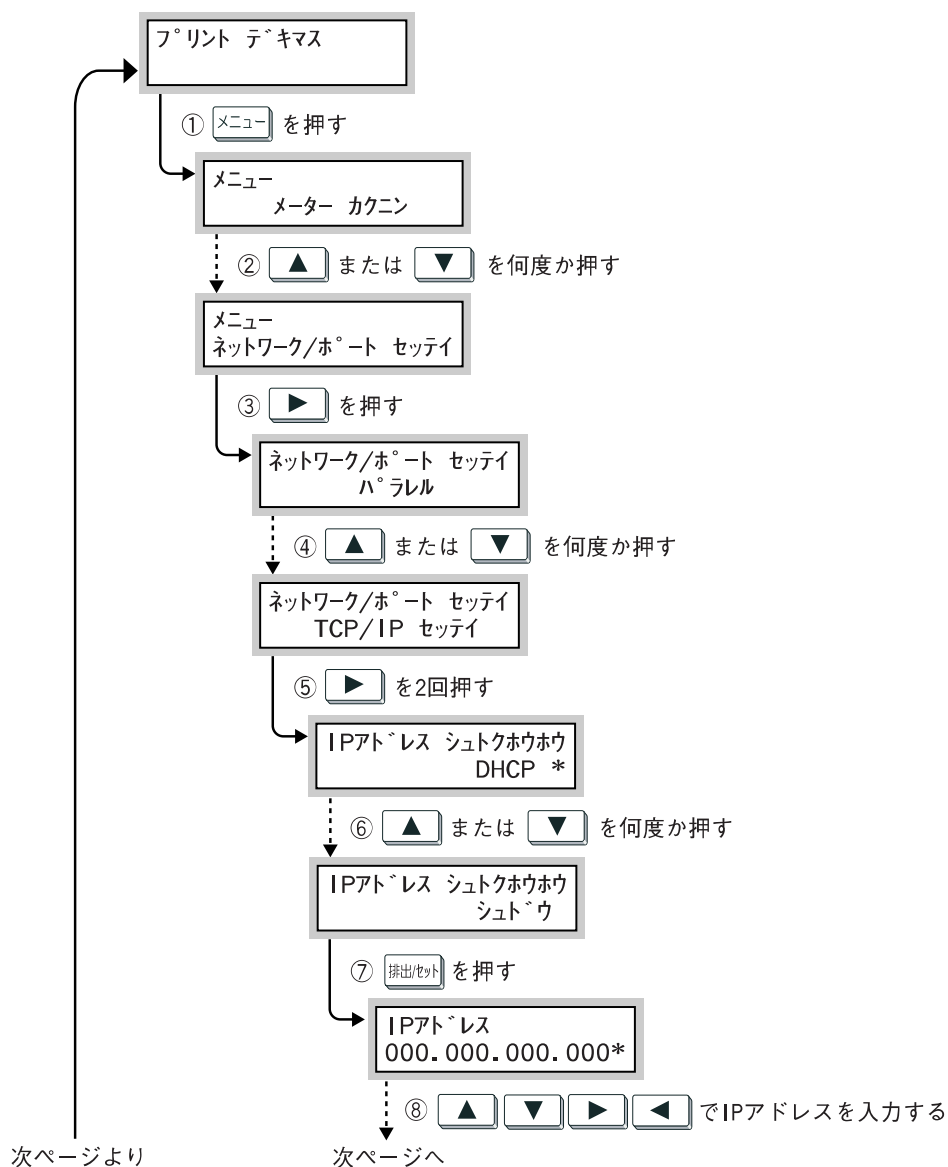
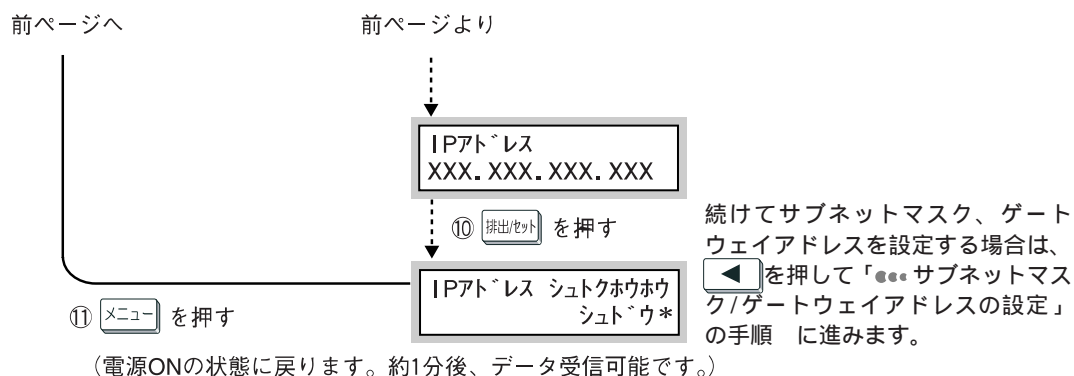
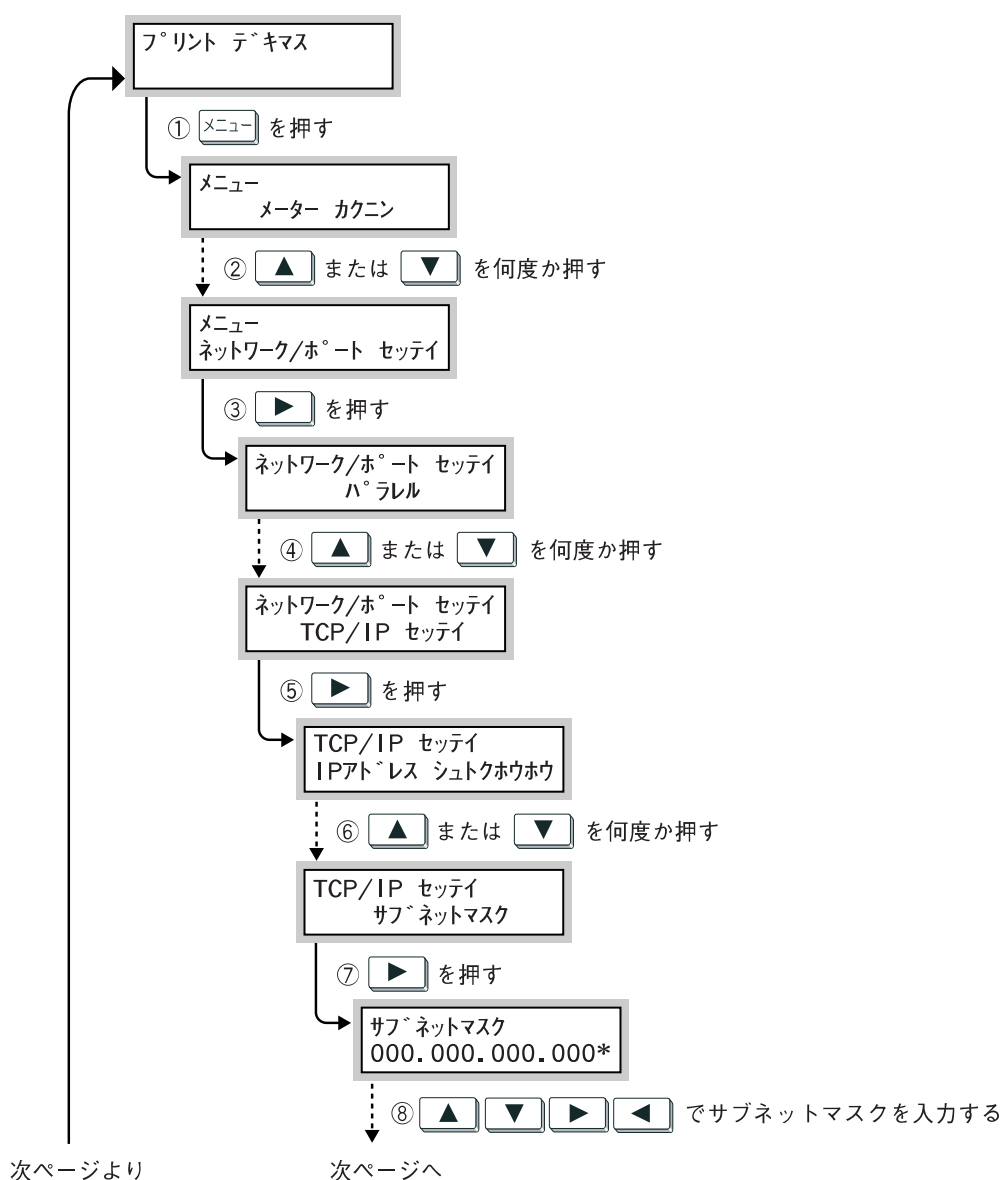
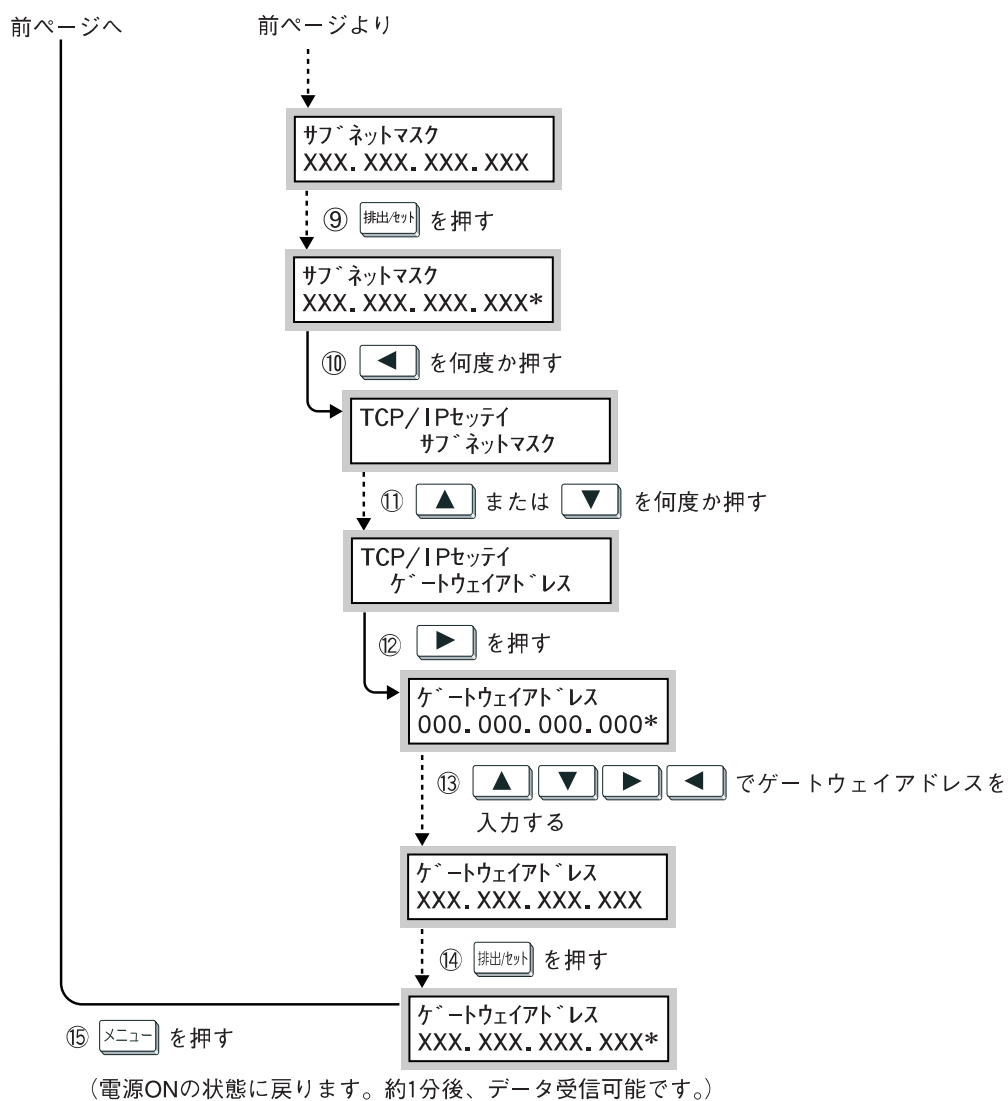
DHCPサーバーとWINSサーバーが稼動しています。DHCP環境を使用することをお勧めします。本機のIPアドレスはDHCPサーバーが設定します。WINSサーバーには、「機能設定リスト」の[SMB]項目の「ホスト名」に記載された名前(FX-xxxxxx)が登録されます。

1.4.2 アドレスの設定

ここでは、操作パネルでIPアドレスを設定する手順について説明します。使用するネットワーク環境によって、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定が必要です。ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な項目を設定してください。
なお、IPアドレスの設定の初期表示が違う場合があります。最初に、【IPアドレスノシュトクニシッパイシマシタ】と表示された場合は、[メニュー]を押して、②から操作を始めてください。

IPアドレスの設定

サブネットマスク/ゲートウェイアドレスの設定

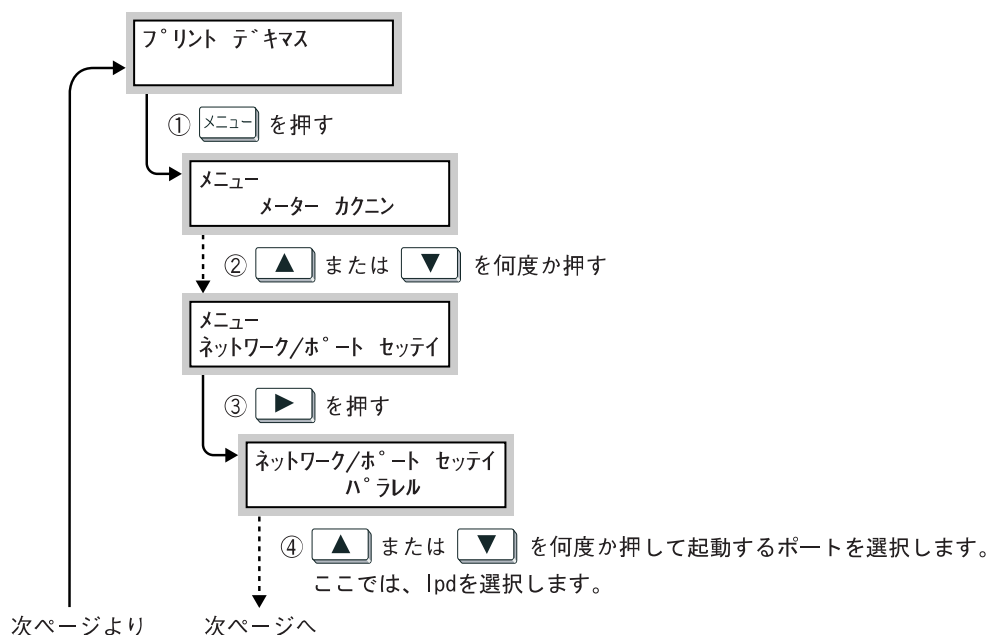
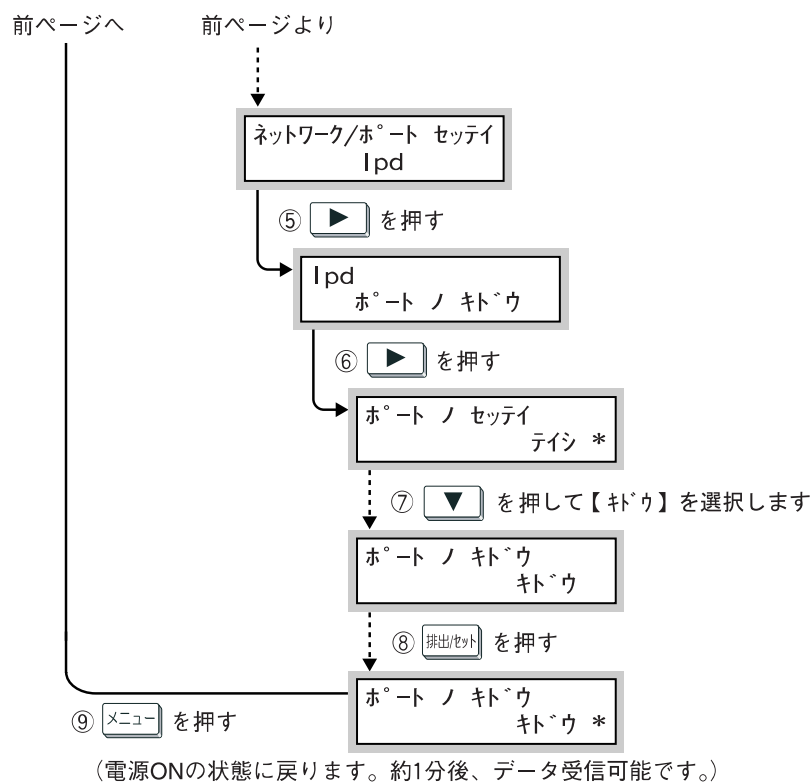
前ページへ
前ページより
サブ゙ネットマスク
XXX.XXX.XXX.XXX
⑨ 排出/セット を押す
サブ゙ネットマスク
XXX.XXX.XXX.XXX*
⑩ ◀ を何度か押す
TCP/IPセッテイ
サブ゙ネットマスク
⑪ ▲ または ▼ を何度か押す
TCP/IPセッテイ
ゲ゙ートウェイアド゙レス
⑫ ▶ を押す
ゲ゙ートウェイアド゙レス
000.000.000.000*
⑬ ▲ ▼ ▶ ◀ でゲートウェイアドレスを
入力する
ゲ゙ートウェイアド゙レス
XXX.XXX.XXX.XXX
⑭ 排出/セット を押す
ゲ゙ートウェイアド゙レス
XXX.XXX.XXX.XXX*
⑮ メニュー を押す
（電源ONの状態に戻ります。約1分後、データ受信可能です。）

1.5 ポートを設定する

IPアドレスの設定、または設定を確認したあと、使用するポートの起動と、必要に応じてトランスポートプロトコルの設定をします。
ここでは、ポートを「起動」に設定する手順、SNMPエージェント(工場出荷時：起動)を「起動」に設定する手順、SMBポート(工場出荷時：起動)およびトランスポートプロトコルを設定する手順について説明します。
SNMPエージェントは、CentreWareなどのプリンターをリモートで管理するソフトウェアを使うときに起動します。必要に応じて設定してください。
SMBポートは、Windows®ネットワーク(SMB)環境で本機を使用するときに起動します。必要に応じて設定してください。
また、CentreWare Internet Servicesからもポートを設定できます。詳しくは、「5.1　クライアントからプリンターを設定する(CentreWare Internet Service)」(P.110)参照してください。

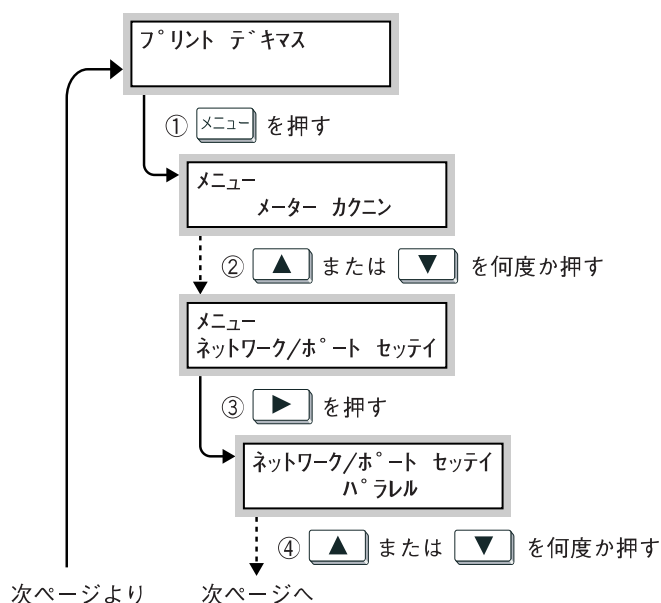
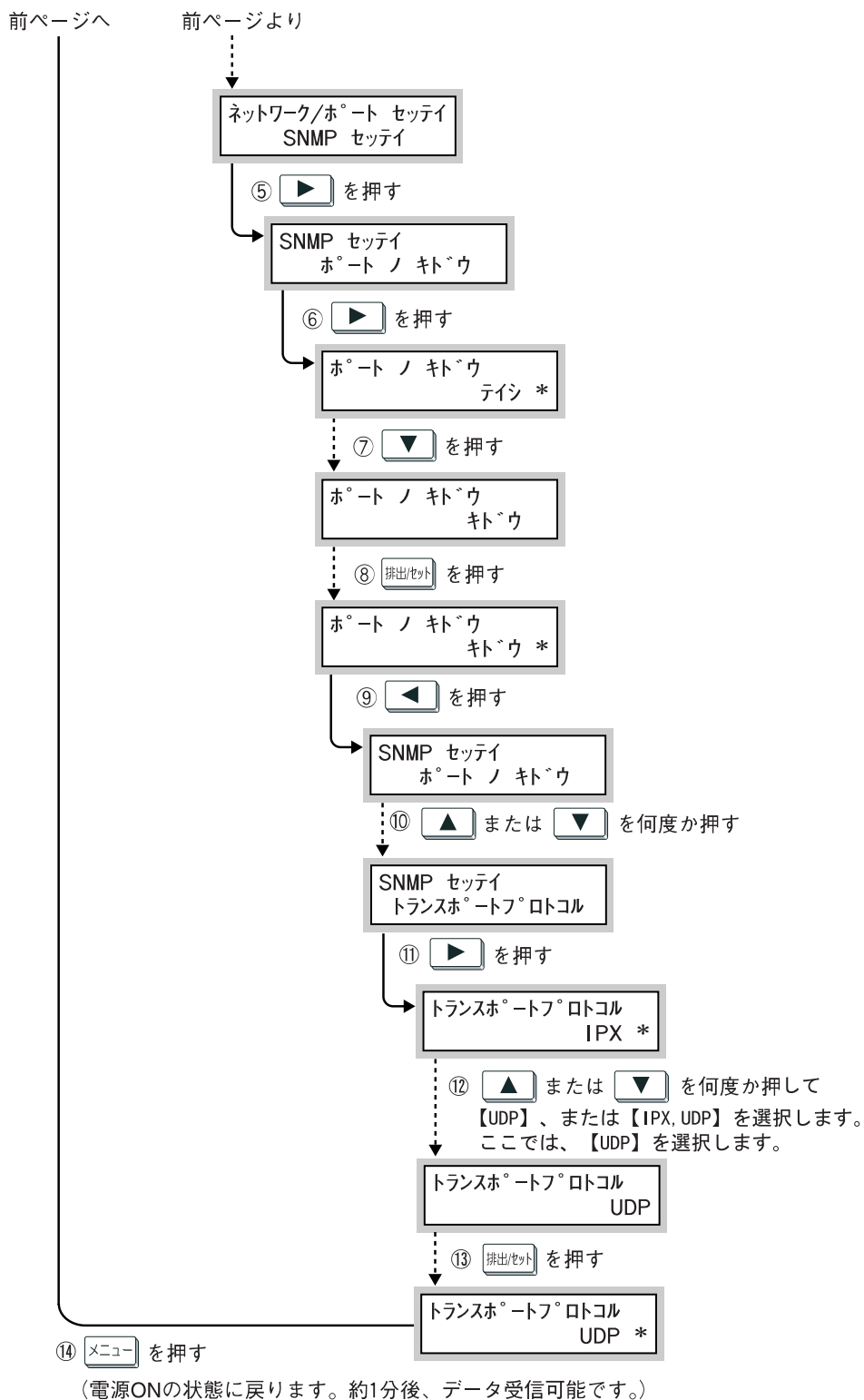
参照

- EtherTalkポート、Port9100ポートを使用する場合は、オプションのPostScript®ソフトウェアキットが必要です。
- ポートの設定をする前に、「第9章　ネットワーク環境の設定について」(P.251)を参照し、各環境の設定の流れを確認してください。

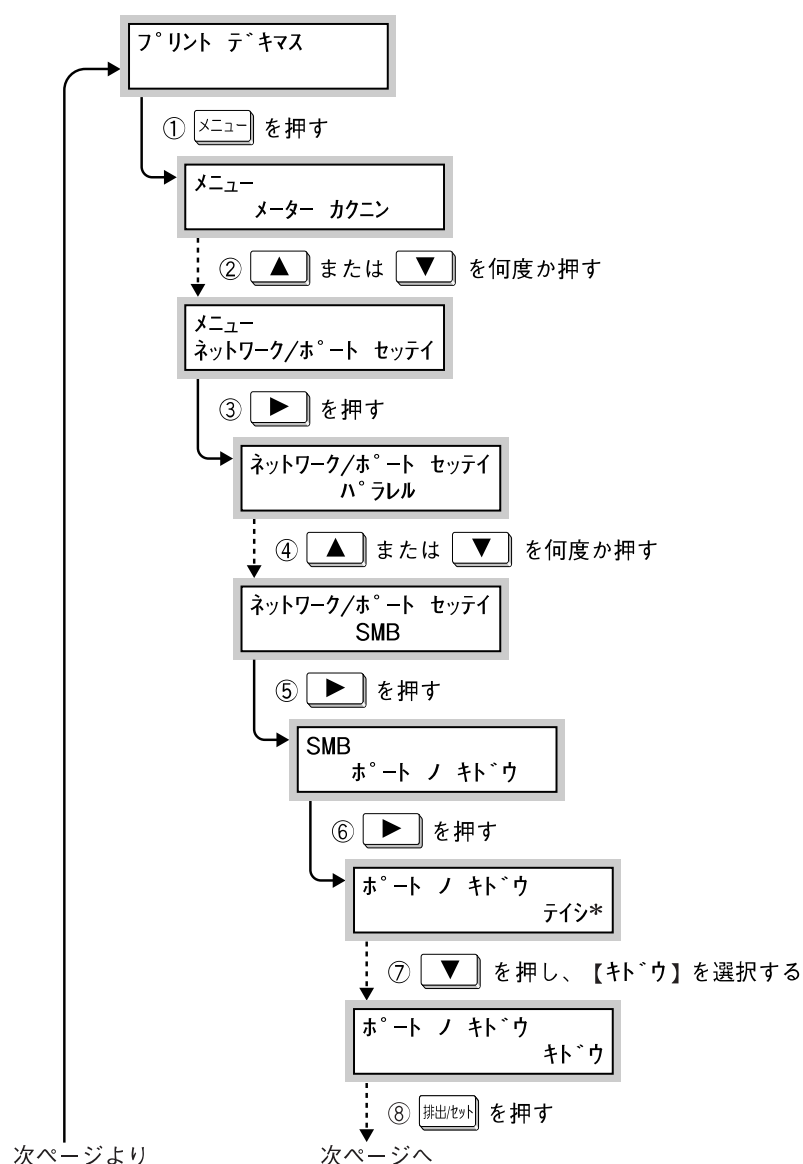
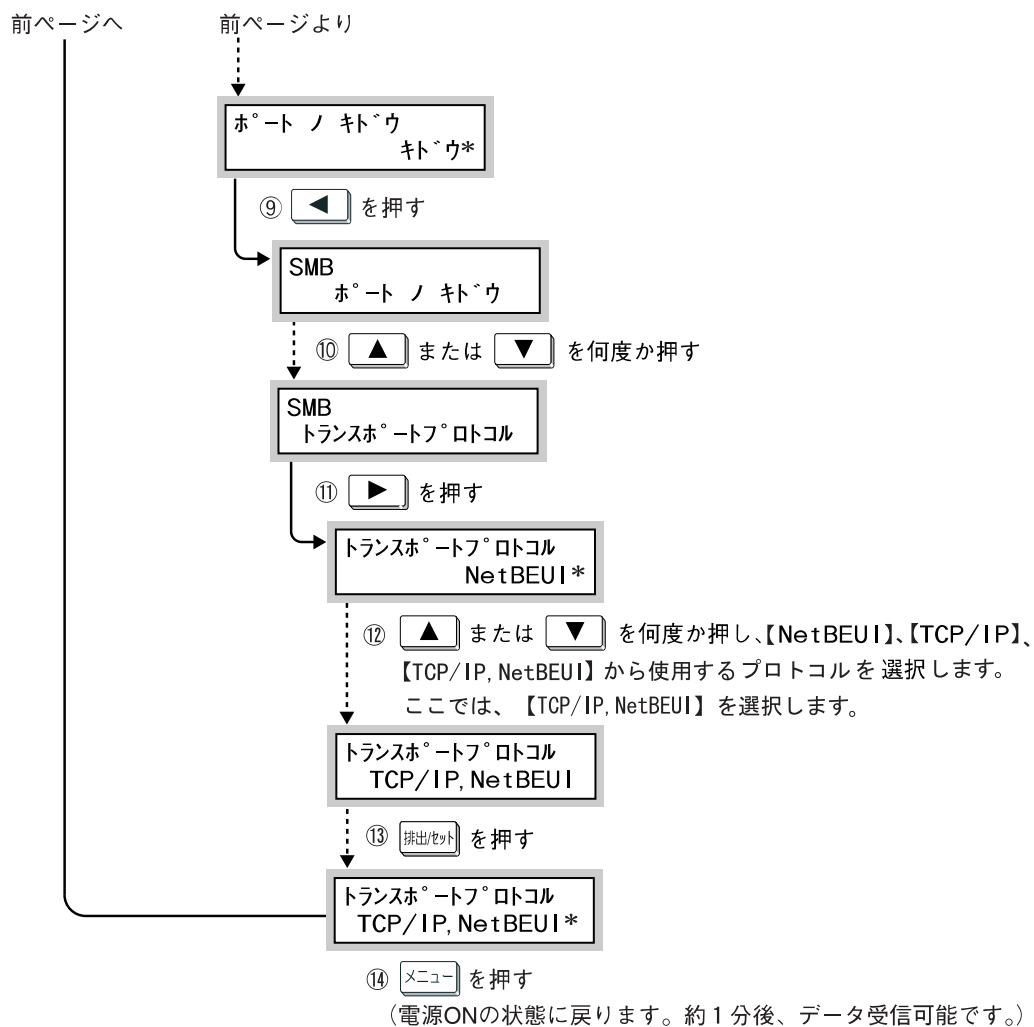
1.5.1 ポートを起動する

ここでは、例としてlpdポートを起動状態にする手順について説明します。

1.5.2 SNMPエージェントを起動する

以下の手順に従って、SNMPエージェントと、トランスポートプロトコルの【UDP】、または【IPX,UDP】を起動状態にします。

前ページへ
前ページより
ネットワーク/ポート セッテイ
SNMP セッテイ
⑤ ▶ を押す
SNMP セッテイ
ポート ノ キドウ
⑥ ▶ を押す
ポート ノ キドウ
テイシ ＊
⑦ ▼ を押す
ポート ノ キドウ
キドウ
⑧ 排出/セット を押す
ポート ノ キドウ
キドウ ＊
⑨ ◀ を押す
SNMP セッテイ
ポート ノ キドウ
⑩ ▲ または ▼ を何度か押す
SNMP セッテイ
トランスポートプロトコル
⑪ ▶ を押す
トランスポートプロトコル
IPX ＊
⑫ ▲ または ▼ を何度か押して
【UDP】、または【IPX,UDP】を選択します。
ここでは、【UDP】を選択します。
トランスポートプロトコル
UDP
⑬ 排出/セット を押す
トランスポートプロトコル
UDP ＊
⑭ メニュー を押す
（電源ONの状態に戻ります。約1分後、データ受信可能です。）

1.5.3 SMBのポート、プロトコルを起動する

以下の手順に従って、SMBポートを起動し、トランスポートプロトコルを設定します。ここでは、例として、トランスポートプロトコルを【TCP/IP,NetBEUI】に設定する手順について説明します。

前ページへ
前ページより
ホ゜ート ノ キト゛ウ
キト゛ウ*
⑨ ◀ を押す
SMB
ホ゜ート ノ キト゛ウ
⑩ ▲ または ▼ を何度か押す
SMB
トランスホ゜ートフ゜ロトコル
⑪ ▶ を押す
トランスホ゜ートフ゜ロトコル
NetBEUI*
⑫ ▲ または ▼ を何度か押し、【NetBEUI】、【TCP/IP】、
【TCP/IP, NetBEUI】から使用するプロトコルを選択します。
ここでは、【TCP/IP, NetBEUI】を選択します。
トランスホ゜ートフ゜ロトコル
TCP/IP, NetBEUI
⑬ 排出/セット を押す
トランスホ゜ートフ゜ロトコル
TCP/IP, NetBEUI*
⑭ メニュー を押す
（電源ONの状態に戻ります。約1分後、データ受信可能です。）

1.6 メモリーの割り当てについて

ここでは、メモリーの割り当てについて説明します。

本機では、下表の用途にメモリーが割り当てられます。なお、オプションの装着状態によって、割り当てられるメモリーの種類が異なります。

メモリーの種類	標準	ART IV	PS
プリントページバッファ	○	○	○
ART EXフォームメモリー	△	△	△
ART IVフォームメモリー	×	△	×
ART IVユーザ定義メモリー	×	○	×
HPGLオートレイアウトメモリー	×	△	×
PS使用メモリー	×	×	○
受信バッファ容量	○	○	○

※△　：内蔵増設ハードディスク装置装着時は設定できません。
ART IV　：ART IV/エミュレーションキット
PS　：PostScript®ソフトウェアキット

補足

オプションの内蔵増設ハードディスク装置を装着すると、lpd、SMB、IPPの受信バッファ容量の[ハードディスクスプール]を設定できるようになります。必要に応じて、[ハードディスクスプール]を設定してください。

メモリーの割り当ては、プリントページバッファを除き、操作パネル、またはCentreWare Internet Servicesで設定できます。メモリーの割り当ての設定は、電源を入れたとき(または、システムリセット時)に変更されます。

参照

- 各メモリーの容量、スプールの初期値などの詳細や操作パネルでの設定については、「8.2 共通メニューの設定を変更する」(P.228)を参照してください。
- CentreWare Internet Servicesの操作については、「5.1 クライアントからプリンターを設定する(CentreWare Internet Services)」(P.110)を参照してください。

プリントページバッファ

実際の印刷イメージを描画する領域です。プリントページバッファには、ほかの用途向けにメモリーを割り当てたあとの、残った領域が割り当てられます。したがって、プリントページバッファの容量を直接変更することはできません。実際に割り当てられたプリントページバッファ容量は、「機能設定リスト」の[メモリー]項目で確認できます。
解像度の高い文書を印刷するときは、プリントページバッファの容量が大きくなるように設定してください。

参照

- 「機能設定リスト」の印刷方法については、「6.3　レポート/リストを印刷する」(P.149)を参照してください。
- プリントページバッファの容量は、CentreWare Internet Servicesを使っても確認できます。CentreWare Internet Servicesについては、「5.1　クライアントからプリンターを設定する(CentreWare Internet Services)」(P.110)を参照してください。

補足

ART EXプリンタードライバーで「ページ印刷モード」を「スル」に設定した場合、プリントページバッファを一定の容量以上確保する必要があります。確保する必要のあるプリントページバッファの容量は、解像度に依存します。以下は確保する必要のあるプリントページバッファの目安の数値です。ページ印刷モードについては、「4.2　主な印刷機能一覧」(P.63)を参照してください。

- 600dpiのとき
  内蔵増設ハードディスク装置非装着時　：73MByte
  内蔵増設ハードディスク装置装着時　　：113MByte
- 1200×600dpiのとき
  内蔵増設ハードディスク装置非装着時　：140MByte
  内蔵増設ハードディスク装置装着時　　：221MByte

ART EXフォームメモリー

ART EXフォームで使うメモリー容量を指定します。

ART IVフォームメモリー

ART IVフォームで使うメモリー容量を指定します。この項目は、オプションのART IV/エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。

ART IVユーザー定義メモリー

ART IVユーザー定義で使うメモリー容量を指定します。この項目は、オプションのART IV/エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。

HPGLオートレイアウトメモリー

HP-GL/2オートレイアウトで使うメモリー容量を指定します。この項目は、オプションのART IV/エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。

PS使用メモリー

PostScript®の使用メモリー容量を指定します。この項目は、オプションのPostScript®ソフトウェアキットが装着されている場合に表示されます。

受信バッファ容量

クライアントからの受信データを一時的に蓄積するための領域です。複数のポートからのデータを同時に受信するために、ポートごとに受信バッファを用意しています。受信バッファには、次の種類があります。

- パラレル用受信バッファ
- lpd用受信バッファ
- NetWare用受信バッファ
- SMB用受信バッファ
- IPP用受信バッファ
- EtherTalk用受信バッファ

受信バッファ容量を増やすと、印刷処理が速くなることがあります。印刷するデータの量に応じて、バッファ容量を調整してください。また、使用していないポートは、ポート状態を停止にして、ほかの用途向けにメモリーを割り当てることをお勧めします。
lpd/SMB/IPPでは、スプール処理を指定することができます。工場出荷時は【スプールシナイ】に設定されています。スプールには、【メモリースプール】と【ハードディスクスプール】があります。【メモリースプール】を指定した場合、設定した容量を超えるデータは受信できません。この場合は、オプションの内蔵増設ハードディスク装置を装着し、【ハードディスクスプール】を指定してください。

補足

- EtherTalkを設定するには、オプションのPostScript®ソフトウェアキットが必要です。
- IPPは、【メモリースプール】の設定はできません。

スプールには、スプールモードとノンスプールモードがあります。
スプールモード

アプリケーションから出力された印刷データを、一時的に本機側のスプールファイルに格納して印刷処理をするモードです。スプールファイルの格納先は、本機内のメモリーを使ったRAMディスク、または本機に接続されたハードディスクから選択できます。印刷データのスプール後の処理はすべて本機側で行われるので、クライアントのアプリケーションが早く解放されます。複数のクライアントからの要求を同時に処理できます。

ノンスプールモード

アプリケーションから出力された印刷データを、本機側で受信しながら印刷処理を行うモードです。本機がクライアントからの印刷要求を処理している場合、ほかのクライアントからの印刷要求は受け付けません。

プリンタードライバーの インストール

2章

2.1 概要

クライアントから印刷するために、プリンタードライバーをインストールします。プリンタードライバーとは、クライアントからの印刷データや印刷指示を、本機が解釈できるデータに変換するソフトウェアです。
ここでは、本機の機能を使って印刷するために必要な、ART EXプリンタードライバーを、同梱されているCentreWareドライバー&ネットワークユーティリティのCD-ROMを使ってインストールするために必要な環境を説明します。

2.1.1 クライアント環境

- サポートしているOS環境
  Microsoft® Windows® 95 Operating System日本語版*
  *ServicePack 1以上、またはMicrosoft Internet Explorer4.0以上が必要です。
  Microsoft® Windows® 98 Operating System日本語版
  Microsoft® Windows® Me Operating System日本語版
  Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0日本語版(ServicePack 4以上)
  Microsoft® Windows NT® Server 4.0日本語版(ServicePack 4以上)
  Microsoft® Windows® 2000 Professional日本語版(ServicePack 1を含む)
  Microsoft® Windows® 2000 Server日本語版(ServicePack 1を含む)
- 必要なシステム環境
  CPU：Pentium 133MHz以上のPC/AT互換機
  ハードディスク空き容量：25MByte以上
  RAM：32MByte以上
  ビデオディスプレイ：VGA以上(推奨：800×600以上)
  ネットワークインターフェイスカード
  CD-ROMドライブ

補足

[プリンタの追加]からもプリンタードライバーをインストールできます。同梱されているCD-ROM内の「PLW」フォルダーを開き、お使いのOSに合わせて、「Nt40」フォルダー(Windows NT® 4.0用)、「Win2000」フォルダー(Windows® 2000用)、「Win95」フォルダー(Windows® 95用)、または「Win98」フォルダー(Windows® 98、Windows® Me用)を選択してください。

2.1.2 ネットワーク環境

ネットワークサーバーを介して印刷したり、「プリンターネームサービス」を動作させるためには、以下の環境が必要です。

- サポートしているネットワークサーバー(OS)環境
  Novell NetWare® 3.12J/3.2J/4.11J/4.2/5/5.1
  Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0日本語版(ServicePack 4以上)
  Microsoft® Windows NT® Server 4.0日本語版(ServicePack 4以上)

Microsoft® Windows® 2000 Professional日本語版(ServicePack 1を含む)
Microsoft® Windows® 2000 Server日本語版(ServicePack 1を含む)

- 必要なシステム環境
  ネットワーク環境が設定済み
  CPU:Pentium 133MHz以上のPC/AT互換機
  ハードディスク空き容量:プリンタネームサービスをインストールする場合は4MByte以上
  RAM:64MByte以上
  ビデオディスプレイ:VGA以上(推奨:800×600以上)
  ネットワークインターフェイスカード
  CD-ROMドライブ

参照

プリンタネームサービスについては、「9.5 共有プリンターの設定について」の「●●● ネットワークサービス補助ツール(プリンタネームサービス)をWindows NT®、Windows® 2000へインストールする」(P.267)を参照してください。

2.1.3 プリンタードライバーのインストールについて

プリンタードライバーのインストール方法は、次の4つです。

- **Windows® 95、Windows® 98、Windows® Me、Windows NT® 4.0、Windows® 2000から直接印刷する場合は、「2.2.1 ネットワーク上のプリンターへダイレクトに印刷する場合」(P.27)を参照してください。**
- **SMBを使用して印刷する場合は、「2.2.2 SMBを使用して印刷する場合」(P.32)を参照してください。**
- **NetWare®、Windows NT® 4.0、Windows® 2000などのネットワーク上のサーバーを経由して印刷する場合は、「2.2.3 サーバーを経由して印刷する場合」(P.36)を参照してください。**
- **ローカルプリンター(パラレルインターフェイスケーブルで接続)として使用する場合は、「2.2.4 ローカルプリンターへ印刷する場合」(P.40)を参照してください。**

補足

上記の各方法を説明している手順では、CentreWare ドライバー&ネットワークユーティリティ Version2.3(2001年6月現在)のものを使用しています。最新の操作手順については、CentreWareのCD-ROMに入っている電子マニュアルをご覧ください。なお、上記の各方法を説明している手順では、DocuPrint C2220のインストールを例にしています。

2.1.4 プリンタードライバーのアンインストールについて

プリンタードライバーのアンインストールについては、CentreWareのCD-ROMに入っている電子マニュアルをごらんください。

2.1.5 TCP/IPプロトコルを使用する前の確認

TCP/IPプロトコルを使用する前に、次のことを確認してください。

Windows® 95、Windows® 98、Windows® Me

lpdポートを使用して印刷する場合、クライアント側では弊社製「TCP/IP Direct Print Utility(TCP/IPプロトコル)」を使用します。TCP/IP Direct Print Utilityは、プリンタードライバーと同時にインストールされます。TCP/IP Direct Print Utilityをインストールする前に、クライアントに「TCP/IPプロトコル」がインストールされていることを確認します。インストールされていない場合は、Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meに付属の説明書を参照してインストールしてください。

Windows NT® 4.0

lpdポートを使用して印刷する場合、クライアントに「TCP/IP プロトコル」と「Microsoft TCP/IP印刷」がインストールされていることを確認します。インストールされていない場合は、Windows NT® 4.0に付属の説明書を参照してインストールしてください。

Windows® 2000

lpdポートを使用して印刷する場合、クライアントに「インターネットプロトコル(TCP/IP)」がインストールされていることを確認します。インストールされていない場合は、Windows® 2000に付属の説明書を参照してインストールしてください。

2.2 プリンタードライバーをインストールする

2.2.1 ネットワーク上のプリンターへダイレクトに印刷する場合

ネットワーク上の本機に、サーバーを介さずにダイレクトに印刷するためのプリンタードライバーをインストールする手順について説明します。

補足

- Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meの場合、同時に弊社製TCP/IP Direct Print Utilityもインストールされます。
- Windows NT® 4.0、Windows® 2000の場合、OS標準のlprポートを使用します。
- クライアントにTCP/IPプロトコルがインストールされていない場合、プリンタードライバーのインストール中に、TCP/IPプロトコルについてのエラーメッセージが表示されることがあります。そのときは、「2.1.5　TCP/IPプロトコルを使用する前の確認」(P.26)を参照して、TCP/IPプロトコルをインストールしてください。
- ドライバーインストールの最新の操作手順については、CentreWareのCD-ROMに入っている電子マニュアルをご覧ください。

注記

DHCPサーバーでプリンターのIPアドレスを設定している場合は、プリンタードライバーをインストールしたあとに、そのIPアドレスが「機能設定リスト」の[コミュニケーション設定]の[SMB:ホスト名]に記載されたホスト名になっているか確認してください。

操作手順

1 同梱されているCD-ROMを、お使いのコンピューターのCD-ROMドライブにセットします。

インストールメニューが起動します。

補足

Windows® の設定によっては、インストールメニューが自動的に起動しません。その場合は、CD-ROM内の「Launch.exe」を実行してください。

❷ **[ドライバーのインストール]をクリックします。**

[セットアップ方法の選択]画面が表示されます。

❸ **[標準セットアップ]をクリックします。**

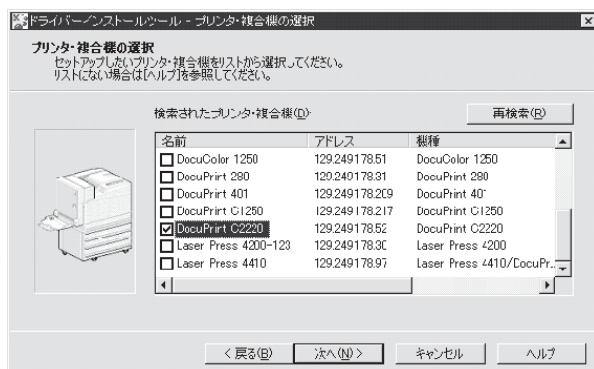
[プリンタ・複合機の選択]画面が表示されます。同じサブネット内のTCP/IPで接続されたプリンターが検索され、[検索されたプリンタ・複合機]に一覧が表示されます。

❹ **[DocuPrint C2220]、または[DocuPrint C2221]のチェックボックスがオンになっていることと、そのIPアドレスを確認します。このとき、インストールする必要がないプリンターのチェックボックスはオフにします。[次へ]をクリックします。**

補足

追加するプリンターは、複数選択できます。

[アプリケーションの選択]ダイアログボックスが表示されます。

<DocuPrint C2220、またはDocuPrint C2221が検索されなかった場合>

いったん、[戻る]をクリックして、[カスタムセットアップ]をクリックします。次の画面で、[LPR(TCP/IP)プリンタを指定する]を選択して[次へ]をクリックします。
[LPR(TCP/IP)プリンタの指定]ダイアログボックスで、以下のいずれかの方法で本機を指定します。

- **[IPアドレス]、または[ホスト名]で本機を指定します。**
- **[機種の選択...]をクリックして表示されるダイアログボックスで本機を指定します。**
- **[検索範囲...]をクリックして表示されるダイアログボックスでブロードキャストアドレスを指定し、本機を検索します。**

表示された[インストールの確認]ダイアログボックスで、[はい]をクリックしてプリンタードライバーをインストールしてください。

❺ 表示されたツールの中から、プリンタードライバーと一緒にインストールしたいアプリケーションを選択し、[次へ]をクリックします。

[使用許諾条件への同意]ダイアログボックスが表示されます。

❻ 内容を確認して[同意する]を選択し、[インストール]をクリックします。

セットアップが始まり、本機のグラフィックとインストールしているプリンタードライバー名が表示されます。

セットアップが完了すると、[セットアップ完了]画面が表示されます。

補足

「デバイスオプションの取得ができませんでした」とメッセージが表示された場合は、インストール終了後に、[スタート]メニューの[設定]から、[プリンタ]をクリックし、インストールしたプリンターのプロパティを開いて、[プリンタ構成]タブでオプションを必ず設定してください。オプションについては、「2.2.4　ローカルプリンターへ印刷する場合」の「●●● オプションについて」(P.44)を参照してください。

❼ [通常使うプリンタの設定]から、本機を通常使用するプリンターとして設定する場合は[DocuPrint C2220]、または[DocuPrint C2221] を、通常使用するプリンターを変更しない場合は[変更しない]を選択します。

補足

必要に応じて、[追加/更新されたプリンタ]に表示された[DocuPrint C2220]、または[DocuPrint C2221]を選択し、[共有の設定]、[プリンタ名の変更]、[プロパティ]、[印刷指示の設定]の設定をします。

❽ [テスト印刷]をクリックし、本機から印刷できるか確認します。

❾ [完了]をクリックし、表示された[ドライバーインストールツール]ダイアログボックスで[はい]をクリックし、インストールを終了します。

2.2.2 SMBを使用して印刷する場合

SMBを使用して印刷する場合の、プリンタードライバーのインストール手順について説明します。

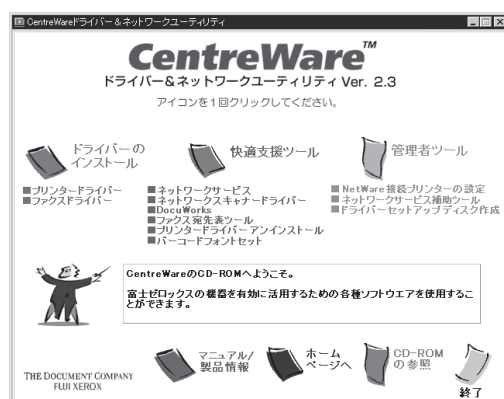
補足

ドライバーインストールの最新の操作手順については、CentreWareのCD-ROMに入っている電子マニュアルをご覧ください。

操作手順

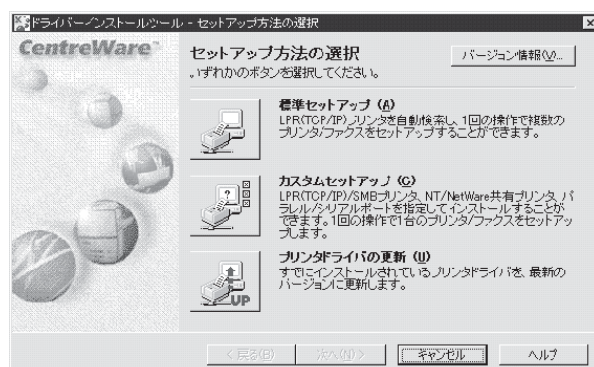
❶ **同梱されているCD-ROMを、お使いのコンピューターのCD-ROMドライブにセットします。**

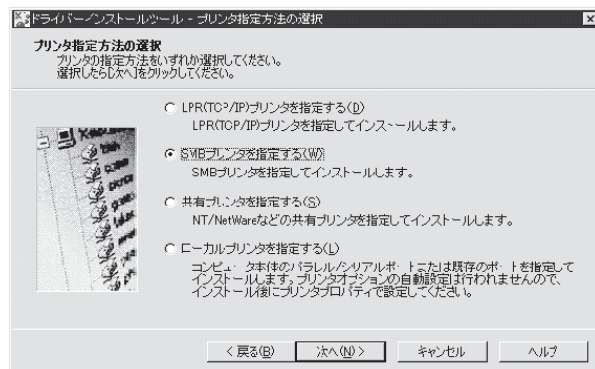
インストールメニューが起動します。

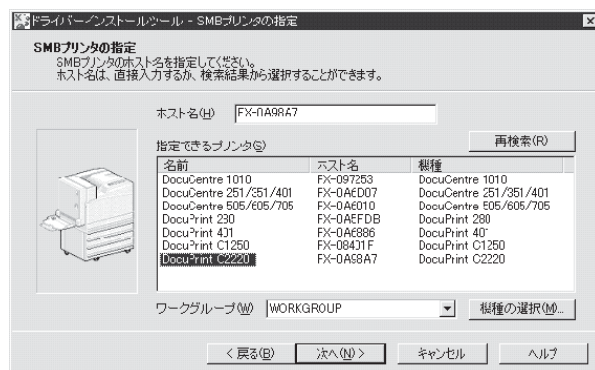
補足

Windows® の設定によっては、インストールメニューが自動的に起動しません。その場合は、CD-ROM内の「Launch.exe」を実行してください。

❷ **[ドライバーのインストール]をクリックします。**

[セットアップ方法の選択]画面が表示されます。

❸ **[カスタムセットアップ]をクリックします。**

[プリンタ指定方法の選択]画面が表示されます。

❹ [SMBプリンタを指定する]を選択して、[次へ]をクリックします。

[SMBプリンタの指定]画面が表示されます。

❺ [ホスト名]に本機のホスト名を入力するか、[指定できるプリンタ]から本機を指定し、[次へ]をクリックします。

補足

- NetBEUIを使用する場合は、[機種の選択]をクリックして表示されるダイアログボックスで対象機種を指定します。
- 本機の工場出荷時のホスト名は「FX-xxxxxx」(xxxxxx:本機のEthernetアドレスの下位6桁)が設定されています。「機能設定リスト」の[SMB]の[ホスト名]で確認できます。

❻ 表示された内容を確認し、[はい]をクリックします。

[アプリケーションの選択]ダイアログボックスが表示されます。

❼ **表示されたツールの中から、プリンタードライバーと一緒にインストールしたいアプリケーションを選択し、[次へ]をクリックします。**

[使用許諾条件への同意]ダイアログボックスが表示されます。

❽ **内容を確認して[同意する]を選択し、[インストール]をクリックします。**

セットアップが始まり、本機のグラフィックとインストールしているプリンタードライバー名が表示されます。

セットアップが完了すると、[セットアップ完了]画面が表示されます。

補足

「デバイスオプションの取得ができませんでした」とメッセージが表示された場合は、インストール終了後に、[スタート]メニューの[設定]から、[プリンタ]をクリックし、インストールしたプリンターのプロパティを開いて、[プリンタ構成]タブでオプションを必ず設定してください。オプションについては、「2.2.4 ローカルプリンターへ印刷する場合」の「●●● オプションについて」(P.44)を参照してください。

❾ [通常使うプリンタの設定]から、本機を通常使用するプリンターとして設定する場合は[DocuPrint C2220]、または[DocuPrint C2221]を、通常使用するプリンターを変更しない場合は[変更しない]を選択します。

補足

必要に応じて、[追加/更新されたプリンタ]に表示された[DocuPrint C2220]、または[DocuPrint C2221]を選択し、[共有の設定]、[プリンタ名の変更]、[プロパティ]、[印刷指示の設定]の設定をします。

❿ [テスト印刷]をクリックし、本機から印刷できるか確認します。

⓫ [完了]をクリックし、表示された[ドライバーインストールツール]ダイアログボックスで[はい]をクリックし、インストールを終了します。

2.2.3 サーバーを経由して印刷する場合

サーバーを経由して印刷する場合の、プリンタードライバーのインストール手順について説明します。

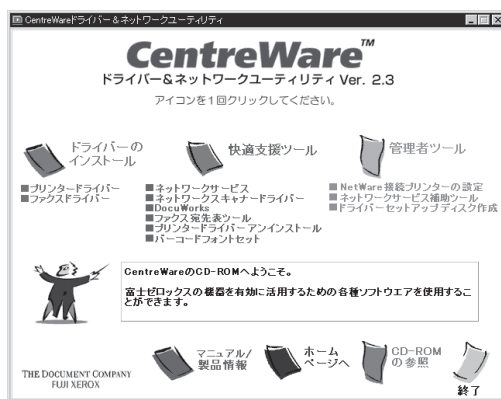
補足

ドライバーインストールの最新の操作手順については、CentreWareのCD-ROMに入っている電子マニュアルをご覧ください。

操作手順

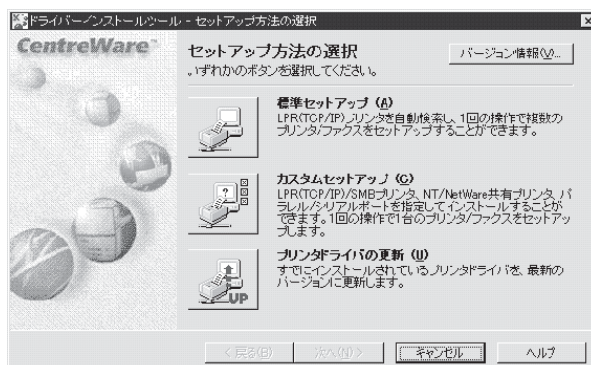
❶ 同梱されているCD-ROMを、お使いのコンピューターのCD-ROMドライブにセットします。

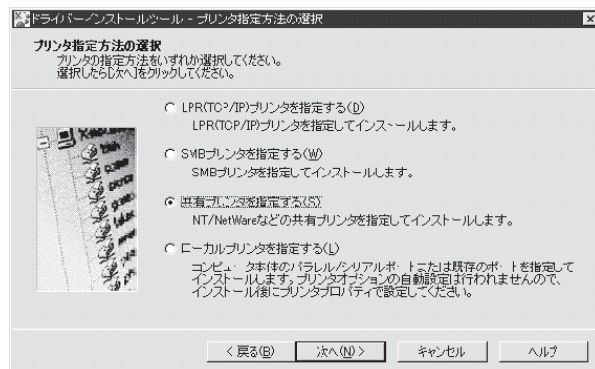
インストールメニューが起動します。

補足

Windows® の設定によっては、インストールメニューが自動的に起動しません。その場合は、CD-ROM内の「Launch.exe」を実行してください。

❷ [ドライバーのインストール]をクリックします。

[セットアップ方法の選択]画面が表示されます。

❸ [カスタムセットアップ]をクリックします。

[プリンタ指定方法の選択]画面が表示されます。

❹ **[共有プリンタを指定する]を選択して、[次へ]をクリックします。**

[共有プリンタの指定]画面が表示されます。

❺ **[共有名]に本機のパスを入力するか、[参照]をクリックして、共有されている本機を指定し、[次へ]をクリックします。**

＜[プリンタの指定]画面が表示された場合＞

本機を認識できなかった場合、[プリンタの指定]画面が表示されます。そのときは、IPアドレス、ホスト名、IPXアドレス、または機種名を指定してください。

❻ 表示された内容を確認し、[はい]をクリックします。

[アプリケーションの選択]ダイアログボックスが表示されます。

❼ 表示されたツールの中から、プリンタードライバーと一緒にインストールしたいアプリケーションを選択し、[次へ]をクリックします。

[使用許諾条件への同意]ダイアログボックスが表示されます。

❽ 内容を確認して[同意する]を選択し、[インストール]をクリックします。

セットアップが始まり、本機のグラフィックとインストールしているプリンタードライバー名が表示されます。

セットアップが完了すると、[セットアップ完了]画面が表示されます。

補足

「デバイスオプションの取得ができませんでした」とメッセージが表示された場合は、インストール終了後に、[スタート]メニューの[設定]から、[プリンタ]をクリックし、インストールしたプリンターのプロパティを開いて、[プリンタ構成]タブでオプションを必ず設定してください。オプションについては、「2.2.4　ローカルプリンターへ印刷する場合」の「●●● オプションについて」(P.44)を参照してください。

❾ [通常使うプリンタの設定]から、本機を通常使用するプリンターとして設定する場合は[DocuPrint C2220]、または[DocuPrint C2221] を、通常使用するプリンターを変更しない場合は[変更しない]を選択します。

補足

必要に応じて、[追加/更新されたプリンタ]に表示された[DocuPrint　C2220]、または[DocuPrint C2221]を選択し、[共有の設定]、[プリンタ名の変更]、[プロパティ]、[印刷指示の設定]の設定をします。

❿ [テスト印刷]をクリックし、本機から印刷できるか確認します。

⓫ [完了]をクリックし、表示された[ドライバーインストールツール]ダイアログボックスで[はい]をクリックし、インストールを終了します。

2.2.4 ローカルプリンターへ印刷する場合

ローカルプリンターへ印刷するための、プリンタードライバーをインストールする手順について説明します。

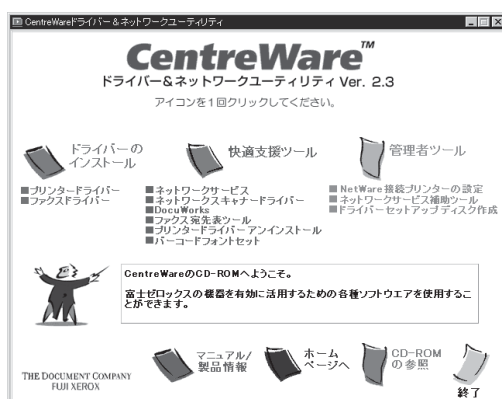
補足

ドライバーインストールの最新の操作手順については、CentreWareのCD-ROMに入っている電子マニュアルをご覧ください。

操作手順

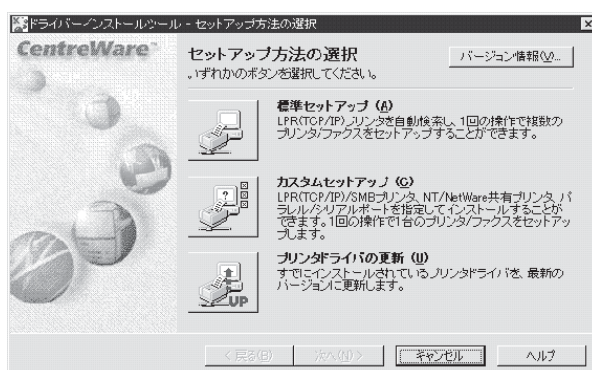
❶ **同梱されているCD-ROMを、お使いのコンピューターのCD-ROMドライブにセットします。**

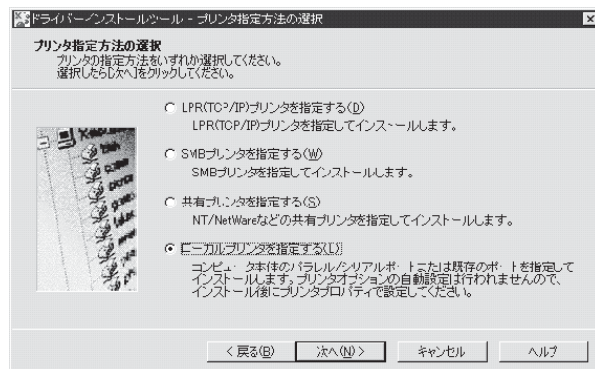
インストールメニューが起動します。

補足

Windows® の設定によっては、インストールメニューが自動的に起動しません。その場合は、CD-ROM内の「Launch.exe」を実行してください。

❷ **[ドライバーのインストール]をクリックします。**

[セットアップ方法の選択]画面が表示されます。

❸ **[カスタムセットアップ]をクリックします。**

[プリンタ指定方法の選択]画面が表示されます。

❹ **[ローカルプリンタを指定する]を選択して、[次へ]をクリックします。**

[ローカルプリンタの指定]画面が表示されます。

❺ **使用する[ポート]と、[機種]を指定し、[次へ]をクリックします。**

[アプリケーションの選択]ダイアログボックスが表示されます。

❻ **表示されたツールの中から、プリンタードライバーと一緒にインストールしたいアプリケーションを選択し、[次へ]をクリックします。**

[使用許諾条件への同意]ダイアログボックスが表示されます。

❼ 内容を確認して[同意する]を選択し、[インストール]をクリックします。

セットアップが始まり、本機のグラフィックとインストールしているプリンタードライバー名が表示されます。

セットアップが完了すると、[セットアップ完了]画面が表示されます。

補足

「デバイスオプションの取得ができませんでした」とメッセージが表示された場合は、インストール終了後に、[スタート]メニューの[設定]から、[プリンタ]をクリックし、インストールしたプリンターのプロパティを開いて、[プリンタ構成]タブでオプションを必ず設定してください。オプションについては、「2.2.4 ローカルプリンターへ印刷する場合」の「●●● オプションについて」(P.44)を参照してください。

❽ [通常使うプリンタの設定]から、本機を通常使用するプリンターとして設定する場合は[DocuPrint C2220]、または[DocuPrint C2221]を、通常使用するプリンターを変更しない場合は[変更しない]を選択します。

補足

必要に応じて、[追加/更新されたプリンタ]に表示された[DocuPrint C2220]、または[DocuPrint C2221]を選択し、[共有の設定]、[プリンタ名の変更]、[プロパティ]、[印刷指示の設定]の設定をします。

❾ [追加/更新されたプリンタ]に表示された[DocuPrint C2220]、または[DocuPrint C2221]を選択し、[プロパティ]をクリックします。

プリンターのプロパティ画面が表示されます。

❿ [プリンタ構成]タブをクリックして、[設定の変更]で、本機に装着されているオプションのチェックボックスをオンにします。

オプションについて

オフセット排出トレイ

オフセット排出トレイを装着している場合、チェックボックスをオンにします。

内蔵ハードディスク

内蔵増設ハードディスク装置を装着している場合、チェックボックスをオンにします。

両面ユニット

両面印刷機能付きの場合、チェックボックスをオンにします。

メモリー容量160MB以上

本機のメモリー総容量が160MByte以上ある場合、チェックボックスをオンにします。

給紙トレイキャビネット

装着されている給紙トレイキャビネットに合わせて、[1トレイユニット]、[3トレイユニット]、[3トレイユニット(大容量)]から、該当するチェックボックスをオンにします。

補足

装着しているオプションについては、「機能設定リスト」を印刷して確認してください。機能設定リストの印刷方法については、「6.3　レポート/リストを印刷する」(P.149)を参照してください。

⑪ [テスト印刷]をクリックし、本機から印刷できるか確認します。

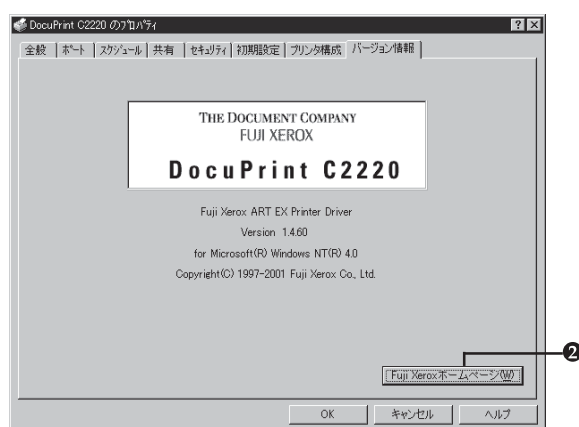
⑫ [完了]をクリックし、表示された[ドライバーインストールツール]ダイアログボックスで[はい]をクリックし、インストールを終了します。

2.3 最新プリンタードライバーの入手方法

最新プリンタードライバーの入手方法について説明します。

操作手順

❶ **プリンターのプロパティ画面の[バージョン情報]タブをクリックします。**

❷ **[Fuji Xeroxホームページ]をクリックします。**

ブラウザーが起動して、ホームページが表示されます。

❸ **指示に従って、該当するプリンタードライバーをダウンロードします。**

補足

- 同梱のCD-ROMを使って弊社のホームページを参照し、最新プリンタードライバーのダウンロードができます。インストールメニューの[ホームページへ]をクリックすると、ブラウザーが起動してホームページが表示されます。指示に従って、プリンタードライバーをダウンロードしてください。
- 富士ゼロックスのホームページアドレス(URL)は、次のとおりです。

  http://download.fujixerox.co.jp/

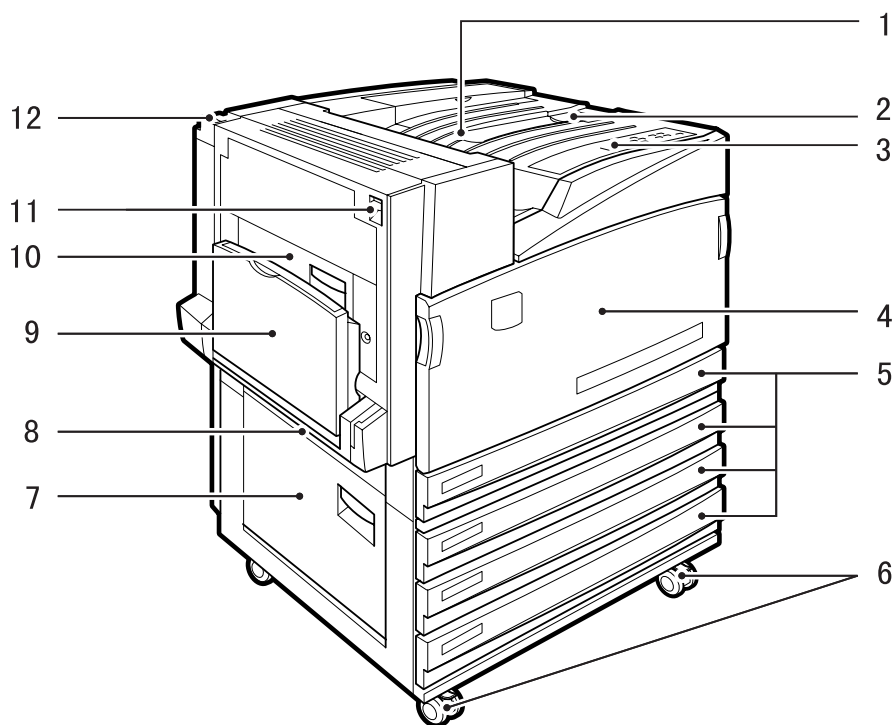
- 通信費用はお客様の負担となりますのでご了承ください。
- 最新のプリンタードライバーの機能については、プリンタードライバーのオンラインヘルプをご覧ください。
- CentreWareネットワークサービスのドライバーインストールツールを使用すると、弊社ホームページからダウンロードできるプリンタードライバーがお使いのプリンタードライバーより新しい場合、新しいプリンタードライバーを自動でダウンロードできます。更新方法の詳細については、CentreWareのCD-ROMに入っている電子マニュアルをごらんください。

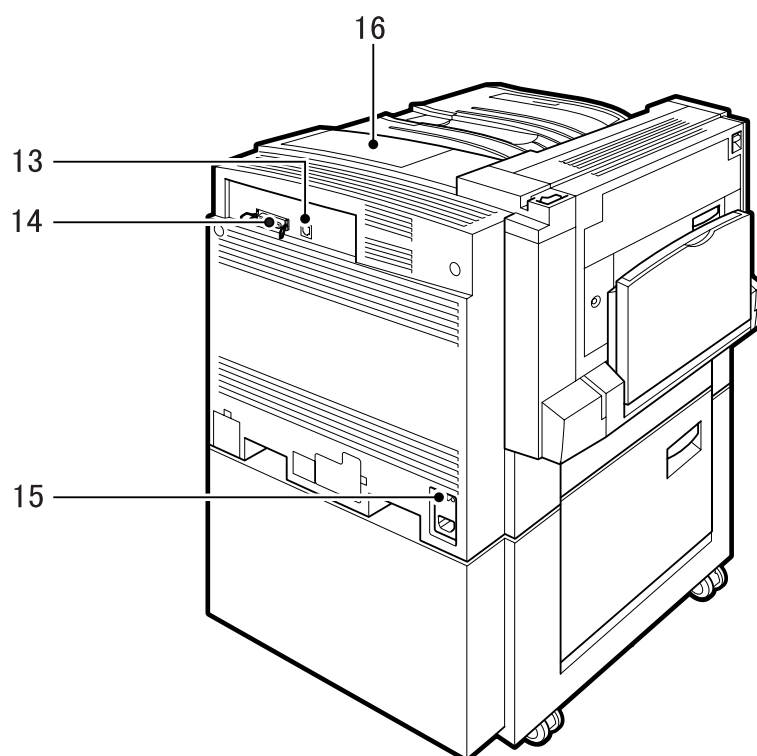
3章 印刷操作の前に

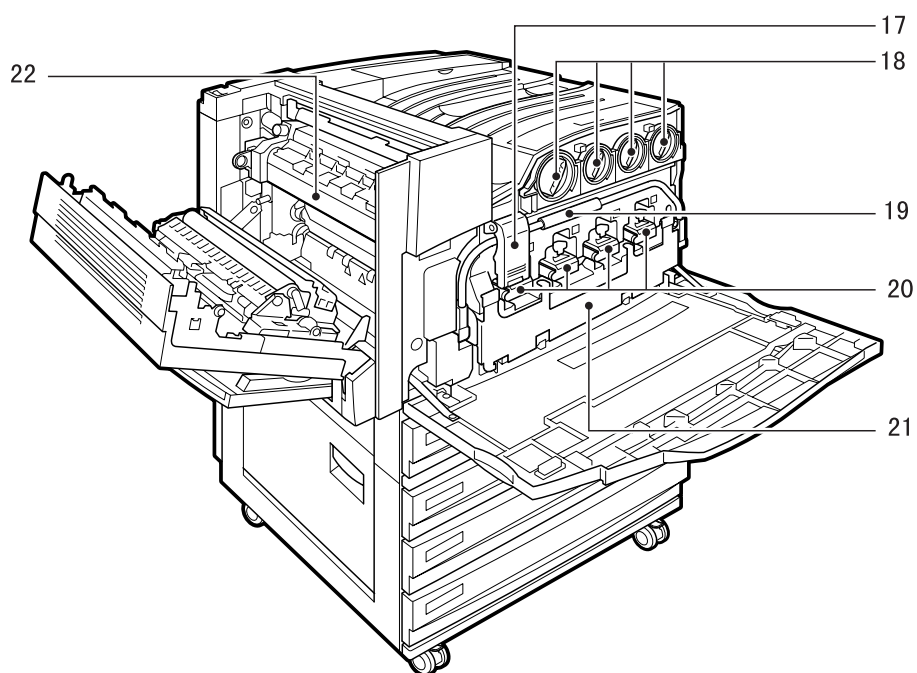
3.1 各部の名称と働き

3.1.1 本体

本体 ＋ 3トレイキャビネットモデル

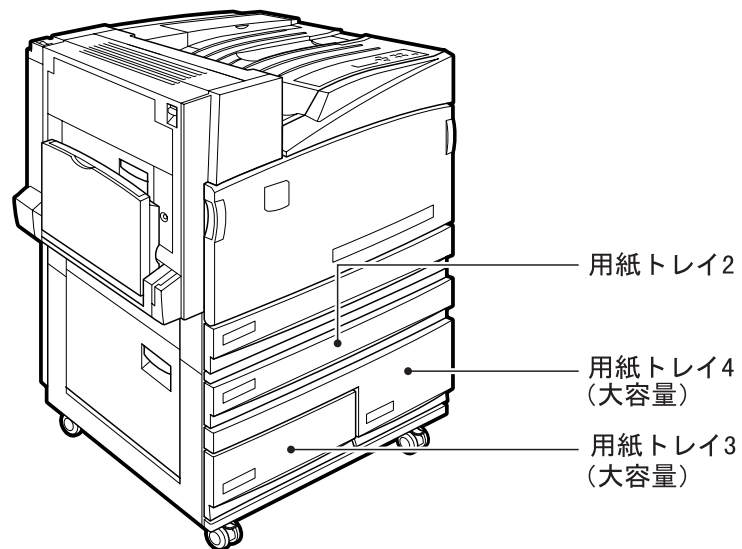
前面

番号	名　　称	働　　き
1	排出トレイ	印刷されたものが印刷面を下にして、ここに排出されます。
2	用紙止め	印刷するときに立てて使用します。
3	操作パネル	ボタン操作部、および機械の部位の番号が記された表示部があります。
4	フロントカバー	消耗品を交換するときに開けます。
5	用紙トレイ1、2、3、4	ここに用紙をセットします。トレイの段数は、モデルによって異なります。
6	キャスター	移動時に使用します。設置後は、ロックしてください。
7	R1カバー	2段以上のトレイがある場合で、紙づまりを処置するときに開けます。
8	R2カバー	紙づまりを処置するときに開けます。
9	用紙トレイ5(手差し)	用紙トレイ1、2、3、4にセットできない用紙(OHPフィルムや、厚紙などの特殊用紙)を印刷するときに使用します。
10	R3カバー	両面機の場合、紙づまりを処置するときに開けます。

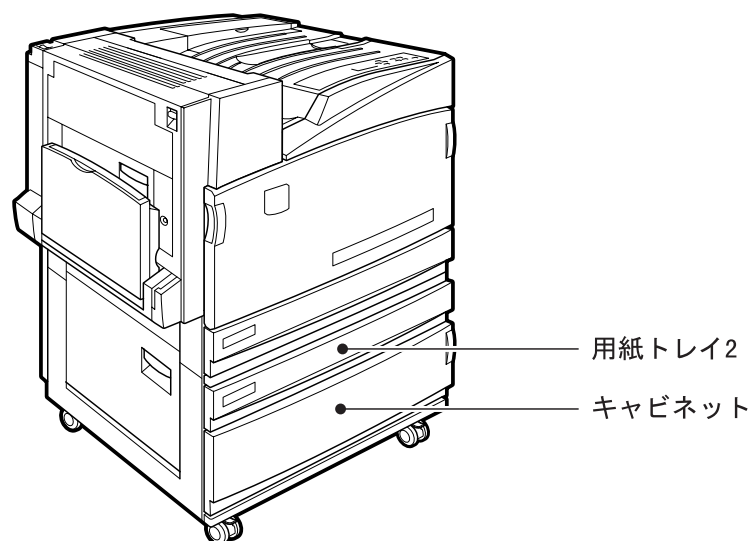
背面

番号	名　称	働　き
11	R4カバー	紙づまりや、消耗品の交換時に開けます。
12	電源スイッチ	機械の電源を入/切するスイッチです。
13	10Base-T/100Base-TX コネクター	10Base-T/100Base-TX Ethernetインターフェイスケーブルを接続します。
14	パラレルインターフェイスコネクター	セントロニクス準拠インターフェイスケーブルを接続し、ホスト装置と接続します。
15	ブレーカースイッチ	漏電を検知すると、自動的に電源を遮断するスイッチです。
16	プリンターオプション用カバー	オプションの内蔵増設ハードディスク装置や128MB増設メモリーを装着するときに、開けます。

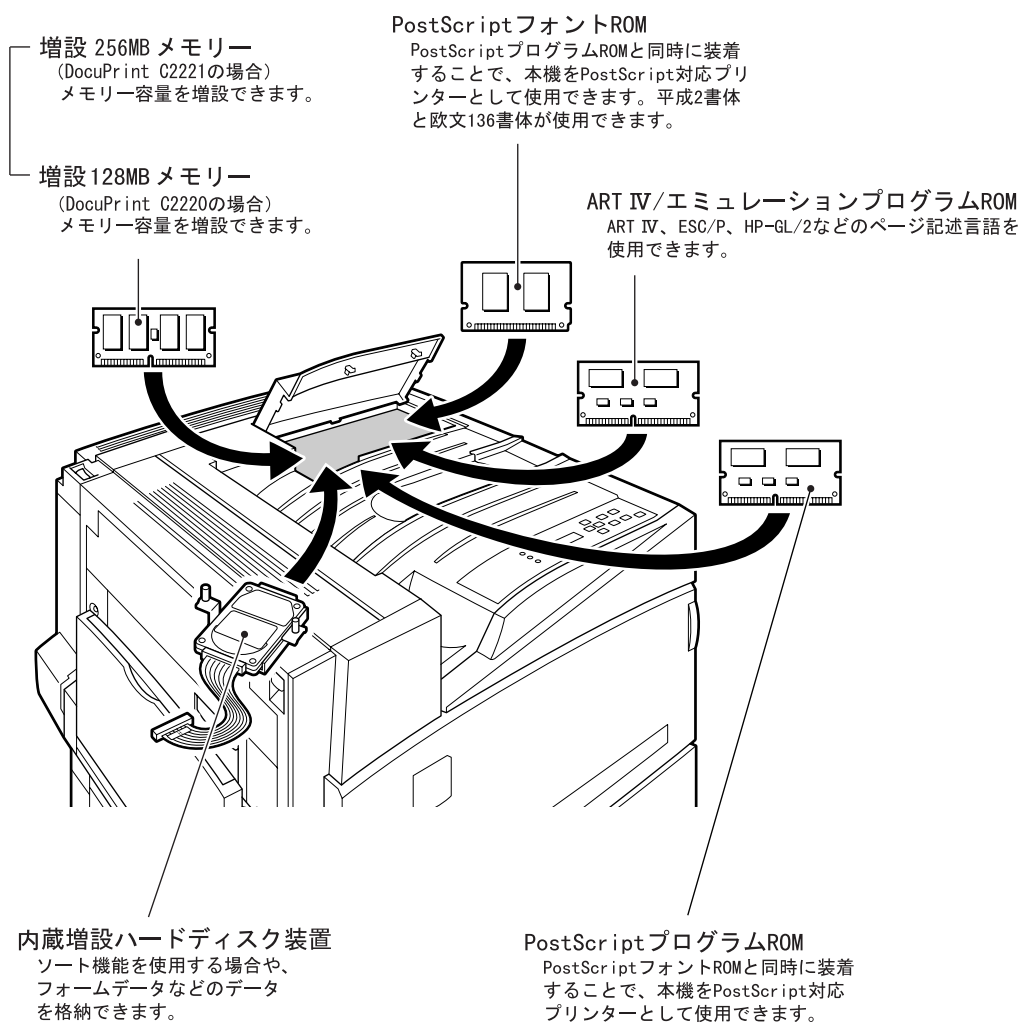
内部

番号	名　称	働　き
17	ストッパー	ハンドルを固定します。
18	トナーカートリッジ	ブラック(K)、シアン(C)、マゼンタ(M)、イエロー(Y)の4色のトナー(画像形成剤)が入っています。
19	ハンドル	ドラムカートリッジを交換するときに、ストッパーを解除しておろします。
20	ドラムカートリッジ(A1、A2、A3、A4)	感光体がセットされています。 プリンターに向かって左から、A1、A2、A3、A4です。
21	トナー回収ボトルカバー	使用済みのトナーを回収するトナー回収ボトル(B)が奥に入っています。トナー回収ボトルを交換するときに開けます。
22	フューザーカートリッジ(E)	トナーを用紙に定着させる部分です。高温なので触れないように注意してください。

⚠注意　「高温注意」を促すラベルで指示されている箇所には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。

本体＋大容量給紙キャビネットモデル

前面

本体＋1トレイキャビネットモデル

前面

プリンターオプション製品

補足

- PostScript®ソフトウェアキットとARTⅣ/エミュレーションキットは、同時に装着できません。
- 内蔵増設ハードディスク装置、PostScript®ソフトウェアキット、またはARTⅣ/エミュレーションキットを装着する場合は、DocuPrint C2220の場合は増設128MBメモリー、DocuPrint C2221の場合は増設256MBメモリーが必要です。

3.1.2 操作パネル

操作パネルについて説明します。

参照

ディスプレイの表示については、「3.1.3　ディスプレイの表示について」(P.54)を参照してください。

番号	名　称	働　き
1	表示部	エラーが発生した場合に、メッセージに表示されるカバーや用紙トレイの位置をここで確認します。
2	処理中ランプ	ランプで印刷の処理状況を表します。
3	オンラインランプ	点灯中は、クライアントからのデータ受信が可能な状態です。
4	ディスプレイ	設定項目、プリンターの状態、メッセージなどを表示します。
5	上下左右ボタン	メニュー、項目、候補値間を移行します。本書中では、◀ ▶ ▼ ▲で表します。
6	モードボタン	モードメニュー操作に移行します。本書中では、モードで表します。
7	ポーズボタン	ポーズ状態に移行します。ポーズ中は、データの受信、印刷処理を行いません。再度押すと、ポーズ状態が解除されます。本書中では、ポーズで表します。
8	エラーランプ	ランプでプリンターの異常を表します。
9	メニューボタン	共通メニューに移行します。本書中では、メニューで表します。
10	排出/セットボタン	メニューの候補値の設定を行います。レポート/リストを印刷するときにも使用します。本書中では排出/セットで表します。
11	節電ボタン	節電中に緑色に点灯します。押すと節電状態を解除します。本書中では節電で表します。

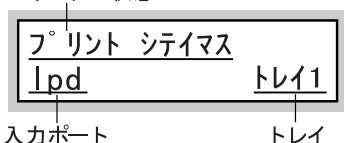
3.1.3 ディスプレイの表示について

プリンターの状態や設定状態を表すメッセージが、ディスプレイに表示されます。

補足

オプションの装着の有無、設定の状態、機種の違いによって表示されないメッセージがあります。

プリント画面

印刷しているときやデータを待っている状態では、ディスプレイはプリント画面になっています。プリント画面は、プリンターの状態や、実行中のデータの処理状態を表します。
lpdポートからの印刷データを受け、用紙トレイ1の用紙に印刷しているときには、ディスプレイには次のようなメッセージが表示されます。

プリンター状態

プリンターの状態を表します。【オマチクダサイ】/【プリントシテイマス】/【プリントデキマス】/【チュウシシテイマス】/【ハイシュツシテイマス】/【データマチデス】/【チクセキシテイマス】といったメッセージが、状況に応じて表示されます。

参照

メッセージについては、「7.4　ディスプレイに表示される主なメッセージ一覧」(P.204)を参照してください。

入力ポート

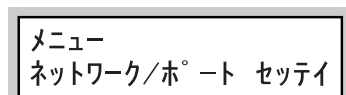
データ受信の入力ポートを表します。【パラレル】/【IPP】/【SMB】 /【EtherTalk】/【lpd】/【NetWare】といったメッセージが、状況に応じて表示されます。

トレイ

印刷する用紙トレイを表します。

共通メニュー画面

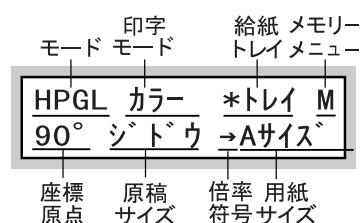
すべてのプリントモードに共通の項目を設定する画面です。共通メニュー画面を表示するには、メニューを押してください。
ネットワーク/ポート設定の画面を表示すると、次のように表示されます。

```
メニュー
ネットワーク/ホ゜ート　セッテイ
```

参照

共通メニュー画面については、「第8章　共通メニューの設定」(P.223)を参照してください。

モードメニュー画面

オプションのARTIV/エミュレーションキット装着時に、エミュレーションごとに、その処理に固有の設定をする画面です。
モードメニュー画面を表示するには、モードを押してください。
例えば、HP-GL/2エミュレーションのモードメニュー画面を表示すると、次のように表示されます。

参照

- モードメニューは、オプションのARTIV/エミュレーションキット装着時に設定できます。
- モードメニュー画面については、『ARTIV/エミュレーションキット取扱説明書』を参照してください。

3.2 電源を入れる/切る

プリンターを使用するときは、電源を入れます。電源スイッチを入れてから約45秒以内に印刷できる状態になります。
なお、1日の印刷作業の終わりや長期間プリンターを使用しないときには、電源を切ってください。

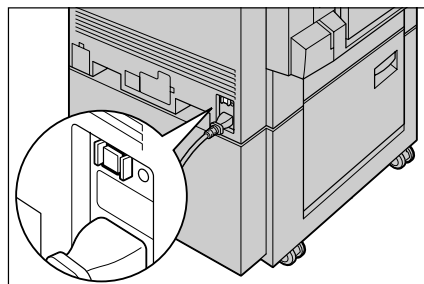
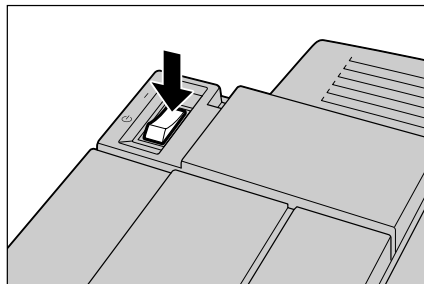
注記

電源を切ると、プリンター内に残っている印刷データやプリンターのメモリー上に蓄えられた情報は消去されます。

3.2.1 電源を入れる

次の手順に従って、電源を入れます。

操作手順

❶ ブレーカースイッチがリセット状態（ボタンが押し込まれている）になっていることを確認します。

❷ 上面左奥の電源スイッチ［｜］の側を押して電源を入れます。

❸ **電源を入れると、操作パネルのディスプレイに【オマチクダサイ】と表示されます。この表示が【プリントデキマス】になることを確認します。**

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ

補足

【オマチクダサイ】の表示になっているときは、プリンターのウオームアップ中です。この間は、印刷できません。約45秒後に印刷できる状態になり、表示が【プリントデキマス】に変わります。

注記

エラーメッセージが表示された場合には、「7.4 ディスプレイに表示される主なメッセージ一覧」(P.204)を参照して対処をしてください。

3.2.2 電源を切る

次の手順に従って、電源を切ります。

注記

電源を切ると、プリンター内に残っている印刷データやプリンターのメモリー上に蓄えられた情報は消去されます。

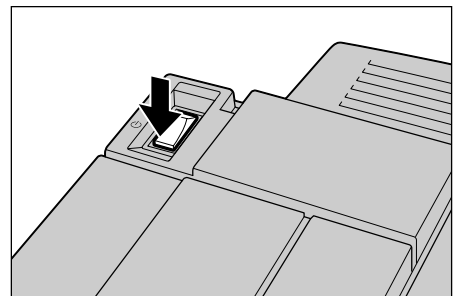
操作手順

❶ **操作パネルのディスプレイ表示などで、印刷ジョブの処理中でないことを確認します。**

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ

❷ **上面左奥にある電源スイッチの[⏻]の側を押し、電源を切ります。**

注記

エラーメッセージが表示された場合には、「7.4 ディスプレイに表示される主なメッセージ一覧」(P.204)を参照して対処をしてください。

3.2.3 ブレーカーについて

本機には漏電ブレーカーが付いています。機械に漏電が起こったときに、電気回路を自動的に遮断して漏電や火災などの事故を防ぐためのものです。
通常は入っている状態(「|」の状態)にしておきます。１ヶ月に１度は漏電ブレーカーが正常に働くかを確認してください。また、アースを必ず接続してください。アースが接続されていないと、漏電ブレーカーが働かなくなり感電の原因となる恐れがあります。
漏電ブレーカーの確認手順は、以下の通りです。異常などがある場合は弊社のテレフォンセンターまたは販売店までご連絡ください。

操作手順

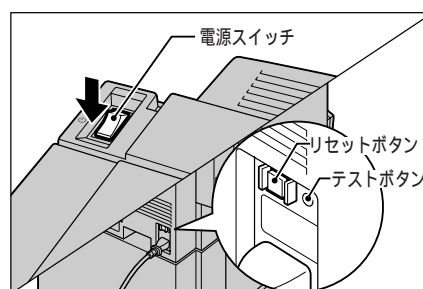
❶ **上面左奥にある電源スイッチの[⏻]の側を押し、電源を切ります。**

❷ **ブレーカーのリセットボタンを押し込みます。このとき、リセットボタンから手を離しても、リセットボタンは押し込まれたままの状態となります。**

❸ **ボールペンなどの先のとがったもので、テストボタンを軽く押します。押し込まれていたリセットボタンが解除され、突き出ます。**

これで確認は終了です。

❹ **再度、リセットボタンを押して、リセットボタンが押し込まれた状態に戻します。**

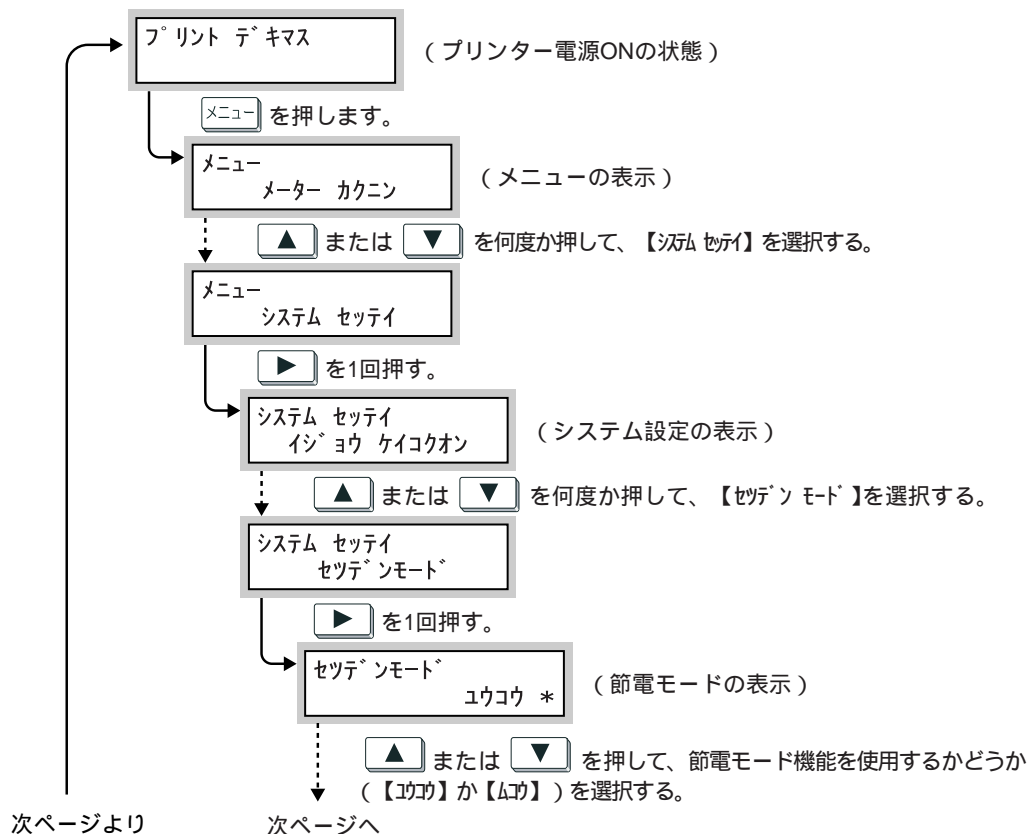
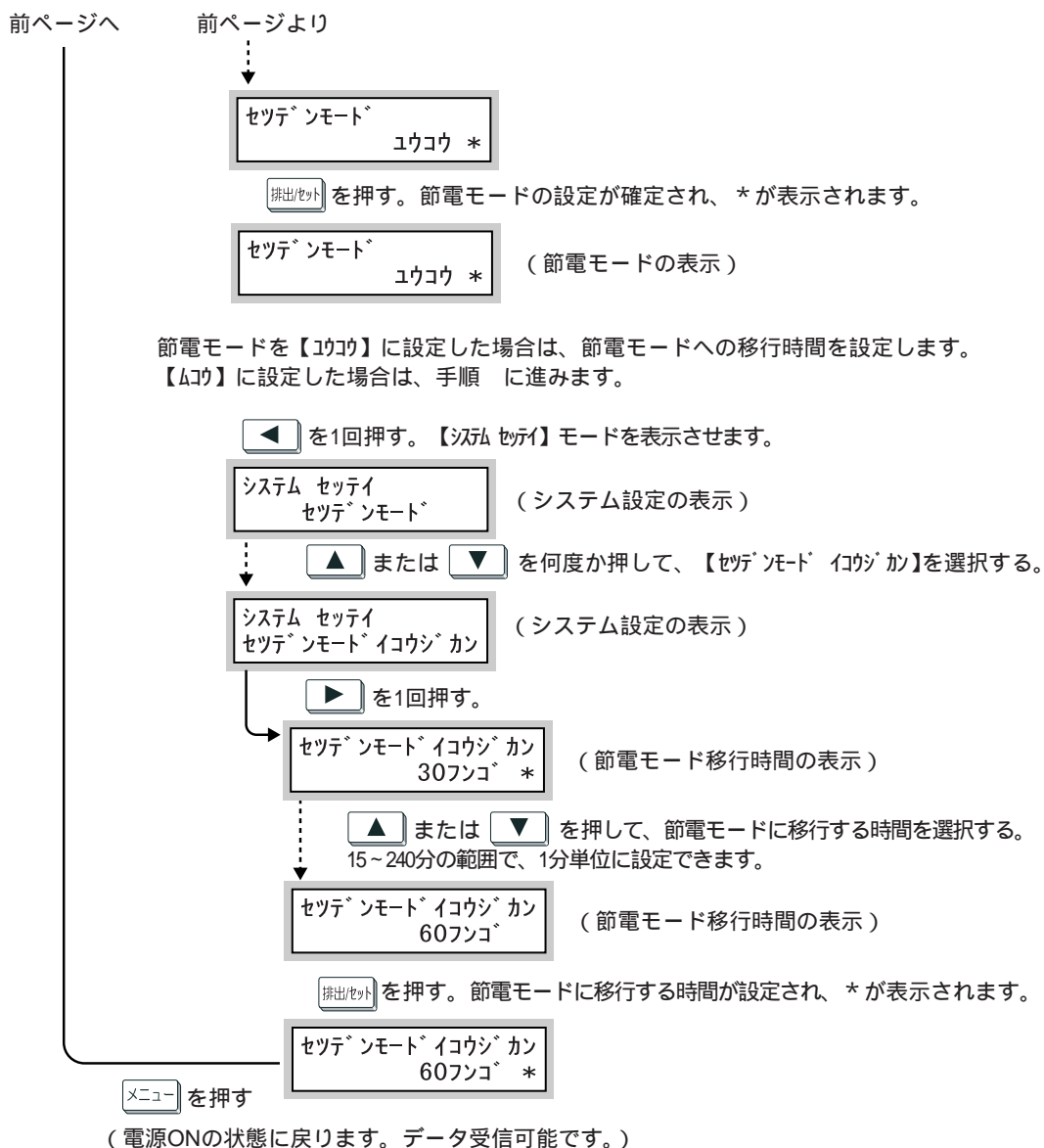
3.3 節電機能を利用する

待機しているときの電力の消費を抑えるために、一定時間印刷データを受信しないと、プリンターは自動的に低電力モード(スリープモード)になります。
本機を使用せずに一定時間が経過すると、定着部を休止状態にしてスリープモードに入ります。スリープモードに入るまでの時間は、15〜240分の間で設定できます。スリープモード時の消費電力は、5W以下で、スリープモードから印刷できる状態になるまでの時間は、約45秒です。スリープモード中に印刷データを送信すると、スリープモードが自動的に解除され、印刷処理を開始します。

補足
本機の操作パネルでは、スリープモードを「節電モード」と表示します。

3.3.1 節電機能を設定する

節電機能の設定や、スリープモードに入るまでの時間の変更は、操作パネルで設定するか、CentreWare Internet Servicesで設定します。
ここでは、プリンターの操作パネルで設定する手順を説明します。

参照
CentreWare Internet Servicesを使用する場合は、「5.1 クライアントからプリンターを設定する(CentreWare Internet Services)」(P.110)を参照してください。

印刷操作の前に 3

3.3.2 節電状態を解除する

節電状態は、クライアントからのデータを受信すると、自動的に解除されます。
また、操作パネルの 節電 を押すことによって、手動で節電状態を解除できます。

印刷する

4.1 印刷の流れ(Windows®)

Windows®環境から印刷する場合の基本的な流れを説明します。
(ご使用になるクライアントやシステム構成によって、異なる場合があります。)

クライアント側で使用するアプリケーションソフトウェアを起動する

操作については、アプリケーションソフトウェアの説明書をごらんください。

必要に応じて **メニュー操作をする**

クライアントから印刷するデータを送信する前に、次のことを確認してください。
① 共通メニューのネットワークポート設定で使用するポート状態を確認する
② 共通メニューのネットワークポート設定メニューのプリントモード指定で使用するポートのプリントモードを確認する

参照
操作については、「8.2　共通メニューの設定を変更する」(P.228)を参照してください。

アプリケーションなどから印刷を指示する

操作については、アプリケーションソフトウェアの説明書をごらんください。

必要に応じて **印刷を中止する**

参照
操作については、「4.3　印刷を中止する/印刷を指示したジョブの状態を確認する」(P.77)を参照してください。

必要に応じて **排出する**

参照
操作については、「7.6　印刷データを強制的に排出させる」(P.221)を参照してください。

終　了

4.2 主な印刷機能一覧

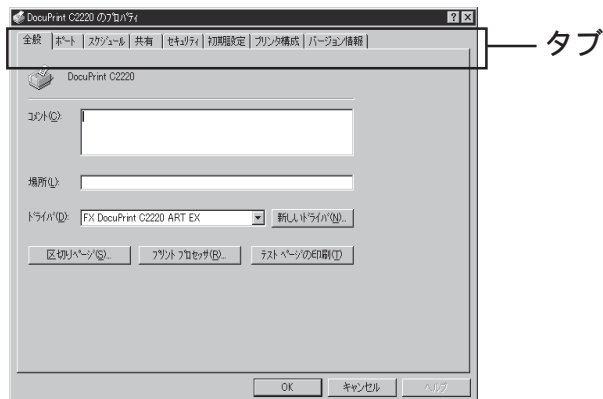
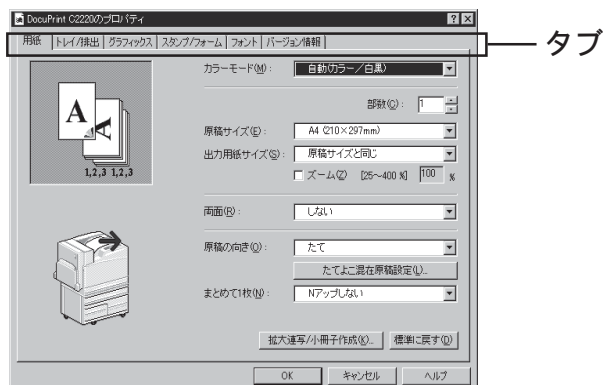
4.2.1 印刷機能の設定について

ほとんどの印刷機能は、アプリケーションから印刷するときに表示するプロパティや、お使いのコンピューターにインストールしたプリンターのアイコンのプロパティ画面で設定を行います。
開いたプロパティ画面で、各タブを切り替えて、機能を設定します。
設定方法などについては、ART EXプリンタードライバーのオンラインヘルプを参照してください。

参照

- オンラインヘルプの使い方については、「4.2.2　オンラインヘルプの使い方」(P.64)を参照してください。
- ［プリンタの構成］タブで、装着しているオプションの設定を行わないと使用できない機能があります。使用できない機能は、グレー表示され設定できません。

プロパティ画面

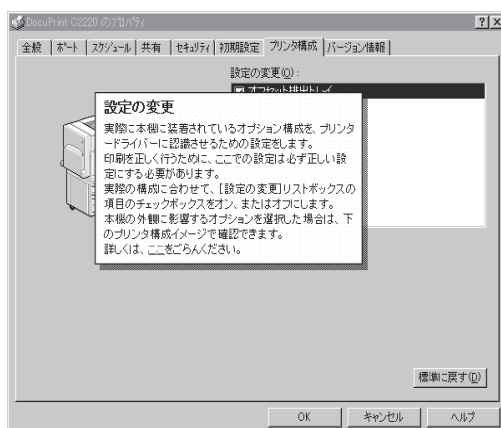
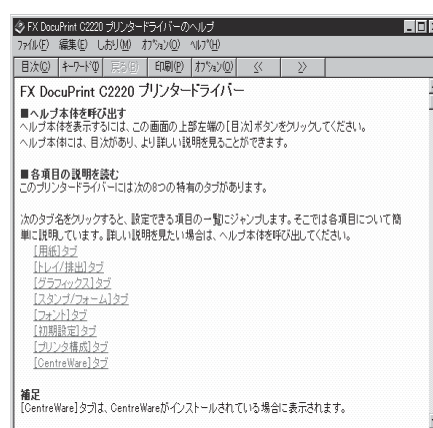
［スタート］メニューの［設定］から、［プリンタ］をクリックし、使用するプリンターのプロパティを表示した場合（Windows® NTの場合）

アプリケーションからの印刷設定でプリンターのプロパティ画面を表示した場合（Windows® NTの場合）

4.2.2 オンラインヘルプの使い方

オンラインヘルプを使って、プリンタードライバー画面に表示されている項目の説明や、各機能の設定方法を確認できます。
オンラインヘルプの表示方法は、次のとおりです。ここでは、Windows® NTを例に説明します。

操作手順

❶ **[スタート]メニューの[設定]から、[プリンタ]をクリックし、使用するプリンターのプロパティを表示します。**

❷ **使用する機能によって、各タブを選択し、[?]をクリックして知りたい機能の項目をクリックするか、右下の[ヘルプ]をクリックします。**

❸ **ヘルプが表示されます。**

[?] を使用した場合

[ヘルプ] をクリックした場合

4.2.3 主な印刷機能一覧

主な印刷機能について説明します。
各機能を、プリンタードライバーのプロパティ画面のタブごとに紹介します。

補足
- プリンタードライバーで利用可能な印刷機能の詳細については、プリンタードライバーのオンラインヘルプをご覧ください。
- [プリンタ構成]タブで、装着しているオプションの設定を行わないと使用できない機能があります。使用できない機能は、グレー表示され選択できません。

[用紙]タブ

カラーモード

白黒、または自動(カラー/白黒)から選択します。

部数

印刷する部数を、1〜999枚の範囲で、指定できます。

原稿サイズ

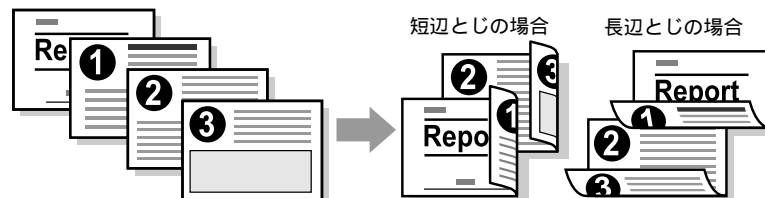
印刷するファイルの原稿サイズを指定します。

出力用紙サイズ

印刷に使用する用紙サイズを指定します。

ズーム

チェックボックスをオフにすると、[用紙]タブの[出力用紙サイズ]で選択した用紙サイズに合わせて、自動的に拡大/縮小して印刷します。
チェックボックスをオンにすると、任意の倍率を指定して印刷できます。倍率は、25〜400%の範囲で、1%刻みに指定できます。

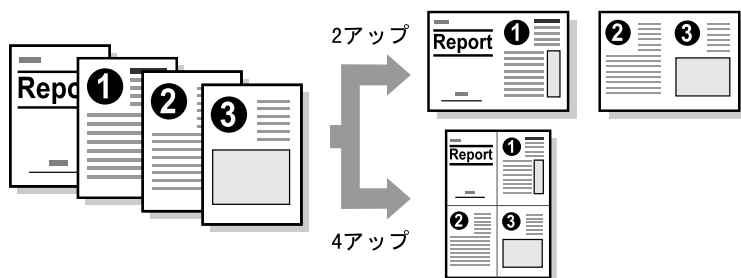
両面印刷

両面に印刷します。
両面印刷には、「長辺とじ」と「短辺とじ」があります。とじる辺に合わせて、どちらかを選択します。「長辺とじ」は用紙の長辺、「短辺とじ」は用紙の短辺を軸におもてとうらのイメージの上方向が一致するように印刷されます。両面印刷機能付きの場合に使用できます。

原稿の向き

印刷する原稿の向きを指定します。[たて]、または[よこ]を選択します。

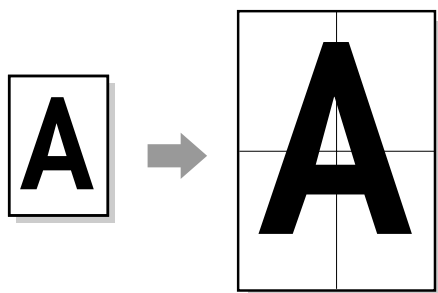
[たてよこ混在原稿設定]ダイアログボックス

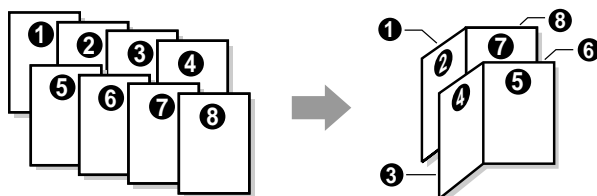
[たてよこ混在原稿設定...]ボタンをクリックすると、[たてよこ混在原稿設定]ダイアログボックスが表示されます。
印刷するファイルにたてとよこのページが混在する場合の設定ができます。

まとめて1枚

連続する2/4/8ページ分の原稿を、1枚の用紙にまとめて印刷します。この機能を「まとめて1枚」といいます。
まとめて1枚にするページ数を、[2アップ]、[4アップ]、[8アップ]から選択します。
また、下に表示される[印字方向]で、用紙に割り付ける順序が指定できます。

[拡大連写/小冊子作成]ダイアログボックス

[拡大連写/小冊子作成...]ボタンをクリックすると、[拡大連写/小冊子作成]ダイアログボックスが表示されます。拡大連写と小冊子作成の設定ができます。

■ 拡大連写

1ページ分のデータを拡大して、複数枚の用紙に分けて印刷できます。ポスター作成などに使用できます。印刷する用紙の枚数を、[2×2]、[3×3]、[4×4]から選択します。

■ 小冊子作成

複数ページの原稿を印刷して重ね合わせ、中央で2つ折りにしたとき、中とじ冊子(小冊子)になるように印刷します。この機能を「小冊子作成」といいます。

[プリント位置]ダイアログボックス

[プリント位置...]ボタンをクリックすると、[プリント位置]ダイアログボックスが表示されます。原稿イメージを、用紙のコーナーや中央に移動する場合の設定ができます。

[プリント可能領域/余白]ダイアログボックス

[プリント可能領域/余白...]ボタンをクリックすると、[プリント可能領域/余白]ダイアログボックスが表示されます。印刷可能領域と余白の設定ができます。用紙の端まで印刷領域を広げたり、各用紙サイズごとに余白が指定できます。

補足

Windows 2000 または、Windows NT 4.0 のGuests 、Replicator 、Users に相当するユーザーの場合、余白を設定することはできません。

[トレイ/排出]タブ

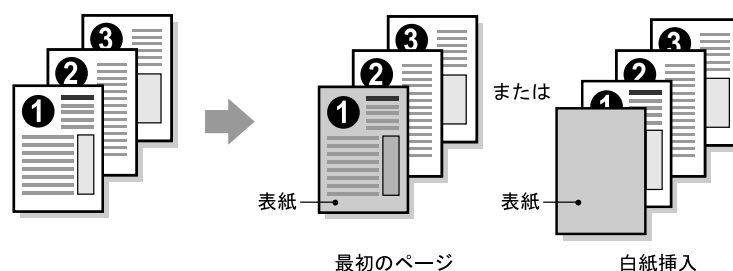
用紙トレイ選択

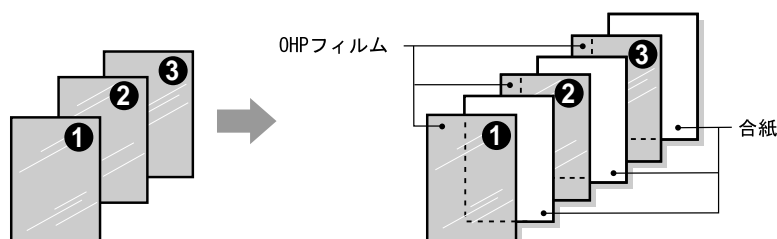
印刷に使用する用紙トレイを指定します。
[自動]、[トレイ1]、[トレイ2]、[トレイ3]または[トレイ3(大容量)]、[トレイ4]または[トレイ4(大容量)]、[トレイ5(手差し)]から選択します。表示される用紙トレイは、装着されている用紙トレイによって異なります。

手差し用紙種類

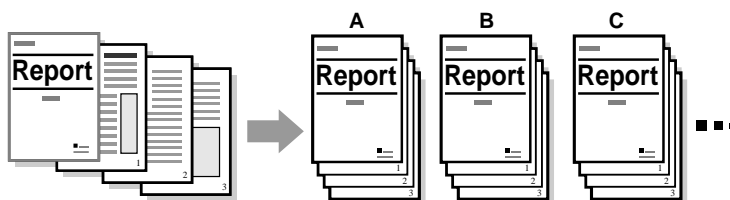
用紙トレイ5(手差し)を使って印刷する場合の用紙の種類を指定します。
[上質紙]、[普通紙]、[再生紙]、[厚紙1(106〜169g/m²)]、[厚紙1(106〜169g/m²)うら面]、[厚紙2(170〜220g/m²)]、[厚紙2(170〜220g/m²)うら面]、[OHPフィルム]、[うす紙(55〜63g/m²)]、[ラベル紙]、[ユーザー定義用紙1〜5]から選択します。

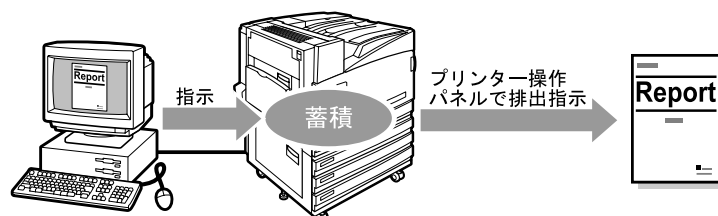
[表紙付け]ダイアログボックス

[表紙付け...]ボタンをクリックすると、[表紙付け]ダイアログボックスが表示されます。原稿の最初のページ、または原稿の前に白紙を挿入し、それを表紙として、本文とは別の用紙に印刷することができます。

[OHP合紙]ダイアログボックス

[OHP合紙...]ボタンをクリックすると、[OHP合紙]ダイアログボックスが表示されます。OHPフィルムに1枚印刷するごとに、合紙を自動的に挿入する設定ができます。
OHPフィルムは、用紙トレイ5(手差し)にセットし、合紙用の用紙は、用紙トレイ1にセットします。OHPフィルムのセット方向と、合紙のセット方向は同じにしてください。また、このとき[初期設定]タブの[プリント機能]で[手差し用紙の給紙方向]の設定とOHPフィルムのセット方向が合っていないと印刷できません。

オフセット排出

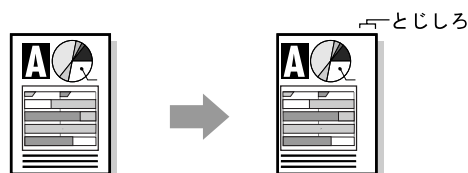
ジョブ(印刷指示)/部(セット)単位に位置をずらして用紙を排出することを、「オフセット排出」といいます。直前のジョブ/部の排出位置が手前ならば、次は奥にずらして排出します。この機能は、オフセット排出トレイが装着されている場合に使用できます。

ソートする[1部ごと]

チェックボックスをオンにすると、複数ページのファイルを部単位で印刷できます。

[セキュリティプリント]ダイアログボックス

[セキュリティプリント]ボタンをクリックすると、[セキュリティプリント]ダイアログボックスが表示されます。セキュリティープリントとは、印刷を指示したデータを一時的にプリンター内に蓄積させて、印刷したいときに、プリンター側の指示で出力させる機能です。機密文書などを印刷する場合に利用できます。
この機能は、内蔵増設ハードディスク装置が装着されている場合に使用できます。また、あらかじめユーザー名と暗証番号を設定する必要があります。

参照

「4.9　機密文書を印刷する(セキュリティープリント)」(P.95)

[とじしろ]ダイアログボックス

[とじしろ...]ボタンをクリックすると、[とじしろ]ダイアログボックスが表示されます。
用紙に付けるとじしろの設定ができます。とじしろは、用紙の左/右/上/下のどれかに付けることができます。0～50mmの範囲で、1mm刻みに指定できます。

[グラフィックス]タブ

カラーモード

カラーモードを指定します。
[自動(カラー/白黒)]、または[白黒]から選択します。[自動(カラー/白黒)]は、ページごとに色を判断し、白/黒以外の色が使われている場合はカラーで、白/黒だけが使われている場合は白黒で印刷します。

補足

アプリケーション側でICCプロファイルなどを使って色変換した印刷データを、[自動(カラー/白黒)]で印刷した場合、モニター上で白黒に見える原稿でもカラーで印刷されます。また、その場合、メーターはメーター3(カラー印刷)がカウントされます。

参照

「4.10　印刷モードを設定する」(P.100)

自動モードのあいまい判定

カラー白黒判定の基準を、あいまいにするかどうかを設定します。チェックをすると、ある程度の有彩色も白黒と判定し、白黒で印刷します。

印刷モード

印刷する速度を優先するか、画質を優先するかを指定します。
[速度優先]、[標準]、[画質優先]から選択します。
[速度優先]は、[標準]に対して、速度を優先して印刷し、[画質優先]は、画質を優先して印刷します。画質優先で印刷すると、処理時間が長くかかります。

参照

「4.10 印刷モードを設定する」(P.100)

画質調整モード

画質調整モードを指定します。
[おすすめ]、[ICM調整(システム)]、[CMS調整(アプリケーション)]、[色変換しない]から選択します。

参照

「4.10 印刷モードを設定する」(P.100)

おすすめ画質タイプ/インテントリストボックス

印刷する原稿の特長に合わせて、印刷方法を指定します。
[おすすめ画質タイプ]は、[画質調整モード]で[おすすめ]を選択した場合に表示される項目で、リストボックスから画質タイプを選択します。
[インテント]は、[画質調整モード]で[ICM調整(システム)]を選択した場合に表示される項目で、リストボックスから色の変換方式を選択します。

参照

「4.10 印刷モードを設定する」(P.100)

画質自動補正リストボックス

印刷する原稿の特長に合わせて、印刷方法を指定します。ページ内の写真などのイメージデータを、指定した画質タイプの特性に応じて、自動で補正します。
[しない]、[標準]、[人物]、[風景]、[現場写真]から選択します。

参照

「4.10 印刷モードを設定する」(P.100)

[画質調整]タブ

[画質調整...]ボタンをクリックすると、グラフィックスプロパティが開き、[画質調整]タブが表示されます。[画質調整]タブでは、明度/彩度/コントラストを原稿全体、または文字、図/表/グラフ、写真の原稿要素ごとに調整できます。

参照

「4.11 画質を調整して印刷する」(P.103)

[カラーバランス]タブ

[カラーバランス...]ボタンをクリックすると、グラフィックスプロパティが開き、[カラーバランス]タブが表示されます。
[カラーバランス]タブでは、ブラック/シアン/マゼンタ/イエローのトナー濃度を微調整できます。それぞれ低濃度、中濃度、高濃度の設定ができます。

参照
「4.11　画質を調整して印刷する」(P.103)

[プロファイル指定]タブ

[プロファイル指定...]ボタンをクリックすると、グラフィックスプロパティが開き、[プロファイル指定]タブが表示されます。
[プロファイル指定]タブでは、原稿画像を忠実に再現するために、デバイス(モニター、スキャナーなど)の特性に合わせた、色温度/ガンマ指定の設定や、ICCプロファイルの指定ができます。

参照
「4.11　画質を調整して印刷する」(P.103)

[詳細設定]タブ

[詳細設定...]ボタンをクリックすると、グラフィックスプロパティが開き、[詳細設定]タブが表示されます。
[詳細設定]タブでは、文字、図/表/グラフ、写真の原稿要素ごと、および原稿全体に対して、詳細な画質の設定ができます

■文字

テキストオブジェクトに対し、無彩色をブラックトナーだけで印刷する[グレー保証]機能や、白黒で印刷するときに一部のカラー部分が見えづらくなるのを回避する[全ての色を黒に変換]機能を設定できます。

■図/表/グラフ

線など、図形として描画されるオブジェクトに対し、無彩色をブラックトナーだけで印刷する[グレー保証]機能や、白黒で印刷するときに一部のカラー部分が見えづらくなるのを回避する[全ての色を黒に変換]機能、細い線を見やすく太くして印刷する[細い線を太くする]機能などを設定できます。

■写真

写真データなどイメージとして描画されるオブジェクトに対し、拡大/縮小を補正する[スムージング]機能や、[イメージを高速処理する]機能や、イメージデータの圧縮について設定できます。イメージデータの圧縮には、[しない]、[ALLA(標準/グラフ向き)]、[JPEG(写真向き)]があります。ALLAは写真以外の文書に効果があり、JPEGは写真データを含む文書に効果があります。

■Image Enhancement

印刷データにスムージング処理をして、滑らかに見せる機能です。

■トナーセーブ

トナーを節約して、原稿を薄く印刷します。ドラフト原稿を印刷するときなどに便利です。

■薄墨印刷

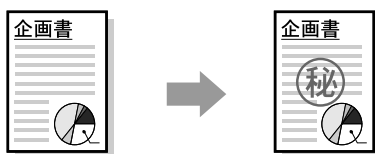
白黒印刷時に、黒で印刷する部分を薄墨色に変換して印刷します。

印刷する
4

■ プリンタドライバの解像度
システムやアプリケーションに通知する解像度を設定します。細い線などが出力されない場合に設定してください。アプリケーション、または文書にも依存しますが、解像度を下げることにより、プリントスピードを早くする効果もあります。

■パターン解像度
［プリンタドライバの解像度］で指定した解像度で、塗りつぶしパターンを印刷します。

［スタンプ/フォーム］タブ

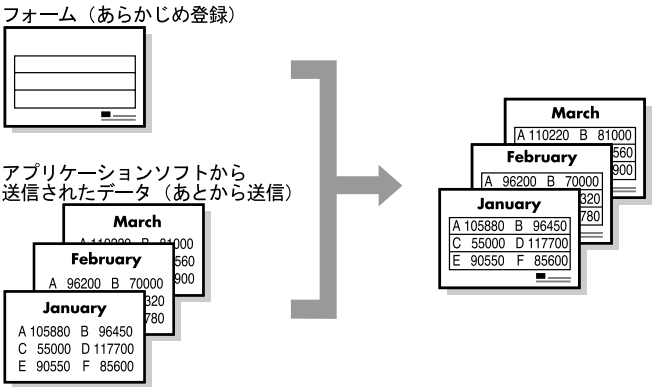
スタンプ

印刷データにスタンプを重ね合わせて印刷する機能を設定できます。標準スタンプとして、［スタンプ/フォーム］タブの［スタンプ］リストボックスに「マル秘」、「回覧」、「参考」、「至急」、「禁複写」、「取扱注意」の6種類が登録されています。［最初のページのみ］チェックボックスをオンにすると、印刷するファイルの最初のページにだけスタンプが印刷されます。オフにすると、すべてのページにスタンプが印刷されます。
新しいスタンプの登録、スタンプの編集、スタンプの削除もできます。

■ スタンプリストボックス
使用するスタンプ機能を選択します。

■ ［新規登録］ボタン
新しい種類のスタンプを登録するときにクリックします。［スタンプ登録］ダイアログボックスが表示されます。登録名、スタンプの文字列、スタンプ位置、フォント、フォントサイズ、色、枠囲み、角度などを設定して登録します。

■ ［編集］ボタン
すでに登録したスタンプを編集するときにクリックします。［スタンプ編集］ダイアログボックスが表示されます。登録名、スタンプの文字列、スタンプ位置、フォント、フォントサイズ、色、枠囲み、角度などを編集します。

■ ［最初のページのみ］
最初のページにだけスタンプを付ける場合にチェックボックスをオンにします。

フォーム

あらかじめ作成しておいたフォームに、原稿を重ね合わせて印刷する「オーバーレイ印字」の設定をします。オーバーレイ印字をする場合は、フォームの作成と登録が必要です。

■フォーム作成/登録

オーバーレイ印字で使用するフォームデータファイルの作成と登録をします。
チェックボックスをオンにし、[ディレクトリ]と[フォーム名]を指定して、通常の印刷指示をすると、アプリケーションソフトで作成した印刷データが、プリンターにフォームとして登録されます。また、同時にクライアントの[ディレクトリ]で指定した場所にバックアップされます。

■ オーバーレイ印字

あらかじめ本機に登録しておいたフォームに、印刷データを重ね合わせて印刷するオーバーレイ印字をします。
チェックボックスをオンにし、プリンターに登録されているフォームを[使用フォーム名]で指定します。

参照

「4.6　登録したフォームに印刷する(オーバーレイ印字)」(P.85)

[ヘッダー/フッター印刷]ダイアログボックス

[ヘッダー/フッター印刷...]ボタンをクリックすると、[ヘッダー/フッター印刷]ダイアログボックスが表示されます。指定した位置に、[印刷項目]で選択した印刷項目を印刷できます。印刷項目は、[ログインユーザー名]、[ジョブオーナー名]、[ドキュメント名]、[ページ番号]、[日付]、[時刻]から選択します。印刷項目の印字位置や、文字のフォントやサイズなども設定できます。

[フォント]タブ

TrueTypeフォント

TrueTypeフォントの印刷方法を設定できます。
[常にプリンタフォントを使う]は、文書内で使用されているTrueTypeフォントにいちばん近いプリンタフォントが自動的に選択され、これに置き換えて印刷します。印刷は速くなりますが、画面表示とプリント結果が一致しないことがあります。

[常にTrueTypeフォントを使う]は、すべてのTrueTypeフォントをプリンターにダウンロードして印刷します。文書内で使用されているTrueTypeフォントを、プリンタフォントに置き換えません。印刷は遅くなることがありますが、画面表示とプリント結果は一致します。

[TrueTypeフォントをプリンタフォントで置き換える]は、フォント置き換えテーブルの設定に従って、TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換えて印刷します。

参照

「4.8 TrueTypeフォントの印刷方法を設定する」(P.92)

アプリケーションから指定がない場合のフォント指定

アプリケーションからのフォントの指定がない場合に、使用するフォントとサイズを指定して印刷できます。[平成明朝]、または[平成ゴシック]を選択します。サイズは5〜24ポイントの範囲で、0.5ポイント刻みに指定できます。

[初期設定]タブ

プリント機能

プリンター本体のオプション構成以外で、プリンタードライバー側の設定を変える必要がある項目の初期設定をします。
項目を選択するとタブ下部に、選択したプリント機能とその選択肢について、簡単な説明が表示されます。設定するときの参考にしてください。
設定できる項目は、次のとおりです。

■ **ジョブオーナーの指定**

ジョブオーナーの指定方法を選択します。ジョブオーナーは、プリントジョブの集計機能を使用するときに使用されます。
[ログイン名を使用する]
ジョブオーナー名として、Windows®のログイン名が使用されます。ジョブオーナー名は、「ログインユーザー名\ホスト名」になります。ログイン名の最大文字数は、24バイト相当(半角で24文字、全角で12文字)です。24バイトを超える場合は、24バイトまでが有効になります。
[オーナー名を入力する(管理者用)]
ジョブオーナー名を任意に指定したい場合に選択します。Windows® 2000とWindows NT® 4.0の場合は、Administratorsグループの権限を持つユーザーだけが指定できます。下に表示される[ジョブオーナー名]に、任意のジョブオーナー名を入力します。ジョブオーナー名の最大文字数は、31バイト相当(半角で31文字、全角で15文字)です。31バイトを超える場合は、31バイトまでが有効になります。
[オーナー名を入力する(ユーザー用)]
ジョブオーナー名を任意に指定したい場合に選択します。Windows® 2000または、Windows NT® 4.0のGuests、Relplicator、Usersに相当するユーザーでも指定できます。入力方法は、[オーナー名を入力する(管理者用)]と同じです。

■セキュリティプリントのユーザーID

セキュリティープリント機能を使用するときのユーザーIDと暗証番号を設定します。プリンターに蓄積されたデータを印刷するとき、ここで設定したユーザーIDが、プリンターの操作パネルに表示されます。
ユーザーIDの最大文字数は、8バイト相当(半角英数字8文字)です。8バイトを超える場合は、8バイトまでが有効になります。[暗証番号]は、4桁までの数字が入力できます。
この項目は、内蔵増設ハードディスク装置が装着されている場合に表示されます。

■手差し用紙の給紙方向

用紙トレイ5(手差し)を使用して印刷する場合の、用紙のセット方向を[よこ置き優先]、または[たて置き優先]から設定します。用紙のサイズによって、向きが限定されている場合(例えば、B4やA3サイズ)は、ここの設定は無効になり、用紙をセットした方向で印刷されます。
この給紙方向の設定と用紙トレイ5(手差し)へのセット方向が異なると印刷できません。
なお、OHP合紙機能を使用する場合は、ここでの設定と、用紙トレイ5(手差し)にセットするOHPフィルムのセット方向、用紙トレイ1にセットする合紙のセット方向をすべて合わせてください。

■用紙の置き換え

[トレイ/排出]タブの[用紙トレイ選択]の[自動]を選択して印刷する場合で、選択されたサイズの用紙がプリンターにないときの動作の設定をします。
選択できる項目は、次のとおりです。
[プリンタの設定を用いる]
プリンター本体の設定を使用します。設定については、プリンター本体の操作パネルで確認してください。
[用紙補給を表示する]
プリンター本体の操作パネルに、用紙補給のメッセージを表示します。用紙が補給されるまで印刷されません。
[近いサイズを選択(縮小/等倍)]
最も近いサイズの用紙を選択して印刷します。必要に応じて、自動的にイメージを縮小することがあります。
[大きいサイズを選択(等倍)]
次に大きな用紙に等倍で印刷します。

■本体標準ROMバージョン(DocuPrint C2220のみ)

DocuPrint C2220をお使いの場合、本設定を行っていないと印刷できないことがあります。その場合、設定してください。ROMのバージョンは、プリンター本体の機能設定リストを出力して確認できます。[1.0.16未満]または[1.0.16以上]から選択します。

■アプリケーションからの機能拡張の使用

「JPEG直接印刷」や「ページごとのカラーモードの指定」など、アプリケーションからの機能拡張の使用を、プリンタードライバーでサポートするかどうかの設定をします。[する]、または[しない]から選択します。

■白紙節約

白紙ページを含む文書を印刷する場合に、白紙ページを印刷するかしないかの設定をします。[する]、または[しない]から選択します。

■メタファイルスプール(Windows NT® 4.0、Windows® 2000のみ)

印刷情報をディスクにスプールする形式を指定します。[する]、または[しない]から選択します。
[しない]に設定すると、RAW形式でスプールします。印刷情報の変換に時間がかかるため、印刷処理から開放される時間が長くなります。
[する]に設定すると、EMF(メタファイル)形式でスプールします。印刷処理から開放される時間が短くなります。[する]を選択して問題が起きる場合は、[しない]を選択してください。

■ヘッダー・フッター印刷の設定制限(Windows NT 4.0 、Windows 2000 のみ)
課金管理や出力物の管理を管理者が行う場合に、一般ユーザーが任意に[ヘッダー・フッター印刷]の設定を変更できないよう制限するための機能です。[する]に設定すると、[ヘッダー/フッター印刷]の設定を、Administrators グループの権限を持つユーザー以外が変更できないように制限します。[しない]に設定すると、権限にかかわらず、ユーザーが[ヘッダー/フッター印刷]の設定をすることができます。

■ページ印刷モード
印刷処理のデータ圧縮方法を設定します。[する]、または[しない]から選択します。印刷指示する文書のファイルサイズが大きい場合や、印刷指示したあと、なかなか印刷されない場合は、[する]を選択して印刷を試してください。イメージや、文字の点数の多い複雑な文書を印刷する際に有効です。
このモードは、本機のメモリー容量が160MB以上の場合に使用できます。

補足
ページ印刷モードは、[印刷モード]が速度優先のときだけ有効です。

[フォント置き換えテーブルの編集]ダイアログボックス

[フォント置き換えテーブルの編集...]ボタンをクリックすると、[フォント置き換えテーブルの編集]ダイアログボックスが表示されます。
TrueTypeフォントの置き換えをフォントごとに設定できます。

参照
「4.8 TrueTypeフォントの印刷方法を設定する」(P.92)

[ユーザー定義用紙]ダイアログボックス

[ユーザー定義用紙...]ボタンをクリックすると、[ユーザー定義用紙]ダイアログボックスが表示されます。
非定形サイズの用紙に印刷するための用紙サイズが登録できます。
用紙サイズは5種類まで登録でき、用紙名を付けることができます。
用紙サイズは、ミリ単位の場合は、短辺100〜305mm、長辺140〜482mmの範囲で0.1mm刻みに、インチ単位の場合は、短辺3.94〜12.01インチ、長辺5.51〜18.98インチの範囲で0.01インチ刻みに指定できます。

参照
「4.7 非定形用紙に印刷する」(P.88)

[CentreWare]タブ

補足
[CentreWare]タブは、CentreWareがインストールされている場合に表示されます。

ドキュメントモニターを使用する

CentreWareのドキュメントモニターを、使用するかしないかを設定します。
必要に応じて、チェックボックスをオン、またはオフにします。

4.3 印刷を中止する/印刷を指示したジョブの状態を確認する

印刷を中止するには、まずクライアント側で印刷の指示を取り消します。印刷を取り消すことができなかった場合は、プリンター側で印刷を取り消します。
また、印刷を指示したジョブの処理状況をクライアント側で確認できます。
以下に操作方法を説明します。

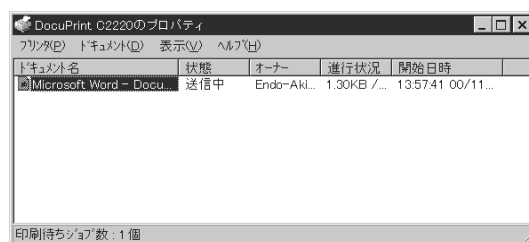
4.3.1 クライアント側で印刷を中止する

クライアント側で印刷の指示を取り消す手順について説明します。

Windows®での取り消し方法

Windows®をお使いの場合の印刷指示の取り消し方法について説明します。

操作手順

1. [スタート]メニューの[設定]から、[プリンタ]をクリックします。
2. 該当するプリンターアイコンをダブルクリックします。
3. 表示されたウィンドウから、任意のドキュメント名をクリックし、削除(〈Delete〉キーを押す)します。

CentreWare Internet Servicesを使った取り消しについて

CentreWare Internet Servicesを使用して、プリンターに指示した印刷データを取り消しできます。
CentreWare Internet Servicesについては、「5.1 クライアントからプリンターを設定する(CentreWare Internet Services)」(P.110)を参照してください。

4.3.2 プリンター側で印刷を中止する

処理中の印刷ジョブを中止する

プリンター側で、処理中のジョブの印刷を中止するには、プリンターの操作パネルの [モード] と [メニュー] を同時に押します。ただし、印刷中のページは印刷されます。

プリンター内のすべての印刷ジョブを中止する

プリンターに受信されているすべてのジョブに対して印刷を中止する方法を以下に説明します。この操作によって、データの受信を中断し、バッファを空の状態にすることができます。

補足

バッファとは、クライアントから送信されたデータを蓄えておく場所のことです。

参照

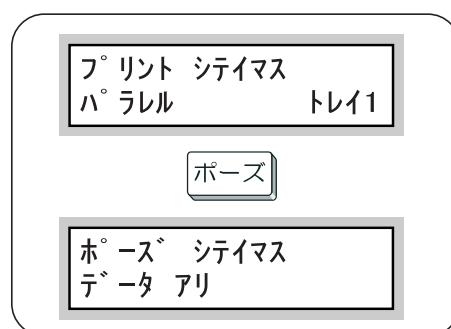
プリンター内のすべてのジョブを実行して印刷する方法もあります。詳しくは、「7.6　印刷データを強制的に排出させる」(P.221)を参照してください。

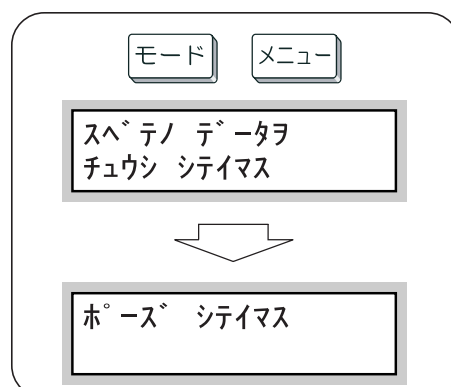
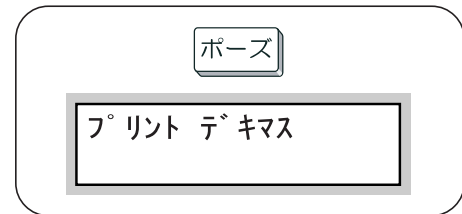
操作手順

❶ **右記のディスプレイ状態で、[ポーズ]を押します。**

ポーズ状態になります。

補足

[ポーズ]を押すと、プリンターは自動的にデータの受信ができない状態となります。

❷ **右記のディスプレイ状態で、[モード] と [メニュー]を同時に押します。**

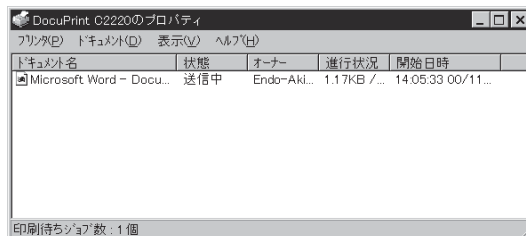
中止の処理が行われます。
処理が終了すると、【ポーズシテイマス】の表示になります。

❸ ポーズ を押します。
【プリントデキマス】の表示になります。

4.3.3 印刷指示したジョブの状態を確認する

Windows®での確認方法

Windows®をお使いの場合の印刷指示したジョブの確認方法について説明します。

操作手順

❶ [スタート]メニューの[設定]から、[プリンタ]をクリックします。

❷ 該当するプリンターアイコンの[状態]を確認します。

CentreWare Internet Servicesを使った確認方法について

CentreWare Internet Servicesを使用して、プリンターに指示した印刷ジョブの状態を確認できます。
CentreWare Internet Servicesについては、「5.1　クライアントからプリンターを設定する(CentreWare Internet Services)」(P.110)を参照してください。

4.4 特殊用紙に印刷する

特殊用紙に印刷する方法を説明します。以下の用紙に印刷できます。

- **厚紙1(106〜169g/㎡)**
- **厚紙1(106〜169g/㎡)うら面**
- **厚紙2(170〜220g/㎡)**
- **厚紙2(170〜220g/㎡)うら面**
- **OHPフィルム**
- **うす紙(55〜63g/㎡)**
- **ラベル紙**
- **ユーザー定義用紙1〜5**

特殊用紙に印刷する場合は、用紙トレイ5(手差し)を使用します。

給紙トレイの指定は、[トレイ/排出]タブを表示して行います。

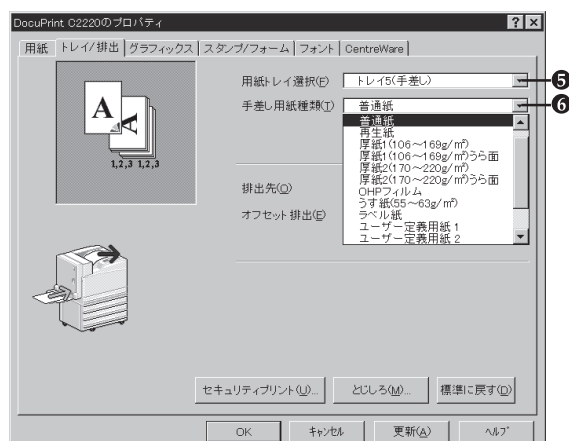
ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSでの手順も同様です。

補足

- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- 用紙トレイ5(手差し)の使い方については、「6.1　用紙をセットする」(P.120)を参照してください。

操作手順

1. **手差しトレイに、特殊用紙をセットします。**
2. **[ファイル]メニューの[印刷]をクリックします。**
3. **[プリンタ名]を確認し、[プロパティ]をクリックします。**
4. **[トレイ/排出]タブをクリックします。**

❺ [用紙トレイ選択]から、[トレイ5(手差し)]を指定します。

❻ [手差し用紙種類]から、用紙の種類を選択します。

❼ [OK]をクリックし、印刷を実行します。

4.5 はがき/封筒/長尺サイズの用紙に印刷する

官製はがき、封筒(定型長3号封筒)、または長尺サイズの用紙に印刷する方法を説明します。

補足

- 用紙トレイ5(手差し)の使い方については、「6.1　用紙をセットする」(P.120)を参照してください。
- 長尺サイズの用紙が使用できるのは、DocuPrint C2221だけで、オプションの増設256MBメモリーが必要です。

はがき/封筒のセット方法

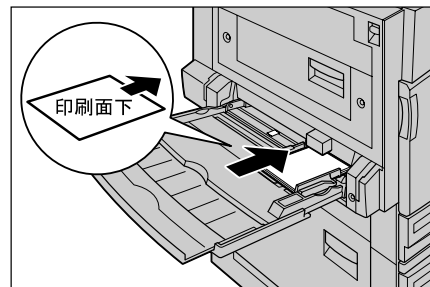
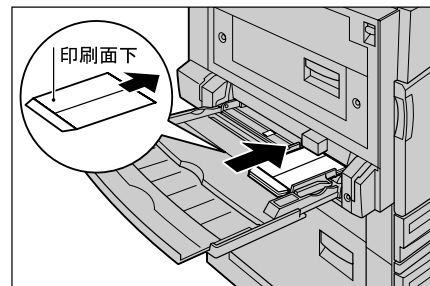
用紙トレイ5(手差し)に、官製はがき、または封筒(定型長3号封筒)をセットします。

操作手順

1 はがきや封筒の印刷する面を下に向けます。

2 はがきをセットする場合は、郵便番号枠側を差し込み口に向けてセットします。

注記

はがきが機械に送られないときは、はがきの先端を上向きにカールさせてからセットしてください。

封筒をセットする場合は、開封部の反対側(底の部分)を差し込み口に向けてセットします。

補足

- 用紙上限線を越えて、セットしないでください。
- 封筒をセットする向きは、官製はがきと天地が反対になります。画像を自動的に180度回転して印刷します。

長尺サイズ用紙のセット方法（DocuPrint C2221の場合だけ）

用紙トレイ5(手差し)に、長尺サイズの用紙をセットします。

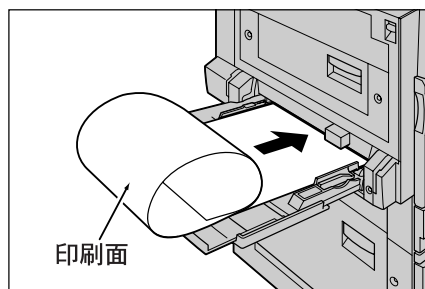
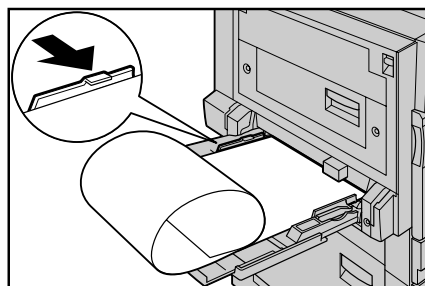
補足

- 長尺サイズの用紙の場合、[印刷モード]の[画質優先]では印刷できません。
- 長尺サイズの用紙に両面印刷ができるのは、プリンタードライバーのVer.1.5.1以降です。Ver.1.5.0では、両面印刷はできません。現在使用しているプリンタードライバーのバージョンは、プリンターのプロパティダイアログボックスのバージョン情報タブで確認できます。Ver.1.5.1のプリンタードライバーは、ホームページから入手できます。
URLは、次のとおりです。http://download.fujixerox.co.jp/

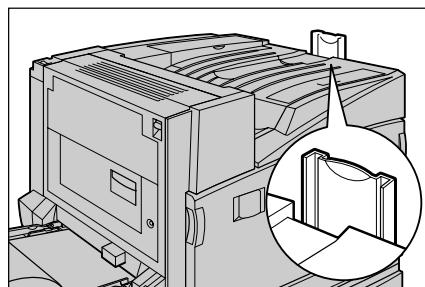
操作手順

1 長尺サイズの用紙の印刷する面を下に向けて、図のように後端をまるめて、手差しトレイにセットします。

注記

- 長尺サイズ用紙の後端は、用紙の差込口からできるだけ離れた位置で、まるめてください。差込口に近いと、まるめた用紙の後端が引き込まれるなど、用紙が折れたりしわの原因になることがあります。
- 用紙は、1枚ずつセットしてください。

2 用紙サイズ合わせガイドを、長尺の用紙のサイズに合わせます。

3 用紙止めを立てます。

補足

- 長尺サイズの用紙は長いので、用紙が床に落ちないように必ず用紙止めを立ててから印刷してください。
- 紙づまりを防ぐために、印刷し終わった用紙は1枚ずつ受け取ってください。

印刷設定

印刷の設定は、[トレイ/排出]タブと[用紙]タブを表示して行います。ここでは、Windows NT®のワードパッドを例に説明します。その他のOSでの手順も同様です。

補足

プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

操作手順

1 [ファイル]メニューの[印刷]をクリックします。

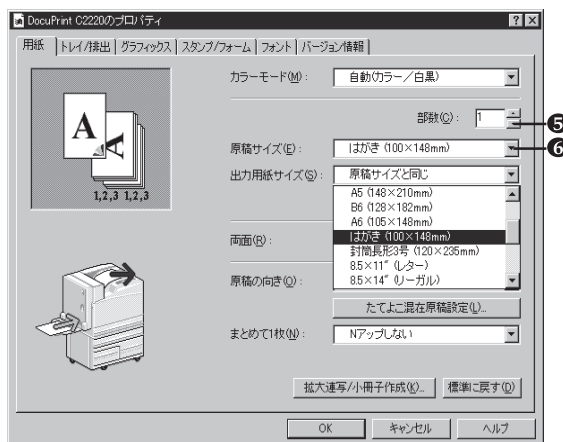
2 [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]をクリックします。

❸ [トレイ/排出]タブをクリックし、[用紙トレイ選択]から、[トレイ5(手差し)]を指定します。

❹ はがき、封筒の場合は、[手差し用紙種類]から、[厚紙2(170〜220g/㎡)]または[厚紙2(170〜220g/㎡)うら面]を、長尺の場合は、[厚紙1(106〜169g/㎡)]または[厚紙1(106〜169g/㎡)うら面]を指定します。

補足

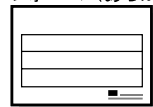
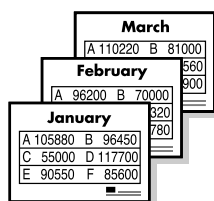
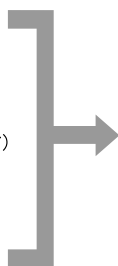
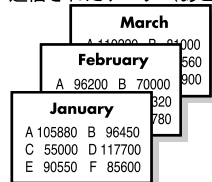
はがき、封筒で両面に印刷する場合は、最初の印刷面は[厚紙2(170〜220g/㎡)]を選択し、そのうら面を印刷するときは、[厚紙2(170〜220g/㎡)うら面]を選択してください。長尺で両面に印刷する場合は、最初の印刷面は[厚紙1(106〜169g/㎡)]を選択し、そのうら面を印刷するときは、[厚紙1(106〜169g/㎡)うら面]を選択してください。

❺ [用紙]タブをクリックし、[原稿サイズ]から、任意の原稿サイズを選択します。

❻ [出力用紙サイズ]から、はがきの場合は[はがき(100×148㎜)]を、封筒の場合は[封筒長形3号(120×235㎜)]を、長尺の場合は[長尺(297×900㎜)]を指定します。

❼ [OK]をクリックし、印刷を実行します。

4.6 登録したフォームに印刷する（オーバーレイ印字）

あらかじめ作成しておいたフォームに、原稿を重ね合せて印刷することができます。この機能を「オーバーレイ印字」といいます。複数ページの原稿にも、すべてのページにフォームを重ねて印刷します。

オーバーレイ印字をする場合は、あらかじめフォームデータファイルを作成/登録する必要があります。

オーバーレイ印字の指定は、［スタンプ/フォーム］タブを表示して行います。ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSでの手順も同様です。

補足

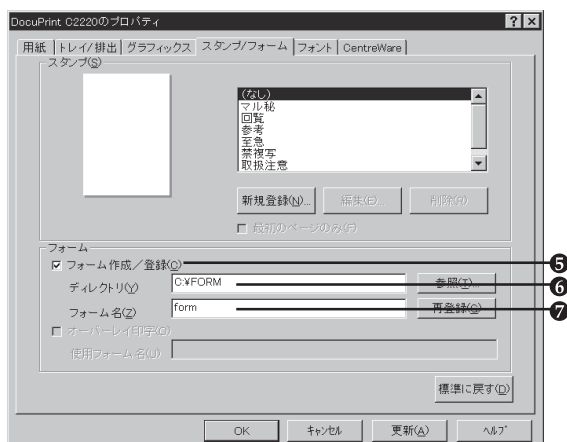
- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- フォームは、64ファイルまで登録できます。内蔵増設ハードディスク装置が装着されている場合は、2048ファイルまで登録できます。
- 印刷されるカラーモードは、オーバーレイ印字を指定するときのカラーモードにより決定されます。オーバーレイ印字を白黒で指定すると、白黒で印刷されます。オーバーレイ印字を自動で指定した場合は、フォームデータファイルを登録したときのカラーモードと、オーバーレイ印字を指定したときのカラーモードによって、印字されるカラーモードが自動的に決定されます。

4.6.1 フォームデータファイルを作成/登録する

操作手順

1. **アプリケーションソフトでフォームデータファイルの原稿を作成します。**
2. **［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。**
3. **［プリンタ名］を確認し、［プロパティ］をクリックします。**

❹ [スタンプ/フォーム]タブをクリックします。

❺ [フォーム作成/登録]チェックボックスをオンにします。

❻ [ディレクトリ]にバックアップデータを保存するディレクトリー名を、127バイト以内で指定します。

❼ [フォーム名]にフォーム名を、半角英数、半角カタカナを使って、8文字以内で指定します。

補足

以前作成したフォームを再登録する場合は、[参照...]ボタンをクリックして、バックアップされているフォームを指定し、[再登録]ボタンをクリックします。

❽ [OK]をクリックし、印刷を指示します。

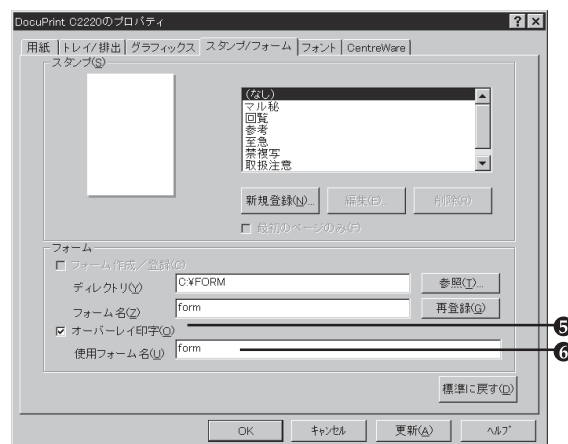
プリンターからは何も印刷されませんが、この時点で、本機にアプリケーションソフトで作成した原稿はフォームファイルとして登録されます。

補足

登録したフォームは、ART EXフォーム登録リストで確認できます。ART EXフォーム登録リストについては、「6.3 レポート/リストを印刷する」(P.149)を参照してください。

4.6.2 フォームを使用して印刷する

操作手順

1. アプリケーションソフトで、フォームに重ねる原稿を作成します。
2. [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。
3. [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]をクリックします。
4. [スタンプ/フォーム]タブをクリックします。
5. [オーバーレイ印字]チェックボックスをオンにします。

6. [使用フォーム名]に、本機に登録されているフォーム名と同じ名前を、半角英数、半角カタカナを使って、8文字以内で指定します。
7. [OK]をクリックし、印刷を実行します。

4.7 非定形用紙に印刷する

非定形サイズの用紙に印刷する方法について説明します。非定形用紙に印刷するには、まずプリンタードライバーに非定形サイズの登録をします。

非定形サイズをユーザー定義サイズとして登録すると、[用紙]タブの[原稿サイズ]と[出力用紙サイズ]から、それぞれ非定形サイズ(ユーザー定義サイズ)が選択できるようになります。印刷するときは、用紙トレイ5(手差し)を使用してください。

用紙サイズは5種類まで登録でき、用紙名を付けることができます。用紙サイズは、ミリ単位の場合は、短辺100～305㎜、長辺140～482㎜の範囲で0.1㎜刻みに、インチ単位の場合は、短辺3.94～12.01インチ、長辺5.51～18.98インチの範囲で0.01インチ刻みに指定できます

補足

- Windows NT® 4.0、Windows® 2000では、「Administrator」の権利があるユーザーの場合にだけ、設定を変更できます。権利がない場合は、内容の確認だけできます。
- [ユーザー定義用紙]ダイアログボックスの設定は、Windows NT® 4.0、Windows® 2000の場合、ローカルプリンターではクライアントのフォームデータベースを使用するため、クライアント上の他のプリンターにも影響します。ネットワーク共有プリンターではプリントキューが存在するサーバー上のフォームデータベースを使用するため、別のクライアント上の同じネットワーク共有プリンターにも影響します。Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meの場合、プリンターアイコンごとに定義した用紙サイズが設定されるため、クライアント上の他のプリンターの設定には影響しません。ネットワーク共有プリンターでも、プリンターアイコンごとに定義した用紙サイズが設定されるため、他のクライアント上の同じネットワーク共有プリンターの設定には影響しません。

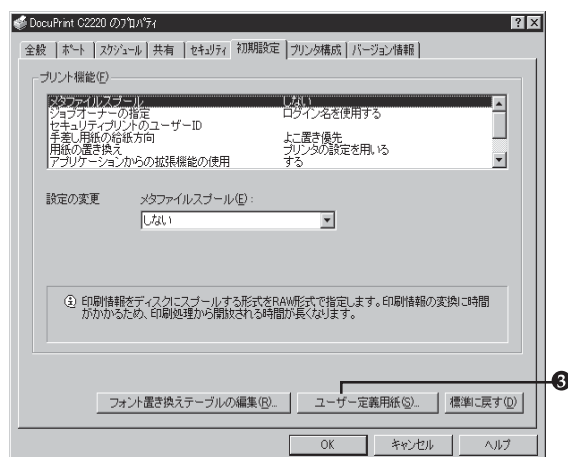
4.7.1 非定形用紙を登録する

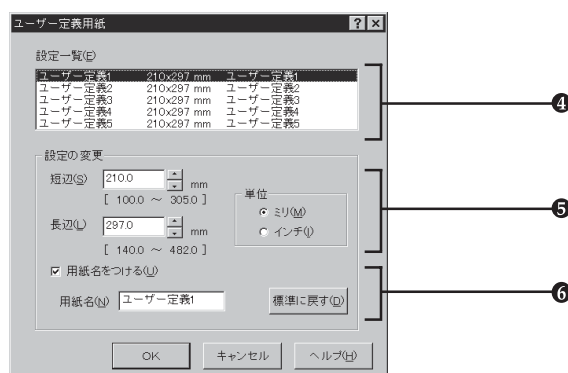
非定形サイズの用紙の登録は、[ユーザー定義用紙]ダイアログボックスで行います。

操作手順

1. **[スタート]メニューの[設定]から、[プリンタ]をクリックし、使用するプリンターのプロパティを表示します。**

2. **[初期設定]タブをクリックします。**

❸ [ユーザー定義用紙...]をクリックします。

［ユーザー定義用紙］ダイアログボックスが表示されます。

❹ [設定一覧]リストボックスから、設定する用紙を選択します。

❺ [設定の変更]で、短辺と長辺の長さを指定します。

キー入力、または▲▼ボタンで指定します。
短辺の値は、範囲内でも長辺より大きくすることはできません。長辺の値は、範囲内でも短辺より小さくすることはできません。

❻ 用紙名を付ける場合は、[用紙名をつける]チェックボックスをオンにして、[用紙名]に入力します。

用紙名の最大文字数は半角で14文字、全角で7文字です。

❼ 必要に応じて、手順 ❹～❻を繰り返して、用紙サイズを定義します。

❽ [OK]をクリックします。

❾ [初期設定]タブで、[OK]をクリックします。

4.7.2 印刷の仕方

非定形サイズの用紙に印刷する方法を説明します。印刷するときは、用紙トレイ5(手差し)を使用してください。

参照

用紙トレイ5(手差し)の使い方については、「6.1 用紙をセットする」(P.120)を参照してください。

ここでは、Windows NT®のワードパッドを例に説明します。その他のOSでの手順も同様です。

補足

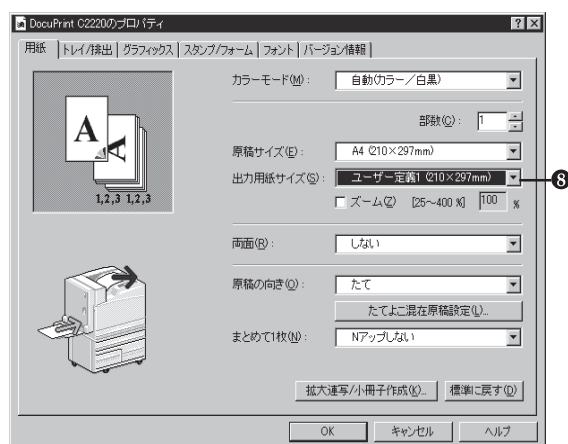
プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

操作手順

1. **用紙トレイ5(手差し)に、非定形サイズの用紙をセットします。**
2. **[ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。**
3. **[プリンタ名]を確認し、[プロパティ]をクリックします。**
4. **[トレイ/排出]タブをクリックします。**
5. **[用紙トレイ選択]から、[トレイ5(手差し)]を選択します。**

6. **[手差し用紙種類]から、用紙の種類を選択します。**

❼ [用紙] タブをクリックします。

❽ [出力用紙サイズ] から、使用する非定形サイズの用紙を選択します。

❾ [OK] をクリックし、印刷を実行します。

4.8 TrueTypeフォントの印刷方法を設定する

ここでは、TrueTypeフォントの置き換えをフォントごとに設定できるフォント置き換えテーブルの編集方法と、TrueTypeフォントの置き換え方法について説明します。

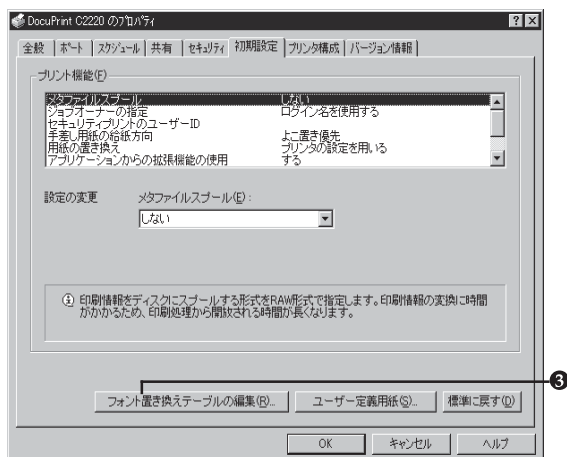
4.8.1 TrueTypeフォント置き換えテーブルを編集する

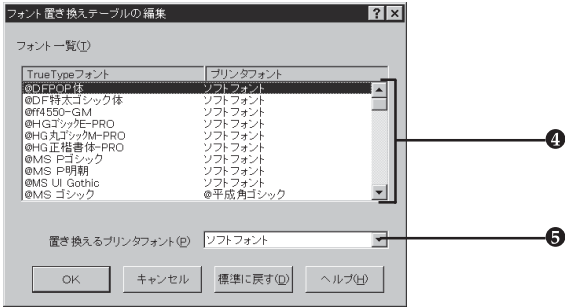
フォント置き換えテーブルで、TrueTypeフォントの置き換えをフォントごとに設定できます。フォント置き換えテーブルの編集は、[フォント置き換えテーブルの編集]ダイアログボックスで行います。

操作手順

❶ **[スタート]メニューの[設定]から、[プリンタ]をクリックし、使用するプリンターのプロパティを表示します。**

❷ **[初期設定]タブをクリックします。**

❸ **[フォント置き換えテーブルの編集...]をクリックします。**

[フォント置き換えテーブルの編集]ダイアログボックスが表示されます。
[TrueTypeフォント]列には、システムにインストールされているすべてのTrueTypeフォント(Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meではフォントのファミリー名、Windows NT® 4.0、Windows® 2000ではフォントのフェイス名)が表示されます。
[プリンタフォント]列には、TrueTypeフォントに対して、実際に印刷に使用されるフォントが表示されます。[ソフトフォント]と表示されているフォントは、印刷時にTrueTypeフォントをプリンターにダウンロードして使用します。

❹ [TrueTypeフォント]列から、設定を変更するフォントを選択します。

❺ [置き換えるプリンタフォント]から、使用するプリンタフォントを選択します。[ソフトフォント]を選択すると、印刷時にTrueTypeフォントをプリンターにダウンロードして使用します。

❻ 必要に応じて、手順 ❸、❹を繰り返して、置き換えるフォントを指定します。

❼ [OK]をクリックします。

❽ [初期設定]タブで、[OK]をクリックします。

4.8.2 TrueTypeフォントの印刷方法を設定する

TrueTypeフォントの置き換え方法を指定して印刷できます。
選択できる項目は、次のとおりです。

選　択　肢	内　　　容
常にプリンタフォントを使う	すべてのTrueTypeフォントを、プリンターフォントに置き換えて印刷します。文書内で使用されているTrueTypeフォントにいちばん近いプリンターフォントが自動的に選択され、これに置き換えて印刷します。印刷は速くなりますが、画面表示とプリント結果が一致しないことがあります。
常にTrueTypeフォントを使う	すべてのTrueTypeフォントをプリンターにダウンロードして印刷します。文書内で使用されているTrueTypeフォントを、プリンターフォントに置き換えません。印刷は遅くなることがありますが、画面表示とプリント結果は一致します。
TrueTypeフォントを プリンタフォントで置き換える	フォント置き換えテーブルの設定 に従って、TrueTypeフォントをプリンターフォントに置き換えて印刷します。フォント置き換えテーブルでは、プリンターフォントに置き換えるものと、プリンターにダウンロードするものの2種類の設定があります。Windows® 環境にインストールされているフォントに対して、フォントファミリーごと(Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meの場合)、またはフォントフェイスごと(Windows NT® 4.0、Windows® 2000の場合)に設定できます。

参照

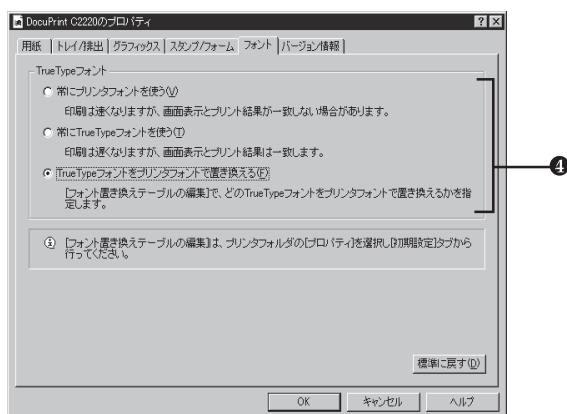
フォント置き換えテーブルの編集方法については、「4.8.1 TrueTypeフォント置き換えテーブルを編集する」(P.92)を参照してください。

TrueTypeフォントの置き換えの指定は、[フォント]タブを表示して行います。ここでは、Windows® NTのワードパッドを例に説明します。その他のOSでの手順も同様です。

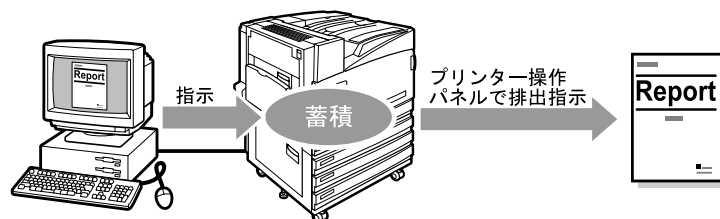
補足

プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

操作手順

1. **[ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。**
2. **[プリンタ名]を確認し、[プロパティ]をクリックします。**
3. **[フォント]タブをクリックします。**
4. **設定する内容のラジオボタンをクリックします。**

5. **[OK]をクリックし、印刷を実行します。**

4.9 機密文書を印刷する（セキュリティープリント）

お使いのコンピューター上で、印刷データにセキュリティー（暗証番号を付ける）をかけて本機に印刷を指示し、印刷データをプリンター内に一時的に蓄積させたあと、プリンター側の操作で印刷を開始できます。この機能をセキュリティープリントといいます。また、セキュリティーをかけずに印刷データをプリンターに蓄積させることもできます。頻繁に使用する文書をクライアントから都度印刷指示することなく、本機側での指示だけで印刷させることもできます。

この機能は、内蔵増設ハードディスク装置が装着されている場合に使用できます。また、あらかじめユーザーIDと暗証番号を設定する必要があります。

補足

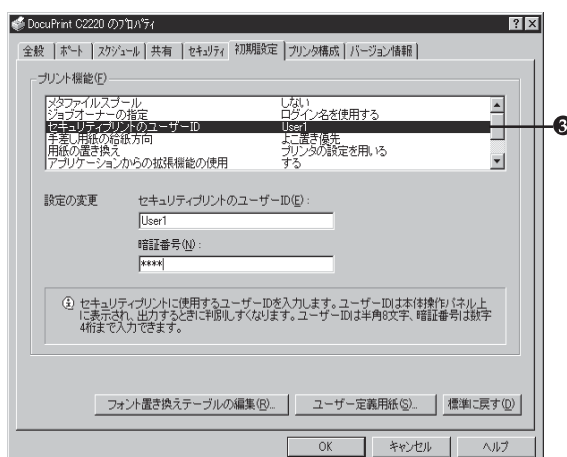
以下の３つの条件を満たすときは、セキュリティープリントの機能は使えません。
- プリントジョブを受け付けるポートとして、lpdだけが起動している。（インターネットサービスとSNMPは起動していても構わない。）
- [受け付けIPの制限]が[スル]に設定されている
- [操作パネル制限]が[スル]に設定されている

4.9.1 セキュリティープリントの登録をする

セキュリティープリント機能を使用するときのユーザーIDと暗証番号の指定方法を説明します。

操作手順

1. [スタート]メニューの[設定]から、[プリンタ]をクリックし、使用するプリンターのプロパティを表示します。
2. [初期設定]タブをクリックします。

❸ [プリント機能]リストボックスから、[セキュリティプリントのユーザーID]を選択します。

❹ [セキュリティプリントのユーザーID]に、半角英数字を使って8文字以内でユーザー名を指定します。

❺ 暗証番号を付ける場合は、[暗証番号]に、暗証番号を入力します。

半角数字で4文字まで入力できます。

❻ [OK]をクリックします。

4.9.2 セキュリティープリントをする

セキュリティープリントをする方法を説明します。
まず、セキュリティープリントの設定をクライアント側で行ない、印刷指示をします。そのあと、プリンター側で出力指示を行い、印刷データを出力します。

クライアント側での操作

ここでは、Windows® NTのワードパッドを例に説明します。その他のOSでの手順も同様です。

補足

プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

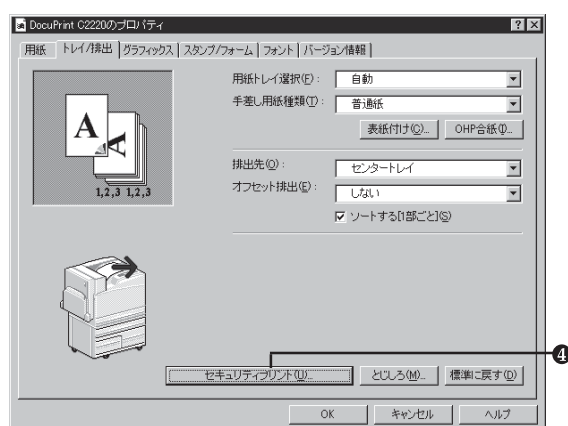
印刷する

4

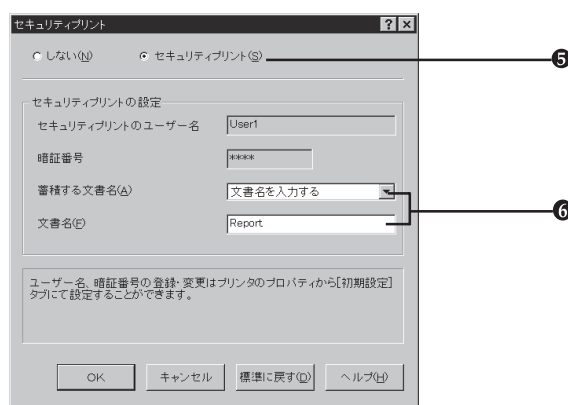
操作手順

❶ [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。

❷ [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]をクリックします。

❸ [トレイ/排出]タブをクリックます。

❹ [セキュリティプリント...]をクリックします。

[セキュリティプリント]ダイアログボックスが表示されます。

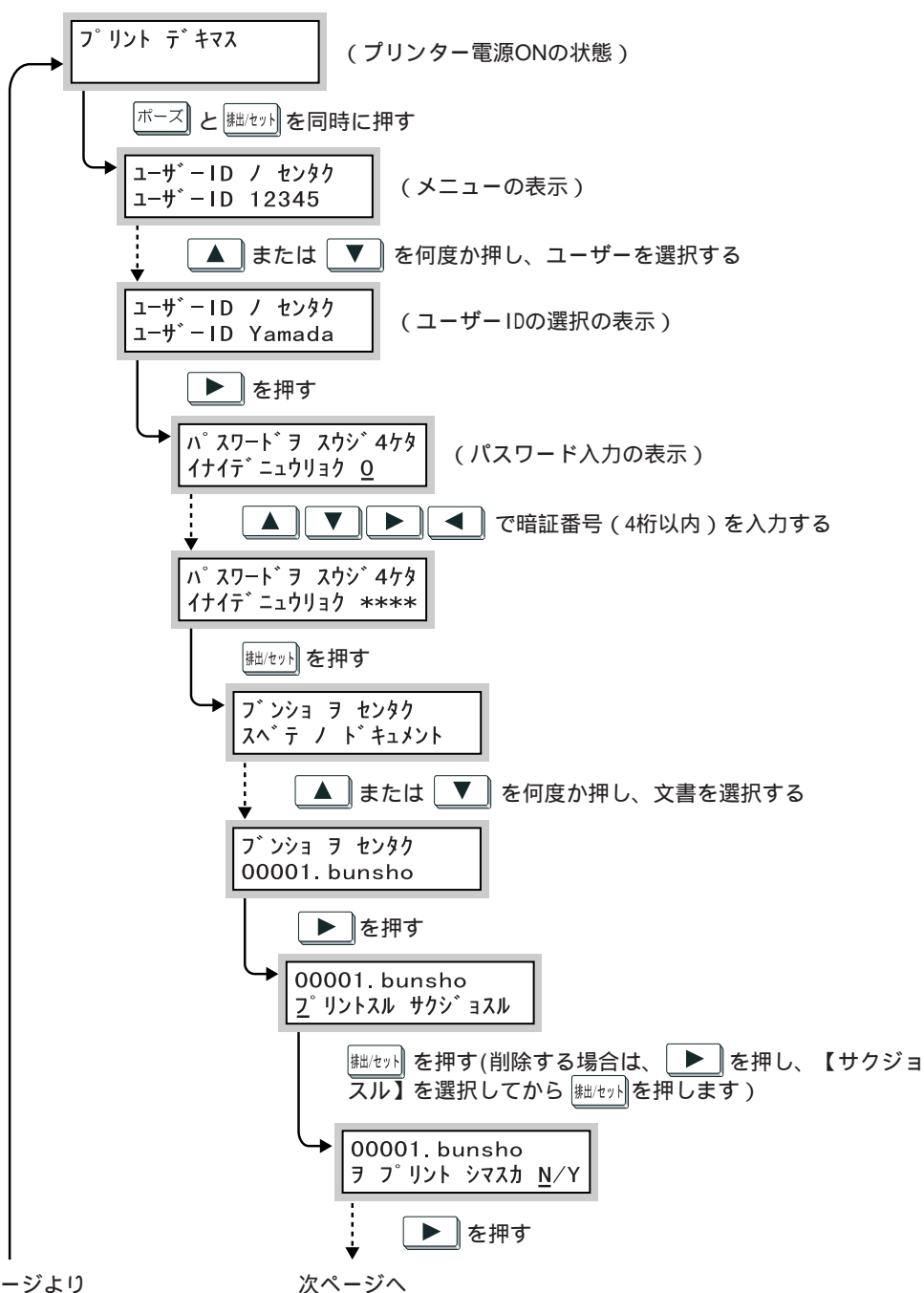
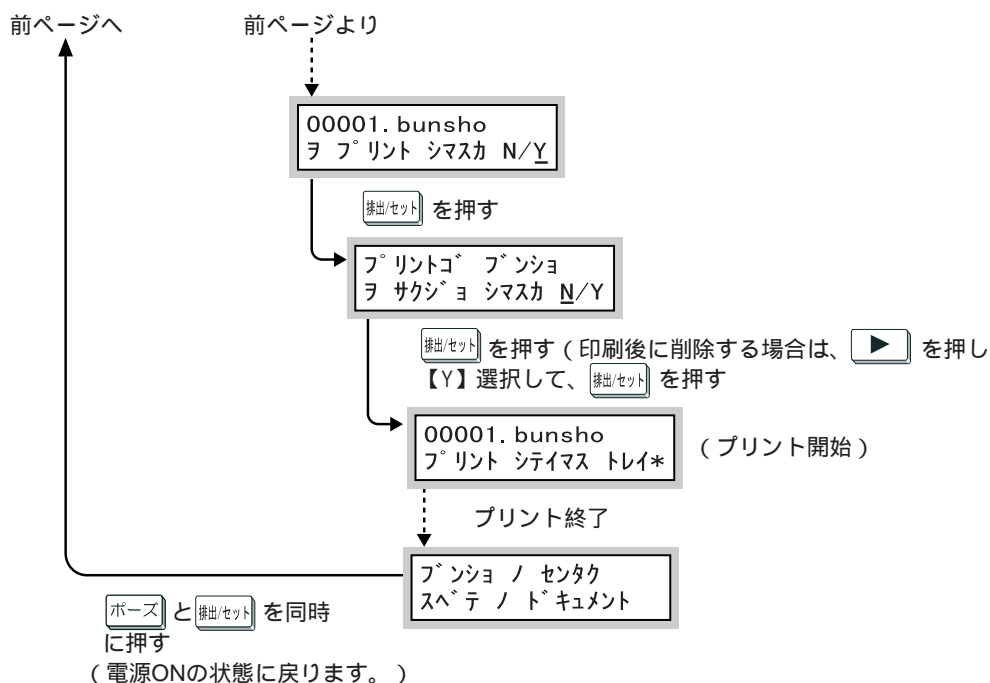
❺ [セキュリティプリント]をクリックします。

❻ [セキュリティプリントの設定]の[蓄積する文書名]から、[文書名を入力する]、または[自動取得]を選択します。

[文書名を入力する]を選択した場合は、[文書名]に文書の名前を、12バイト相当(半角で12文字、全角で6文字)で指定します。12バイトを超える文書名の場合は、12バイトまでが有効になります。12文字を超えた場合、または全角文字が使用された場合は、日時が文書名としてプリンターの操作パネルのディスプレイに表示されます。
[自動取得]の場合、文書名は半角英数/半角カタカナで12文字までです。

❼ [OK]をクリックします。

❽ [トレイ排出]タブで[OK]をクリックし、印刷を実行します。

プリンター側での操作

本機内に蓄積されている印刷データを排出する手順について説明します。

補足

- ユーザーIDは、ART EXプリンタードライバーの[初期設定]タブで設定した[セキュリティプリントのユーザー名]が表示されます(8文字まで)。
- パスワードは、ART EXプリンタードライバーの[初期設定]タブで設定したセキュリティープリントの[暗証番号]を入力します。[暗証番号]を設定していない場合は、操作パネルでの設定はありません。
- ドキュメントの名前は、ART EXプリンタードライバーの[セキュリティプリント]ダイアログボックスの[蓄積する文書名]で設定した名前が表示されます(10文字まで)。

4.10 印刷モードを設定する

カラーで印刷する場合の詳細な設定をすることができます。

設定は、[グラフィックス]タブを表示して行います。ここでは、[グラフィックス]タブで設定できる画質などの印刷モードについて説明します。

[印刷モード]について

[印刷モード]は、[標準]、[速度優先]、[画質優先]から選択します。

選　択　肢	内　　　容
速度優先	画質を落としても早く印刷したい場合に選択します。
画質優先	印刷処理時間が長くても、より高画質で印刷したい場合に選択します。
標準	[画質優先]と[速度優先]の中間モードです。

補足

[印刷モード]で[速度優先]にしても時間がかかる場合は、[ページ印刷モード]を[する]にして印刷をお試しください。印刷時間が短縮される場合があります。

印刷する

4

[画質調整モード]について

[画質調整モード]は、[おすすめ]、[ICM調整(システム)]、[CMS調整(アプリケーション)]、[色変換しない]から選択します。
[おすすめ]を選択した場合は、[おすすめ画質タイプ]リストボックスから、画質タイプを選択します。

[おすすめ]

弊社独自の方式で、画質調整を行います。
画質タイプは以下のとおりです。選択するときは、ART EXプリンタードライバー画面の左上に表示される画質イメージを参考にしてください。
選択できる項目は次のとおりです。

選　択　肢	内　　　容
標準	文字やグラフ、写真などが混在した文書を印刷します。
写真	写真やグラデーションをより美しく再現できます。sRGBで表現される画像の印刷に適しています。
プレゼンテーション	色を鮮やかに調整して印刷します。プレゼンテーション資料に適しています。
Webページ	Webページなどディスプレイ表示を再現したい場合に効果的です。

[ICM調整(システム)]

Windows® 98、Windows® Me、Windows® 2000のICM機能を使用して色変換を行います。[ICM調整(システム)]は、Windows® 98、Windows® Me、Windows® 2000の場合にだけ表示されます。
[ICM調整(システム)]を選択した場合は、[インテント]リストボックスから色の変換方式を選択します。

補足

本機用のICCプロファイルを使用するには、ICCプロファイルを、Windows® 95、Windows® 98、Windows® Me、Windows® 2000の場合は「x(ドライブ名):\[Windowsシステムディレクトリ]\color\」に、Windows NT®4.0の場合は「x(ドライブ名):\[Windowsインストールディレクトリ]\にコピーします。

選択できる項目は次のとおりです。

選　択　肢	内　　　容
鮮やかさ(Saturation)	プレゼンテーションなどのグラフィックスの再現性がよくなるように色変換します。
コントラスト(Perceptual)	写真などのイメージの再現性がよくなるように色変換します。
カラーメトリック(Colorimetric)	プリンターで再現可能な色だけを適切に再現し、再現範囲外の色は他の色に変換します。

[CMS調整(アプリケーション)]

プリンタードライバーは色変換しません。独自のCMS(カラーマネージメントシステム)を持つアプリケーションから印刷する場合は、プリンターの特性に合わせて色変換された色データをプリンタードライバーに指示します。この場合、プリンタードライバーで二重に色変換をしないように、この項目を選択します。

補足

印刷するときに、アプリケーションに通知する解像度を指定できます。目的に応じて、[グラフィックス]タブの[詳細設定...]をクリックし、[詳細設定]タブの[解像度]で、[標準(600dpi)]、[レイアウト再現(300dpi)]、[細線再現(200dpi)]から選択します。本機の解像度は600dpiですが、[レイアウト再現(300dpi)]、または[細線再現(200dpi)]を選択すると、600dpiで正常に印刷できないアプリケーションに対して、300dpi、または200dpiとして通知できます。[レイアウト再現(300dpi)]、または[細線再現(200dpi)]を選択して印刷した場合、文字や色などの印刷結果に違いが現れることがあります。また、フォントをプリンターにダウンロードする場合にドットが粗くなることがあります。

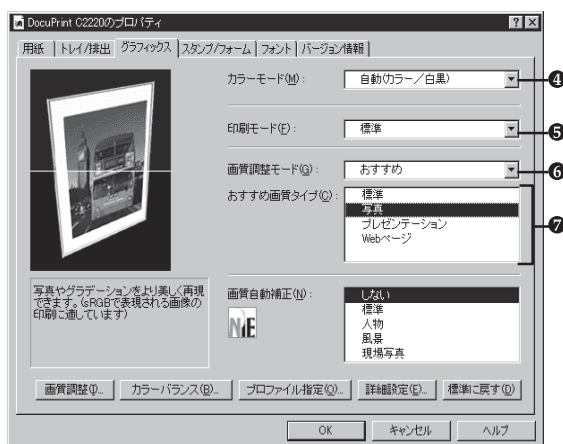
操作手順

❶ [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。

❷ [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]をクリックします。

❸ [グラフィックス]タブをクリックします。

❹ [カラーモード]から、[自動(カラー/白黒)]を選択します。

変更の結果は、左上の画質イメージで確認できます。

❺ [印刷モード]から、[速度優先]、[標準]、[画質優先]のどれかを選択します。

❻ [画質調整モード]から、モードを選択します。

変更の結果は、左上の画質イメージで確認できます。

❼ [画質調整モード]で[おすすめ]を選択した場合は、[おすすめ画質タイプ]から、画質タイプを選択します。[ICM調整(システム)]を選択した場合は、[インテント]から、色の変換方式を選択します。

[おすすめ画質タイプ]の変更の結果は、左上の画質イメージで確認できます。

補足

[ICM調整(システム)]は、Windows® 98、Windows® Me、Windows® 2000の場合にだけ表示されます。

❽ [OK]をクリックし、印刷を実行します。

4.11 画質を調整して印刷する

画質について詳細な設定をして印刷できます。

設定は、グラフィックスプロパティを表示して行います。グラフィックスプロパティには4つのタブがあります。それぞれのタブで設定できる項目は次のとおりです。

タ　ブ　名	内　　　容
画質調整タブ	明度/彩度/コントラストを原稿全体、または文字、図/表/グラフ、写真の原稿要素ごとに調整できます。
カラーバランスタブ	ブラック/シアン/マゼンタ/イエローのトナー濃度を微調整できます。それぞれ低濃度、中濃度、高濃度の設定ができます。
プロファイル指定タブ	原稿画像を忠実に再現するために、デバイス(モニター、スキャナーなど)の特性に合わせた、色温度/ガンマ指定の設定や、ICCプロファイルの指定ができます。
詳細設定タブ	文字、図/表/グラフ、写真の原稿要素ごと、および原稿全体に対して、詳細な画質の設定ができます。

4.11.1 明度/彩度/コントラストを調整する

明度/彩度/コントラストは、原稿全体、または[文字]、[図/表/グラフ]、[写真]の原稿要素ごとに調整できます。
明度/彩度/コントラストは、それぞれ−100〜100の範囲で、1刻みに指定できます。原稿要素ごとに設定した場合は、印刷するページ内の要素を自動的に判断し、それぞれの設定値を適用します。

項　目　名	内　　　容
明度	色の明暗の度合いを表します。明度が高いほど白に近く見えます。
コントラスト	白から黒までの明暗の変化の度合いを表します。コントラストが高いほど明暗の変化が急です。
彩度	色の鮮やかさの度合いです。彩度が高いほど色が鮮やかです。

調整は、[画質調整]タブを表示して行います。
ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSでの手順も同様です。

補足

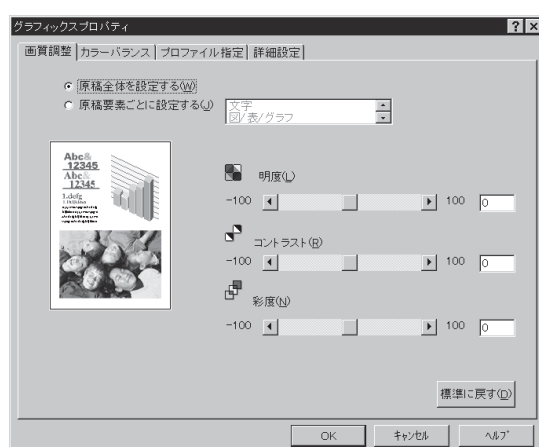
- [グラフィックス]タブの[画質調整]モードが[ICM調整(システム)]、または[CMS調整(アプリケーション)]の場合は、明度/彩度/コントラストは調整できません。[ICM調整(システム)]は、Windows® 98、Windows® Me、Windows® 2000の場合に表示されます。
- [グラフィックス]タブの[カラーモード]が[白黒]の場合は、彩度は調整できません。
- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

操作手順

❶ **［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。**

❷ **［プリンタ名］を確認し、［プロパティ］をクリックします。**

❸ **［グラフィックス］タブをクリックし、［画質調整...］をクリックします。**

グラフィックスプロパティが開き、［画質調整］タブが表示されます。

❹ **［原稿全体を設定する］、または［原稿要素ごとに設定する］をクリックします。**

❺ **［原稿要素ごとに設定する］を選択した場合は、右のリストボックスから原稿要素を選択します。**

❻ **明度/彩度/コントラストを調整します。**

キー入力、またはスライドバーで、－100～100の範囲で、1刻みに調整します。変更の結果は、左側の画質イメージで確認できます。

❼ **［OK］をクリックします。**

4.11.2 カラーバランスを調整する

CMYK(シアン/マゼンタ/イエロー/ブラック)のトナー濃度を調整して印刷できます。各色とも低濃度/中濃度/高濃度に対して、それぞれ−3〜＋3の範囲で、7段階の調整ができます。

参照

階調補正については、「6.5　階調を補正する」(P.172)を参照してください。

調整は、[カラーバランス]タブを表示して行います。
ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSでの手順も同様です。

補足

- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- [グラフィックス]タブの[カラーモード]が[白黒]の場合は、ブラックだけ調整できます。

操作手順

1 [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。

2 [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]をクリックします。

3 [グラフィックス]タブをクリックし、[カラーバランス...]をクリックします。

グラフィックスプロパティが開き、[カラーバランス]タブが表示されます。

4 [カラーバランスを調整する]チェックボックスをオンにします。

5 右のリストボックスから、調整する色を選択します。

❻ 濃度を調整します。

低濃度/中濃度/高濃度のグラフの下の▲▼ボタンで、−3〜+3の範囲で、7段階の調整ができます。変更の結果は、グラフに表示されます。

❼ [OK]をクリックします。

4.11.3 デバイス(モニター、スキャナーなど)の特性の違いを補正する

原稿画像を忠実に再現するために、デバイス(モニター、スキャナーなど)の特性に合わせた補正を行って印刷できます。
補正方法には[色温度/ガンマ指定]と、[ICCプロファイル指定]があります。
[色温度/ガンマ指定]は、すべての原稿要素に適応する[色温度]と[ガンマ補正]が指定できます。

項　目　名	内　　　容
色温度	使用しているモニターの設定に合わせて、すべての原稿要素の色あいを変化させます。モニターの特性に最も近いものを選択してください。 [5000K(D50)]、[6500K(D65)]、[9300K]から選択できます。
ガンマ補正	すべての原稿要素の明るさを変化させます。 [1.0]、[1.4]、[1.8]、[2.2]、[2.6]から選択できます。

[ICCプロファイル指定]は、[モニター]と[入力画像]に対してICCプロファイルを指定できます。ICCプロファイルとは、デバイスの色に関する特性を記述したファイルです。選択できるICCプロファイルは、モニターとRGBスキャナーのものに限ります。

項　目　名	内　　　容
モニター	文字、図、表、グラフに適応するICCプロファイルを指定します。[しない]、または「最後に選択された有効なプロファイル名」を選択します。通常は、使用しているモニターのICCプロファイルを選択します。
入力画像	イメージデータに適応するICCプロファイルを指定します。[しない]、[モニターと同じ]、「最後に選択された有効なプロファイル名」から選択します。通常は、イメージを入力したRGBスキャナーのICCプロファイルを選択します。

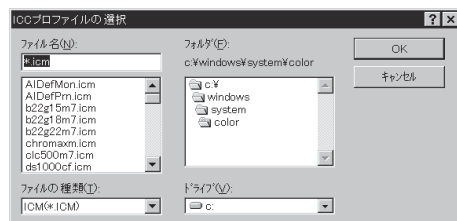
補足

「最後に選択された有効なプロファイル名」は、以前にICCプロファイルを指定したことがある場合に表示されます。

また、[モニター]、[入力画像]ともに、ICCプロファイルを任意のフォルダーから読み込むことができます。[ICCプロファイルの選択]ダイアログボックスでは、ICCプロファイル拡張子の「.icm」を持つファイルだけが表示されます。指定できるファイル名は、フルパスで半角128文字です。
[ICCプロファイルの選択]ダイアログボックスを開くときのデフォルトディレクトリーは、次のとおりです。

Windows® 95/98/Me/2000　:　x:\[Windowsシステムディレクトリ]\color
Windows NT® 4.0　:　x:\[Windowsインストールディレクトリ]

補足
「x」は、システムが入っているドライブ名を表しています。

Windows® 95の例を示します。

調整は、[プロファイル指定]タブを表示して行います。
ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSでの手順も同様です。

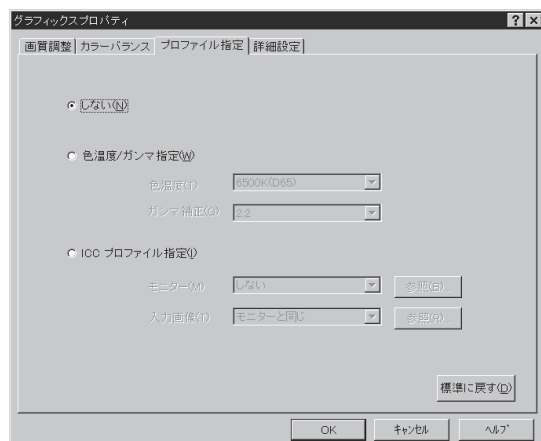
補足
- [グラフィックス]タブの[画質調整]モードが[ICM調整(システム)]、または[CMS調整(アプリケーション)]の場合は、補正できません。[ICM調整(システム)]は、Windows® 98、Windows® Me、Windows® 2000の場合に表示されます。
- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

操作手順

❶ [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。

❷ [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]をクリックします。

❸ **[グラフィックス]タブをクリックし、[プロファイル指定]をクリックします。**

グラフィックスプロパティが開き、[プロファイル指定]タブが表示されます。

❹ **[色温度/ガンマ指定]、または[ICCプロファイル指定]をクリックして、補正方法を選択します。**

❺ **選択した補正方法の詳細を指定します。**

❻ **[OK]をクリックします。**

5章

便利なツールを使用する

5.1 クライアントからプリンターを設定する (CentreWare Internet Services)

5.1.1 CentreWare Internet Servicesの概要

CentreWare Internet Servicesは、TCP/IP環境が使用できる場合に、Webブラウザーを介して、プリンターの状態や印刷ジョブ状態の表示、設定の変更をするためのサービスです。
プリンターの設定では、操作パネルで設定する項目のうち、システム設定、各ネットワークのポート設定などに関する項目を、本サービスのプロパティ画面で設定できます。
CentreWare Internet Servicesを利用できる環境、クライアント装置、およびブラウザーは、以下のとおりです。

使用できる環境

CentreWare Internet Servicesを利用するには、TCP/IPプロトコルを使用したネットワーク環境と、プリンター側でインターネットサービスを【キドウ】(工場出荷時：起動)にする必要があります。

クライアント装置

- Microsoft® Windows® 95 Operating System日本語版(ServicePack 1以上)
- Microsoft® Windows® 98 Operating System日本語版
- Microsoft® Windows® Me Operating System日本語版
- Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0日本語版(ServicePack 4以上)
- Microsoft® Windows NT® Server 4.0日本語版(ServicePack 4以上)
- Microsoft® Windows® 2000 Professional日本語版(ServicePack 1を含む)
- Microsoft® Windows® 2000 Server日本語版(ServicePack 1を含む)
- MacOS 8.0以降

ブラウザー

- Windows用 Netscape Communicator ver4.51以降の日本語版
- Windows用 Internet Explorer ver4.01SP2以降の日本語版
- Macintosh用 Netscape Communicator ver4.5以降の日本語版
- Macintosh用 Internet Explorer ver5.0以降の日本語版

5.1.2 CentreWare Internet Servicesの画面構成

CentreWare Internet Servicesの画面構成について説明します。

補足

ここでは、DocuPrint C2220の場合を例に説明します。

上部エリア

ウィンドウの上部に表示されるエリアです。初期状態(トップページ表示)では、ロゴマーク、機種名が表示されています。各カテゴリーのページでは、ロゴマークと機種名に加えて、トップページへのリンクと、各カテゴリーに移動するためのタブ(リンク)が表示されます。

下部エリア

常に弊社のホームページへのリンク、Copyright画面へのリンク、ヘルプへのリンクが表示されています。下部エリアは、どのページにも同じ内容が表示されます。

右側エリア、左側エリア

右側エリアと左側エリアの表示内容は、各カテゴリーの機能を選択するたびに大きく変化します。

5.1.3 ブラウザーの設定

本サービスを利用する前に、使用するWebブラウザーで以下の設定を確認してください。

Netscape Communicatorでの確認

操作手順

1. [編集]メニューの[設定...]を選択します。
2. [カテゴリ]で[詳細]を選択します。
3. [JavaScriptを有効にする]がオンになっていることを確認します。
4. [カテゴリ]の[詳細]の左にある[+]を選択します。
5. [詳細]の下の[キャッシュ]を選択します。
6. [キャッシュしたドキュメントとネットワーク上のドキュメントとの比較]で、[セッション毎]または[毎回]を選択します。
7. [OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

Internet Explorerでの確認

操作手順

1. バージョン4.xでは、[表示]メニューから[インターネット オプション...]を、5.xでは[ツール]メニューから[インターネット オプション...]を選択します。
2. [全般]タブにある、[インターネット一時ファイル]の[設定...]をクリックします。
3. [設定]ダイアログボックスの[保存しているページの新しいバージョンの確認:]で、[ページを表示するごとに確認する]または[Internet Explorerを起動するごとに確認する]を選択します。
4. [OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

5.1.4 プロキシサーバーとポート番号について

本サービスを利用する場合の、プロキシサーバーの設定とポート番号について説明します。

プロキシサーバーの設定

本サービスを使用する場合には、プロキシサーバーを経由しないで直接接続することをお勧めします。

補足

プロキシサーバーを経由する場合は、ブラウザーで本機のIPアドレスを指定すると応答が遅くなり、画面が表示されない場合があります。その時は、ブラウザー側で本機のIPアドレスを、プロキシサーバーを使用しない経由しない設定にします。設定方法については、お使いのブラウザーの説明書をごらんください。

ポート番号の設定

本サービスのポート番号は、工場出荷時は「80」に設定されています。ポート番号はプロパティ画面の[プロトコル設定]の[HTTP]で変更することもできます。設定できるポート番号は80、8000〜9999です。
なお、ポート番号を変更した場合には、ブラウザーから接続するときに、アドレスの後ろに「:」に続けてポート番号を指定する必要があります。
たとえば、ポート番号を8080にした場合には、以下のように指定します。

http://[本機のインターネットアドレス]:8080

または

http://[本機のIPアドレス]:8080

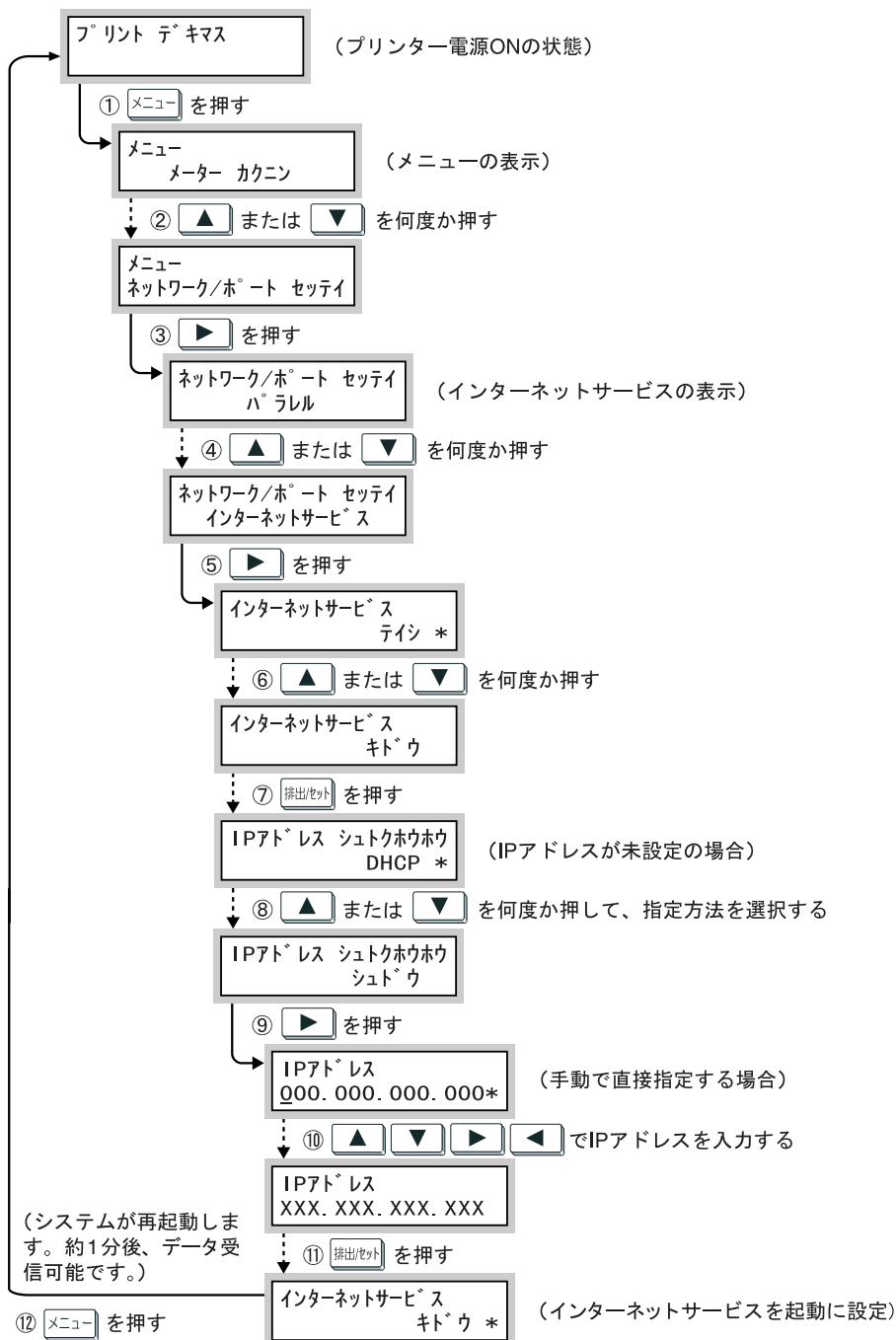
補足

ポート番号は、機能設定リストで確認できます。機能設定リストについては、「6.3.1 レポート/リストの種類」(P.149)を参照してください。

5.1.5 プリンター側の設定

本サービスを停止している場合は、操作パネルで、次の手順に従って起動します。

注記

IPアドレスが無効の場合は、インターネットサービスを起動したあとに、IPアドレスの設定を行います。表示に従ってIPアドレスを設定してください。

5.1.6 CentreWare Internet Servicesについて設定できる項目

本体側でインターネットサービスを起動したあと、CentreWare Internet Serviceに関する以下の項目を設定できます。

[プロパティ]画面の[Internet Services設定]で設定できる項目

- 表示更新時間 (工場出荷時:【30秒】)
- 管理者モード (工場出荷時:【有効】)
- 管理者名 (工場出荷時:【admin】)
- 管理者パスワード (工場出荷時:【admin】)
- 管理者メールアドレス

[プロパティ]画面の[プロトコル設定]の[HTTP]で設定できる項目

- ポート番号 (工場出荷時:【80】)
- 最大セッション数 (工場出荷時:【5】)
- タイムアウト (工場出荷時:【30秒】)

5.1.7 CentreWare Internet Servicesを使用する

本サービスを使用する場合は、次の手順でブラウザーを起動します。

操作手順

❶ **クライアントを起動し、ブラウザーを起動します。**

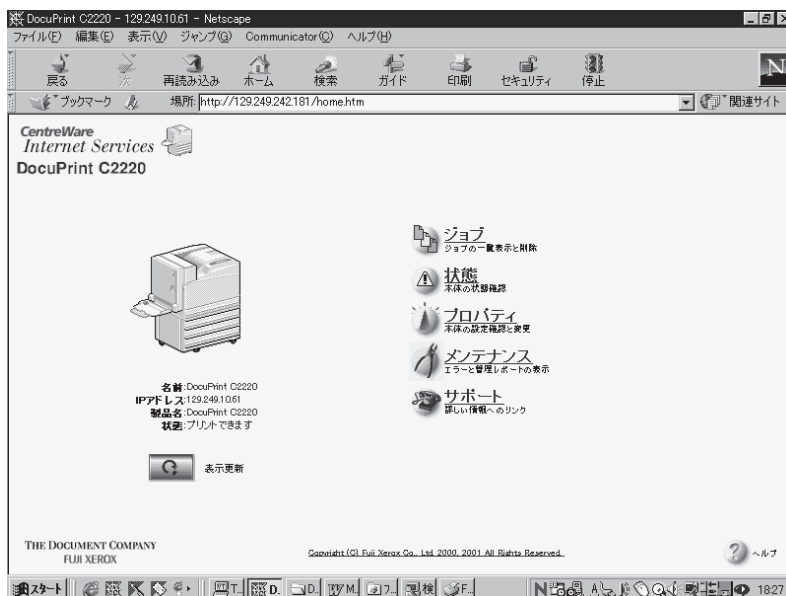
❷ **ブラウザーのアドレス入力欄に、プリンターのIPアドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。**

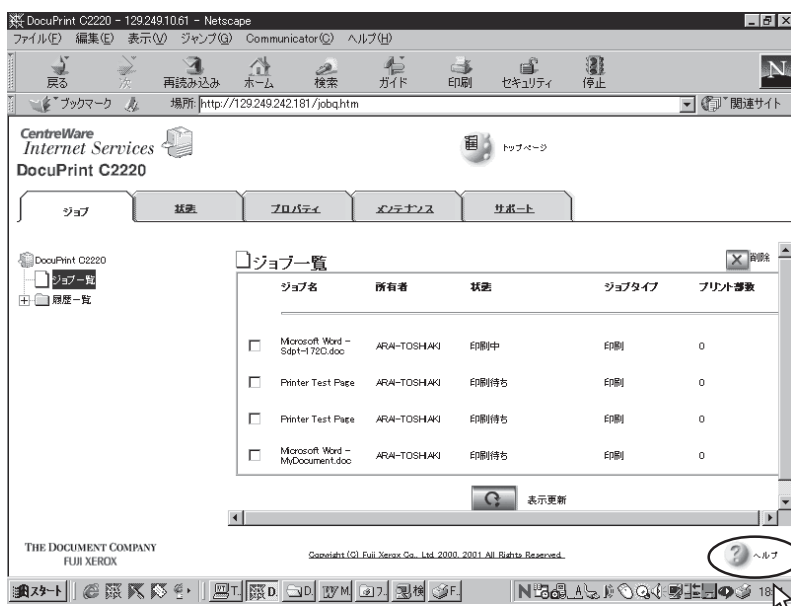
- **プリンターのIPアドレスを指定した例**

- **インターネットアドレスを指定した例**

補足

ポート番号を指定する場合には、アドレスの後ろに「:」に続けて「80」(工場出荷時のポート番号)を指定してください。

CentreWare Internet Servicesの画面が表示されます。

オンラインヘルプの使い方

各画面で設定できる項目の詳細については、ヘルプボタンを押して、オンラインヘルプをご覧ください。

5.1.8 CentreWare Internet Services使用時のトラブル

症　状	処　置
CentreWare Internet Servicesに接続できない。	本機は正常に作動していますか？ 本機の電源が入っているか確認してください。
	インターネットサービスが起動されていますか？機能設定リストを印刷して確認してください。
	インターネットアドレスは正しく入力されていますか？ インターネットアドレスをもう一度確認してください。接続できない場合は、IPアドレスを入力して接続してください。
	プロキシサーバーを使用していますか？ プロキシサーバーによっては、接続できない場合があります。プロキシサーバーを使わずに、ブラウザーの設定を「プロキシサーバーを使用しない」にするか、接続したいアドレスを「プロキシサーバーを使用しない」に設定してください。
ブラウザーで【しばらくお待ちください】等のメッセージが表示されたままになる。	そのまましばらくお待ちください。 状態が変わらない場合は、ブラウザーの表示を更新してみてください。状態が変わらない場合は、本機が正常に作動しているかを確認してください。
[表示更新]が機能しない。	指定されているOSやブラウザーを使用していますか？ 「5.1.1 CentreWare Internet Servisesの概要」(P.110)を参照して、使用しているOSやブラウザーが使用できるかどうかを確認してください。
左側エリアのメニューを選択しても、右側エリアが更新できない。	
画面の表示が崩れる。	ブラウザーのウィンドウサイズを変更してください。
最新の情報が表示されない。	[表示更新]を押してください。
日本語が正しく設定できない。	シフトJISコードを使用してください。また、半角カナ文字は使用できない場合があります。
[新しい設定を適用]を押しても反映されない。	入力した値は正しいですか？ 入力できる値以外を入力した場合は、自動的に制限値内に変更されます。
[新しい設定を適用]を押すと、ブラウザーに【無効なまたは認識されない応答をサーバーが返しました】や【データがありません】などのメッセージが表示される。	ユーザー名とパスワードは正しいですか？ 正しいユーザー名とパスワードを入力してください。
	本機を再起動してください。

日常管理

6.1 用紙をセットする

用紙についてと用紙のセット方法を説明します。

6.1.1 用紙について

適正でない用紙を使用した場合、紙づまりや印字品質の低下、故障、および装置破損の原因となることがあります。本機の性能を効果的に使用するために、ここで紹介する用紙を使用することをお勧めします。
なお、推奨の用紙以外を使用するときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にお問い合わせください。

用紙の種類

■普通紙（一般紙）

一般に市販されている用紙（一般紙と呼びます）に印刷する場合は、規格に合った用紙を使用してください。ただし、より鮮明に印刷するためには、次項で紹介する標準紙の使用をお勧めします。

用紙トレイ	規格（メートル坪量/連量）	セット可能枚数
用紙トレイ1〜4	64〜105g/㎡　連量：55〜90kg	560枚（P紙）
用紙トレイ3（大容量）	64〜105g/㎡　連量：55〜90kg	980枚（P紙）
用紙トレイ4（大容量）	64〜105g/㎡　連量：55〜90kg	1280枚（P紙）
用紙トレイ5（手差し）	55〜220g/㎡　連量：47〜189kg	10㎜まで　100枚（P紙）

補足

- メートル坪量とは、$1m^2$の用紙1枚の質量をいいます。連量とは、四六判（788×1,091㎜）の用紙1,000枚の質量をいいます。
- 用紙トレイ5（手差し）で、非定形サイズの用紙に印刷する場合は、ユーザー定義サイズとして用紙を登録する必要があります。登録のしかたについては、「4.7.1　非定形用紙を登録する」（P.88）を参照してください。
- 用紙トレイ5（手差し）で、12×18インチサイズの用紙に印刷するときは、用紙ガイドを移動してからセットします。

注記

プリンタードライバーで選択した用紙サイズや用紙種類と異なる用紙で印刷したり、適応していない用紙トレイにセットして印刷したりすると、紙づまりの原因になります。適正な印刷をするために、正しい用紙サイズ、用紙種類、用紙トレイを選択してください。

■標準紙

DocuPrint C2220/2221の標準紙は、次のとおりです。

用紙名	メートル坪量	用紙の特長と使用上の注意
P紙	64g/m²	社内配布資料や一般のオフィス用の中厚口用紙
WR100紙	67g/m²	古紙パルプ100%で、上質紙と同等の白色度の高い再生紙
C²(シーツー)紙	70g/m²	一般のオフィス用で、白黒/カラーのどちらにも適している裏写りの少ない用紙
C²ʳ(シーツーアール)紙	70g/m²	古紙パルプ70%配合で、白黒/カラーのどちらにも使用できる再生紙
OHPフィルム(V516)	-	枠なしのOHPフィルム 注記 故障の原因となりますので、カラー用のOHPフィルム(V556)(V558)は、使用しないでください。 補足 用紙トレイ5(手差し)にセットし、[手差し用紙種類]で[OHPフィルム]を選択して印刷してください。

■使用可能紙

用紙名	メートル坪量	用紙の特長と使用上の注意
Green100紙	67g/m²	古紙パルプ100%で必要最小限の白色度の再生紙(エコマーク付)
L紙	64g/m²	一般オフィス用に幅広く活用できる用紙
S紙	56g/m²	ファイリングやエアメールに適した薄口用紙 補足 用紙トレイ5(手差し)にセットし、[手差し用紙種類]で[うす紙(55～63g/m²)]を選択して印刷してください。
P(厚口)	78g/m²	裏写りが少なく両面印刷に適した厚口用紙
R紙	67g/m²	古紙パルプ70%以上の再生紙　(エコマーク付)
WR紙	67g/m²	古紙パルプ70%以上の再生紙で、白色度の高い用紙
リサイクルカラーペーパー100	67g/m²	古紙パルプ100%のカラーペーパー再生紙 表紙、合紙、インデックスに適する用紙で、8色あります。
DR紙	76g/m²	古紙パルプ70%配合のカラー用再生紙 (エコマーク付)

補足

マルチエースや、J紙、JD紙なども使用できます。

■特殊用紙

用紙トレイ5(手差し)を使用すると、次の用紙にも印刷できます。これらの用紙を特殊紙と呼びます。使用できる主な特殊紙は、次のとおりです。

用紙名	用紙の特長と使用上の注意
官製はがき	官製はがき 補足 用紙トレイ5(手差し)にセットし、[出力用紙サイズ]で[はがき(100×148㎜)]を、[手差し用紙種類]で[厚紙2(170〜220g/㎡)]を選択して印刷してください。
官製往復はがき	官製往復はがき 補足 用紙トレイ5(手差し)にセットし、[手差し用紙種類]で[厚紙2(170〜220g/㎡)]を選択して印刷してください。
ハガキ用紙4連(V423)	郵便番号欄がプレ印刷された、ミシン目入りのはがき用の用紙(A4にハガキ4枚分) 補足 用紙トレイ5(手差し)にセットし、[手差し用紙種類]で[厚紙2(170〜220g/㎡)]を選択して印刷してください。
ハガキ用紙往復(V424)	郵便番号欄がプレ印刷された、ミシン目入りの往復はがき用の用紙(A4に往復ハガキ2枚分) 補足 用紙トレイ5(手差し)にセットし、[手差し用紙種類]で[厚紙2(170〜220g/㎡)]を選択して印刷してください。
定型長3号封筒(120×235㎜)	市販の封筒 注記 定型長3号封筒を使用する場合は、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にお問い合わせください。 補足 用紙トレイ5(手差し)にセットし、[出力用紙サイズ]で[封筒長形3号(120×235㎜)]、[手差し用紙種類]で[厚紙2(170〜220g/㎡)]を選択して印刷してください。
ラベル用紙(V860)(V862)	シール用紙です。1面のタイプと20面(A4)の2種類あります。 補足 用紙トレイ5(手差し)にセットし、[手差し用紙種類]で[ラベル紙]を選択して印刷してください。
長尺用紙(GAAA1481)	297×900㎜の長尺サイズの用紙です。 補足 用紙トレイ5(手差し)にセットし、[出力用紙サイズ]で[長尺(297×900㎜)]、[手差し用紙種類]で[厚紙1(106〜169g/㎡)]を選択して印刷してください。長尺サイズの用紙は、両面印刷できません。

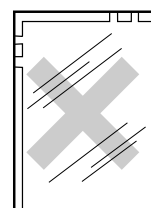
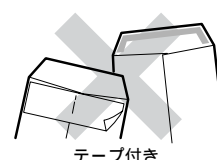
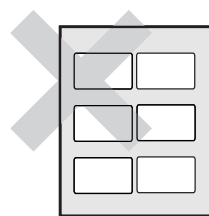
補足

その他の厚紙などの特殊紙については、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にお問い合

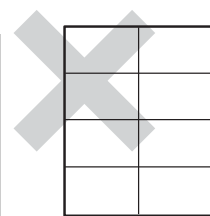
わせください。

■使用できない用紙

以下の用紙は、使用しないでください。

- FUJI XEROXフルカラーOHPフィルムのように白い枠付きのOHPフィルム
- デジタルコート紙
- 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- 布地転写紙
- 水転写紙
- 電飾紙
- 黒い紙
- 感熱紙
- カーボン紙
- インクジェット専用紙
- タックフィルム（透明/無色）
- 凹凸や留め金のある封筒
- シワや折れ、破れのある用紙
- 他のプリンターやコピー機で一度印刷した用紙
- 表面加工したカラー用紙
- 静電気で密着している用紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- 表面に特殊コーティングされた用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- 張り合わせた用紙、のりが付いた用紙
- 155℃の熱で変質するインクを使った用紙
- 湿っている用紙、ぬれている用紙
- のり付け部分がのりでベタついている封筒
- 酸性紙を使用した場合は、文字ボケが出ることがあります。そのときは中性紙に替えてください。
- 台紙全体がラベルなどで覆われてないものや、カットされているラベル用紙

フルカラー用
OHPフィルム

テープ付き

台紙全体がラベルに
覆われていない

カットされている

6

用紙の保管と取り扱い

用紙を保管するときは、以下のことに気を付けてください。

- 用紙はキャビネットの中や、湿気が少ない場所に保管してください。用紙が湿気を含むと、用紙づまりや画質不良の原因になります。
- 開封後、用紙の残りは包装紙に包んで保管してください。このとき、防湿剤を入れることをお勧めします。
- 用紙は、折れや曲がりを防ぐために、立てかけずに水平に保管してください。

用紙をトレイにセットする前に以下の事項を守ってください。

- バラバラになった用紙を寄せ集めて使用しないでください。
- 折りめ、シワが入った用紙は使用しないでください。
- 波をうったような用紙や、カールした用紙は、使用しないでください。
- サイズが異なる用紙を重ねてセットしないでください。
- OHPフィルムやラベル用紙は、紙づまりを起こしたり複数枚同時に送られることがあるので、よくさばいてからご使用ください。

6.1.2 用紙をセットする

用紙トレイ1～4に用紙をセットする

用紙トレイ1～4に用紙をセットする方法を説明します。印刷中に用紙がなくなると、操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに従って、用紙を補給してください。用紙を補給すると自動的に印刷が再開されます。

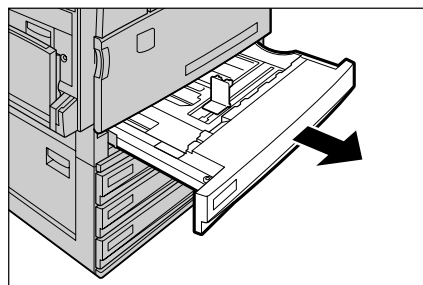
参照

用紙サイズや向きを変更する場合は、「6.1.3　用紙トレイ1～4の用紙サイズを変更する」(P.131)を参照してください。

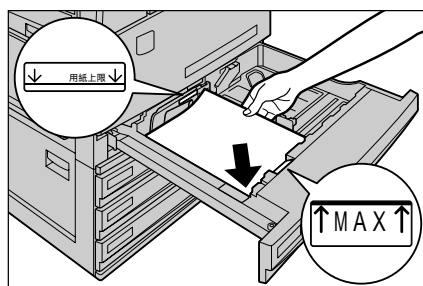
操作手順

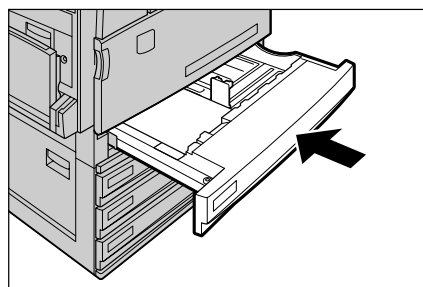
1 用紙トレイを、手前に止まるところまで引き出します。

⚠注意

用紙トレイを引き出すときは、ゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。

2 印刷する面を上にして、用紙の先端を左側にそろえてセットします。

注記

用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。

3 奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込みます。

正しく用紙がセットがされると、自動的に印刷が再開されます。

4 セットした用紙の用紙種類を操作パネルで設定します。

設定方法は、次項「用紙トレイ1～4にセットする用紙種類の設定について」を参照してください。

用紙トレイ1～4にセットする用紙種類の設定について

用紙トレイ1～4にセットした用紙のサイズと向きは、機械が自動的に検知しますが、用紙の種類は、操作パネルでの設定が必要です。機械は、設定された用紙の種類に応じて、画質の処理をします。ここでは、用紙の種類の設定について説明します。

注記

用紙の種類の設定が、トレイにセットされている用紙と合っていないと、正しく画質の処理がされません。その場合、トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたり、印字品質が悪くなることがあります。

■用紙種類の設定の流れ

①セットした用紙が設定変更を必要とするかを確認する
②(必要に応じて)用紙種類の設定をする

① セットした用紙が設定変更を必要とするかを確認する

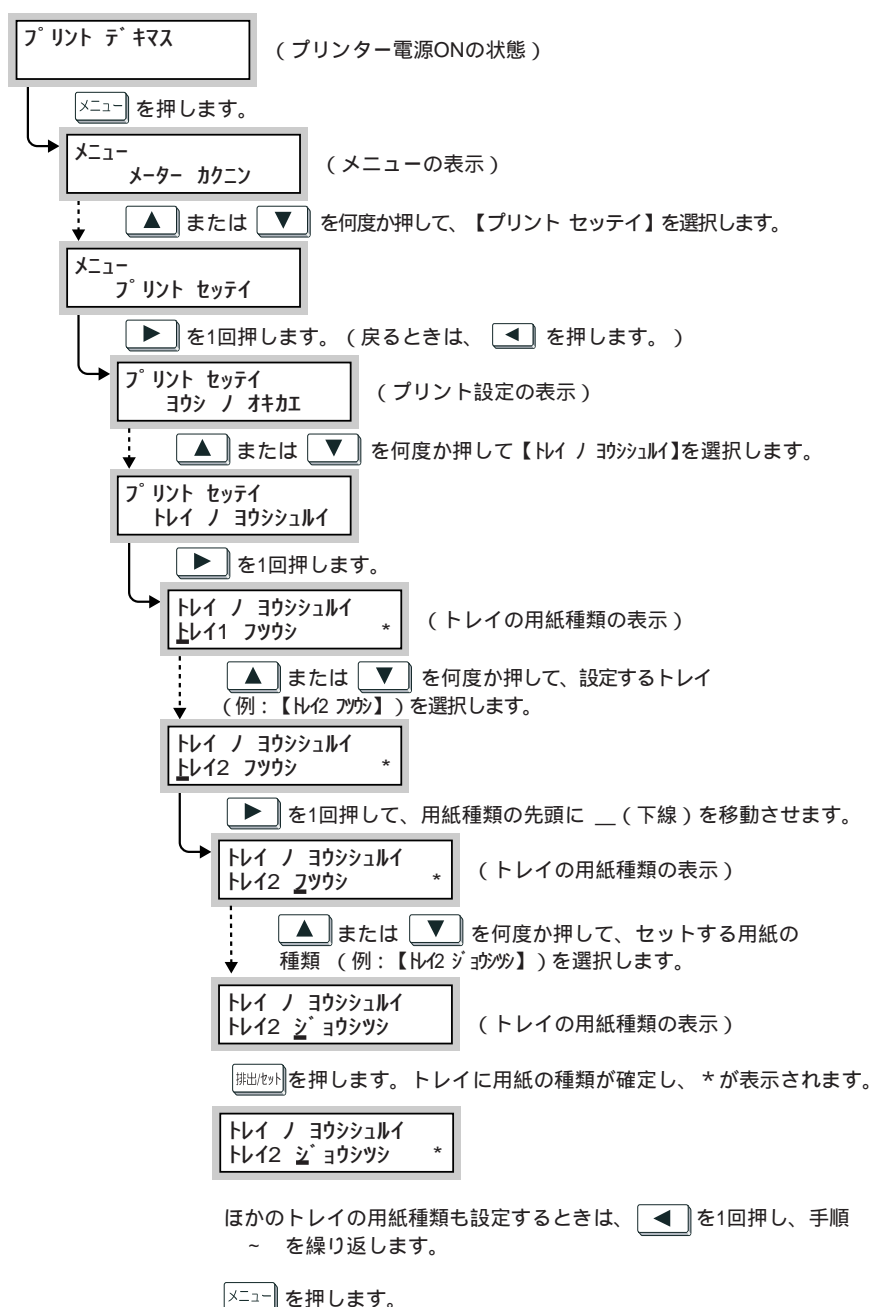
トレイにセットした用紙が、どの用紙の種類に該当するのかを、下表左側の「弊社の主な商品名」や「用紙の目安」から確認してください。次に、表の右側で、【用紙種類】と「設定変更の作業」が必要かどうかを確認し、作業をしてください。

セットした用紙の種類			設定する項目	
弊社の主な商品名	用紙の目安 上段：重さ 下段：500枚の厚さ		トレイにセットする【用紙種類】(パネルの表示)	設定変更の作業
P紙、C²紙など	64～80g/㎡	➡	【ﾌﾂｳｼ】	不要
	43.5mm(P紙) 44mm (C²紙)			
J紙、JD紙など	81～98g/㎡	➡	【ｼﾞｮｳｼﾂｼ】	必要 ②用紙種類の設定をする
	48.5mm (J紙) 51mm (JD紙)			
WR100、Green 100など	64～70g/㎡	➡	【ｻｲｾｲｼ】	必要 ②用紙種類の設定をする
	47.5mm (WR紙) 49mm(Green100)			

補足

・99～105g/㎡の厚手の用紙の普通紙を使用する場合は、トレイにセットする【用紙種類】の設定を【ﾕｰｻﾞｰ5】にしてください。設定方法は、「②用紙種類の設定をする」と同様です。
・地合の悪い用紙は、【ﾌﾂｳｼ】、【ｼﾞｮｳｼﾂｼ】、【ｻｲｾｲｼ】の設定では、最適にならない場合があります。そのときは、【用紙の画質処理】の設定を【ﾌﾂｳｼD】～【ﾌﾂｳｼG】のどれかに変更してください。【ﾌﾂｳｼD】～【ﾌﾂｳｼG】の画質については、「8.2.1 共通メニューの項目一覧［用紙の画質処理］」(P.243)を参照してください。設定方法は、次項の「■地合いの悪い用紙の設定をする」(P.127)を参照してください。

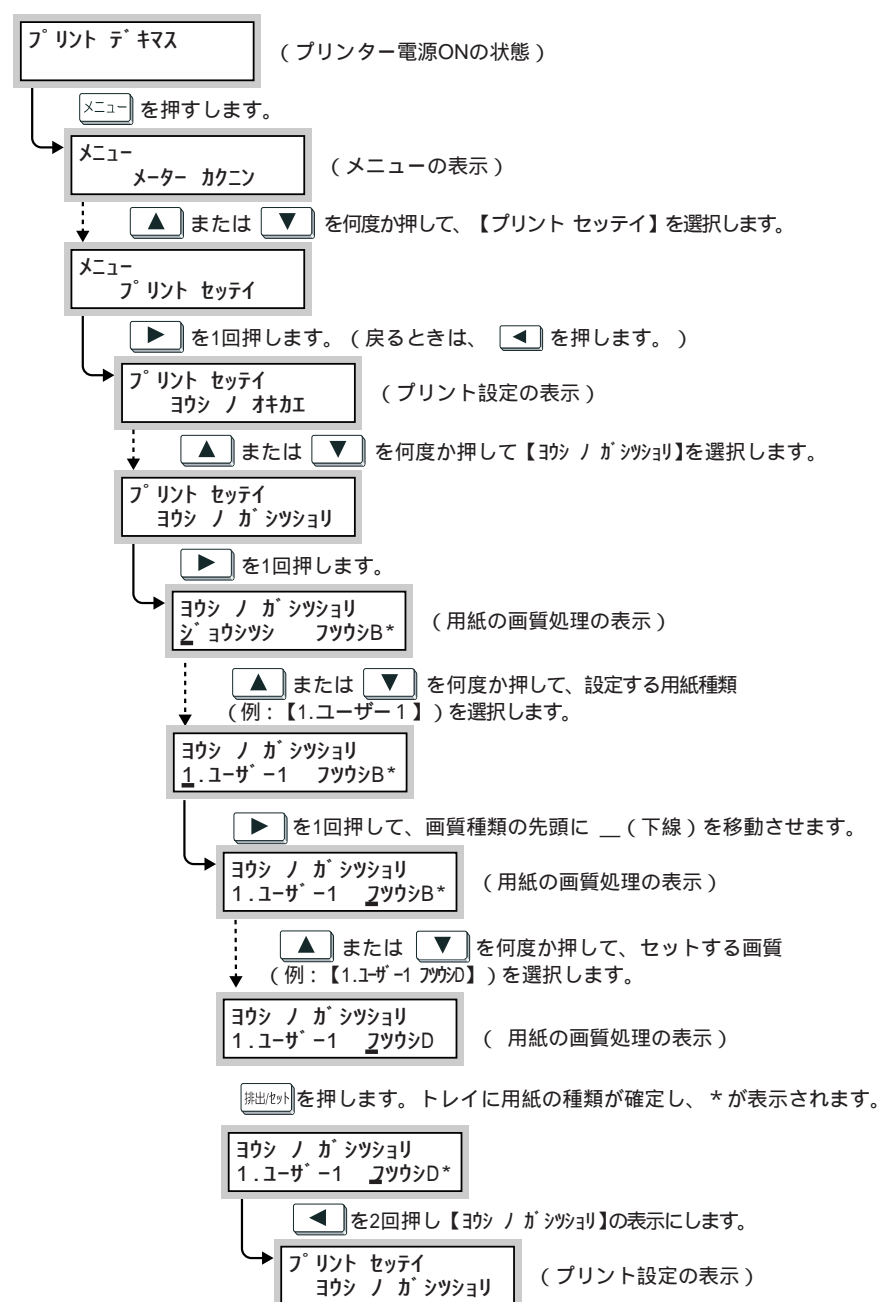
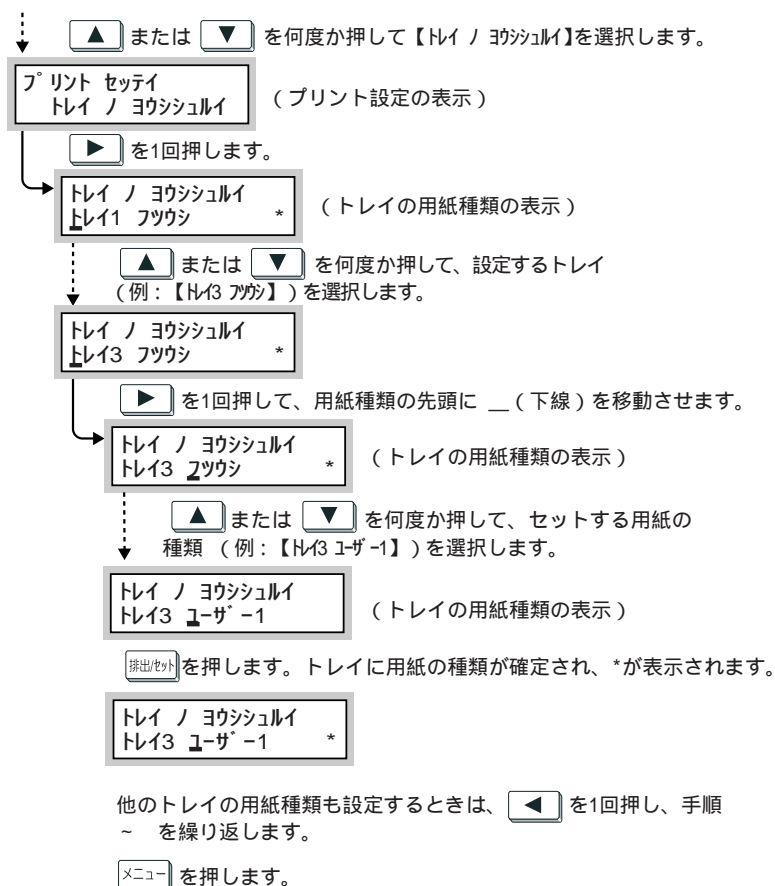
② 用紙種類の設定をする

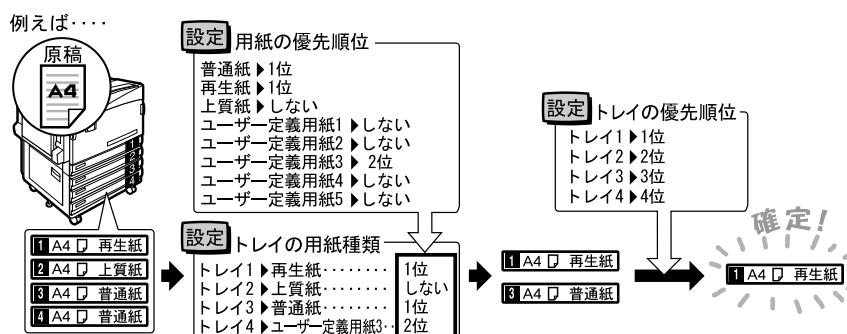
セットした用紙に適する【用紙種類】が、【ｼﾞｮｳｼﾂｼ】、【ｻｲｾｲｼ】の場合は、そのトレイの設定を以下の手順で、【ﾌﾂｳｼ】(工場出荷時の設定)から【ｼﾞｮｳｼﾂｼ】、または【ｻｲｾｲｼ】に変更してください。ここでは、用紙トレイ2にJ紙をセットする場合(【用紙種類】は【ｼﾞｮｳｼﾂｼ】)を例に、設定する手順を説明します。

■地合いの悪い用紙の設定をする

地合いの悪い用紙を使用する場合は、【画質処理】の設定を【ﾌﾂｳｼD】〜【ﾌﾂｳｼG】に変更してから、【用紙種類】の設定をします。用紙種類には【ﾕｰｻﾞ-1】〜【ﾕｰｻﾞ-4】のどれかを選んでください。ここでは、トレイ3に、【用紙種類】が【ﾕｰｻﾞ-1】、【画質処理】が【ﾌﾂｳｼD】に設定する手順を説明します。

補足

【ﾕｰｻﾞ-1】〜【ﾕｰｻﾞ-4】は、工場出荷時には、すべて【ﾌﾂｳｼB】に設定されています。

6

自動トレイ選択について

ART EXプリンタードライバーのプロパティ画面で、[トレイ/排出]タブの[用紙トレイ選択]を[自動]にして印刷を指示すると、機械は、印刷する原稿のサイズと向きから、該当する用紙トレイを選択します。これを、自動トレイ選択と呼びます。この自動トレイ選択で、該当する用紙トレイが複数ある場合は、[トレイの用紙種類]に設定している、[用紙の優先順位]が高いトレイを選択します。このとき、[用紙の優先順位]の設定を[しない]に設定しているトレイは、[自動トレイ選択]の対象にはなりません。また、[用紙の優先順位]がまったく同じ場合は、[トレイの優先順位]で決定されます。

補足

- 自動トレイ選択で該当する用紙トレイがなかったときは、用紙補給を促すメッセージが表示されます。ただし、このメッセージを出さずに、原稿サイズに近いサイズの用紙か、大きい用紙に印刷するよう設定することもできます。(用紙の置き換え機能)
- 印刷中に用紙がなくなったときは、印刷していた用紙と同じサイズで同じ向きの用紙が入ったトレイを選択して、印刷を続けます(自動トレイ切り替え機能)。このとき、[用紙の優先順位]を[しない]に設定している種類の用紙が入ったトレイには、切り替えません。

参照

- [トレイの用紙種類]、[用紙の優先順位]、[トレイの優先順位]の設定についてや、用紙の置き替え機能設定については、「8.2 共通メニューの設定を変更する」(P.228)を参照してください。また、CentreWare Internet Serviceからも同様の設定ができます。

用紙トレイ5(手差し)に用紙をセットする

用紙トレイ1〜4にセットできないサイズや種類の用紙に印刷する場合は、用紙トレイ5(手差し)を使用します。
ここでは、用紙トレイ5(手差し)への用紙のセット方法について説明します。
詳細な印刷の指示は、プリンタードライバーの[トレイ/排出]タブで指定します。
そのとき、セットする用紙の種類も指定します。指定できる用紙の種類は、次のとおりです。用紙に合わせて選択してください。

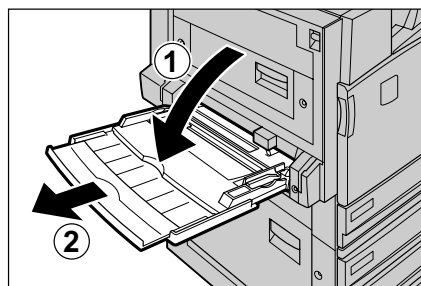
- **上質紙(64〜105g/m²)**
- **再生紙(64〜105g/m²)**
- **厚紙1(106〜169g/m²)うら面**
- **厚紙2(170〜220g/m²)うら面**
- **うす紙(55〜63g/m²)**
- **ユーザー定義用紙1〜5**
- **普通紙(64〜105g/m²)**
- **厚紙1(106〜169g/m²)**
- **厚紙2(170〜220g/m²)**
- **OHPフィルム**
- **ラベル紙**

参照

特殊用紙に印刷する場合は、「4.4 特殊用紙に印刷する」(P.80)、「4.5 はがき/封筒/長尺サイズの用紙に印刷する」(P.82)、「4.7 非定形用紙に印刷する」(P.88)を参照してください。

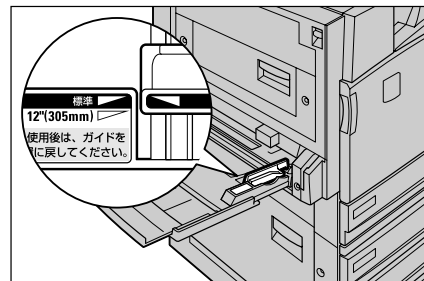
操作手順

1 用紙トレイ5(手差し)を開きます。

必要に応じて、延長トレイを引き出します。延長トレイは、2段階に引き出せます。

❷ 用紙トレイ5(手差し)の手前にある用紙ガイドの位置を確認します。

通常は、用紙ガイドを「標準」の位置にします。

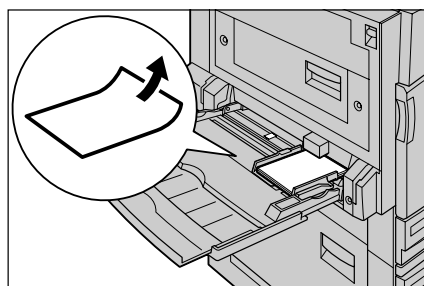
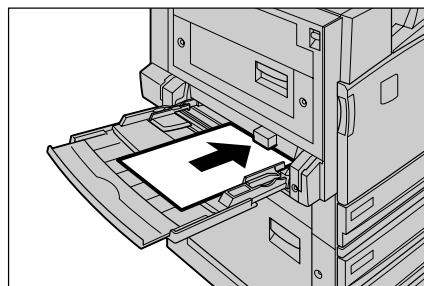
補足

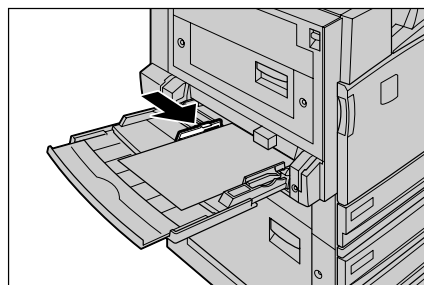
用紙ガイドが「12 ”(305㎜)」の位置にある場合は、「標準」の位置に戻してください。12×18インチのような、幅がA3(297㎜)を超える用紙に印刷する場合は、用紙ガイドを移動します。用紙ガイドの移動の仕方は、次項の「用紙ガイドの位置を移動する」(P.131)を参照してください。

❸ 印刷する面を下に向けて、用紙を手前の用紙ガイドに沿って軽く奥に突き当たるまで差し込みます。

注記

- 種類が異なる用紙を一緒にセットしないでください。紙づまりの原因となります。
- 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。
- はがきなどの厚い紙に印刷する場合で、用紙が機械に送られないときは、用紙の先端を右図のようにカールさせてからセットしてください。ただし、用紙を曲げすぎたり、折れ目をつけてしまうと、紙づまりの原因となります。

- はがき、封筒、長尺サイズの用紙をセットする場合は、各用紙によってセット方法が異なります。「4.5 はがき/封筒/長尺サイズの用紙に印刷する」(P.82)を参照してください。

補足

異なるサイズの用紙を混在してセットできません。

❹ 用紙サイズ合わせガイドを、セットする用紙サイズに合わせます。

❺ 印刷を指示します。

[トレイ/排出]タブの[用紙トレイ選択]で[トレイ5(手差し)]を選択し、[手差し用紙種類]から用紙の種類を選択してください。

日常管理 6

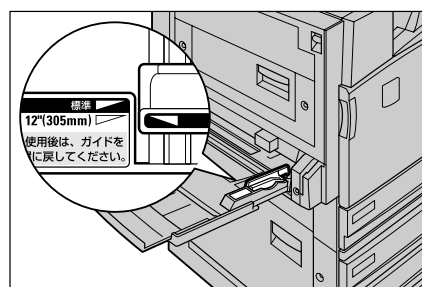
用紙ガイドの位置を移動する

12×18インチのような幅がA3(297㎜)を超える用紙に印刷するときは、用紙ガイドを「12 ”(305㎜)」に移動してください。

注記

印刷が終了したら、必ず用紙ガイドを「標準」の位置に戻してください。

操作手順

1 用紙トレイ5(手差し)の手前にある用紙ガイドを「12 ”(305㎜)」にスライドさせます。

6.1.3 用紙トレイ1～4の用紙サイズを変更する

用紙トレイ1～4の用紙サイズを変更する方法を説明します。セットできる用紙サイズは定形サイズだけです。非定形サイズの用紙に印刷したい場合は、用紙トレイ5(手差し)を使用してください。

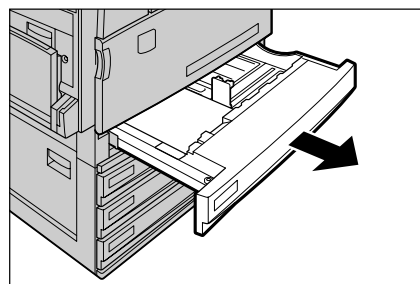
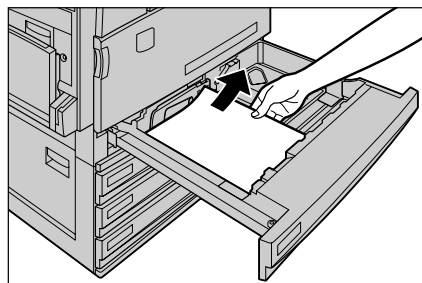
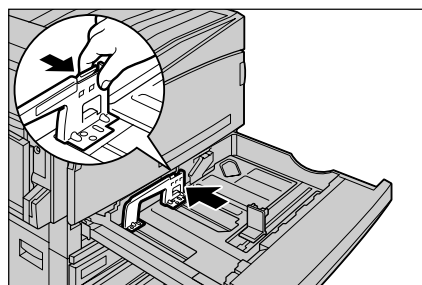
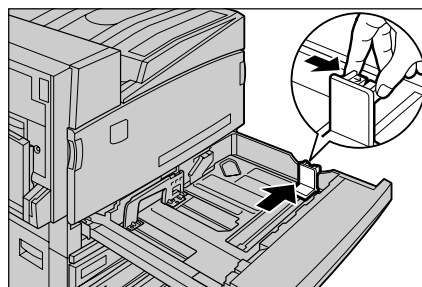
参照

- 用紙トレイ1～4には、用紙の紙質が設定されています。紙質の種類は、「普通紙」、「上質紙」、「再生紙」の3種類で、通常は、「普通紙」が設定されています。異なる紙質の用紙に変える場合は、印字品質を保つため、セットする用紙に合わせて、紙質の設定を変更してください。紙質の設定については、「8.2　共通メニューの設定を変更する」(P.228)を参照してください。
- 非定形サイズの用紙に印刷する方法は、「4.7　非定形用紙に印刷する」(P.88)を参照してください。

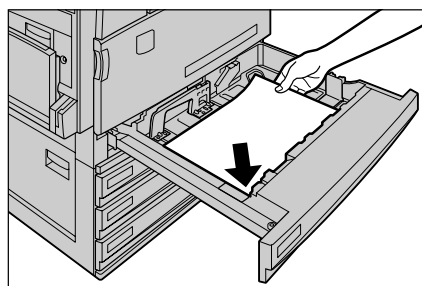
操作手順

1 用紙トレイを、手前に止まるところまで引き出します。

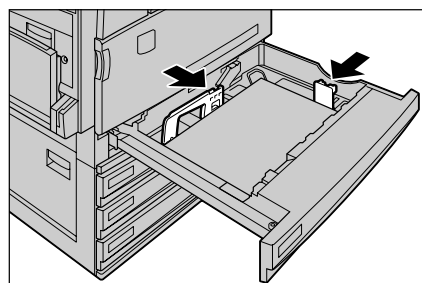
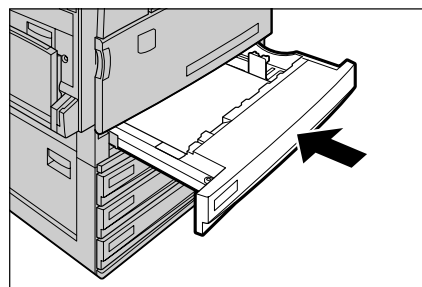
> ⚠注意
>
> **用紙トレイを引き出すときは、ゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。**

日常管理 6

❷ 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。

❸ トレイ内の奥にある、用紙ガイドレバーのクリップをつまみながら、ガイドを奥まで移動します。

❹ トレイ内の右にある、用紙ガイドレバーのクリップをつまみながら、ガイドを右側へ移動します。

❺ 印刷する面を上にして、用紙の先端を左手前にそろえてセットします。

注記

- 種類が異なる用紙を一緒にセットしないでください。紙づまりの原因となります。
- 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。

❻ 2か所の用紙ガイドレバーを、用紙に軽く当てるように合わせます。

注記

- 用紙ガイドを用紙に強く押しつけすぎると、紙づまりの原因になります。
- 用紙ガイドが、目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。目盛りのサイズに合っていないと、用紙サイズを自動で検出できないことがあります。このときは、いったん用紙ガイドをずらしてから、再度目盛りに合わせてください。

❼ 奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込みます。

❽ 用紙の種類を変更した場合は、用紙トレイに、用紙種類(普通紙、上質紙、再生紙)の設定をします。

参照

用紙の種類の設定は、「8.2　共通メニューの設定を変更する」(P.228)を参照してください。

6.2 消耗品を交換する

6.2.1 消耗品/メンテナンス品について

消耗品/メンテナンス品の種類と取り扱いについて説明します。本製品には、以下のような消耗品、およびメンテナンス品があります。本製品に適した規格で作られているので、必ず以下の消耗品/メンテナンス品を使用してください。

消耗品/メンテナンス品の種類

消耗品/メンテナンス品の種類	商品コード	形態
トナーカートリッジ[K]	CT200090	1個/1箱
トナーカートリッジ[C]	CT200091	1個/1箱
トナーカートリッジ[M]	CT200092	1個/1箱
トナーカートリッジ[Y]	CT200093	1個/1箱
ドラムカートリッジ[A1][A2][A3][A4]	CT350048	1個/1箱
トナー回収ボトル[B]	CWAA0361	1個/1箱
フューザーカートリッジ[E]	CWAA0360	1個/1箱
POP薬袋用フューザーカートリッジ[E]	CWAA0498	1個/1箱

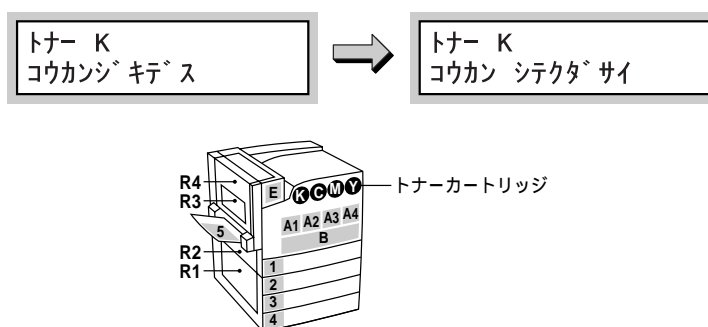
補足

トナーカートリッジは、予備を置いておくことをお勧めします。

消耗品/メンテナンス品の取り扱いについて

- 消耗品/メンテナンス品の箱は、立てた状態で保管しないでください。
- 消耗品/メンテナンス品は、使用するまでは開封せずに、次のような場所を避けて保管してください。
  - ・高温多湿の場所
  - ・火気がある場所
  - ・直射日光が当たる場所
  - ・ほこりが多い場所
- 消耗品/メンテナンス品は、消耗品/メンテナンス品の箱や容器に記載された取り扱い上の注意をよく読んでから使用してください。
- 消耗品/メンテナンス品は、予備を置くことをお勧めします。
- 消耗品/メンテナンス品を発注するときは、商品コードを確認のうえ、弊社の商品センターまたは販売店にご注文ください。

6.2.2 トナーカートリッジを交換する

本機には、ブラック(K)、シアン(C)、マゼンタ(M)、イエロー(Y)の4色のトナーカートリッジがセットされています。各カートリッジにはそれぞれの色のトナー(画像形成剤)が入っており、トナーは印刷するたびに少しずつ減少します。
トナーカートリッジの交換時期になると、ディスプレイに以下のようなメッセージが表示されます。操作パネルの左にある表示部で、該当するトナーカートリッジの位置を確認し、メッセージの色のトナーカートリッジを交換してください。

補足

ディスプレイには、トナーカートリッジの色は、K、C、M、Yと表示されます。Kはブラック、Cはシアン、Mはマゼンタ、Yはイエローです。

交換せずに印刷し続けると、メッセージ表示後、最大250ページの印刷で機械は停止し、印刷できなくなります。印刷ページ数は、印刷する原稿の内容によって異なります。

> ⚠警告
> **トナーカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。**

注記

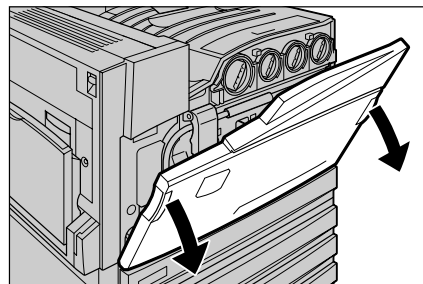
- 使用済みのトナーカートリッジは、処理が必要になるので、弊社または販売店にお渡しください。

キ トナー残量が少なくなってきている場合、【コウカンジキデス】とメッセージが表示されないまま、印刷中に機械が停止して【トナーヲコウカンシテクダサイ】と表示されることがあります。その場合は、表示されている色のトナーカートリッジを交換すると、印刷は継続されます。トナーカートリッジを交換するときは、プリンターの電源を入れたまま行ってください。電源を切ると、プリンター内に残っている印刷データや、プリンターのメモリー上に蓄えられた情報が消去されます。

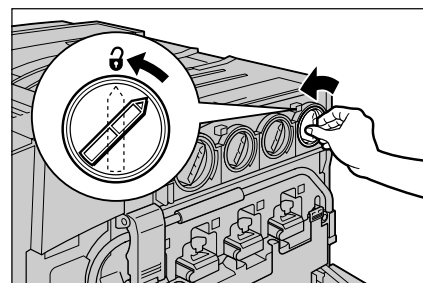
補足

- トナーカートリッジを交換するとき、トナーがこぼれて床面などを汚すことがあります。あらかじめ床に紙などを敷いて作業することをお勧めします。
- 印刷ページ数は、A4▯の用紙を使用し、像密度5%(各色)で印刷した場合のページ数です。印刷ページ数は、印刷内容や用紙のサイズ、種類、使用環境などによって異なりますので、あくまで目安としてお考えください。

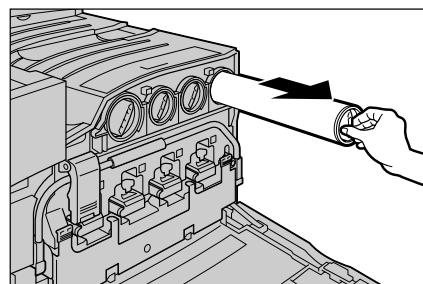
操作手順

❶ 機械が停止していることを確認し、フロントカバーを開けます。

❷ メッセージに表示されている色のトナーカートリッジを、鍵印（開）の位置まで左方向に回します。

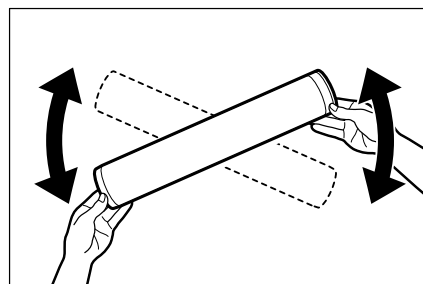
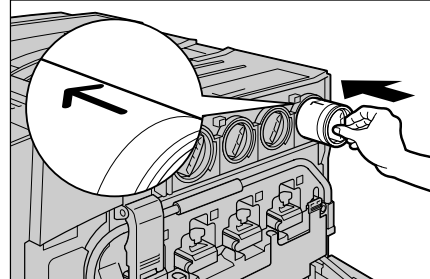
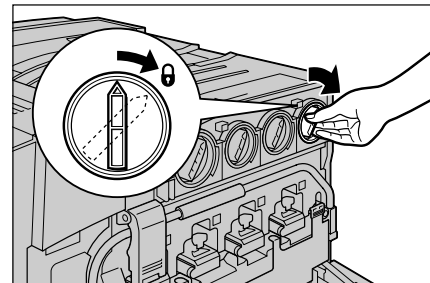
補足

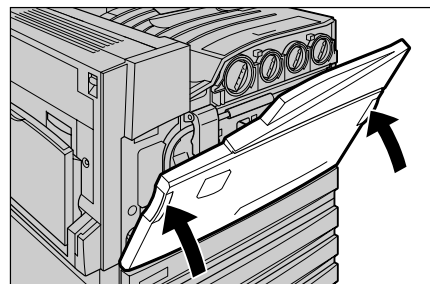
Kはブラック、Cはシアン、Mはマゼンタ、Yはイエローです。

❸ トナーカートリッジを手前に静かに引いて、取り出します。

⚠警告

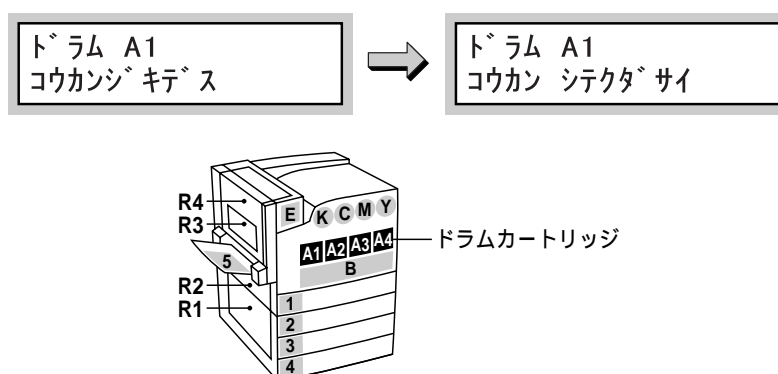
トナーカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

注記

- トナーカートリッジはゆっくり引き出してください。トナーが飛び散ることがあります。
- 使用済みのトナーカートリッジは、弊社または販売店にお渡しください。

❹ 取り出したトナーカートリッジと同じ色の新しいトナーカートリッジを用意し、図のように、軽く3、4回上下左右によく振ります。

❺ **トナーカートリッジの矢印（↑）部を上に向けて、奥に突き当たるまで差し込みます。**

❻ **トナーカートリッジを、鍵印（閉）まで右方向に回します。**

❼ **フロントカバーを閉じます。**

ディスプレイに【オマチクダサイ】と表示され、約2分後、【プリントデキマス】とメッセージが表示されます。

6.2.3 ドラムカートリッジ[A1][A2][A3][A4]を交換する

本機には、4本のドラムカートリッジがセットされています。ドラムカートリッジは、印刷画像を形成するための感光体ユニットです。このドラムカートリッジの交換時期になると、ディスプレイに以下のようなメッセージが表示されます。操作パネルの左にある表示部で、該当するドラムカートリッジの位置([A1]、[A2]、[A3]、[A4])を確認してから、交換してください。

ﾄﾞﾗﾑ A1 ｺｳｶﾝｼﾞｷﾃﾞｽ	⇒	ﾄﾞﾗﾑ A1 ｺｳｶﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ

【コウカンジキデス】のメッセージが表示されたら、ドラムカートリッジを交換してください。交換しないで使い続けると、メッセージ表示後、約1,500ページで機械が停止し、印刷できなくなります。印刷ページ数は、印刷する原稿の内容によって異なります。

> ⚠注意
> **ドラムカートリッジを絶対に加熱したり、表面をはがしたりしないでください。健康を害する原因となるおそれがあります。**

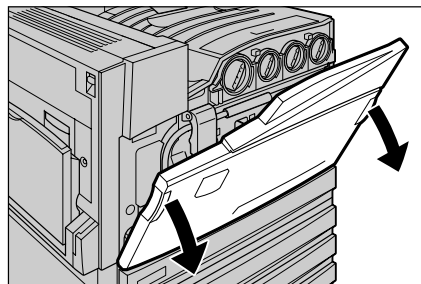
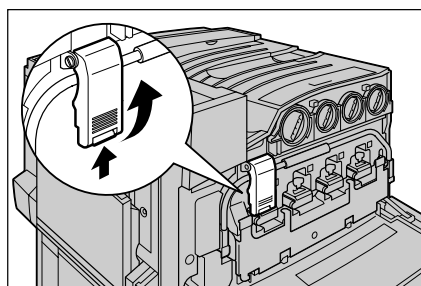
注記

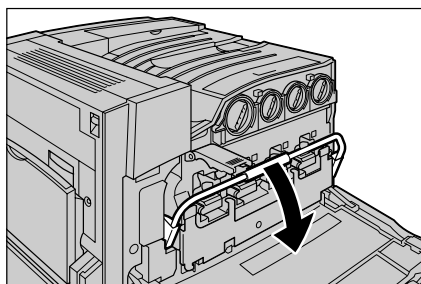
- ドラムカートリッジを、直射日光や室内蛍光灯の強い光に当てないでください。
- ドラムの表面に触れたり、傷を付けたりしないでください。きれいな印刷ができなくなることがあります。
- 使用済みのドラムカートリッジは、処理が必要になるので、弊社または販売店にお渡しください。
- ドラムカートリッジを交換するときは、プリンターの電源を入れたまま行ってください。電源を切ると、プリンター内に残っている印刷データや、プリンターのメモリー上に蓄えられた情報が消去されます。

補足

印刷ページ数は、A4の用紙を使用し、像密度5%(各色)で印刷した場合のページ数です。印刷ページ数は、印刷内容や用紙のサイズ、種類、使用環境などによって異なりますので、あくまで目安としてお考えください。

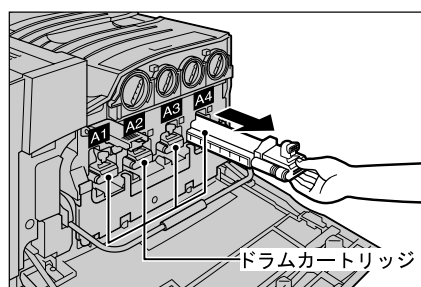
操作手順

❶ **機械が停止していることを確認し、フロントカバーを開けます。**

❷ **正面左側にあるストッパーの下部を上に押しながら、持ち上げます。**

❸ **ハンドルを下ろします。**

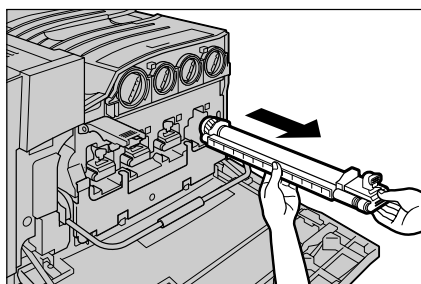
ドラムカートリッジのロックが解除され、4本のドラムカートリッジが持ち上がります。

❹ **メッセージに表示されている、ドラムカートリッジ(A1、A2、A3、A4)の取っ手をつかみ、静かに引き出します。**

ここでは、A4を例に説明します。

注記

ドラムカートリッジを引き出すとき、床に落とさないように注意してください。

❺ **図のように、左手を添えて、ドラムカートリッジを引き抜きます。**

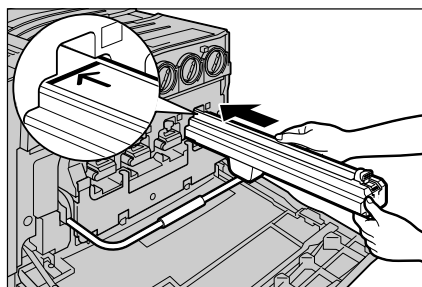
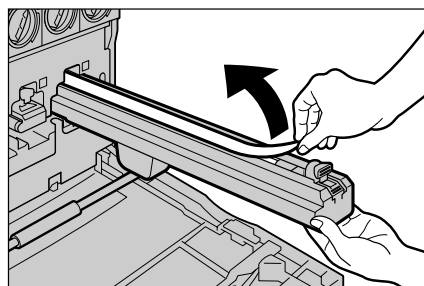
注記

ドラムカートリッジに付着したトナーに触れないように注意してください。

❻ 新しいドラムカートリッジを箱から取り出し、同梱されているポリ袋に使用済みドラムカートリッジを入れて、その箱にしまいます。

注記

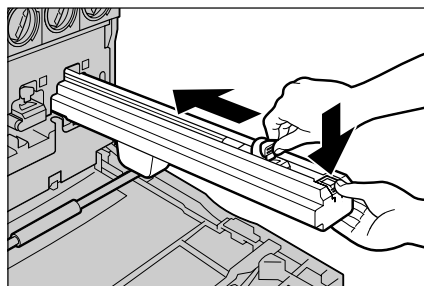
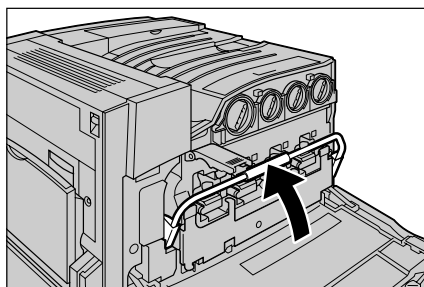
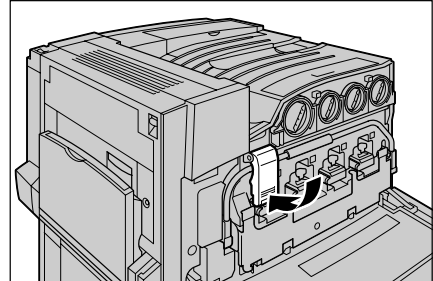
- ドラムカートリッジを立てた状態で置かないでください。
- 使用済みのドラムカートリッジは、弊社または販売店にお渡しください。

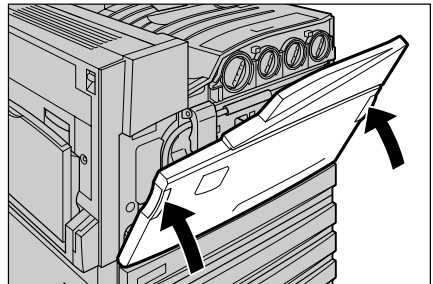
❼ 新しいドラムカートリッジ(保護カバー付き)を、ハンドルの上に載せて、先端を機械の中に差し込みます。

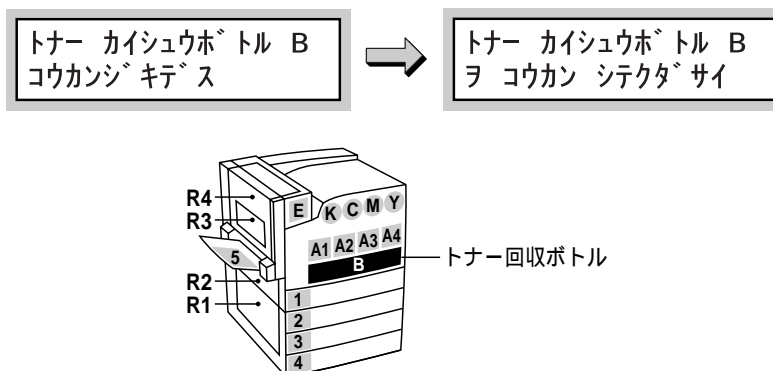
右図のように、矢印のところまで差し込んでください。

❽ 先端を差し込んだ状態で、上面のシールをはがします。

❾ 上部のオレンジ色のつまみを持ち、前方にスライドさせて、ドラムカートリッジが、奥に突き当たるまで押し込みます。

保護カバーは、そのまま空箱に入れてください。

❿ ハンドルを上に戻します。

日常管理 6

⑪ **ハンドルのストッパーを下ろして、ロックします。**

⑫ **フロントカバーを閉じます。**

【プリントデキマス】とメッセージが表示されます。

6.2.4 トナー回収ボトル[B]を交換する

印刷後のドラムに残ったトナーは、集められてトナー回収ボトルにたまります。トナー回収ボトルがトナーでいっぱいになると、ディスプレイに以下のようなメッセージが表示されます。操作パネルの左にある表示部で、トナー回収ボトルの位置を確認して、交換してください。

【コウカンジキデス】のメッセージが表示されたら、新しい回収ボトルと交換してください。交換せずに印刷し続けると、メッセージ表示後、約900ページの印刷で機械は停止します。印刷ページ数は、印刷する原稿の内容によって異なります。
また、トナー回収ボトルを交換するときは、回収ボトルが入った箱に同梱されている清掃棒を使用して、回収ボトルの奥にある、レーザースキャナー部(D1、D2、D3、D4)を清掃してください。

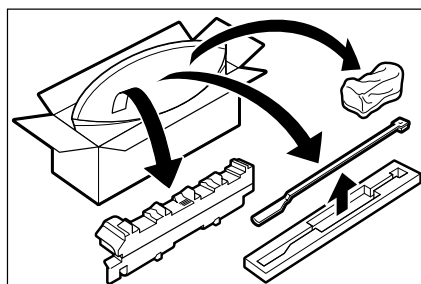
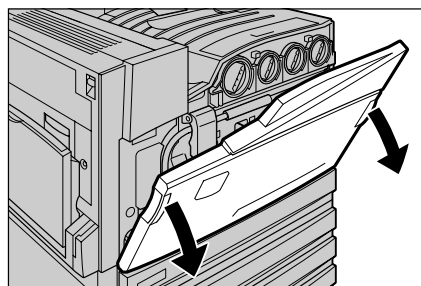
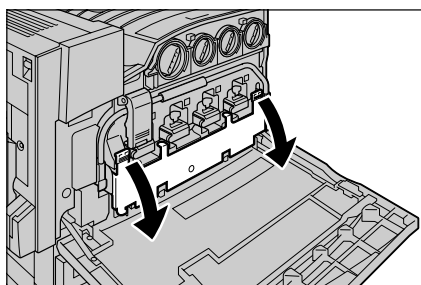
⚠警告
トナー、トナー回収ボトル、または、トナーの入った容器を絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

注記
- 使用済みのトナー回収ボトルは、処理が必要になるので、弊社または販売店にお渡しください。
- トナー回収ボトルを交換するときは、プリンターの電源を入れたまま行ってください。電源を切ると、プリンター内に残っている印刷データや、プリンターのメモリー上に蓄えられた情報が消去されます。

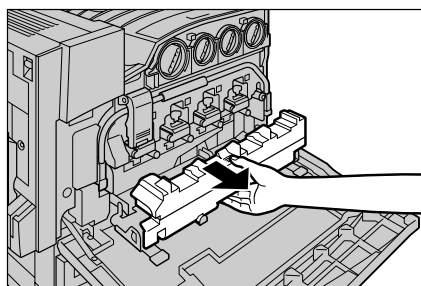
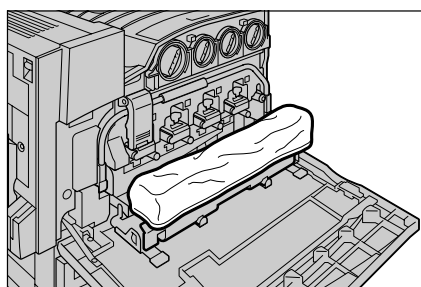
補足
- トナー回収ボトルを交換するとき、回収されたトナーがこぼれて床面を汚すことがあります。あらかじめ床に紙などを敷いて作業することをお勧めします。
- 印刷ページ数は、A4□の用紙を使用し、像密度5%(各色)で印刷した場合のページ数です。印刷ページ数は、印刷内容や用紙のサイズ、種類、使用環境などによって異なりますので、あくまで目安としてお考えください。

操作手順

❶ 新しいトナー回収ボトルを準備します。

箱から新しいボトル、オレンジ色のビニールキャップ、清掃棒を取り出しておきます。

❷ 機械が停止していることを確認し、フロントカバーを開けます。

❸ 本体正面(B)の黒いボトルのカバーを、オレンジ色の左右のつまみを持って、下に開けます。

❹ トナー回収ボトルの中央部分を持ち、止まる位置まで手前に引き出します。

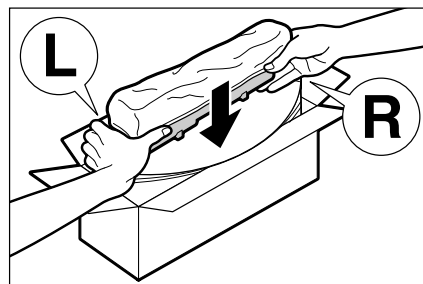
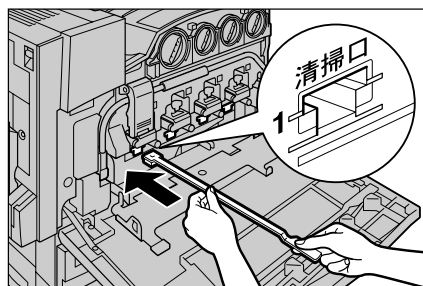
補足

トナー回収ボトルは、開いた黒いカバーの上に、いったん置いてください。このとき、トナー回収ボトルを傾けると、トナーがこぼれますので注意してください。

❺ トナーがこぼれないように、付属のオレンジ色のビニールキャップを上からかぶせます。

❻ 使用済みのトナー回収ボトルは、両手でしっかり持って、空箱に収納します。

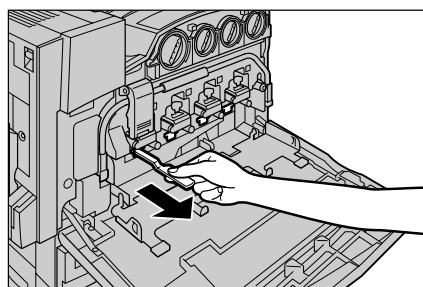
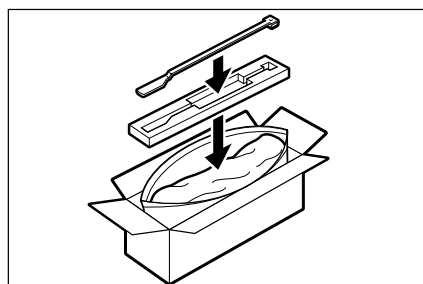
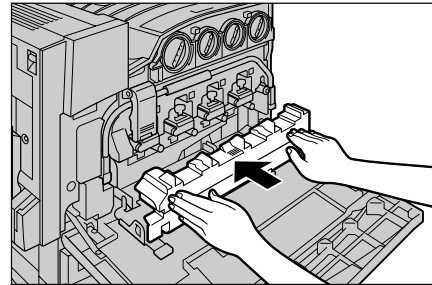
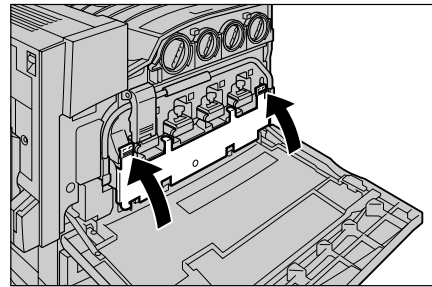
補足

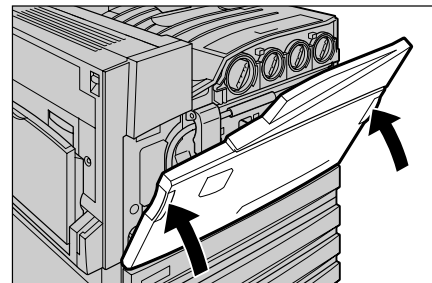
空箱の[L]が左手側、[R]が右手側です。反対にすると収納できません。

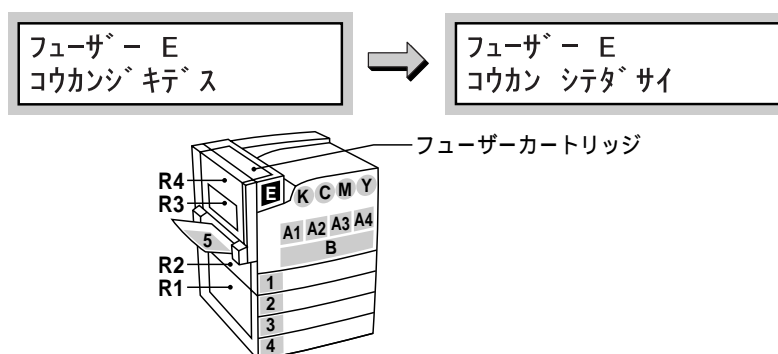
> ⚠警告
>
> **トナー、トナー回収ボトル、またはトナーの入った容器を絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。**

使用済みのトナー回収ボトルは、弊社または販売店にお渡しください。

❼ 付属の清掃棒を取り出します。
Dの1〜4の清掃口(四角い穴)に、清掃棒のパッド部を下に向けて、ゆっくりと差し込みます。

❽ 清掃棒が奥に突き当たったら、手前にゆっくり引き戻します。
4か所を、すべて1度ずつ清掃してください。

補足

パッドに付く汚れは、ほとんど見えません。

❾ 使用済みの清掃棒を、使用済みのトナー回収ボトルと一緒に収納します。

⑩ 新しいトナー回収ボトルの中央部を持ち、中央の位置を合わせ、奥に押し込みます。

⑪ 左右のオレンジ色のつまみを持って、黒いボトルのカバーを閉じます。

⑫ フロントカバーを閉じます。

【プリントデキマス】とメッセージが表示されます。

6.2.5 フューザーカートリッジ[E]を交換する(メンテナンス品)

フューザーカートリッジ(定着部)の交換時期になると、ディスプレイに以下のようなメッセージが表示されます。操作パネルの左にある表示部で、フューザーカートリッジの位置を確認して、交換してください。
フューザーカートリッジを交換するときは、必ず電源スイッチを切って、約20分放置してから作業してください。

> ⚠注意
> **フューザーカートリッジを取り出すときには、必ず電源スイッチを切って、20分後にフューザーカートリッジを取り出してください。**

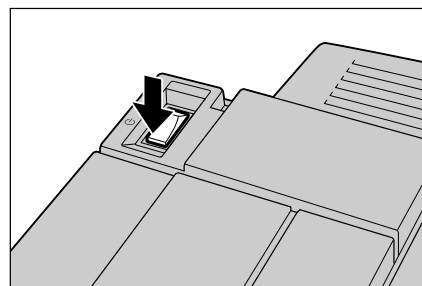
注記

- 使用済みのフューザーカートリッジは、弊社または販売店にお渡しください。
- 電源を切ると、プリンター内に残っている印刷データや、プリンターのメモリー上に蓄えられた情報が消去されます。電源を切る前に、ディスプレイに【プリントデキマス】が表示されていることを確認してから、フューザーカートリッジを交換してください。

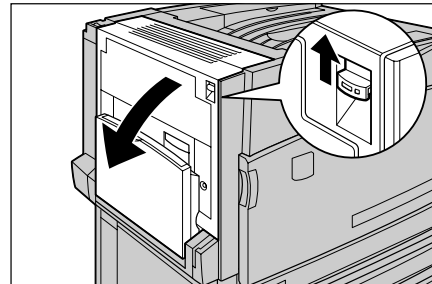
操作手順

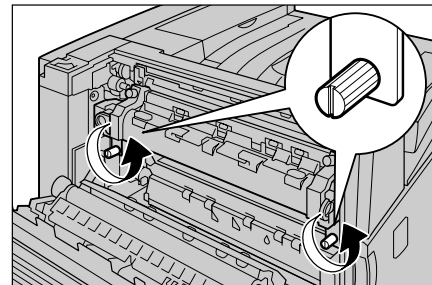
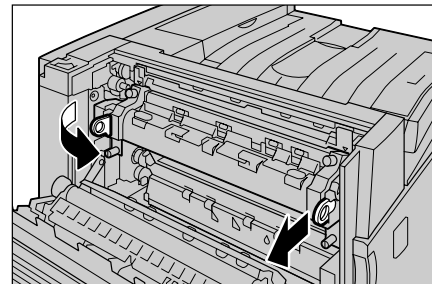
❶ 本体上面の左奥にある、電源スイッチを切り、放置します。

注記

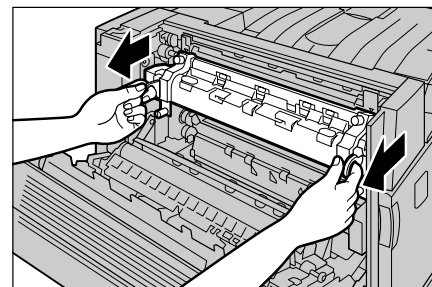
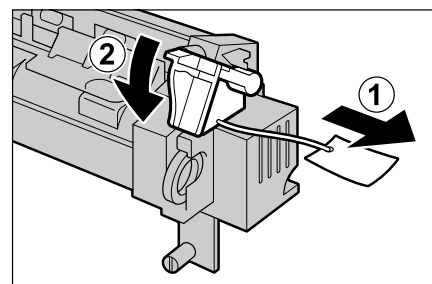
約20分放置し、定着部が十分冷えるまで待ってください。

❷ 左側カバーの解除レバーを押し上げて、左側カバーを開きます。

注記

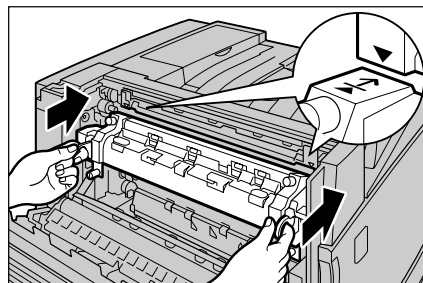
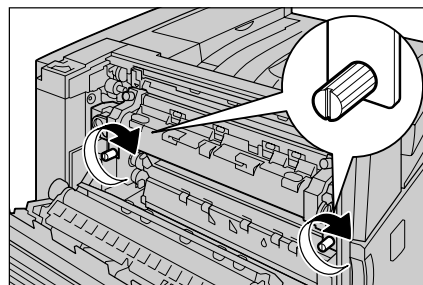
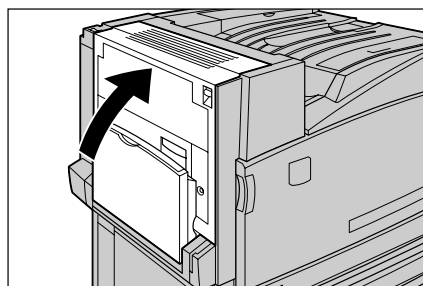
定着部が十分に冷えていることを確認してください。

❸ 左右のオレンジ色のネジを空回りするまで緩めます。

ネジは取り外せません。

❹ 左右のオレンジ色の取っ手を持ち、フューザーカートリッジを手前に引き出します。

❺ フューザーカートリッジを、ゆっくりと引き出します。

注記

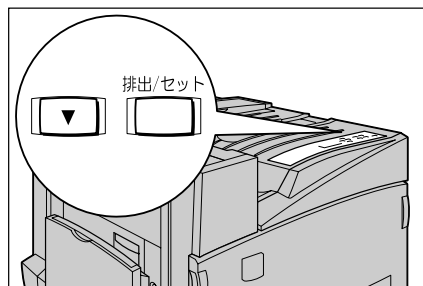
フューザーカートリッジは、重いので、ゆっくりと引き出してください。

❻ 新しいフューザーカートリッジの緩衝材を取り除きます。

❼ **フューザーカートリッジを、水平にして押し込みます。**

補足

フューザーカートリッジが水平に入ると、フューザーカートリッジの両端の矢印(↑)と、機械の▼の位置が合います。

❽ **左右のオレンジ色のネジを回して締めます。**

❾ **左側カバーを閉じます。**

❿ **電源をスイッチを入れます。**

【コウカンジキデス】、または【コウカンシテクダサイ】のメッセージが表示されます。

⓫ **操作パネルの▼と排出/セットを同時に押します。**

【コンカンシマシタカ？ Y/N】とメッセージが表示されます。

⓬ **◀で[Y]を選択し、排出/セットを押します。**

リセットされて【プリントデキマス】とメッセージが表示されます。

6.3 レポート/リストを印刷する

ここでは、レポート/リストの種類と印刷方法について説明します。

補足

レポート/リストの印刷結果例は、DocuPrint C2220を例に記載しています。

6.3.1 レポート/リストの種類

本機には、クライアントからの印刷データを印刷するほかに、次のレポート/リストを印刷する機能があります。

- **機能設定リスト**
- **エラー履歴レポート**
- **ジョブ履歴レポート**
- **プリンター出力集計レポート**
- **フォントリスト**
- **蓄積文書リスト**
- **ART EXフォーム登録リスト**

以下は、オプションを装着したときに、印刷できるレポート/リストです。

＜PostScript®ソフトウエアキット装着時＞

- **PostScript®フォントリスト**
- **PostScript®論理プリンター登録リスト**

＜ART IV/エミュレーションキット装着時＞

- **ART IV,ESC/Pユーザー定義リスト**
- **ESC/P設定リスト**
- **HP-GL/2®設定リスト**
- **HP-GL/2®論理プリンター･メモリー登録リスト**
- **HP-GL/2®パレットリスト**

参照

- レポートやリストの印刷は、操作パネルから指示します。操作方法については、「6.3.2 レポート/リストを印刷する」(P.166)を参照してください。
- 「ART IV,ESC/Pユーザー定義リスト」「ESC/P設定リスト」「HP-GL/2®設定リスト」「HP-GL/2®論理プリンター･メモリー登録リスト」「HP-GL/2®パレットリスト」については、オプションの『ART IV/エミュレーションキット取扱説明書』を参照してください。

機能設定リスト

機能設定リストについて説明します。

補足

本機の設定によっては、表示されない項目があります。

■機能設定リストとは

本機のハードウェア構成やネットワーク情報など、各種の設定状態が印刷されます。詳細な項目と、印刷結果を以下に説明します。

■印刷結果について

システム設定

機械情報	製品名、機械のシリアル番号、機種コードが印刷されます。
ROM	装着されているROMと、そのバージョンが印刷されます。PostScript®ソフトウェアキットやART IV/エミュレーションキットを装着している場合は、[標準+×××ROM](×××はオプションの名称)と印刷されます。
搭載オプション	内蔵増設ハードディスク装置や用紙トレイ、オフセット排出トレイや両面印刷ユニット、PostScript®またはエミュレーションなど、装着されているオプションが印刷されます。
メンテナンス	ジョブ履歴レポート自動プリント、異常警告音、節電モード、ポーズ自動解除、プリント可能領域の設定状況が印刷されます。また、両面印刷機能付きの場合は、レポート/リストの両面プリントの設定状況も印刷されます。

プリント設定

全体	プリントページ数、ページ記述言語、搭載フォントの状況が印刷されます。プリントページ数には、現在までに印刷したカラーと白黒の印刷ページ数と総ページ数が印刷されます。ページ記述言語には、使用できるプリント言語が印刷されます。搭載フォントには、現在搭載されているフォントの種類と書体数が印刷されます。
メモリー	メモリーの総容量と、プリントページバッファ、各ポートの受信バッファメモリーの設定値が印刷されます。オプションのPostScript®ソフトウェアキットや、ART IV/エミュレーションキットを装着している場合は、その使用メモリーも印刷されます。
給紙設定	用紙トレイにセットされている用紙のサイズと向き、用紙トレイに設定されている用紙の種類、用紙トレイの優先順位の設定が印刷されます。
排紙設定	用紙置き換えの設定と、オフセットの排出方法の設定が印刷されます。
用紙設定	ユーザー定義の用紙の名称と、用紙種類の優先順位、用紙種類別の画質種類の設定状況が印刷されます。

■コミュニケーション設定

各ポートが起動しているか、停止しているかが印刷されます。起動しているときは、次の項目と設定値が印刷されます。

Ethernet設定	接続タイプと、MACアドレスが印刷されます。
TCP/IP	IPアドレスの取得方法、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、ステータス情報が印刷されます。
IPX/SPX	IPX/SPXの動作フレームタイプが印刷されます。
WINS	DHCPからのアドレスの取得の設定、プライマリーWINSサーバー、プライマリーWINSサーバーの設定が印刷されます。
SNMP	ポート状態と、トランスポートプロトコルが印刷されます。
CentreWare Internet Service	ポート状態が印刷されます。
パラレル	ポート状態、プリントモード指定、JCL、Adobe通信プロトコル、自動排出時間、双方向通信、インプットプライムの設定が印刷されます。
NetWare	ポート状態、プリントモード指定、JCL、トランスポートプロトコル、TBCPフィルター、動作モード、装置名、ネットワークアドレス、ツリー名(ディレクトリーモード時のみ)、コンテキスト名(ディレクトリーモード時のみ)、ファイルサーバー名(バインダリーモード時のみ)、通知言語、キュー探索間隔、検索回数、ステータス情報が印刷されます。
LPD	ポート状態、プリントモード指定、JCL、TBCPフィルター、受付IPアドレス制限、コネクションタイムアウト、ポート番号が印刷されます。
SMB	ポート状態、プリントモード指定、JCL、トランスポートプロトコル、TBCPフィルター、ワークグループ名、ホスト名、自動ドライバロード、自動マスターモード、パスワード暗号化、最大セッション数、Unicodeサポート、管理者名、ステータス情報が印刷されます。
EtherTalk	ポート状態、プリントモード指定、JCL、プリンター名、EtherTalkゾーンが印刷されます。
Port9100	ポート状態が印刷されます。
IPP	ポート状態、プリントモード指定、JCL、TBCPフィルター、アクセス権制御、DNS使用、ポート番号、追加ポート番号、タイムアウトが印刷されます。

補足

パラレルの「Adobe通信プロトコル」、NetWare、LPD、SMB、IPPの「TBCPフィルター」と、EtherTalk、Port9100の項目は、オプションのPostScript®ソフトウェアキットが装着されている場合に印刷されます。

■印刷結果例

DocuPrint C2220
機能設定リスト

トランスポートフロトコル

CentreWare Internet Services
ポート起動

パラレル
ポート起動
プリントモード指定
JCL
自動排出時間
双方向通信
インプットプライム

NetWare
ポート起動
プリントモード指定
JCL
トランスポートプロトコル
動作モード
装置名
ネットワークアドレス
ツリー名
コンテキスト名
通知言語
キュー探索間隔
検索回数
アクティブディスカバリー
ステータス情報

LPD
ポート起動
プリントモード指定
JCL
受付IPアドレス制限
コネクションタイムアウト
ポート番号

SMB
ポート起動
プリントモード指定
JCL
トランスポートプロトコル
ワークグループ名
ホスト名
自動ドライバーロード
自動マスターモード
パスワード暗号化
最大セッション数
Unicodeサポート
管理者名
ステータス情報

IPP
ポート起動
プリントモード指定
JCL
アクセス権制御
DNS使用

DocuPrint C2220
機能設定リスト

日時 : XXXX/XX/XX　XX:XX
ページ : 1

システム設定

項目	設定値
機械情報	
製品名	DocuPrint C2220
シリアル番号	XXXXXX
機種コード	NCXXXXXX
ROM	
標準ROM	Ver XX.XX.XX
出力装置ROM	Ver X.X.X
搭載オプション	
内蔵ハードディスク	
総容量	XXXX.XXMB
ユーザー領域	XXXX.XXMB
親展ボックス	XXXX.XXMB
3トレイユニット(大容量)	
オフセット排出トレイ	
両面ユニット	
メンテナンス	
ジョブ履歴レポート自動プリント	しない
レポートの両面プリント	片面
異常警告音	鳴らさない
節電モード	無効
ポーズ自動解除	しない
プリント可能領域	標準

プリント設定

項目	設定値
全体	
プリントページ数	
カラー	XXページ
白黒	XXページ
総ページ数	XXXページ
ページ記述言語(PDL)	ART EX Ver X.X
搭載フォント	TrueType和文 2書体
	TrueType欧文 15書体
メモリー	
総容量	XXX.XXMB
プリントページバッファ	XXX.XXMB
受信バッファ	
パラレル	XXKB
NetWare	XXXKB
LPD	ハードディスクスプール
SMB	ハードディスクスプール
IPP	ハードディスクスプール
給紙設定	
トレイの用紙、向き	
トレイ1	A4、たて置き
トレイ2	A3、よこ置き
トレイ3	A4、たて置き
トレイ4	A4、たて置き
トレイの用紙種類	
トレイ1	普通紙
トレイ2	普通紙
トレイ3	普通紙
トレイ4	普通紙
トレイ5(手差し)	普通紙
用紙トレイの優先順位	
トレイ1	1番目
トレイ2	2番目
トレイ3	3番目
トレイ4	4番目
排紙設定	
用紙の置き換え	用紙補給を表示
オフセット排出(センタートレイ)	セット単位
用紙設定	
用紙名称設定	
ユーザー定義用紙種類1	"ユーザ-1　"
ユーザー定義用紙種類2	"ユーザ-2　"
ユーザー定義用紙種類3	"ユーザ-3　"
ユーザー定義用紙種類4	"ユーザ-4　"
ユーザー定義用紙種類5	"ユーザ-5　"
用紙種類の優先順位	
上質紙	3番目
普通紙	1番目
再生紙	2番目
ユーザー定義用紙種類1	自動選択しない
ユーザー定義用紙種類2	自動選択しない
ユーザー定義用紙種類3	自動選択しない
ユーザー定義用紙種類4	自動選択しない
ユーザー定義用紙種類5	自動選択しない
用紙種類別画質処理	
上質紙	B
普通紙	B
再生紙	C
ユーザー定義用紙種類1	B
ユーザー定義用紙種類2	B
ユーザー定義用紙種類3	B
ユーザー定義用紙種類4	B
ユーザー定義用紙種類5	B

コミュニケーション設定

項目	設定値
Ethernet設定	
接続タイプ	自動(10BASE-T/100BASE-TX)
MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
TCP/IP	
IPアドレス取得方法	手動で設定
IPアドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
サブネットマスク	XXX.XXX.XXX.XXX
ゲートウェイアドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
ステータス情報	正常
IPX/SPX	
フレームタイプ	自動
WINS	
DHCPからのアドレス取得	しない
SNMP	
ポート起動	起動

日常管理
6

エラー履歴レポート

エラー履歴レポートについて説明します。

■エラー履歴レポートとは

本機に発生したエラーに関する情報が印刷されます。

■印刷結果について

エラー履歴レポートには、最新の50件までのエラーについて、日付、時刻、エラーコード、エラー分類が印刷されています。

■印刷結果例

DocuPrint C2220
エラー履歴レポート

日時 : 2000/11/09　13:40

日付	時刻	エラーコード	エラー分類
2000/11/06	14:01:11	007-105	Tray 1 Feed out Sensor On Jam
2000/11/06	14:06:00	007-105	Tray 1 Feed out Sensor On Jam
2000/11/06	14:12:05	007-105	Tray 1 Feed out Sensor On Jam
2000/11/06	15:08:43	007-291	TTM 3 Lift Up Fail
2000/11/06	15:14:05	008-175	Regi Sensor On Jam (Tray 5 = SMH)
2000/11/06	15:19:22	010-125	Wait Sensor On Jam
2000/11/06	15:21:37	010-125	Wait Sensor On Jam
2000/11/06	15:28:37	010-125	Wait Sensor On Jam
2000/11/06	16:51:42	010-125	Wait Sensor On Jam
2000/11/07	10:53:34	010-125	Wait Sensor On Jam
2000/11/07	13:58:39	008-176	Regi Sensor On Jam (Tray)

日常管理
6

ジョブ履歴レポート

ジョブ履歴レポートについて説明します。

■ジョブ履歴レポートとは

クライアントから送られた印刷データが、正しく印刷されたか、実行結果を印刷します。ジョブ履歴レポートには、最新の50件までの印刷ジョブが印刷されます。このジョブ履歴レポートは、50件を超えるごとに自動的に印刷させるかどうかを、操作パネルで設定できます。

■印刷結果について

ジョブ履歴レポートには、最新の50件までの印刷ジョブについて、以下の項目を印刷します。
日付、完了時刻、データ送信元、ユーザー/ホスト名、カラーモード、用紙サイズ、用紙種類、ページ数、枚数、印字指定、ジョブ処理状態が印刷されます。

■印刷結果例

DocuPrint C2220
ジョブ履歴レポート

日時 : 2000/11/17 13:57
ページ : 1

プリントジョブ履歴

日付	完了時刻	データ送信元	ユーザー/ホスト名	カラーモード	用紙サイズ	用紙種類	ページ数	枚数	印字指定	ジョブ処理状態
2000/11/09	17:01:57		LocalUser	白黒	A4	普通紙	1	1	1up/片面	正常終了
2000/11/09	18:07:32		LocalUser	白黒	A4	普通紙	2	2	1up/片面	正常終了
2000/11/09	18:33:50	LPD	kurobe	白黒	A4	普通紙	1	1	1up/片面	正常終了
2000/11/09	20:50:46		LocalUser	白黒	A4	普通紙	2	2	1up/片面	正常終了
2000/11/09	20:54:40		LocalUser	白黒	A4	普通紙	2	2	1up/片面	正常終了
2000/11/09	20:55:37		LocalUser	白黒	A4	普通紙	2	1	1up/両面	正常終了
2000/11/09	20:56:39		LocalUser	白黒	A4	普通紙	2	1	1up/両面	正常終了
2000/11/09	21:08:51		LocalUser	白黒	A4	普通紙	2	2	1up/片面	正常終了
2000/11/10	14:57:36		LocalUser	白黒	A4	普通紙	2	2	1up/片面	正常終了
2000/11/13	13:16:29	LPD	kuji	カラー	A4	普通紙	1	1	1up/片面	正常終了
2000/11/13	13:28:53	SMB	KUJI					0		強制終了
2000/11/13	13:32:30	SMB	KUJI					0		強制終了
2000/11/13	13:32:45	SMB	KUJI	カラー	A4	普通紙	1	1	1up/片面	正常終了
2000/11/13	13:40:30	SMB	KUJI					0		強制終了
2000/11/13	13:44:50	SMB	KUJI					0		強制終了
2000/11/13	14:54:24		LocalUser	白黒	A4	普通紙	2	2	1up/片面	正常終了
2000/11/14	18:47:07		LocalUser	白黒	A4	普通紙	2	2	1up/片面	正常終了
2000/11/15	13:53:02	LPD	depad1	白黒	A4	普通紙	5	5	1up/片面	正常終了
2000/11/15	13:53:19	LPD	depad1	白黒	A4	普通紙	6	6	1up/片面	正常終了
2000/11/15	13:55:55	LPD	depad1	白黒	A4	普通紙	6	6	1up/片面	正常終了
2000/11/15	13:56:08	LPD	depad1	白黒	A4	普通紙	5	5	1up/片面	正常終了
2000/11/15	13:57:45	LPD	depad1	白黒	A4	普通紙	5	5	1up/片面	正常終了
2000/11/15	13:58:01	LPD	depad1	白黒	A4	普通紙	6	6	1up/片面	正常終了
2000/11/15	13:58:15	LPD	depad1	白黒	A4	普通紙	5	5	1up/片面	正常終了
2000/11/15	13:58:31	LPD	depad1	白黒	A4	普通紙	6	6	1up/片面	正常終了
2000/11/15	13:58:52	LPD	depad1	白黒	A4	普通紙	5	5	1up/片面	正常終了
2000/11/15	14:04:16	LPD	depad1	カラー	A4	普通紙	3	3	1up/片面	正常終了
2000/11/15	14:05:10	LPD	depad1	カラー	A4	普通紙	3	3	1up/片面	正常終了
2000/11/15	14:06:06	LPD	depad1	白黒	A4	普通紙	5	5	1up/片面	正常終了

■ジョブのエラー終了について

「ジョブ処理状態」に、次のエラー終了の内容が記載されることがあります。

印字内容	原因と処置
プリントパラメータ異常	【原因】　非定形サイズを指定して、[用紙トレイ選択]を[自動]に設定しているなど、プリントパラメーターの組み合わせが不正です。 【処置】　印刷データを確認してください。上記の場合は、用紙トレイ5(手差し)を選択してください。
ART EX使用メモリー不足	【原因】　メモリーが不足したため、ART EXの印刷データを処理できませんでした。 【処置】　[印刷モード]を[速度優先]にして、もう一度印刷を指示してください。 参照 「4.10　印刷モードを設定する」(P.100)
プリントページバッファ不足	【原因】　プリントページバッファが不足したため、ART EXの印刷データを処理できませんでした。 【処置】　次のどれかの方法で処置してください。 • [印刷モード]を[速度優先]にする • ページ印刷モードを利用する • プリントページバッファを増やす • メモリーを増設する 参照 [印刷モード]については「4.10　印刷モードを設定する」(P.100)、ページ印刷モードについては「4.2　主な印刷機能一覧」(P.63)、プリントページバッファについては「1.6　メモリーの割り当てについて」(P.19)
予期しないエラー	【原因】　印刷処理中エラーが発生しました。次の原因が考えられます。 ①共通メニューの[プリント設定]の[用紙の優先順位]がすべての用紙で【シナイ】に設定されているときに、自動トレイ選択で印刷を指示している ②ESC/P(オプション)のコマンドエラー 【処置】　①については、自動トレイ選択で印刷をする場合は、[用紙の優先順位]で、用紙のどれかを【シナイ】以外に設定してください。 ②については、印刷データを確認してください。 参照 [用紙の優先順位]については、「8.2　共通メニューの設定を変更する」(P.228)

日常管理
6

印字内容	原因と処置
プリント言語自動判定エラー	【原因】　プリントモード指定が【ジドウ】の場合に、プリント言語を自動的に選択できませんでした。 次の原因が考えられます。 ①PostScript®ソフトウェアキットが装着されていない状態で、PostScript®データを送信した ②PostScript®ソフトウェアキットが装着されていて、内蔵増設ハードディスク装置が装着されていない状態で、LPRなどを使って、PDFファイルを本機に直接送信した ③ART IV/エミュレーションキットが装着されていない場合に、プリントモード指定を【ジドウ】で、ART IV、ESC/P、HP-GL/2のデータを送信した 【処置】　①については、PostScript®ソフトウェアキットの装着が必要です。 ②については、内蔵増設ハードディスク装置の装着が必要です。 ③については、ART IV/エミュレーションキットの装着が必要です。
ART IVコマンドエラー	【原因】　サポートされていないコマンドを検知しました。 【処置】　印刷データを確認し、エラーを引き起こすコマンドを削除して、もう一度印刷を指示してください。
ハードディスクの領域不足	【原因】　ハードディスクの領域が不足しているため、印刷できません。 【処置】　印刷データを分割する、複数部印刷している場合は1部ずつ印刷するなどで、印刷データのページ数を少なくしてください。
PostScriptエラー	【原因】　PostScript®の処理中にエラーが発生しました。 【処置】　次のどれかの方法で処置してください。 • [印刷モード]を[速度優先]にする • プリントページバッファを増やす • PS使用メモリーを増やす 参照 [印刷モード]については「4.10　印刷モードを設定する」(P.100)、プリントページバッファ、PS使用メモリーについては「1.6　メモリーの割り当てについて」(P.19)
画像伸長エラー	【原因】　イメージ処理中エラーが発生しました。 【処置】　[印刷モード]を[速度優先]にして、もう一度印刷を指示してください。それでも印刷できない場合は、ページ印刷モードで印刷してください。 参照 [印刷モード]については「4.10　印刷モードを設定する」(P.100)、ページ印刷モードについては「4.2　主な印刷機能一覧」(P.63)

印字内容	原因と処置
プリント言語非搭載	【原因】　実装されていないプリント言語が指定されました。次の原因が考えられます。 ①共通メニューの[システム設定]の[ART EXの起動]が【テイシ】に設定されているときに、ART EXデータを送信した ②ART IV/エミュレーションキットが装着されていない状態で、ART IV、ESC/P、HP-GL/2データを送信した 【処置】　①については、[ART EXの起動]を【キドウ】にしてください。 ②については、ART IV/エミュレーションキットの装着が必要です。 参照 [ART EXの起動]については、「8.2　共通メニューの設定を変更する」(P.228)
JCLコマンドエラー	【原因】　JCLコマンドの構文エラーが発生しました。 【処置】　印刷設定を確認するか、JCLコマンドを訂正してください。
フォーム登録不能(領域不足)	【原因】　ART EXフォームメモリーが不足して、フォームが登録できませんでした。 【処置】　ART EXフォームメモリーの領域を増やしてください。 参照 「8.2　共通メニューの設定を変更する」(P.228)
ページマージン値不正	【原因】　HP-GL/2(オプション)の有効座標エリアに対して、ペーパーマージン値が多すぎます。 【処置】　ペーパーマージン値を少なくして、もう一度印刷を指示してください。
指定のフォームは未登録	【原因】　指定したART EX用フォームは登録されていません。 【処置】　「ART EXフォーム登録リスト」を印刷して、フォームの登録状態とフォーム名を確認してください。 参照 「6.3　レポート/リストを印刷する」(P.149)
指定のフォームは未登録	【原因】　指定したART IV (オプション)用フォームは登録されていません。 【処置】　「ART IV,ESC/Pユーザー定義リスト」を印刷して、フォームの登録状態とフォーム名を確認してください。 参照 「6.3　レポート/リストを印刷する」(P.149)
HP-GL/2メモリーオーバーフロー	【原因】　受信データがHP-GL/2(オプション)スプールサイズを超えたため、正しい原稿サイズ判定が行われていない可能性があります。 【処置】　蓄積されている印刷データの処理が終わるまで待って、もう一度印刷を指示してください。

印字内容	原因と処置
フォームと用紙のサイズ/方向不一致	【原因】　指定したART EX、またはART IV(オプション)フォームのサイズと向きが、印刷する用紙と合っていません。 【処置】　用紙のサイズと向きを、指定したART EX、またはART IVフォームに合わせて、もう一度印刷を指示してください。
ページ内に描画データなし	【原因】　HP-GL/2(オプション)の印刷データに描画データがありません。 【処置】　印刷データを確認してください。
メモリー不足により両面印刷不能	【原因】　メモリーが不足したため、両面印刷ができませんでした。 【処置】　プリントページバッファを増やして、もう一度印刷を指示してください。 参照 「1.6　メモリーの割り当てについて」(P.19)
PostScript言語解釈エラー	【原因】　PostScript®(オプション)でエラーが発生しました。 【処置】　印刷データを確認するか、プリンタードライバーの[詳細]タブの[スプールの設定]をクリックして、双方向通信をオフにしてください。
代替フォントにより印刷	【原因】　代替フォントで印刷されました。 【処置】　印刷データを確認してください。
フォーム登録不能(登録上限数超過)	【原因】　ART EX、またはART IV(オプション)フォームの登録上限数に達したので、フォームが登録できませんでした。 【処置】　不要なフォームを削除してください。各フォームの登録上限数は、64です。内蔵増設ハードディスク装置を装着している場合は、2048です。 参照 「8.2　共通メニューの設定を変更する」(P.228)
ユーザーデータ登録不能(領域不足)	【原因】　ART IV(オプション)ユーザー定義メモリーが不足して、ユーザー定義データが登録できませんでした。 【処置】　ART IVユーザー定義メモリーの領域を増やしてください。 参照 「8.2　共通メニューの設定を変更する」(P.228)
ロゴ登録不能(登録上限数超過)	【原因】　ART IV(オプション)ロゴデータの登録上限数に達したので、ロゴデータが登録できませんでした。 【処置】　不要なロゴデータを削除してください。
数値演算エラー	【原因】　数値演算エラーが発生しました。 【処置】　印刷データを確認してください。
HP-GL/2コマンドエラー	【原因】　HP-GL/2(オプション)コマンドエラーが発生しました。 【処置】　印刷データを確認してください。

印字内容	原因と処置
ART IVコマンドエラー	【原因】　ART IV（オプション）コマンドエラーが発生しました。 【処置】　印刷データを確認してください。
フォーム/ロゴ登録不能(領域不足)	【原因】　ART IV（オプション）用のメモリーが不足して、フォーム、またはロゴデータが登録できませんでした。 【処置】　メモリーの領域を増やしてください。 参照 「8.2　共通メニューの設定を変更する」(P.228)
セキュリティープリント文書登録エラー	【原因】　内蔵増設ハードディスク装置が装着されていないので、セキュリティープリント文書が登録できませんでした。 【処置】　セキュリティープリント機能を使用するには、内蔵増設ハードディスク装置を装着する必要があります。 参照 「4.9　機密文書を印刷する(セキュリティープリント)」(P.95)

プリンター出力集計レポート

プリンター出力集計レポートについて説明します。

■プリンター出力集計レポートとは

クライアント別(ジョブオーナー別)に、本機で印刷した総ページ数、使用した用紙の総枚数を確認できます。印刷枚数は、カラーと白黒別にカウントされています。プリンター出力集計レポートは、データを初期化した時点からのカウントとなります。

参照

- プリンター出力集計レポートの詳細については、「6.4.2　プリンター出力集計レポートで総印刷枚数を確認する」(P.168)を参照してください。
- プリンター出力集計レポートのデータを初期化できます。詳細については、「8.2　共通メニューの設定を変更する」(P.228)を参照してください。

■印刷結果例

DocuPrint C2220
プリンター出力集計レポート

初期化日時　2000/11/01　10:50　　レポート印刷日時：2000/11/17　13:58
ページ：1(最終)

ジョブオーナー名	ページ数 カラー サイズ A3	A4	B4	B5	その他	カラー総ページ数	白黒 白黒総ページ数	総ページ数	枚数 カラー 総枚数	白黒 総枚数	総枚数
Endo-Akira¥DEPAD1	0	6	0	0	0	6	56	62	6	56	62
endo akira¥DEMDG6	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1
imai-kazumichi¥AGE	0	3	0	0	0	3	0	3	3	0	3
motohashi-naomi¥SAI	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1
yoshihara-hitomi¥KUJI	0	4	0	0	0	4	0	4	4	0	4
遠藤 彰	0	2	0	0	0	2	5	7	2	5	7
今井 志歩	0	11	0	0	0	11	0	11	11	0	11
富士 [illegible]	0	6	0	0	0	6	0	6	6	0	3
UnknownUser	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Report/List	0	0	0	0	0	0	43	43	0	41	41
総合計	0	34	0	0	0	34	104	138	34	102	135

※「ページ数」は印刷された用紙の片面を一つとして、「枚数」は使用した用紙を一つとして集計したものです。
2ページ構成のドキュメントを両面印刷した場合、「ページ数」は「2」、「枚数」は「1」と数えられます。

フォントリスト

フォントリストについて説明します。

■フォントリストとは

ART EXで使用できるフォントの一覧が印刷されます。また、オプションのART IV/エミュレーションキットを装着している場合は、ESC/P、HP-GL/2で使用できるフォントも印刷されます。

■印刷結果について

フォントリストには、標準のART EXと、オプションのエミュレーションモードで使用できるフォントの名称とサンプル文字列が印刷されます。

■印刷結果例

DocuPrint C2220
フォントリスト

日時 : 2000/11/17 13:59

ART EXで使用できる書体		印字見本
和文	平成明朝	ドキュメントの訴求力を求める美しい書体と色彩
	平成角ゴシック	ドキュメントの訴求力を求める美しい書体と色彩
欧文	Enhanced Classic	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	Enhanced Modern	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	CS Times Roman	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	CS Times Italic	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	CS Times Bold	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	CS Times Bold Italic	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	CS Triumvirate Regular	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	CS Triumvirate Italic	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	CS Triumvirate Bold	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	CS Triumvirate Bold Italic	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	CS Courier	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	CS Courier Oblique	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	CS Courier Bold	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	CS Courier Bold Oblique	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	CS Symbol	ΑΒΧΔΕΦΓΗΙϑΚαβχδεφγηιφκ0123456789

蓄積文書リスト

蓄積文書リストについて説明します。

■蓄積文書リストとは

セキュリティープリント機能で、本機に蓄積された文書の一覧が印刷されます。

参照

セキュリティープリント機能については、「4.9　機密文書を印刷する(セキュリティープリント)」(P.95)を参照してください。

■印刷結果について

蓄積文書リストには、親展ボックスの使用容量と空き容量、蓄積されている文書番号、ユーザーID、文書名、文書サイズ、登録日時、ページ数が印刷されます。

■印刷結果例

DocuPrint C2220
蓄積文書リスト

日時：2000/11/17　14:25
ページ：1(最終)

親展ボックス容量
使用容量　0.2MB
空き容量　2040.5MB

セキュリティプリント

文書番号 ユーザーID	文書名	文書サイズ	登録日時	ページ数
No.70 endo	Sample	A4	2000/11/17 14:06	1
No.71 endo	Manual	A4	2000/11/17 14:07	1
No.79 endo	yukamami	A4	2000/11/17 14:25	1

ART EXフォーム登録リスト

ART EXフォーム登録リストについて説明します。

■ART EXフォーム登録リストとは

オーバーレイ印字機能で、フォームとして登録した文書の一覧が印刷されます。

参照

オーバーレイ印字機能については、「4.6　登録したフォームに印刷する(オーバーレイ印字)」(P.85)を参照してください。

■印刷結果について

ART EXフォーム登録リストには、トータル登録フォームサイズ制限容量、登録されているフォームの登録番号、登録フォーム名、バイト数が印刷されます。

■印刷結果例

DocuPrint C2220
ART EXフォーム登録リスト

トータル登録フォームサイズ制限　2048.00MB

日時 : 2000/11/17 14:25
ページ : 1(最終)

ART EXフォーム一覧

登録番号	登録フォーム名	バイト数
No.1	"Form-A "	154746
No.2	"Form-B "	154746
No.3	"Form-C "	154746

日常管理

6

PostScript®フォントリスト

PostScript®フォントリストについて説明します。

■PostScript®フォントリストとは

PostScript®ソフトウェアキットを装着している場合に、PostScript®で使用できるフォントが印刷されます。

■印刷結果について

PostScript®フォントリストには、装着されているPostScript®フォントROMに含まれている書体と書体サンプルが印刷されます。

■印刷結果例

DocuPrint C2220
PostScript®フォントリスト

日時: 2000/11/09 13:59:58
ページ: 1

	使用できる書体	書体サンプル
和文	平成明朝体™ W3	ドキュメントの訴求力を高める、美しい書体と色彩
	平成角ゴシック体™ W5	ドキュメントの訴求力を高める、美しい書体と色彩
欧文	Albertus®	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Albertus® Italic	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Albertus® Light	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Antique Olive® Roman	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Antique Olive® Italic	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Antique Olive® Bold	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Antique Olive® Compact	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	Apple® Chancery™	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Arial™	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Arial™ Italic	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Arial™ Bold	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Arial™ Bold Italic	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	ITC Avant Garde Gothic® Book	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	ITC Avant Garde Gothic® Book Oblique	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	ITC Avant Garde Gothic® Demi	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	ITC Avant Garde Gothic® Demi Oblique	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Bodoni Roman	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Bodoni Italic	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Bodoni Bold	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Bodoni Bold Italic	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Bodoni Poster	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Bodoni Poster Compressed	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	ITC Bookman® Light	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	ITC Bookman® Light Italic	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	ITC Bookman® Demi	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	ITC Bookman® Demi Italic	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Carta™	[illegible]
	Chicago™	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Clarendon® Roman	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Clarendon® Bold	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Clarendon® Light	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Cooper Black	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Cooper Black Italic	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Copperplate Gothic 32BC	ABCDEFGHIJKABCDEFGHIJK0123456789!@#$%^&*+?
	Copperplate Gothic 33BC	ABCDEFGHIJKABCDEFGHIJK0123456789!@#$%^&*+?
	Coronet™	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Courier	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Courier Oblique	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?

平成明朝体W3および平成角ゴシック体W5は、(財)日本規格協会と使用契約を締結しているものです。
Adobe、PostScript、CartaおよびTektonはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。
その他の全てのブランド名、製品名およびフォント名はそれらの所有者の登録商標または商標です。

PostScript®論理プリンター登録リスト

PostScript®論理プリンター登録リストについて説明します。

■PostScript®論理プリンター登録リストとは

PostScript®ソフトウェアキットを装着している場合に、PostScript®で作成した論理プリンターの一覧が印刷されます。登録されている1～20までの論理プリンターの設定が確認できます。

■印刷結果について

PostScript®論理プリンター登録リストに印刷される項目は、以下のとおりです。

登録番号	論理プリンターの登録番号が印刷されます。
書式設定	用紙サイズ、用紙トレイ、用紙種類、カラーモードの設定が印刷されます。
オプション	両面、排出先の設定が印刷されます。
印字制御	オフセット排出、トレイ5(手差し)の給紙確認待ち、スクリーンタイプ、イメージエンハンス、解像度、ソート(1部ごと)、プリント部数の優先順位、プリント部数の設定が印刷されます。

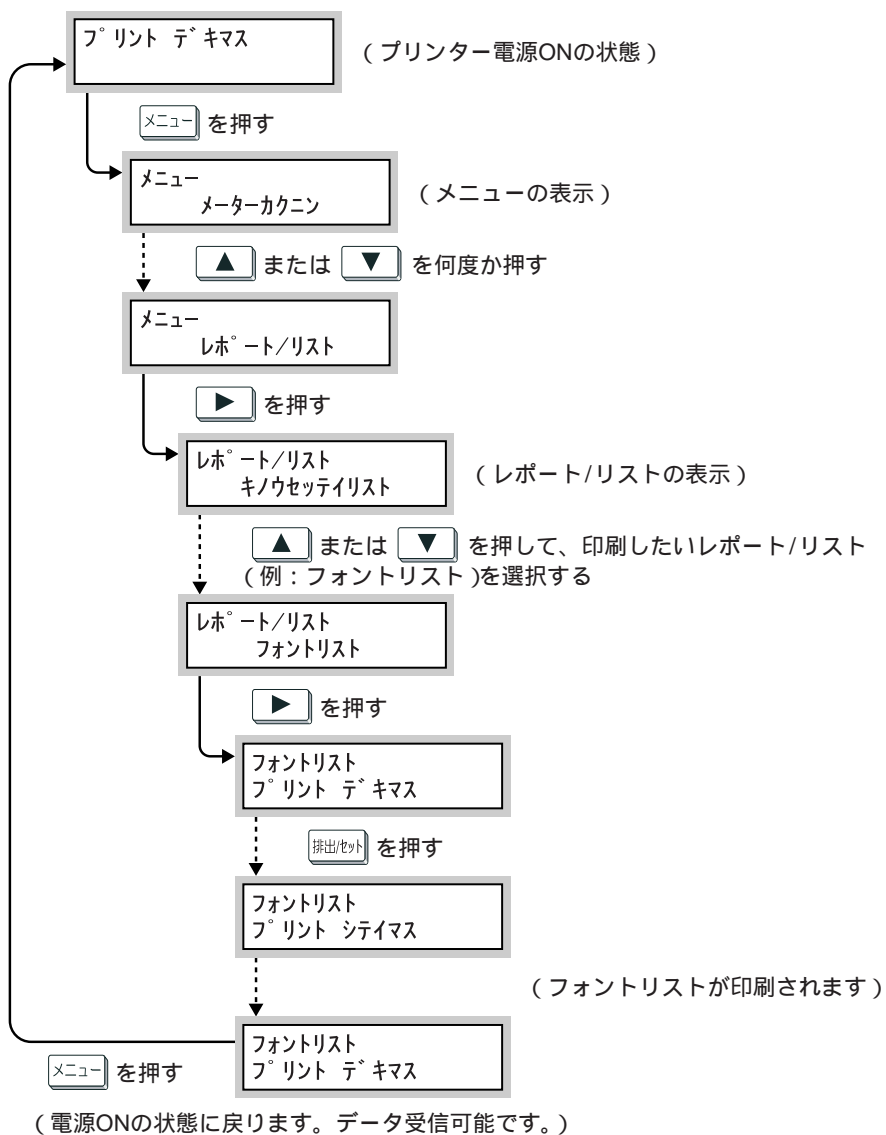
■印刷結果例

DocuPrint C2220
PostScript®論理プリンター登録リスト

日時 : 2000/11/09 14:00
ページ : 1

登録番号	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5
書式設定					
用紙サイズ	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
用紙トレイ	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
用紙種類	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
カラーモード	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
オプション					
両面	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
排出先	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
印字制御					
オフセット排出	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
トレイ5(手差し)の給紙確認待ち	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
ソート(1部ごと)	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
スクリーンタイプ	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
イメージエンハンス	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
解像度	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
プリント部数の優先指定	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
プリント部数	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし

6.3.2 レポート/リストを印刷する

レポート/リストは、操作パネルを操作して印刷します。ここでは、フォントリストを印刷する場合を例に説明します。他のレポート/リストも同様に印刷を指示してください。

6.4 総印刷枚数を確認する

印刷の総枚数の確認方法について説明します。

総印刷枚数のカウントの仕方には2種類あり、確認方法も異なります。1つは、カラー印刷または白黒印刷など、印刷のカラーモードで区分されているメーター別に印刷総枚数を確認する方法と、もう1つは、クライアント別に本機で印刷した総ページ数を確認する方法があります。

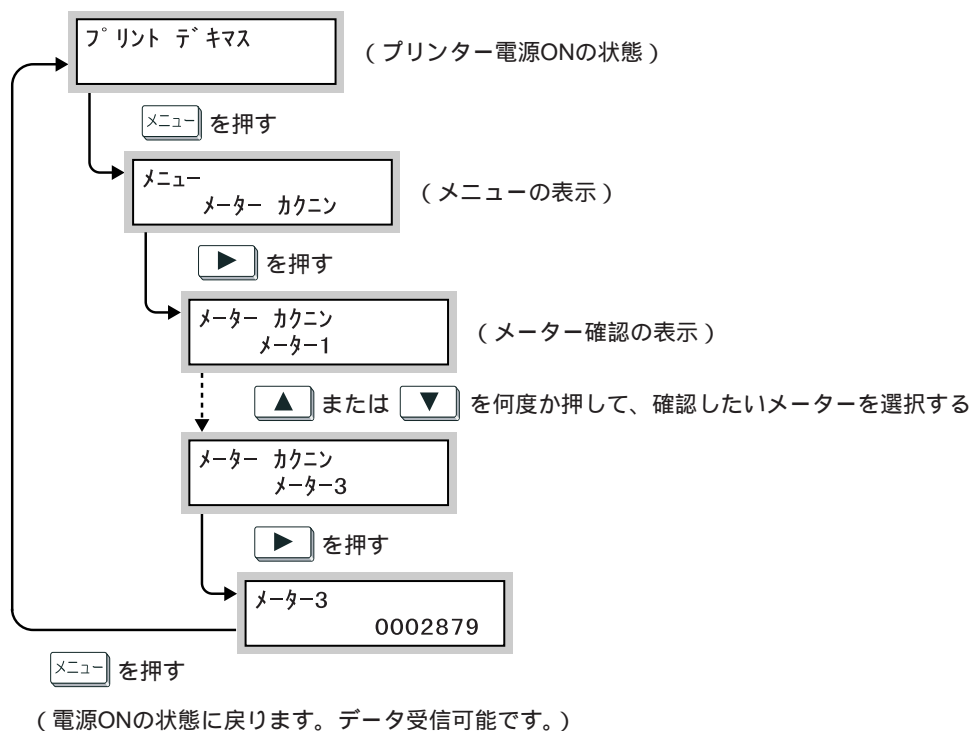
6.4.1 メーターで総印刷枚数を確認する

操作パネルのディスプレイの表示で、メーター別の総印刷枚数を確認できます。メーターは、カラーモードなどによって区分されています。

メーター1	白黒印刷
メーター2	通常は使用しません。
メーター3	カラー印刷

補足

アプリケーション側でICCプロファイルなどを使って色変換した印刷データを、[自動(カラー/白黒)]で印刷した場合、モニター上で白黒に見える原稿でもカラーで印刷されます。また、その場合、メーターはメーター3(カラー印刷)がカウントされます。

メーターの確認方法は、次のとおりです。

6.4.2 プリンター出力集計レポートで総印刷枚数を確認する

クライアント別(ジョブオーナー別)に、本機で印刷した総ページ数、使用した用紙の総枚数が、「プリンター出力集計レポート」で確認できます。印刷枚数は、カラーと白黒別にカウントされています。プリンター出力集計レポートは、データを初期化した時点からのカウントとなります。
プリンター出力集計レポートは、プリンターの操作パネルを操作して印刷します。

プリンター出力集計レポートの印刷結果について

プリンター出力集計レポートには、次の項目が印刷されます。

初期化日時	プリンター出力集計のデータを初期化した日時です。
レポート作成日時	プリンター出力集計レポートを印刷した日時です。

ジョブオーナーごとに、次の項目が印刷されます。

ジョブオーナー名	最大200ユーザーまでのオーナー名が印刷されます。管理対象となるユーザー名はプリンタードライバーの[ジョブオーナーの指定]で設定します。ジョブオーナーの指定をしない場合、または201人め以降のユーザーの印刷ジョブは、最後から2つめの「UnknownUser」欄に集計されます。レポート/リストの出力は、最後の「Report/List」欄に集計されます。
カラーA3ページ数	A3以上のサイズの用紙に、カラーで印刷したページ数です。
カラーA4ページ数	A4サイズの用紙に、カラーで印刷したページ数です。
カラーB4ページ数	B4サイズの用紙に、カラーで印刷したページ数です。
カラーB5ページ数	B5サイズの用紙に、カラーで印刷したページ数です。
カラーその他ページ数	B5より小さなサイズの用紙に、カラーで印刷したページ数です。
カラー総ページ数	カラーで印刷した総ページ数です。
白黒総ページ数	白黒で印刷した総ページ数です。
総ページ数	実際に印刷した総ページ数です。1印刷ジョブが終了するたびにカウントされます。
カラー枚数	カラーで印刷に使用した用紙の枚数です。
白黒枚数	白黒で印刷に使用した用紙の枚数です。
総枚数	印刷に使用した用紙の総枚数です。1印刷ジョブが終了するたびにカウントされます。

補足

プリンター出力集計レポートのデータを初期化できます。詳しくは「8.2　共通メニューの設定を変更する」(P.228)を参照してください。

■プリンター出力集計レポートの例

補足

印刷結果例は、DocuPrint C2220を例に記載しています。

DocuPrint C2220

プリンター出力集計レポート

初期化日時　2000/11/01　10:50

レポート印刷日時 ： 2000/11/17　13:58
ページ ： 1(最終)

ジョブオーナー名	ページ数 カラー サイズ A3	A4	B4	B5	その他	カラー総ページ数	白黒 総ページ数	総ページ数	枚数 カラー総枚数	白黒 総枚数	総枚数
Endo-Akira¥DEPAD1	0	6	0	0	0	6	56	62	6	56	62
endo-akira¥DENBG6	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1
imai-kazumichi¥ABE	0	3	0	0	0	3	0	3	3	0	3
motohashi-naomi¥SA1	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1
yoshihara-hitomi¥KUJI	0	4	0	0	0	4	0	4	4	0	4
遠藤 彰	0	2	0	0	0	2	5	7	2	5	7
今井 志歩	0	11	0	0	0	11	0	11	11	0	11
富士 容楠	0	6	0	0	0	6	0	6	6	0	6
UnknownUser	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Report/List	0	0	0	0	0	0	43	43	0	41	41
総合計	0	34	0	0	0	34	104	138	34	102	136

※「ページ数」は印刷された用紙の片面を一つとして、「枚数」は使用した用紙を一つとして集計したものです。
2ページ構成のドキュメントを両面印刷した場合、「ページ数」は「2」、「枚数」は「1」と数えられます。

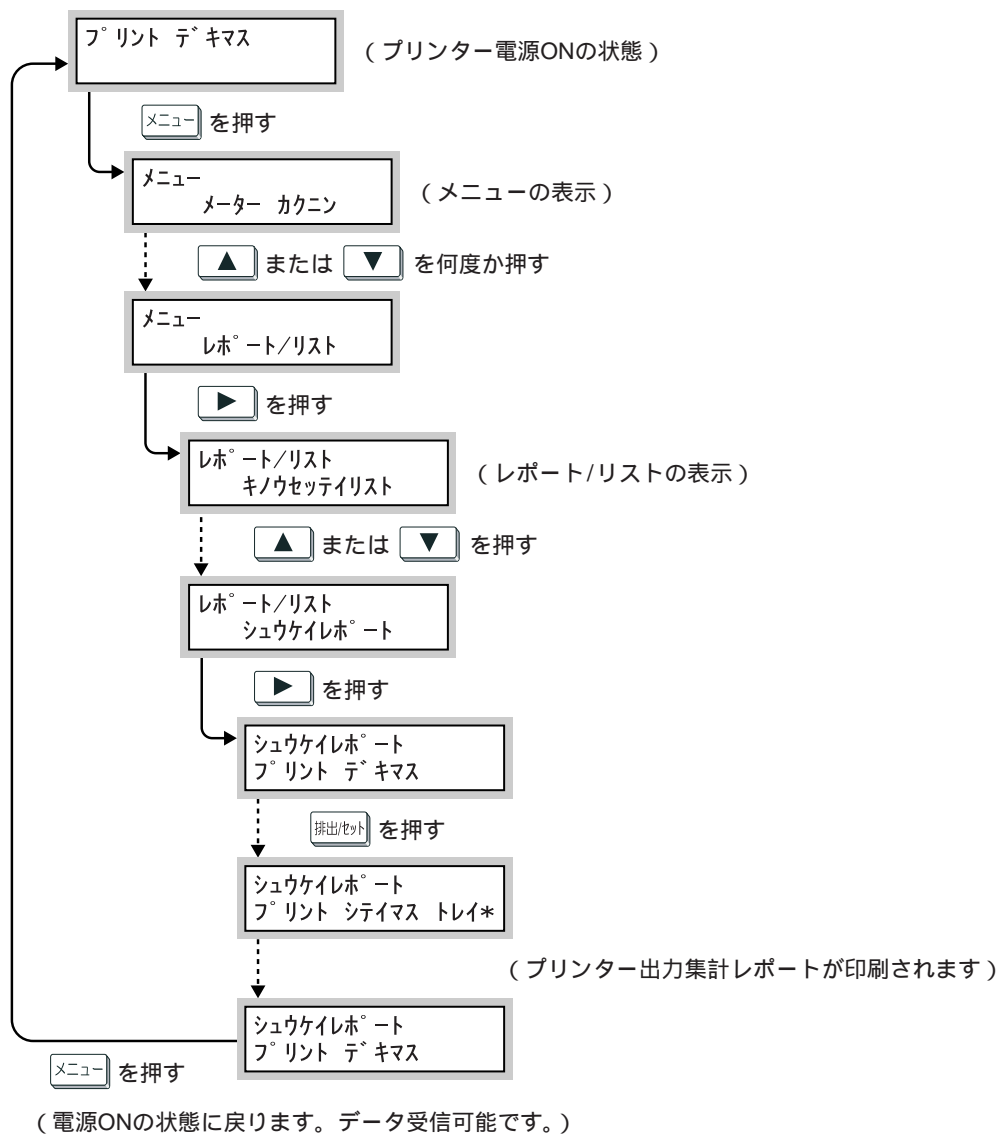
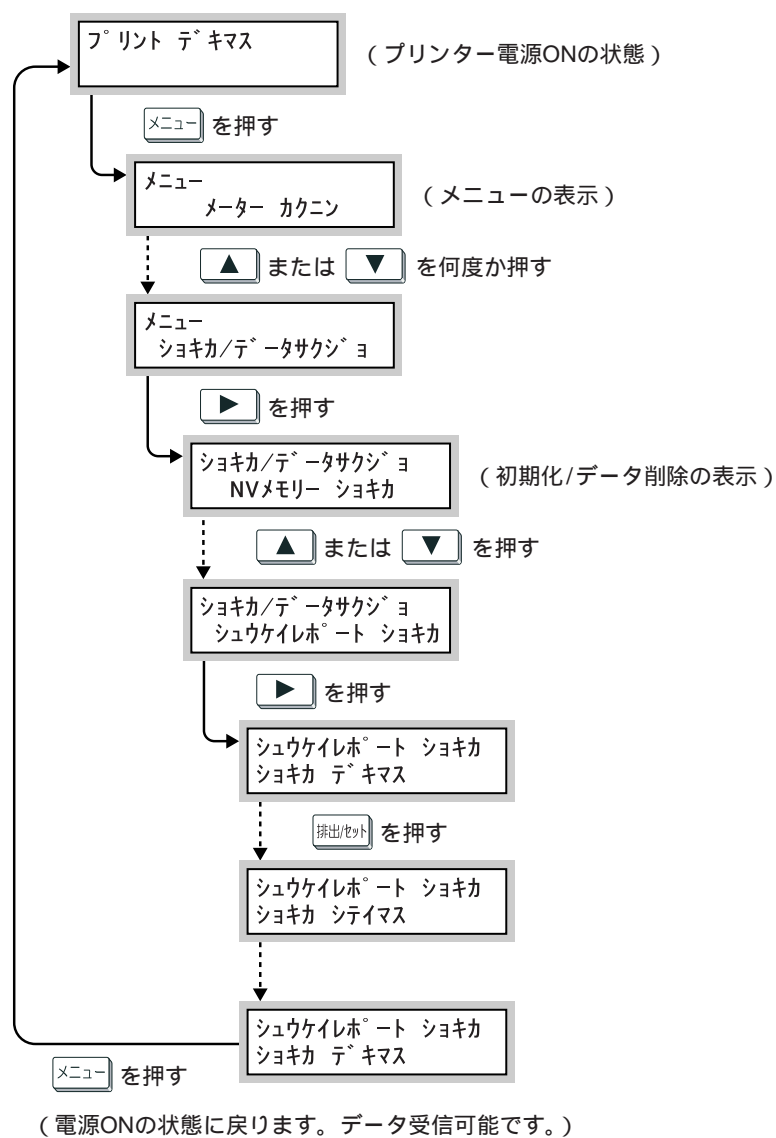
日常管理

6

プリンター出力集計レポートの印刷の仕方

日常管理
6

プリンター出力集計レポートの初期化

（電源ONの状態に戻ります。データ受信可能です。）

6.5 階調を補正する

6.5.1 階調補正とは

印刷画質の色階調がずれた場合に、簡易的に階調を補正することができます。
補正することによって、本機の印刷画質を一定の品質に保つことができます。
補正は、「階調補正チャート」を印刷して、本機に付属の「階調補正用色見本」と濃度を比較して濃度設定値を求め、プリンターに設定値を入力して行います。
C(シアン)、M(マゼンタ)、Y(イエロー)、K(ブラック)各色の低濃度(L)/中濃度(M)/高濃度(H)を調整することができます。
階調補正をしたあと、濃度設定値を初期値(工場出荷時の値)に戻すときは、すべての値を「0」に設定してください。「0」すると印刷時に階調補正は働きません。

補足

- 階調補正をしても色階調がたびたびずれるような場合は、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にお問い合わせください。
- 濃度設定値を工場出荷時の値(すべて「0」)にしても、設置時の画質に戻るということではありません。お使いの期間が長くなると、プリンターの経時変化、環境変化、印刷枚数などの影響によって、設置時の画質とは異なります。

6.5.2 階調補正を実行する

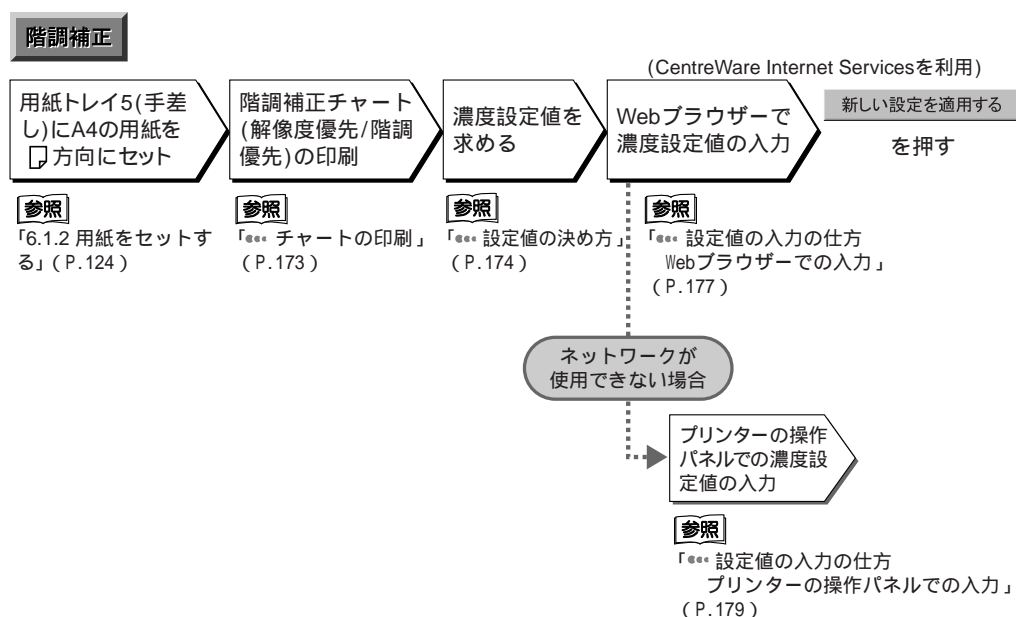
階調補正実行の流れ

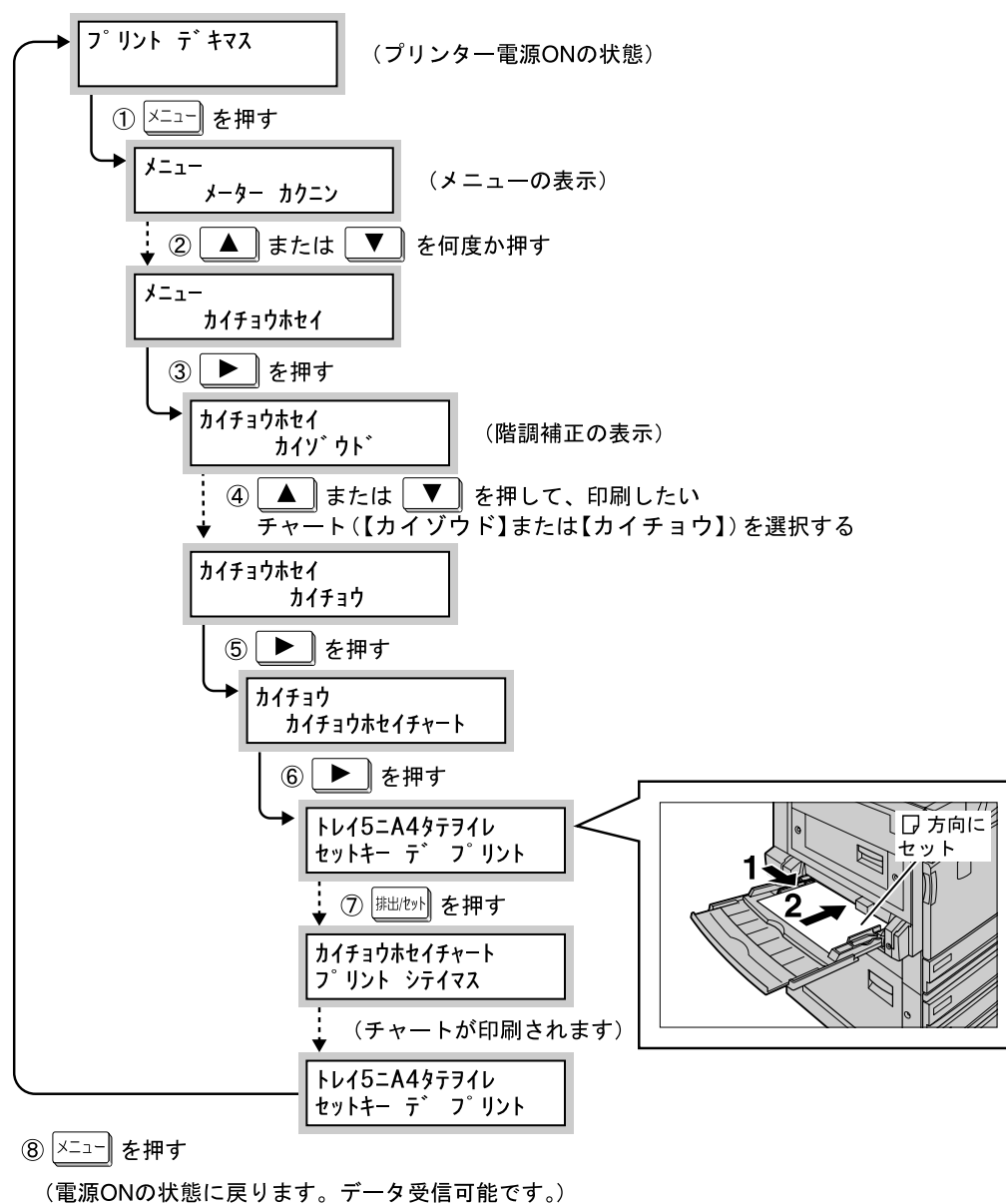
階調補正操作の流れは、次のとおりです。

階調補正

1. 用紙トレイ5(手差し)にA4の用紙を方向にセット
   参照 「6.1.2 用紙をセットする」(P.124)
2. 階調補正チャート(解像度優先/階調優先)の印刷
   参照 「チャートの印刷」(P.173)
3. 濃度設定値を求める
   参照 「設定値の決め方」(P.174)
4. (CentreWare Internet Servicesを利用) Webブラウザーで濃度設定値の入力 → 新しい設定を適用する を押す
   参照 「設定値の入力の仕方 ■Webブラウザーでの入力」(P.177)

ネットワークが使用できない場合 → プリンターの操作パネルでの濃度設定値の入力
参照 「設定値の入力の仕方 ■プリンターの操作パネルでの入力」(P.179)

日常管理 6

チャートの印刷

階調補正チャートには、解像度優先と階調優先の2種類があります。
解像度優先はグラフィックに対する補正、階調優先はテキストや写真イメージに対する補正のためのチャートです。
チャートは、用紙トレイ5(手差し)を使用してA4の用紙に印刷します。階調補正チャートの印刷方法は、次のとおりです。ここでは、階調優先を例に説明します。

補足

解像度優先の階調補正チャートを印刷する場合は、フロー図の④で【カイゾウド】を選択してください。

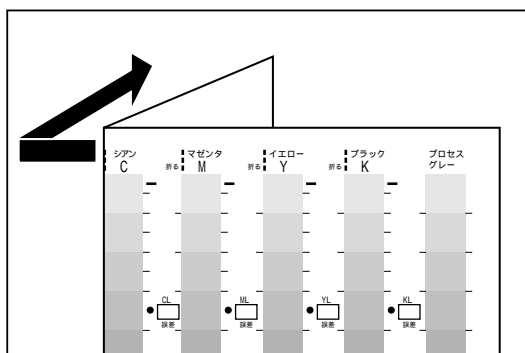
日常管理 6

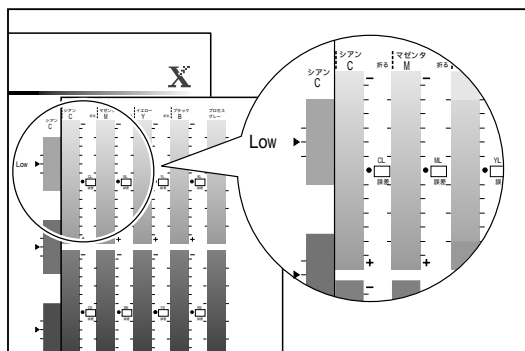
設定値の決め方

濃度設定値は、印刷した「階調補正チャート」と本機に付属の「階調補正用色見本」の濃度を比較して求めます。
階調補正チャートの補正パッチ7個とそれぞれの中間から、色見本の濃度に近いものを探します。設定範囲は、-6〜+6の13段階です。
階調補正用色見本に記載されている手順もあわせてごらんください。

補足
工場出荷時の濃度設定値はすべて「0」です。

操作手順

❶ 印刷した階調補正チャートを、補正する色の上下のガイド(点線)に沿って山折りにします。

❷ チャートの補正する濃度を、色見本の同じ濃度の場所に合わせます。

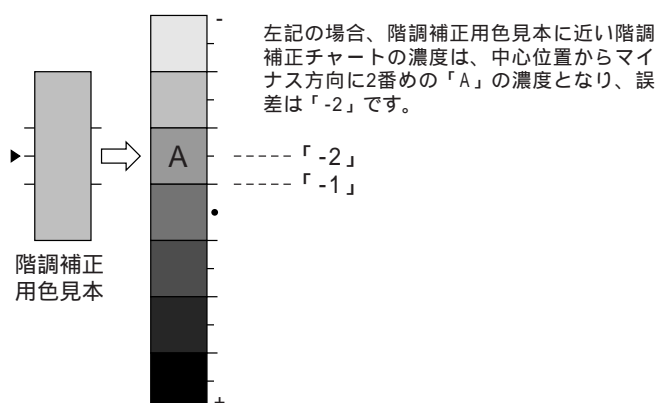
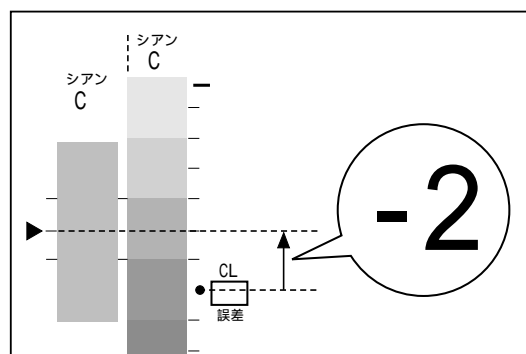
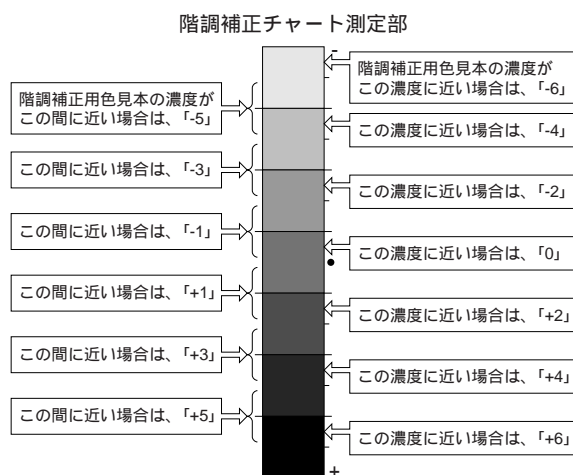
補足
低濃度(L)の補正をする場合は、LowとLowを合わせます。

❸「・」印を起点にチャートを上下にずらして、色見本との誤差を目盛りから読み取ります。

注記

マイナス(-)とプラス(+)の方向に注意して読み取ってください。

補足

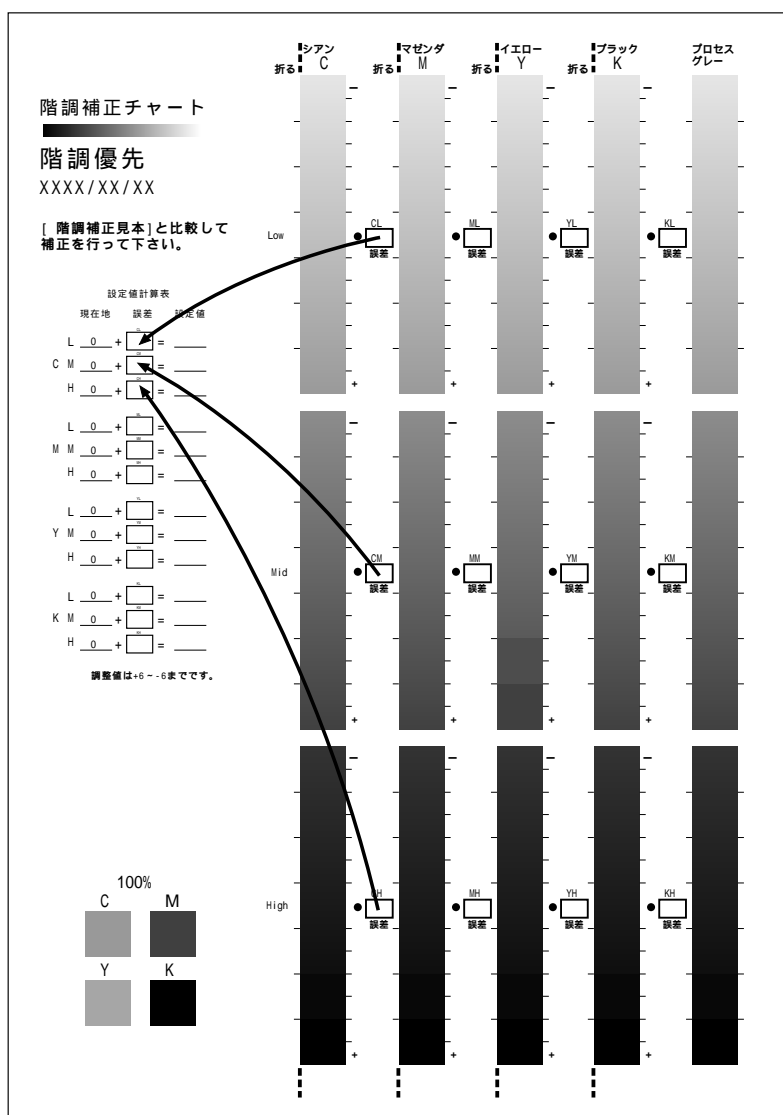
誤差が設定範囲(-6〜+6)を超える場合、ここでは最大値を誤差として補正を行い、再度補正を行ってください。

左記の場合、階調補正用色見本に近い階調補正チャートの濃度は、中心位置からマイナス方向に2番めの「A」の濃度となり、誤差は「-2」です。

❹ **該当する「誤差」ボックスに、誤差を記入します。**

❺ **同じ色の、ほかの2つの濃度も、同様に誤差を読み取ります。**

❻ **同様にCMYKの残りの色に対して手順 ❶〜❺を繰り返して、誤差を読み取ります。**

❼ **すべての色の濃度誤差を記入したら、チャートの左側にある「設定値計算表」の「誤差」の該当する箇所に書き写します。**

以下は、シアンの例です。

❽ **計算表の式に従って設定値を求め、「設定値」に記入します。**

「現在値」には、前回の補正時に入力した値が表示されます。

設定値の入力の仕方

「階調補正チャート」の設定値計算表の「設定値」に記入した濃度設定値を、本機に設定します。
TCP/IP環境が使用できる場合は、「CentreWare Internet Services」を使用して、Webブラウザー上で入力します。TCP/IP環境が使用できない場合は、プリンターの操作パネルで入力します。

参照

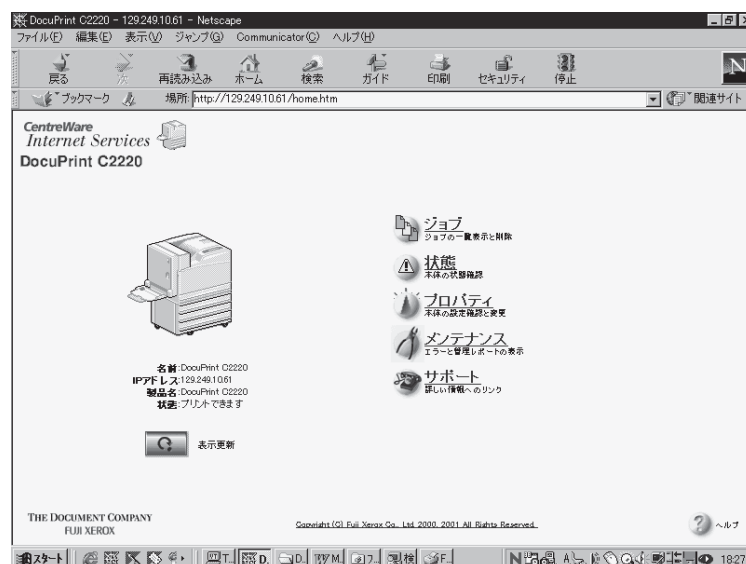
「CentreWare Internet Services」については、「5.1　クライアントからプリンターを設定する(CentreWare Internet Services）」(P.110)を参照してください。

■Webブラウザーでの入力

操作手順

❶ クライアント上で、ブラウザーを起動します。

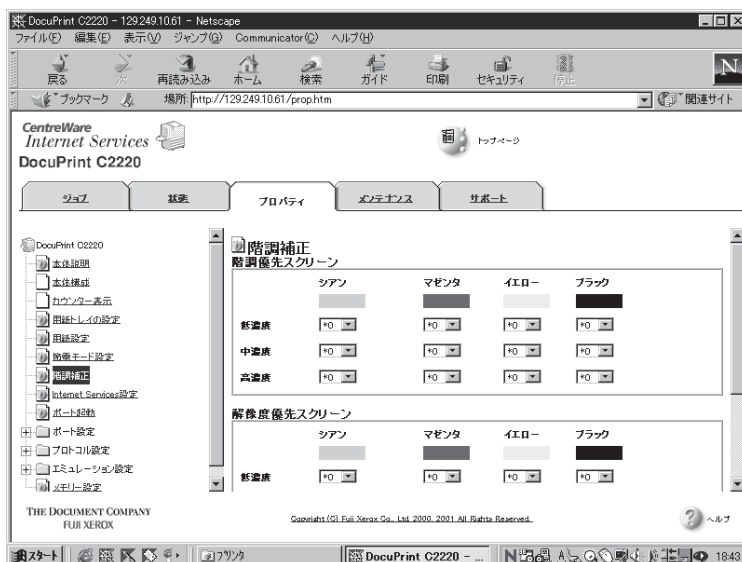
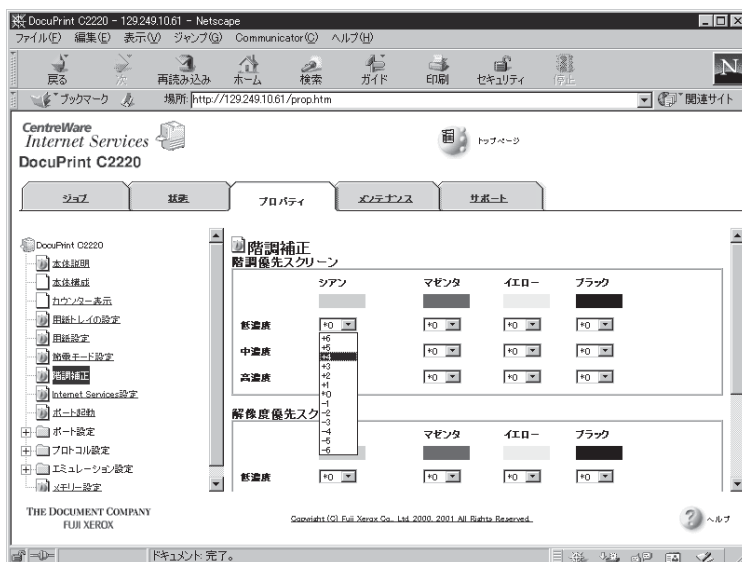
❷ ブラウザーのアドレス入力欄に、プリンターのIPアドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。

CentreWare Internet Servicesの画面が表示されます。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

［プロパティ］タブが表示されます。

日常管理 6

❹ **左側エリアの［階調補正］をクリックします。**

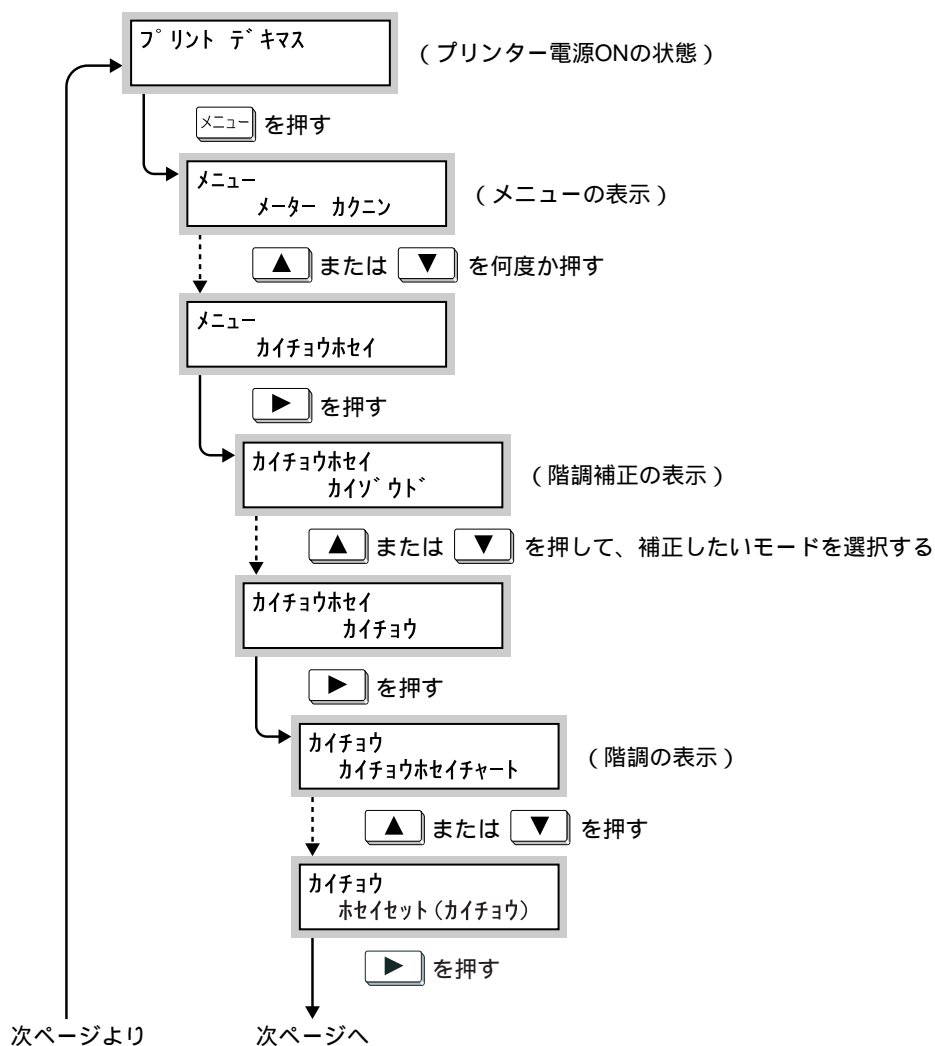
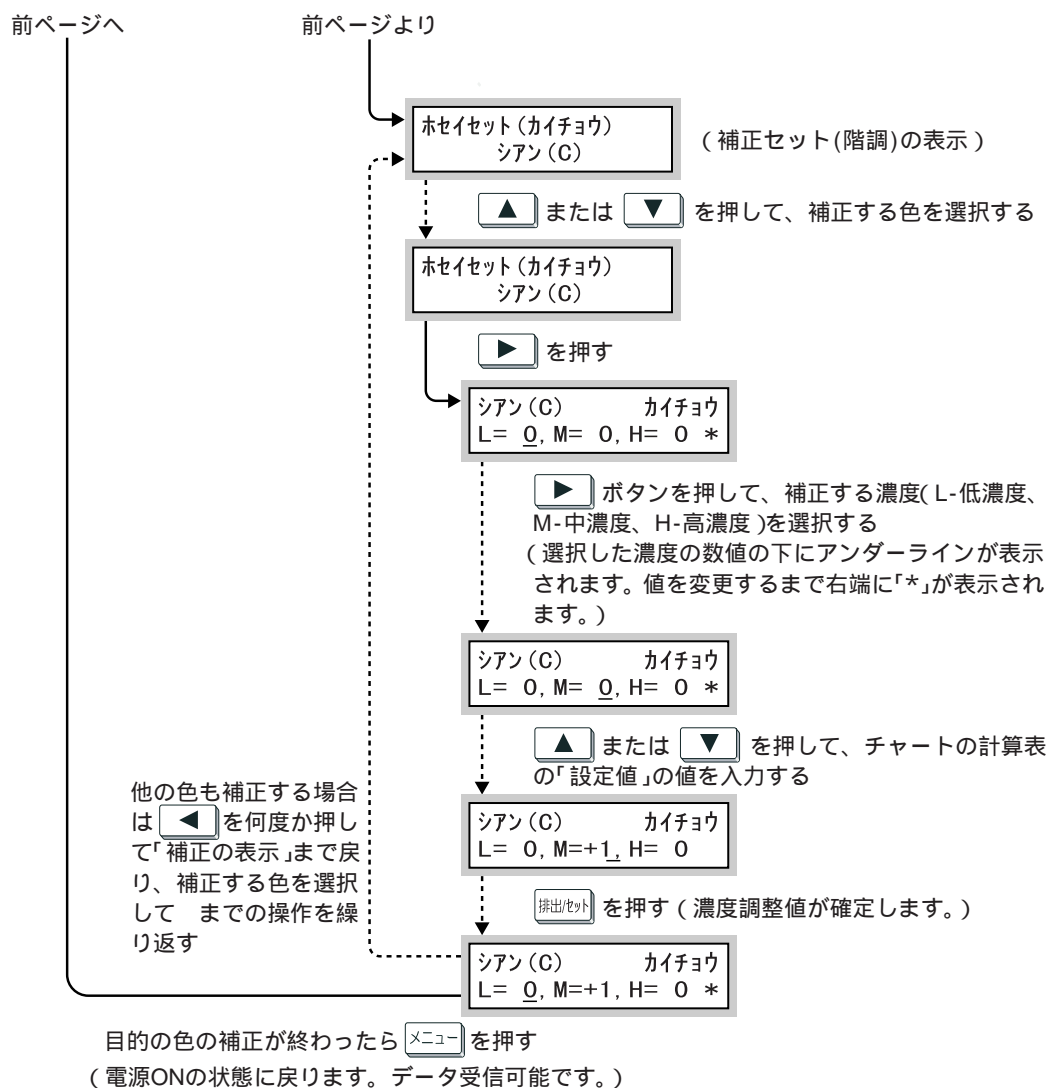
右側エリアに、以下の画面が表示されます。

❺ **該当する色の濃度のメニューから値を選択します。**

❻ **同じ色のほかの2つの濃度も同様に、メニューから値を選択します。**

❼ **CMYKの残りの色に対しても同様に、メニューから値を選択します。**

❽ **すべての色の濃度設定値が入力できたら、［新しい設定を適用］をクリックします。**

■プリンターの操作パネルでの入力
濃度設定値の入力方法は、次のとおりです。
ここでは、階調優先のシアンの中濃度(M)を例に説明します。

日常管理 6

⑭ 目的の色の補正が終わったら メニュー を押す
（電源ONの状態に戻ります。データ受信可能です。）

補正の結果を確認するには、「チャートの印刷」(P.173)を参照して、該当するチャートを印刷します。

チャートでCMYKそれぞれの低/中/高濃度の「・」印の濃度が、該当する色見本の濃度に近いことを確認します。結果に満足できないときは、再度補正を行います。

また、「プロセスグレー」は、CMYを掛け合わせて作られているグレーです。補正が正常に行われると、このグレーがブラックと同様に色味がないグレーになります。プロセスグレーの中に、CMYのどれかの色が強く感じられる場合は、その色を再度補正します。

6.6 プリンターを清掃する

プリンター外部の清掃

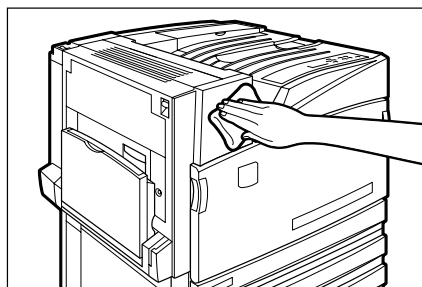
注記

- 機械を清掃する場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械を清掃すると、感電の原因となるおそれがあります。
- ベンジン、シンナーなどの揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりすると、カバー類の変色、変形、ひび割れの原因となります。

1 本体の外側を、水でぬらして固く絞った柔らかい布でふきます。

汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽くふいてください。

注記

水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

2 柔らかい布で、水分をふき取ります。

レーザースキャナー部(ROS:Raster Output Scanner)の清掃

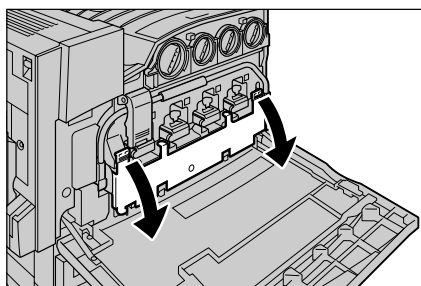
印刷に白筋がでる場合は、レーザースキャナー部を清掃してください。

レーザースキャナー部の清掃は、通常、トナー回収ボトルの交換時に行います。ただし、印刷に白筋がでるなど、画質に影響がある場合は、次の手順で、レーザースキャナー部を清掃してください。

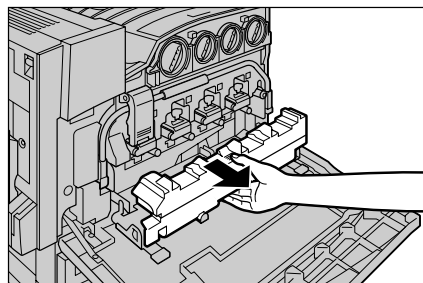
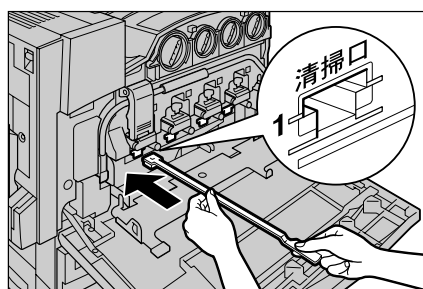
注記

- 清掃棒は、フロントドアの裏側にセットされています。
- レーザースキャナー部を清掃する場合は、トナー回収ボトルをいったん取り外します。そのとき、トナー回収ボトルを傾けるとトナーがこぼれますので、あらかじめ床に紙などを敷いて、その上に置くようにしてください。

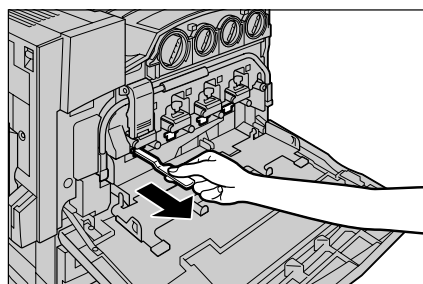
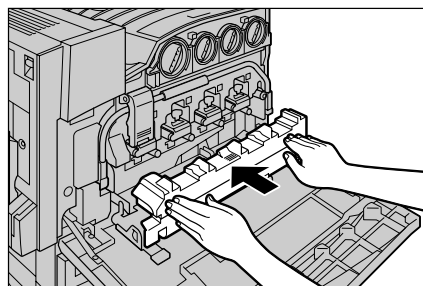
1 機械が停止していることを確認し、フロントカバーを開けます。

2 本体正面(B)の黒いカバーを、オレンジ色の左右のつまみを持って、下に開けます。

❸ **トナー回収ボトルの中央部分を持ち、止まる位置まで手前に引き出します。**

補足

トナー回収ボトルは、傾けてトナーをこぼさないように、いったん別の場所に待避させてください。そのとき、あらかじめ床に紙などを敷いて、その上に、置くようにしてください。

❹ **フロントドアの内側から清掃棒を取り出します。**
Dの1〜4の清掃口(四角い穴)に、清掃棒のパッド部を下に向けて、ゆっくりと差し込みます。

❺ **清掃棒が奥に突き当たったら、手前にゆっくり引き戻します。**
4か所を、すべて1度ずつ清掃してください。

補足

パッドに付く汚れは、ほとんど見えません。

❻ **いったん取り出した、トナー回収ボトルの中央部を持ち、中央の位置を合わせ、奥に押し込みます。**

❼ **左右のオレンジ色のつまみを持って、黒いボトルのカバーを閉じて、続けて、フロントカバーを閉じます。**

【プリントデキマス】とメッセージが表示されます。

7章

トラブル対処方法

7.1 トラブル対処の仕方

7.1.1 トラブル対処の流れ

トラブルが発生した場合の対処方法の流れは、次のとおりです。
以下の流れに従って、対処してください。

トラブル発生

「7.1.2　故障かなと思う前に」(P.185)を確認してください

印字品質が悪くありませんか？

悪い場合

「7.3　印字品質が悪いとき」(P.200)

操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されていませんか

表示されている場合

「7.4　ディスプレイに表示される主なメッセージ一覧」(P.204)

お使いのネットワーク環境に対し、プリンター本体、お使いのコンピューター、サーバーなどは正しく設定されていますか？

確認する場合

各ネットワーク環境設定記載部分

TCP/IP環境の場合は、「7.5　TCP/IP環境使用時のトラブル」(P.219)、その他の環境は、同梱のCentreWare のCD-ROMに入っている電子マニュアルを参照し、システム管理者などのかたが、処置を行ってください。

本機の注意制限の場合があります

「付録C 注意/制限事項について」(P.277)、および同梱のCentreWareのCD-ROMに入っている電子マニュアルを参照し、確認してください。

補足

上記の流れに従って対処をしても、トラブルが処置できなかった場合は、弊社テレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

7.1.2 故障かなと思う前に

故障かなと思う前に、もう一度、本機の状態を確認してください。
それでも問題が解決しない場合は、「7.3　印字品質が悪いとき」(P.200)、および「7.4　ディスプレイに表示される主なメッセージ一覧」(P.204)へ進んで、適切な処置を行ってください。

⚠警告

- **本プリンターは精密部品、および高圧電源を使用しています。**
  ネジで固定されているパネルやカバーなどは取扱説明書で指示している箇所以外は、絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。オプションの着脱作業でネジで固定されているパネルやカバーを開ける場合には、必ず各取扱説明書の指示に従ってください。
- **プリンターを改造したり、部品を変更して使用したりしないでください。発火や発煙のおそれがあります。**

補足

印刷処理が正しく行われなかったときの情報は、「ジョブ履歴レポート」に保存されます。印刷処理がされていない場合は、「ジョブ履歴レポート」を印刷して、印刷処理状況を確認してください。なお、正しく処理できない印刷データは破棄されることがあります。

参照

「ジョブ履歴レポート」の印刷方法については、「6.3　レポート/リストを印刷する」(P.149)を参照してください。

症　状	原　因	処　置
電源が入らない	**電源スイッチが切れていませんか?**	**電源スイッチを入れてください。** 参照 「3.2　電源を入れる/切る」(P.56)
	電源コードが抜けていませんか?	**電源スイッチをいったん切り、電源コードを確実に差し込んでください。そのあと、電源スイッチを入れてください。** 参照 「3.2　電源を入れる/切る」(P.56)
	電源の電圧が適切ですか?	**電源が100V(ボルト)、15A(アンペア)であることと、本機の最大消費電力(850W)に見合った電源容量が確保されていることを確認してください。** 参照 「安全にご利用いただくために」(P.xii)

症　　状	原　因	処　置
印刷できない	「オンライン」ランプが消灯していませんか?	本機がポーズ状態、またはメニューを設定している状態になっています。下記の表示状態に応じて処置してください。 • 【ポーズシテイマス】 ポーズを押して、ポーズ状態を解除します。 • その他 メニューを押して、メニューを設定している状態を解除します。 参照 「3.1　各部の名称と働き」(P.48)
	操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されていませんか？	表示されているメッセージに従って処置してください。 参照 「7.4　ディスプレイに表示される主なメッセージ一覧」(P.204)
	パラレルインターフェイスケーブルで接続している場合、クライアントが、双方向通信に対応していません。	工場出荷時、本機の双方向通信の設定は、【スル】になっています。双方向通信に対応していないと、印刷できません。この場合は、操作パネルで、双方向通信の設定を【シナイ】にしてから印刷してください。 参照 「8.2　共通メニューの設定を変更する」(P.228)
	メモリー容量が不足していませんか？	次の方法で再印刷してみてください。 ・[印刷モード]を[速度優先]にする ・[ページ印刷モード]を利用する ・プリントページバッファを増やす またはオプションの増設メモリーを取り付けて、メモリーを増設してください。 参照 [印刷モード]については「4.10　印刷モードを設定する」(P.100)、ページ印刷モードについては「4.2　主な印刷機能一覧」(P.63)、プリントページバッファについては「1.6　メモリーの割り当てについて」(P.19)

症　状	原　因	処　置
印刷を指示したのに「処理中」ランプが点滅、点灯しない。	インターフェイスケーブルが抜けていませんか？	電源スイッチをいったん切り、インターフェイスケーブルの接続を確認してください。
	使用するインターフェイスが設定されていますか？	インターフェイスのポート状態を確認してください。 参照 「8.2　共通メニューの設定を変更する」(P.228)
	クライアントの環境が正しく設定されていますか？	プリンタードライバーなどクライアントの環境を確認してください。
用紙トレイ5（手差し）に印刷を指示したのに印刷されない	印刷を指定したサイズの用紙がセットされていますか？	正しいサイズの用紙をセットして、再度、印刷を指示してください。 参照 「6.1.2　用紙をセットする」(P.124)
印刷を指示していないのに、【プリントシテイマス】が表示される（パラレルインターフェイス使用時）	本機の電源を入れたあとに、クライアントの電源を入れませんでしたか？	モードとメニューを同時に押して、印刷を中止します。 補足 本機の電源を入れるときには、クライアントの電源が入っていることを確認してください。
印字品質がよくない	画像トラブルが発生しているおそれがあります。	後述の「印字品質が悪いとき」を参照して処置してください。 参照 「7.3　印字品質が悪いとき」(P.200)
正しい文字が印字されない（文字化けが起こる）	本機に標準で搭載されていないフォントを使用して印刷しています。	アプリケーションまたはプリンタードライバーの設定を確認してください。PostScript（オプション）を使用している場合は、オプションの内蔵増設ハードディスク装置を装着して、必要なフォントをダウンロードしてください。
「処理中」ランプが点灯、点滅したまま排紙されない	データが本機内部に残っています。	印刷の中止、または残っているデータの強制排出をしてください。 参照 「4.3　印刷を中止する/印刷を指示したジョブの状態を確認する」(P.77)「7.6　印刷データを強制的に排出させる」(P.221)
用紙トレイの出し入れができない	印刷中にカバーを開けたり、電源を切ったりしませんでしたか?	無理に用紙トレイを出し入れせずに、電源を切ってください。数秒経過後、電源を入れてください。本機がデータを受信できる状態になったことを確認して、用紙トレイの出し入れを行ってください。

7.2 プリンターの紙づまりを処置する

用紙がつまると、機械が停止してアラームが鳴ります。操作パネルのエラーランプが点灯して、ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに表示されている紙づまりの位置を操作パネルの左にある表示部で確認して、つまっている用紙を取り除いてください。

用紙は破れないように、静かに取り除いてください。取り出す途中で紙が破れたときも、紙片を機械の中に残さないで、すべて取り除いてください。処置を終了しても、紙づまりのメッセージが表示されるときは、ほかの箇所でも用紙がつまっています。メッセージに従って処置してください。

紙づまりの処置が終了すると、自動的に用紙がつまる前の状態から印刷が再開されます。

> ⚠注意
>
> **つまった用紙を取り除くときは、機械内部に紙片が残らないようにすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると、火災の原因となることがあります。なお、紙片が取り除けない場合および定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。けがややけどの原因となるおそれがあります。直ちに電源を切り、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。**

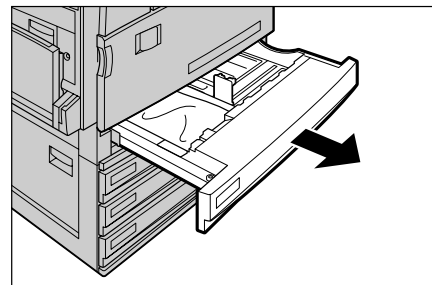
注記

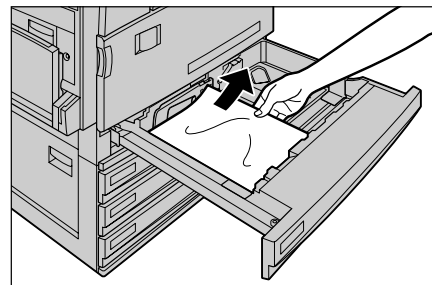
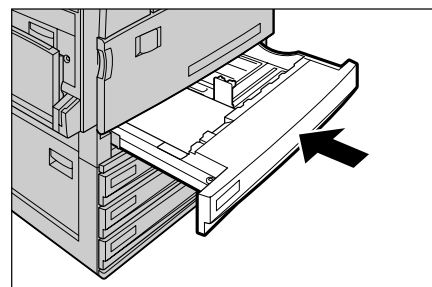
- 紙づまりが発生したとき、紙づまり位置を確認せずに用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、紙づまりの位置を確認してから処置をしてください。
- 紙片が本機内に残っていると、紙づまりの表示は消えません。
- 紙づまりの処置をするときは、本機の電源を入れたまま行ってください。電源を切ると、本機内に残っている印刷データや、本機のメモリーに蓄えられた情報が消去されます。
- 本機内部の部品には触れないでください。印字不良の原因になります。

7.2.1 用紙トレイ1〜4でつまっている用紙を取り除く

用紙トレイ1〜4での紙づまり処置方法を説明します。ディスプレイに表示された用紙トレイを操作パネルの左にある表示部で確認して、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。なお、トレイ3､4について、オプションの大容量給紙キャビネットを使用している場合は、「7.2.2 大容量トレイでつまっている用紙を取り除く」(P.190)を参照してください。

処置手順

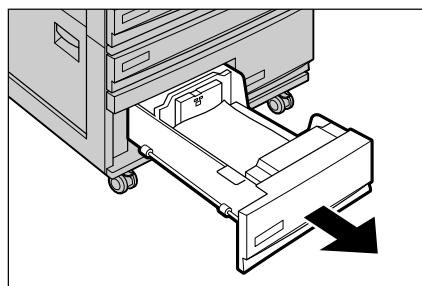
❶ **ディスプレイに表示されている紙がつまっている用紙トレイを引き出します。**

❷ **つまっている用紙を取り除きます。**

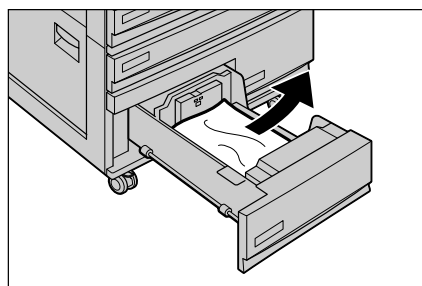
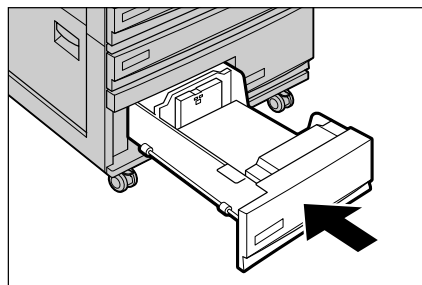
用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。

❸ **奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込みます。**

7.2.2 大容量トレイでつまっている用紙を取り除く

大容量給紙キャビネットでの紙づまりの処置方法について説明します。ディスプレイに表示された用紙トレイを確認して、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

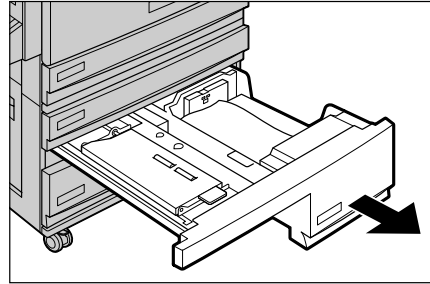
用紙トレイ3（大容量）でつまっている用紙を取り除く

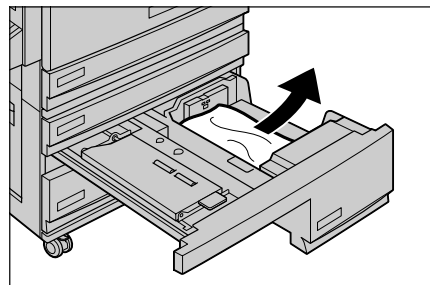
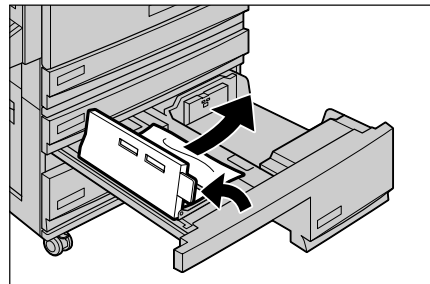
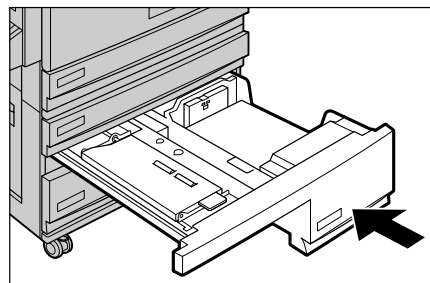
処置手順

❶ 用紙トレイ3（大容量）を引き出します。

❷ つまっている用紙を取り除きます。

用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。

❸ 奥に突き当たるところまで、トレイをゆっくりと押し込みます。

用紙トレイ4（大容量）でつまっている用紙を取り除く

処置手順

❶ **用紙トレイ4（大容量）を引き出します。**

❷ **つまっている用紙を取り除きます。**

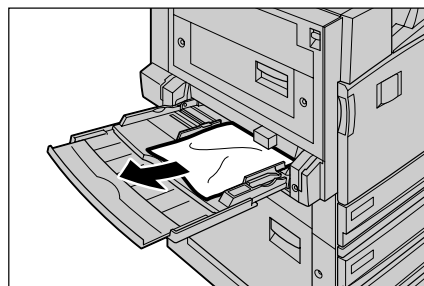
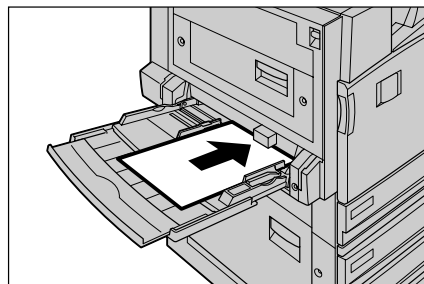
用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。

❸ **用紙搬送部に用紙がつまっている場合は、中のカバーを開けて用紙を取り除きます。**

❹ **奥に突き当たるところまで、トレイをゆっくりと押し込みます。**

7.2.3 用紙トレイ5（手差し）でつまっている用紙を取り除く

用紙トレイ5(手差し)での紙づまり処置方法を説明します。以下の手順に従って、用紙を取り除いてください。

処置手順

❶ 用紙トレイ5(手差し)の奥(用紙の差し込み口付近)を点検し、つまった用紙がある場合には取り除きます。

注記

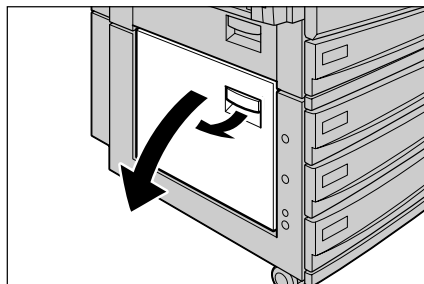
用紙を複数枚セットしていた場合は、いったんすべての用紙を取り出してください。

❷ 取り出した用紙の四隅をそろえ、印刷したい面を下にして、差し込み口に軽く突き当たるまで入れます。

7.2.4 R1カバー内でつまっている用紙を取り除く

トレイキャビネットの左側のR1カバー内での紙づまり処置方法を説明します。以下の手順に従って、用紙を取り除いてください。

補足

R1カバーでの紙づまりメッセージは、標準+1トレイモデル、標準+3トレイモデル、標準+大容量給紙キャビネットモデルの場合に、ディスプレイに表示されます。

処置手順

❶ リリースレバーを引きながら、R1カバーをゆっくりと開きます。

❷ つまっている用紙を取り除きます。

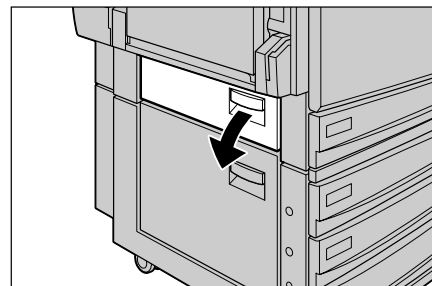
用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。

❸ R1カバーをゆっくりと閉じます。

7.2.5 R2カバー内でつまっている用紙を取り除く

用紙トレイ1の左側のR2カバー内での紙づまり処置方法を説明します。以下の手順に従って、用紙を取り除いてください。

処置手順

❶ リリースレバーを引きながら、R2カバーをゆっくりと開きます。

❷ つまっている用紙を取り除きます。

用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。

❸ R2カバーをゆっくりと閉じます。

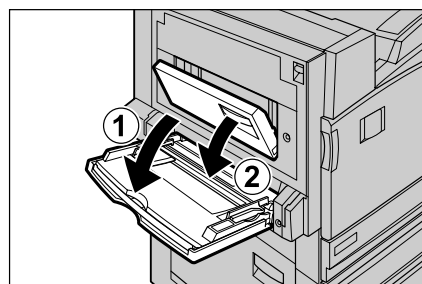
7.2.6 R3カバー内でつまっている用紙を取り除く

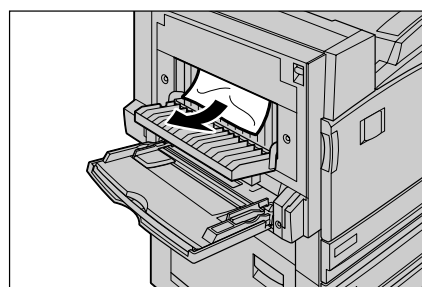
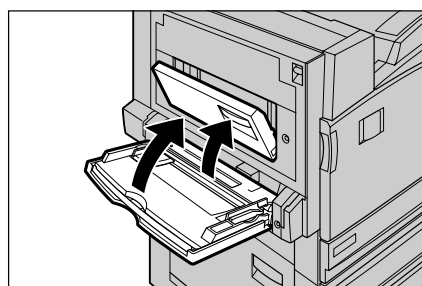
両面印刷機能付きの場合のR3カバー内での紙づまり処置方法を説明します。以下の手順に従って、用紙を取り除いてください。

補足

R3カバーでの紙づまりメッセージは、お使いのプリンターが両面印刷機能付きの場合に、ディスプレイに表示されます。

処置手順

❶ 手差しトレイを開き、R3カバーをゆっくりと開きます。

❷ つまった用紙を取り除きます。

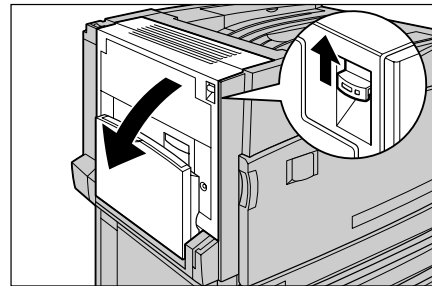
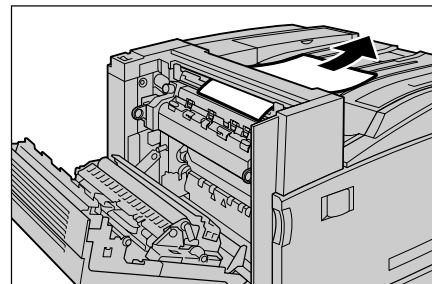
用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。

❸ R3カバーを閉じ、用紙トレイ5(手差し)を上げます。

7.2.7 R4カバー内でつまっている用紙を取り除く

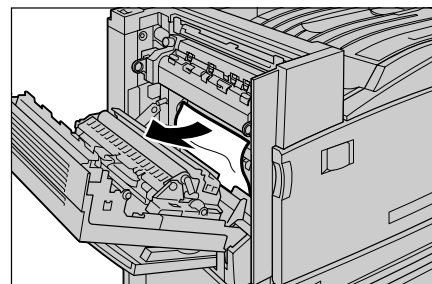
R4カバー内での紙づまり処置方法を説明します。以下の手順に従って、用紙を取り除いてください。
なお、長尺サイズ用紙の紙づまりの場合は、用紙や機械の損傷、およびけがを防ぐため、「長尺サイズの用紙の場合」(P.196)の手順に従って、用紙を取り除いてください。

注記

R4カバーの内部にある本体側の転写ベルト(黒いフィルム状のベルト)に画像が付いていることがあります。用紙を取り除くときは、この転写ベルトには触れないでください。画質に影響を及ぼしたり、転写ベルトの損傷による交換が必要になることがあります。

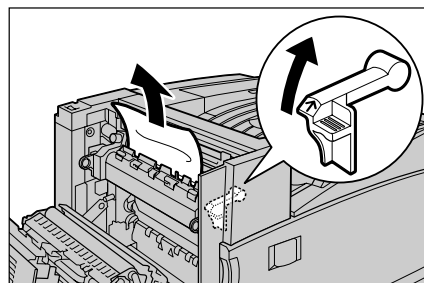
処置手順

1 リリースレバーを上げながら、R4カバーをゆっくりと開きます。

2 つまっている用紙の先端が排出トレイの方向に出ている場合は、排出方向にまっすぐに引いて用紙を取り除きます。

> ⚠注意
> **「高温注意」および「注意」を促すラベルが貼ってある箇所(定着部やその周辺)には絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。**

3 つまっている用紙を取り除きます。

> ⚠注意
> **「高温注意」および「注意」を促すラベルが貼ってある箇所(定着部やその周辺)には絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。**

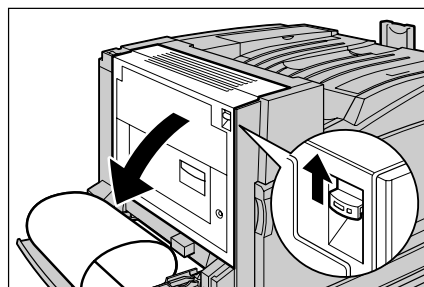
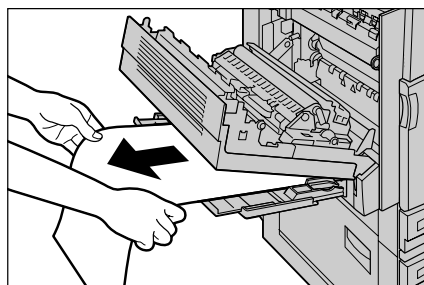
❹ **定着部(フューザーカートリッジ)に用紙がつまって引き抜けない場合は、レバーを上げて、用紙を取り除きます。**

用紙を取り除いたらレバーを戻してください。

> ⚠注意
>
> **「高温注意」および「注意」を促すラベルが貼ってある箇所(定着部やその周辺)には絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。**

❺ **R4カバーの中央部を押してR4カバーをゆっくりと閉じ、用紙トレイ5(手差し)を上げます。**

長尺サイズの用紙の場合

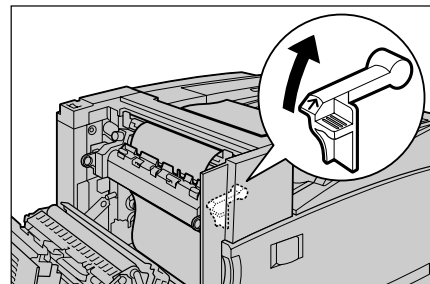
処置手順

❶ **リリースレバーを上げながら、R4カバーをゆっくりと開きます。**

❷ **R4カバーを開けたときに、用紙の先端が見えない場合、または、用紙の先端をつかむことができない場合は、用紙を図のように矢印の方向へ引き抜きます。**

❸ **用紙が定着部(フューザーカートリッジ)に送られていない場合は、矢印方向に、両手でまっすぐに引き抜きます。**

> ⚠注意
> **「高温注意」および「注意」を促すラベルが貼ってある箇所(定着部やその周辺)には絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。**

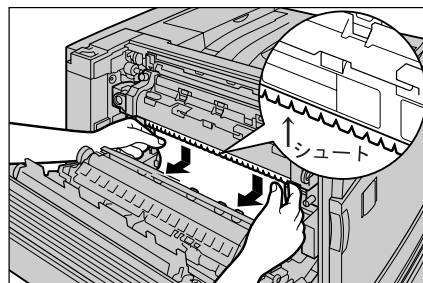
このとき、用紙を手差しトレイ側から引き抜かないでください。定着していないトナーがローラーに付いて、次の用紙を汚してしまうことがあります。

❹ **定着部(フューザーカートリッジ)に用紙がつまっている場合は、レバーを上げます。**

> ⚠注意
> **「高温注意」および「注意」を促すラベルが貼ってある箇所(定着部やその周辺)には絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。**

❺ 用紙の先端が定着部（フューザーカートリッジ）の中で止まっている場合は、用紙を両手で持ち、矢印方向に引いて、用紙の先端を引き出します。

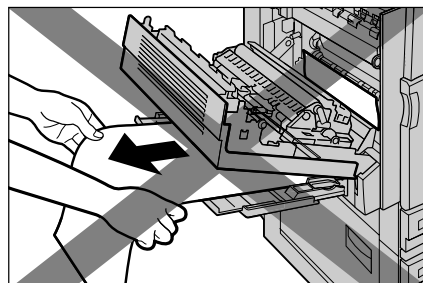
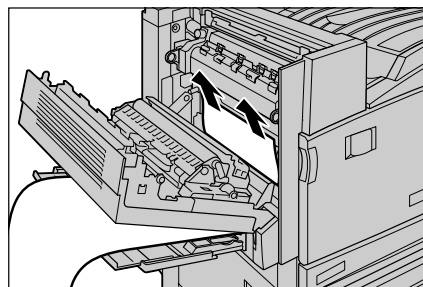
> ⚠注意
> **「高温注意」および「注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着部やその周辺）には絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。**

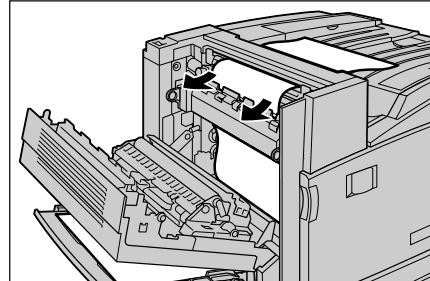
注記

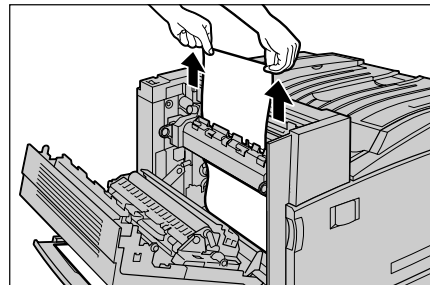
- 用紙は、シュートに当たらないように引き出してください。
- R4カバーの内部にある本体側の転写ベルト（黒いフィルム状のベルト）に画像が付いていることがあります。用紙を取り除くときは、この転写ベルトには触れないでください。画質に影響を及ぼしたり、転写ベルトの損傷による交換が必要になることがあります。

❻ 手順❺で引き出した用紙を、矢印方向に、両手でまっすぐに引き抜きます。

> ⚠注意
> **「高温注意」および「注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着部やその周辺）には絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。**

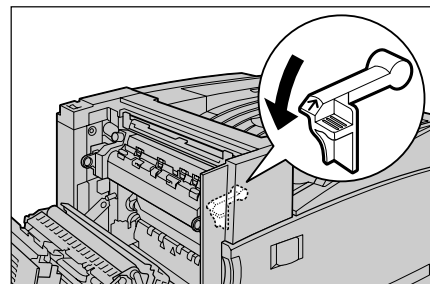
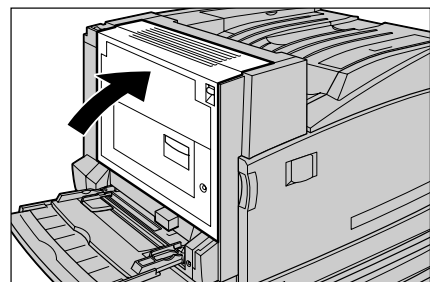
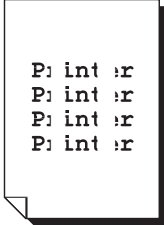
注記

このとき、用紙を手差しトレイ側から引き抜かないでください。定着していないトナーがローラーに付いて、次の用紙を汚してしまうことがあります。

❼ 用紙の先端が排出トレイ側に出ている場合は、用紙の両端を両手で持ち、矢印方向にまっすぐに引いて、用紙の先端を引き出します。

> ⚠注意
> **「高温注意」および「注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着部やその周辺）には絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。**

❽ 手順❼で引き出した用紙を両手で真上（矢印方向）に、まっすぐに引き抜きます。

> ⚠注意
> **「高温注意」および「注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着部やその周辺）には絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。**

注記

- 引き抜くときに、少し重たく感じられることがあります。
- 矢印方向にまっすぐに引き抜かないと、用紙が途中で切れ、本機の中に残り、トラブルになる可能性があります。

❾ レバーを下げます。

❿ R4カバーの中央部を押してR4カバーをゆっくりと閉じます。

7.3 印字品質が悪いとき

印字品質が悪い場合は、次の表から最も近いと思われる症状を選び、処置してください。
該当する処置をしても印字品質が改善されない場合は、弊社にご連絡ください。

症　状	原　因	処　置
印刷がうすい（かすれる、不鮮明） Printer	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 参照 「6.1　用紙をセットする」(P.120)
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照 「6.2.3　ドラムカートリッジ[A1][A2][A3][A4]を交換する」(P.138)
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。	新しいトナーカートリッジと交換してください。 参照 「6.2.2　トナーカートリッジを交換する(P.135)
黒点が印刷される Printer	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照 「6.2.3　ドラムカートリッジ[A1][A2][A3][A4]を交換する」(P.138)
黒線が印刷される Printer	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照 「6.2.3　ドラムカートリッジ[A1][A2][A3][A4]を交換する」(P.138)
等間隔に汚れが起きる Printer	用紙搬送路に汚れが付着しています。	数枚印刷してください。
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照 「6.2.3　ドラムカートリッジ[A1][A2][A3][A4]を交換する」(P.138)

症　状	原　因	処　置
黒くぬりつぶされた部分に白点が現れる	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「6.1　用紙をセットする」(P.120)
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照 「6.2.3　ドラムカートリッジ[A1][A2][A3][A4]を交換する」(P.138)
指でこするとかすれる トナーが定着しない 用紙がトナーで汚れる	用紙トレイにセットした用紙と操作パネルで設定した【用紙種類】が合っていない。	用紙トレイにセットした用紙に適する【用紙種類】を操作パネルで設定してください。 参照 「6.1.2　用紙をセットする　●●●用紙トレイ1〜4にセットする用紙種類の設定について」(P.125)
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 参照 「6.1　用紙をセットする」(P.120)
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「6.1　用紙をセットする」(P.120)
用紙全体が黒く印刷される	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照 「6.2.3　ドラムカートリッジ[A1][A2][A3][A4]を交換する」(P.138)
	高圧電源の故障が考えられます。	弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。
何も印刷されない	一度に複数枚の用紙が搬送されています(重送)。	用紙をよくさばいてからセットし直してください。 参照 「6.1　用紙をセットする」(P.120)
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照 「6.2.3　ドラムカートリッジ[A1][A2][A3][A4]を交換する」(P.138)

症　状	原　因	処　置
白抜けや白筋が出る	**レーザースキャナー部が汚れている可能性があります。**	**レーザースキャナー部を清掃してください。** 参照 「6.6　プリンターを清掃する」(P.181)
	高圧電源の故障が考えられます。	**弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。**
	用紙が湿気を含んでいます。	**新しい用紙と交換してください。** 参照 「6.1　用紙をセットする」(P.120)
	使用している用紙が適切ではありません。	**適切な用紙をセットしてください。** 参照 「6.1　用紙をセットする」(P.120)
用紙にシワが付く **文字がにじむ**	**使用している用紙が適切ではありません。**	**新しい用紙と交換してください。** 参照 「6.1　用紙をセットする」(P.120)
	用紙の継ぎ足しをしています。	
	用紙が湿気を含んでいます。	
縦長に白抜けする	**ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。**	**新しいドラムカートリッジと交換してください。** 参照 「6.2.3　ドラムカートリッジ[A1][A2][A3][A4]を交換する」(P.138)
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。	**新しいトナーカートリッジと交換してください。** 参照 「6.2.2　トナーカートリッジを交換する」(P.135)

症　状	原　因	処　置
斜めに印刷される Printer	用紙カセットのガイドクリップが正しい位置にセットされていません。	縦横のガイドクリップを正しい位置にセットしてください。 参照 「6.1　用紙をセットする」(P.120)
全体がうっすらと印刷される Printer Printer Printer Printer Printer	用紙トレイ5(手差し)を使用して印刷した場合で、プリンタードライバーで選択した用紙サイズと実際にセットされている用紙のサイズが異なります。または、一度に複数枚の用紙が搬送されています。	用紙トレイ5(手差し)に、正しいサイズの用紙をセットするか、用紙をよくさばいてからセットしてください。 参照 「6.1　用紙をセットする」(P.120)

7.4 ディスプレイに表示される主なメッセージ一覧

ここでは、プリンターのディスプレイに表示されるメッセージとエラーコードについて説明します。

7.4.1 メッセージ一覧（50音順）

メッセージには、プリンターの状態を表すものとエラーを表すものがあります。エラーメッセージについては、「原因」と「処置」を記載しています。

注記

エラーメッセージが表示されたときは、本機内に残っている印刷データや、本機のメモリー上に蓄えられた情報は保証されません。

補足

「＊」は数字を表します。「xxxx」は印刷しているレポート/リスト、セキュリティープリントの文書番号と文書名、入力ポート、用紙サイズまたは用紙サイズと方向のいずれかを表します。「XXXX」は用紙種類を表します。

メッセージ	原因/処置
HDDﾌｧｲﾙ ﾌﾘｮｳ [ｾｯﾄ]ｷｰﾃﾞ ｼｮｷｶｼﾏｽ	**【原因】 オプションの内蔵ハードディスクを装着している場合で、機械の使用中に停電などで一旦電源が切られたために、ハードディスクが壊れたことが考えられます。** **【処置】 操作パネルの〈排出/セット〉を押してください。ハードディスクが初期化されます。** 注記 ハードディスクの初期化をすると、登録したフォームやロゴ、セキュリティープリントのデータなどが消去されます。また、オプションのPostScriptソフトウェアキットを装着している場合は、PostScriptのダウンロードフォントも消去されます。
IPｱﾄﾞﾚｽ ｶﾞ ﾁｮｳﾌｸ ｼﾃ ｲﾏｽ	**【原因】 IPアドレスが重複しています。** **【処置】 IPアドレスを変更してください。** 参照 「1.4　IPアドレスを設定する」(P.9)
IPｱﾄﾞﾚｽ ﾉ ｼｭﾄｸ ﾆ ｼｯﾊﾟｲ ｼﾏｼﾀ	**【原因】 DHCPサーバーからのIPアドレスの取得に失敗しました。** **【処置】 手動でIPアドレスを設定してください。** 参照 「1.4　IPアドレスを設定する」(P.9)
R＊ ｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	**【原因】 R*カバーが開いています。** **【処置】 R*カバーを閉じてください。** 参照 「3.1　各部の名称と働き」(P.48)

トラブル対処方法 7

メッセージ	原因/処置
xxxx ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ ﾄﾚｲ*	**【状態】　レポート/リストを印刷しています。** 補足 クライアントからの印刷データを受信できません。
xxxx.xxxx ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ ﾄﾚｲ*	**【状態】　セキュリティープリントのジョブを印刷しています。** 補足 クライアントからの印刷データを受信できます。
ｴﾗｰ ｼｭｳﾘｮｳ ｼﾏｼﾀ (***-***)	**【原因】　エラーが発生して、正しく印刷されませんでした。** **【処置】　ディスプレイに表示されているエラーコード「(***-***)」を確認して処置してください。** 参照 「7.4.2　エラーコード一覧(50音順)」(P.215)
ｵﾅｼﾞ SMBﾎｽﾄﾒｲ ｶﾞ ｿﾝｻﾞｲ ｼﾃ ｲﾏｽ	**【原因】　同じSMBのホスト名が存在しています。** **【処置】　ホスト名を変更してください。** 参照 「9.1.2　SMBの設定の変更」(P.255)
ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ	**【状態】** **• 本機のシステム状態を診断/初期化しています。電源スイッチを入れたときや、システムリセット時に表示されます。しばらくすると、【プリントデキマス】のメッセージに変わります。** **• 本機内部に残っている印刷データを強制的に排出するための、ウオームアップ中です。** 補足 クライアントからの印刷データは受信できません。
ｶﾊﾞｰR* ｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	**【原因】　R*カバーが開いています。** **【処置】　R*カバーを閉じてください。** 参照 「3.1　各部の名称と働き」(P.48)
ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ R*ｦｱｹﾃ ﾐﾄﾞﾘﾉﾚﾊﾞｰｦ ｱｹﾞﾙ	**【原因】　R*カバー部で紙づまりが発生しています。** **【処置】　ディスプレイに表示されたカバーの位置を状態表示部で確認して、つまっている用紙を取り除いてください。** 参照 「7.2　プリンターの紙づまりを処置する」(P.188)

メッセージ	原因/処置
ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ R*ｦｱｹﾃ ﾖｳｼｦﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	**【原因】　R*カバー部で紙づまりが発生しています。** **【処置】　ディスプレイに表示されたカバーの位置を状態表示部で確認して、つまっている用紙を取り除いてください。** 参照 「7.2　プリンターの紙づまりを処置する」(P.188)
ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ ﾄﾚｲ* ﾆ ﾂﾏｯﾃｲﾙﾖｳｼｦｼﾞｮｷｮ	**【原因】　用紙トレイ*で紙づまりが発生しています。** **【処置】　用紙トレイ*につまっている用紙を取り除いてください。** 参照 「7.2　プリンターの紙づまりを処置する(P.188)
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ ××××	**【状態】　本機内部に残っている印刷データを強制排出するための、ウオームアップ中です。** 補足 クライアントからの印刷データを受信できます。
ｽﾍﾞﾃ ﾉ ﾃﾞｰﾀ ｦ ﾁｭｳｼ ｼﾃｲﾏｽ	**【状態】　本機内部に残っている印刷データを破棄中です。** 補足 クライアントからの印刷データは受信できません。
ｽﾍﾞﾃ ﾉ ﾃﾞｰﾀ ｦ ﾊｲｼｭﾂ ｼﾃｲﾏｽ	**【状態】　本機内部に残っている印刷データを強制排出中です。** 補足 クライアントからの印刷データは受信できません。
ｾﾝﾀｰﾄﾚｲ ﾉ ﾖｳｼｦﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	**【原因】　排出トレイの用紙がいっぱいになりました。** **【処置】　排出トレイから用紙を取り除いてください。** 参照 「3.1　各部の名称と働き」(P.48)
ｾﾝﾀｰﾄﾚｲ ﾉ ﾖｳｼｦﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	**【原因】　以下の3つの条件がすべて満たされている場合は、セキュリティープリントができません。** **・プリントジョブを受け付けるポートとして、lpdのみが起動されている。** **・[受け付けIPの制限]が[スル]に設定されている。** **・[操作パネル制限]が[スル]に設定されている。** **【処置】　3つの条件のいずれかの設定を変更し、セキュリティープリントしてください。** 参照 「4.9　機密文書を印刷する(セキュリティープリント)」(P.95)

メッセージ	原因/処置
チクセキ シテイマス xxxx HDD	【状態】 セキュリティープリントの印刷ジョブを蓄積しています。 補足 クライアントからの印刷データを受信できます。
チュウシ シテイマス xxxx トレイ*	【状態】 印刷中のデータを破棄しています。 補足 クライアントからの印刷データを受信できます。
デ゛ータ マチデ゛ス xxxx	【状態】 印刷データを待っている状態です。 補足 クライアントからの印刷データを受信できます。
デ゛ンゲ゛ンヲ オフーオン シテ クダ゛サイ (***-***)	【原因】 エラーが発生しました。 【処置】 電源スイッチを切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、再度電源スイッチを入れてください。再び同じメッセージが表示された場合は、「(***-***)」の表示内容を書き写してください。そのあと、電源スイッチを切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜き、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。
トナー C コウカン シテクダ゛サイ	【原因】 シアントナーカートリッジのトナーがなくなりました。 【処置】 新しいシアントナーカートリッジに交換してください。 参照 「6.2.2 トナーカートリッジを交換する」(P.135)
トナー K コウカン シテクダ゛サイ	【原因】 ブラックトナーカートリッジのトナーがなくなりました。 【処置】 新しいブラックトナーカートリッジに交換してください。 参照 「6.2.2 トナーカートリッジを交換する」(P.135)
トナー M コウカン シテクダ゛サイ	【原因】 マゼンタトナーカートリッジのトナーがなくなりました。 【処置】 新しいマゼンタトナーカートリッジに交換してください。 参照 「6.2.2 トナーカートリッジを交換する」(P.135)
トナー Y コウカン シテクダ゛サイ	【原因】 イエロートナーカートリッジのトナーがなくなりました。 【処置】 新しいイエロートナーカートリッジに交換してください。 参照 「6.2.2 トナーカートリッジを交換する」(P.135)

メッセージ	原因/処置
トナー C コウカンシ゛キテ゛ス	**【状態】 シアントナーカートリッジの残量が少なくなっています。新しいシアントナーカートリッジを準備してください。** 参照 「6.2.2 トナーカートリッジを交換する」(P.135) 補足 印刷処理、およびクライアントからの印刷データを受信できます。
トナー K コウカンシ゛キテ゛ス	**【状態】 ブラックトナーカートリッジの残量が少なくなっています。新しいブラックトナーカートリッジを準備してください。** 参照 「6.2.2 トナーカートリッジを交換する」(P.135) 補足 印刷処理、およびクライアントからの印刷データを受信できます。
トナー M コウカンシ゛キテ゛ス	**【状態】 マゼンタトナーカートリッジの残量が少なくなっています。新しいマゼンタトナーカートリッジを準備してください。** 参照 「6.2.2 トナーカートリッジを交換する」(P.135) 補足 印刷処理、およびクライアントからの印刷データを受信できます。
トナー Y コウカンシ゛キテ゛ス	**【状態】 イエロートナーカートリッジの残量が少なくなっています。新しいイエロートナーカートリッジを準備してください。** 参照 「6.2.2 トナーカートリッジを交換する」(P.135) 補足 印刷処理、およびクライアントからの印刷データを受信できます。
トナー カイシュウホ゛トル B ヲ コウカン シテクタ゛サイ	**【原因】 トナー回収ボトルがいっぱいになりました。** **【処置】 新しいトナー回収ボトルに交換してください。** 参照 「6.2.4 トナー回収ボトル[B]を交換する」(P.142)

メッセージ	原因/処置
トナー カイシュウボ゛トル B コウカンシ゛キテ゛ス	【状態】 **トナー回収ボトルの交換時期です。新しいトナー回収ボトルを準備してください。** 参照 「6.2.4 トナー回収ボトル[B]を交換する」(P.142) 補足 印刷処理、およびクライアントからの印刷データを受信できます。
ト゛ラム A1 コウカン シテクタ゛サイ	【原因】 **ドラムカートリッジA1の交換時期です。** 【処置】 **新しいドラムカートリッジA1に交換してください。** 参照 「6.2.3 ドラムカートリッジ[A1][A2][A3][A4]を交換する」(P.138)
ト゛ラム A2 コウカン シテクタ゛サイ	【原因】 **ドラムカートリッジA2の交換時期です。** 【処置】 **新しいドラムカートリッジA2に交換してください。** 参照 「6.2.3 ドラムカートリッジ[A1][A2][A3][A4]を交換する」(P.138)
ト゛ラム A3 コウカン シテクタ゛サイ	【原因】 **ドラムカートリッジA3の交換時期です。** 【処置】 **新しいドラムカートリッジA3に交換してください。** 参照 「6.2.3 ドラムカートリッジ[A1][A2][A3][A4]を交換する」(P.138)
ト゛ラム A4 コウカン シテクタ゛サイ	【原因】 **ドラムカートリッジA4の交換時期です。** 【処置】 **新しいドラムカートリッジA4に交換してください。** 参照 「6.2.3 ドラムカートリッジ[A1][A2][A3][A4]を交換する」(P.138)
ト゛ラム A1 コウカンシ゛キテ゛ス	【状態】 **ドラムカートリッジA1の交換時期が近づいています。新しいドラムカートリッジA1を準備してください。** 参照 「6.2.3 ドラムカートリッジ[A1][A2][A3][A4]を交換する」(P.138) 補足 印刷処理、およびクライアントからの印刷データを受信できます。

メッセージ	原因/処置
ドラム A2 コウカンジキデス	【状態】 **ドラムカートリッジA2の交換時期が近づいています。新しいドラムカートリッジA2を準備してください。** 参照 「6.2.3 ドラムカートリッジ[A1][A2][A3][A4]を交換する」(P.138) 補足 印刷処理、およびクライアントからの印刷データを受信できます。
ドラム A3 コウカンジキデス	【状態】 **ドラムカートリッジA3の交換時期が近づいています。新しいドラムカートリッジA3を準備してください。** 参照 「6.2.3 ドラムカートリッジ[A1][A2][A3][A4]を交換する」(P.138) 補足 印刷処理、およびクライアントからの印刷データを受信できます。
ドラム A4 コウカンジキデス	【状態】 **ドラムカートリッジA4の交換時期が近づいています。新しいドラムカートリッジA4を準備してください。** 参照 「6.2.3 ドラムカートリッジ[A1][A2][A3][A4]を交換する」(P.138) 補足 印刷処理、およびクライアントからの印刷データを受信できます。
ドラム/トナーカイシュウ ボトルヲ セットシテクダサイ	【原因】 **ドラムカートリッジ、またはトナー回収ボトルがセットされていない、または正しくセットされていません。** 【処置】 **ドラムカートリッジ、またはトナー回収ボトルを正しくセットしてください。** 参照 「6.2.3 ドラムカートリッジ[A1][A2][A3][A4]を交換する」(P.138)、「6.2.4 トナー回収ボトル[B]を交換する」(P.142)

メッセージ	原因/処置
トレイ＊ ニ ヨウシヲ ホキュウ xxxx XXXX	【原因】 用紙トレイ*のサイズと方向がxxxxで、用紙種類がXXXXの用紙は、用紙切れです。 【処置】 用紙トレイ*にサイズと方向がxxxxで、用紙種類がXXXXの用紙を補給してください。 参照 「6.1 用紙をセットする」(P.120)
トレイ＊ ノ ヨウシヲ カクニン xxxx XXXX	【原因】 用紙トレイ*に正しい用紙がセットされていません。 【処置】 用紙トレイ*にサイズと方向がxxxxで、用紙種類がXXXXの用紙をセットしてください。 参照 「6.1 用紙をセットする」(P.120)
トレイ＊ ヲ オシコンデ゛ クダ゛サイ	【原因】 用紙トレイ*が引き出されています。 【処置】 用紙トレイ*を正しくセットしてください。 参照 「6.1 用紙をセットする」(P.120)
トレイ＊ ノ ヨウシ ヲ カクニンシテクダ゛サイ	【原因】 用紙トレイ*にセットされているサイズの用紙には印刷できません。 【処置】 印刷できる用紙をセットしてください。 参照 「6.1 用紙をセットする」(P.120)
トレイ＊ヲ アケテ オクリカケノ ヨウシヲトリノゾ゛イテクダ゛サイ	【原因】 用紙トレイ*で紙づまりが発生しています。 【処置】 用紙トレイ*につまっている用紙を取り除いてください。 参照 「7.2 プリンターの紙づまりを処置する」(P.188)
トレイ＊(ユウセン)ニ セット xxxx XXXX	【原因】 用紙トレイ*のサイズと方向がxxxxで、用紙種類がXXXXの用紙は、用紙切れです。 【処置】 用紙トレイ*にサイズと方向がxxxxで、用紙種類がXXXXの用紙を補給してください。 参照 「6.1 用紙をセットする(P.120)

メッセージ	原因/処置
トレイ5ニカミヲイレ[セット] xxxx XXXX	【原因】 [手差しキー操作待ち]を指定して印刷を指示しています。 【処置】 用紙トレイ5(手差し)にサイズと方向がxxxxで、用紙種類がXXXXの用紙をセットするか、サイズと方向がxxxxで、用紙種類がXXXXの用紙がセットされているか確認してください。そのあと、操作パネルの[排出/セット]を押すと印刷が開始します。 参照 「6.1 用紙をセットする」(P.120)
ハイシュツ シテイマス xxxx トレイ*	【状態】 印刷データを排出しています。 補足 クライアントからの印刷データを受信できます。
ヒョウジ゛ュンROMフセイコ゛ウ セットキーテ゛ NVMショキカ	【原因】 装着されているROMのバージョンが合っていません。または、使用できない組み合わせのROMが装着されています。 【処置】 [排出/セット]を押して、メモリーを初期化するか、装着されているROMを確認してください。
フ゛ヒン コウカン ノ イライ シ゛キテ゛ス(***-***)	【原因】 部品の交換の時期が近づいています。 【処置】 「(***-***)」の表示内容を、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。
フ゛ヒン コウカン ヲ イライ シテクタ゛サイ(***-***)	【原因】 部品の交換の時期です。 【処置】 「(***-***)」の表示内容を、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。
フューザ゛ー E コウカン シテタ゛サイ	【原因】 フューザーカートリッジの交換時期です。 【処置】 新しいフューザーカートリッジに交換してください。 参照 「6.2.5 フューザーカートリッジ[E]を交換する(メンテナンス品)」(P.146)
フューザ゛ー E コウカンシ゛キテ゛ス	【状態】 フューザーカートリッジの交換時期が近づいています。新しいフューザーカートリッジを準備してください。 補足 印刷処理、およびクライアントからの印刷データを受信できます。
フューザ゛ー E コウカンシマシタカ? Y/N	【原因】 フューザーカートリッジの交換がプリンターに通知されていません。 【処置】 [◀] [▶]で【Y】、または【N】にカーソルを合わせて、[排出/セット]を押してください。

メッセージ	原因/処置
プ゛リント シテイマス xxxx	【状態】 **印刷データ処理中です。** 補足 クライアントからの印刷データを受信できます。
プ゛リント シテイマス xxxx トレイ*	【状態】 **トレイ*を使用して印刷中です。使用中のトレイは、引き出さないでください** 補足 クライアントからの印刷データを受信できます。
プ゛リント デ゛キマス	【状態】 **クライアントからの印刷データを受信できる状態です。**
プ゛リント デ゛キマス (***-***)	【原因】 **本機に故障が発生しています。** 【処置】 **電源スイッチを切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、再度電源スイッチを入れてください。再びエラーコードが表示された場合は、ディスプレイに表示されているエラーコード「(***-***)」を確認して処置してください。** 参照 「7.4.2　エラーコード一覧(50音順)」(P.215)
フロントカバ゛ー ヲ トジ゛テクダ゛サイ	【原因】 **フロントカバーが開いています。** 【処置】 **フロントカバーを閉じてください。** 参照 「3.1　各部の名称と働き」(P.48)
ポ゛ーズ゛ シテイマス	【状態】 **待機中に、[ポーズ]を押したポーズ状態になっています。ポーズ状態を解除するには、再び [ポーズ]を押してください。** 補足 クライアントからの印刷データは受信できません。
ポ゛ーズ゛ シテイマス デ゛ータ アリ	【状態】 **印刷中に、[ポーズ]を押したポーズ状態になっています。ポーズ状態を解除するには、再び [ポーズ]を押してください。** 補足 クライアントからの印刷データは受信できません。

メッセージ	原因/処置
モウイチト゛トレイ5 ノ ヨウシヲ セットシテ クタ゛サイ	【原因】 用紙トレイ5(手差し)に、正しく用紙がセットされていないか、カラー用のOHPフィルムがセットされています。本機では、カラー用のOHPフィルムは使用できません。 【処置】 用紙トレイ5(手差し)に、正しく用紙をセットするか、OHPフィルムは、枠なしのOHPフィルム(V516)を使用してください。 参照 「6.1 用紙をセットする」(P.120)
ヨウシ/セッテイヲ カクニン (カラーOHPハツカエマセン)	【原因】 カラー用のOHPフィルムがセットされています。本機では、カラー用のOHPフィルムは使用できません。 【処置】 OHPフィルムは、枠なしのOHPフィルム(V516)を使用してください。 参照 「6.1 用紙をセットする」(P.120)
ロク゛ファイル フリョウ [セット]キーテ゛ショキカシマス	【原因】 オプションの内蔵ハードディスクを装着している場合で、機械の使用中に停電などで一旦電源が切られたために、ハードディスクが壊れたことが考えられます。 【処置】 操作パネルの〈排出/セット〉を押してください。ハードディスクが初期化されます。 注記 ログファイルの初期化には、数十秒かかります。その間、電源を切ったりしないでください。

7.4.2 エラーコード一覧(50音順)

エラーが発生して印刷が正常に終了しなかった場合や本機に故障が発生した場合は、次のようなメッセージとエラーコード(*ー***)が表示されます。**

エラー シュウリョウ シマシタ (***-***)

プ リント デ キマス (***-***)

下表でエラーコードを参照して、処置してください。

注記

エラーコードが表示されたときは、本機内に残っている印刷データや、本機のメモリー上に蓄えられた情報は保証されません。

エラーコード	原因/処置
003-747	【原因】 非定形サイズを指定して、[用紙トレイ選択]を[自動]に設定しているなど、プリントパラメーターの組み合わせが不正です。 【処置】 印刷データを確認してください。上記の場合は、用紙トレイ5(手差し)を選択してください。
007-250	【原因】 本体とトレイキャビネットとの間で、通信エラーが発生しました。 【処置】 弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。なお、トレイキャビネット以外の用紙トレイは使用できます。
007-270	【原因】 用紙トレイ1が故障しました。 【処置】 弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ1以外の用紙トレイは使用できます。
007-271	【原因】 用紙トレイ2が故障しました。 【処置】 弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ2以外の用紙トレイは使用できます。
007-272	【原因】 用紙トレイ3が故障しました。 【処置】 弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ3以外の用紙トレイは使用できます。
007-273	【原因】 用紙トレイ4が故障しました。 【処置】 弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ4以外の用紙トレイは使用できます。
007-274	【原因】 用紙トレイ5(手差し)が故障しました。 【処置】 弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ5(手差し)以外の用紙トレイは使用できます。
007-276	【原因】 用紙トレイ3(大容量)が故障しました。 【処置】 弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ3(大容量)以外の用紙トレイは使用できます。

エラーコード	原因/処置
007-277	【原因】　用紙トレイ4(大容量)が故障しました。 【処置】　弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ4(大容量)以外の用紙トレイは使用できます。
007-281	【原因】　用紙トレイ1が故障しました。 【処置】　弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ1以外の用紙トレイは使用できます。
007-282	【原因】　用紙トレイ2が故障しました。 【処置】　弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ2以外の用紙トレイは使用できます。
007-283	【原因】　用紙トレイ3が故障しました。 【処置】　弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ3以外の用紙トレイは使用できます。
007-284	【原因】　用紙トレイ4が故障しました。 【処置】　弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ4以外の用紙トレイは使用できます。
007-291	【原因】　用紙トレイ3(大容量)が故障しました。 【処置】　弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ3(大容量)以外の用紙トレイは使用できます。
007-293	【原因】　用紙トレイ4(大容量)が故障しました。 【処置】　弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ4(大容量)以外の用紙トレイは使用できます。
016-701	【原因】　メモリーが不足したため、ART EXの印刷データを処理できませんでした。 【処置】　[印刷モード]を[速度優先]にして、もう一度印刷を指示してください。 参照 「4.10　印刷モードを設定する」(P.100)
016-702	【原因】　プリントページバッファが不足したため、ART EXの印刷データを処理できませんでした。 【処置】　次のどれかの方法で処置してください。 • [印刷モード]を[速度優先]にする • ページ印刷モードを利用する • プリントページバッファを増やす • メモリーを増設する 参照 [印刷モード]については「4.10　印刷モードを設定する」(P.100)、ページ印刷モードについては「4.2　主な印刷機能一覧」(P.63)、プリントページバッファについては「1.6　メモリーの割り当てについて」(P.19)

エラーコード	原因/処置
016-705	【原因】　内蔵増設ハードディスク装置が装着されていないので、セキュリティープリント文書が登録できませんでした。 【処置】　セキュリティープリント機能を使用するには、内蔵増設ハードディスク装置を装着する必要があります。 参照 「4.9　機密文書を印刷する(セキュリティープリント)」(P.95)
016-721	【原因】　印刷処理中エラーが発生しました。次の原因が考えられます。 ①共通メニューの[プリント設定]の[用紙の優先順位]がすべての用紙で【シナイ】に設定されているときに、自動トレイ選択で印刷を指示している ②ESC/P(オプション)のコマンドエラー 【処置】　①については、自動トレイ選択で印刷をする場合は、[用紙の優先順位]で、用紙のどれかを【シナイ】以外に設定してください。また、ユーザー定義用紙を選択すると、自動的に[用紙の優先順位]が【シナイ】に設定されてしまうので、注意してください。 ②については、印刷データを確認してください。 参照 [用紙の優先順位]については、「8.2　共通メニューの設定を変更する」(P.228)
016-726	【原因】　プリントモード指定が【ジドウ】の場合に、プリント言語を自動的に選択できませんでした。 次の原因が考えられます。 ①PostScript®ソフトウェアキットが装着されていない状態で、PostScript®データを送信した ②PostScript®ソフトウェアキットが装着されていて、内蔵増設ハードディスク装置が装着されていない状態で、LPRなどを使って、PDFファイルを本機に直接送信した ③ART IV/エミュレーションキットが装着されていない場合に、プリントモード指定を【ジドウ】で、ART IV、ESC/P、HP-GL/2のデータを送信した 【処置】　①については、PostScript®ソフトウェアキットの装着が必要です。 ②については、内蔵増設ハードディスク装置の装着が必要です。 ③については、ART IV/エミュレーションキットの装着が必要です。
016-730	【原因】　サポートされていないコマンドを検知しました。 【処置】　印刷データを確認し、エラーを引き起こすコマンドを削除して、もう一度印刷を指示してください。
016-748	【原因】　ハードディスクの領域が不足しているため、印刷できません。 【処置】　印刷データを分割する、複数部印刷している場合は1部ずつ印刷するなどで、印刷データのページ数を少なくしてください。

エラーコード	原因/処置
016-749	【原因】 JCLコマンドの構文エラーが発生しました。 【処置】 印刷設定を確認するか、JCLコマンドを訂正してください。
016-760	【原因】 PostScript®の処理中にエラーが発生しました。 【処置】 次のどれかの方法で処置してください。 • [印刷モード]を[速度優先]にする • プリントページバッファを増やす • PS使用メモリーを増やす 参照 [印刷モード]については「4.10　印刷モードを設定する」(P.100)、プリントページバッファ、PS使用メモリーについては「1.6　メモリーの割り当てについて」(P.19)
016-761	【原因】 イメージ処理中エラーが発生しました。 【処置】 [印刷モード]を[速度優先]にして、もう一度印刷を指示してください。それでも印刷できない場合は、[ページ印刷モード]を[する]に設定し、[印刷モード]を[速度優先]で印刷してください。 参照 [印刷モード]については「4.10　印刷モードを設定する」(P.100)、ページ印刷モードについては「4.2　主な印刷機能一覧」(P.63)
016-762	【原因】 実装されていないプリント言語が指定されました。 次の原因が考えられます。 ①共通メニューの[システム設定]の[ART EXの起動]が【テイシ】に設定されているときに、ART EXデータを送信した ②ART IV/エミュレーションキットが装着されていない状態で、ART IV、ESC/P、HP-GL/2データを送信した 【処置】 ①については、ART IV/エミュレーションキットの装着が必要です。 ②については、[ART EXの起動]を【キドウ】にしてください。 参照 [ART EXの起動]については、「8.2　共通メニューの設定を変更する」(P.228)
007-954	【原因】 プリンタードライバーで指定した用紙サイズと、手差しトレイにセットした用紙サイズが違っていることが考えられます。 【処置】 プリンタードライバーで正しい用紙サイズを指定してから印刷をしてください。

7.5 TCP/IP環境使用時のトラブル

ここでは、TCP/IPの環境で使用している場合のトラブルについて、原因や確認方法、処置方法を記載しています。その他の環境でのトラブルについては、同梱のCentreWareのCD-ROMに入っている電子マニュアルを参照してください。

7.5.1 Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meの場合

印刷されないとき

お使いのコンピューターの[スタート]メニューの[設定]から、[プリンタ]をクリックし、表示されたウインドウで、本機の状態が「印刷不可状態(NetworkError)」と表示された場合の対処方法について説明します。

原因	確認方法	処置
本機が、クライアントと異なるネットワークに接続されている。	ネットワークのシステム管理者に、クライアントが接続されているネットワークと、本機が接続されているネットワークの間に、ルーターやゲートウェイが介在しているか確認する。	本機を、クライアントが接続されているネットワークに直接接続する。
クライアントから本機までのネットワーク上に障害が発生して、コネクションが確立できない。	「印刷不可状態(NetworkError)」と表示される。	ネットワークのシステム管理者に、ネットワーク障害について調べてもらう。
本機のIPアドレスを誤って入力している。	「印刷不可状態(NetworkError)」と表示される。プリンターアイコンの[ファイル]メニューの[プロパティ]を選択し、[詳細]タブの[ポートの設定]を選択する。表示された[FX TCP/IP DPUポートの設定]ダイアログボックスのIPアドレスと、機能設定リストのIPアドレスを比較する(機能設定リストのプリント方法は、「6.3 レポート/リストを印刷する」(P.149)を参照してください)。	[FX TCP/IP DPUポートの設定]ダイアログボックスのIPアドレスに、本機に設定されているIPアドレスを正しく入力する。
クライアントから印刷指示をしたあと、本機の電源が切れたり、電源が入っていない本機へクライアントから印刷を指示した。	「印刷不可状態(NetworkError)」と表示される。本機の電源が入っているか調べる。	本機の電源を入れる。
本機に対して、多数のクライアントから同時に印刷を指示している。	「印刷不可状態(NetworkError)」と表示される。	なし(自動的に印刷が再開されます)。
パソコンのディスク容量が不足しているので、印刷するファイルをスプールできない。	「印刷不可状態(SpoolError)」と表示される。[マイコンピュータ]を開き、Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meがインストールされているディスク(例:Cドライブ)を右クリックする。表示されたメニューから[プロパティ]を選択し、空き領域を確認する。	不要なファイルを削除して、ディスクの空き領域を確保したあと、[プリンタ]ウィンドウの[ドキュメント]メニューの[一時停止]を選択し、停止状態を解除する(印刷が再開されます)。

7.5.2 Windows NT®4.0、Windows® 2000の場合

印刷されないとき

原　因	確認方法	処　置
正しいIPアドレスが設定されていない。	ネットワーク管理者に、本機のIPアドレスが正しいかどうか調べてもらう。	本機に、正しいIPアドレスを設定する。
[lpdスプール]を【メモリースプール】に設定している場合に、クライアントから1回の印刷指示で送信される印刷データの容量が、受信容量の上限を超えている。	[lpdスプール]のメモリー容量を確認して、1回の印刷指示で送信しようとしている印刷データの容量と比較してみる。	1. 印刷データ容量が、1つのファイルで、メモリー容量の上限を超える場合は、そのファイルをメモリー容量の上限より小さいサイズに分割して印刷を指示する。 2. 印刷データ容量が、複数のファイルで、メモリー容量の上限を超える場合は、1度に印刷を指示するファイル数を減らす。
印刷処理中に対処不可能な障害が発生した。	操作パネルのディスプレイでエラーが表示されていないか確認する。	電源スイッチを入れ直す。
クライアントと一致するトランスポートプロトコルを選択していない。	選択されているトランスポートプロトコルを確認する。	クライアントと一致するトランスポートプロトコルを選択する。

7.6 印刷データを強制的に排出させる

本機が受信しているすべてのジョブを実行して印刷します。

この操作によって、印刷データの受信を中断し、受信バッファを空の状態にすることができます。

参照

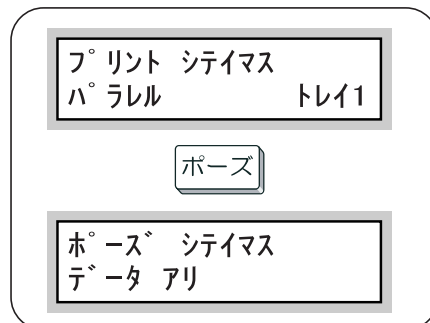
本機のすべてのジョブを消去する方法もあります。消去する方法については、「4.3　印刷を中止する/印刷を指示したジョブの状態を確認する」(P.77)を参照してください。

操作手順

❶ 右記のディスプレイ状態で ポーズ を押します。

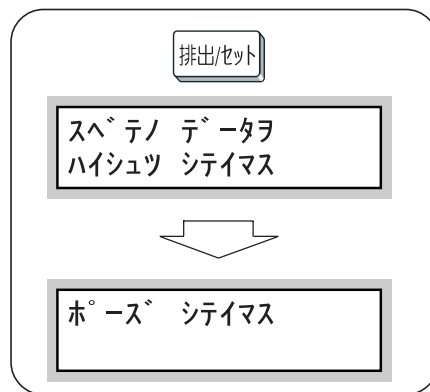
ポーズ状態になります。

補足

ポーズ を押すと、本機は自動的にデータの受信ができない状態になります。

❷ 排出/セット を押します。

印刷が開始されます。
すべてのジョブを実行して印刷すると、【ポーズシテイマス】の表示になります。

補足

パラレルインターフェイスの場合、手順❶ の ポーズ を押すタイミングによって、データ受信がジョブの途中になることがあります。この場合、それ以降の印刷データは 排出/セット を押したあとに、新しい印刷ジョブとして認識され、手順❸のポーズ解除後、新しい印刷ジョブとして処理されます。

❸ ポーズ を押します。

【プリントデキマス】の表示になります。

補足

パラレルインターフェースの場合、プリントモード指定が【ジドウ】に設定されていると、ここでのポーズ解除後、手順 ❷の補足で説明したように、新しいジョブとして処理されるデータは、正常に印刷されないことがあります。

参照

プリントモード指定については、「8.2　共通メニューの設定を変更する」(P.228)を参照してください。

共通メニューの設定

8.1 共通メニューの概要

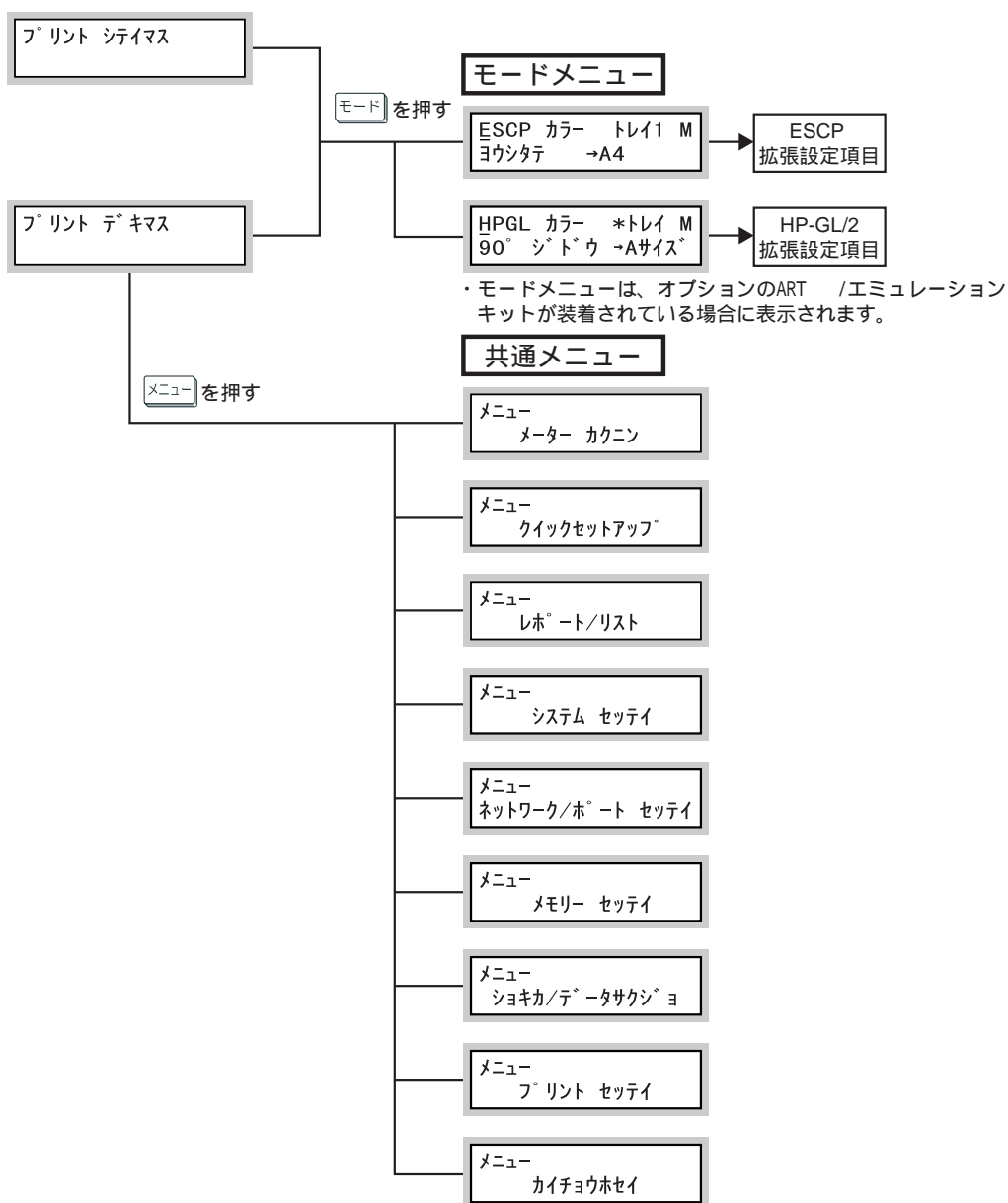
8.1.1 メニューについて

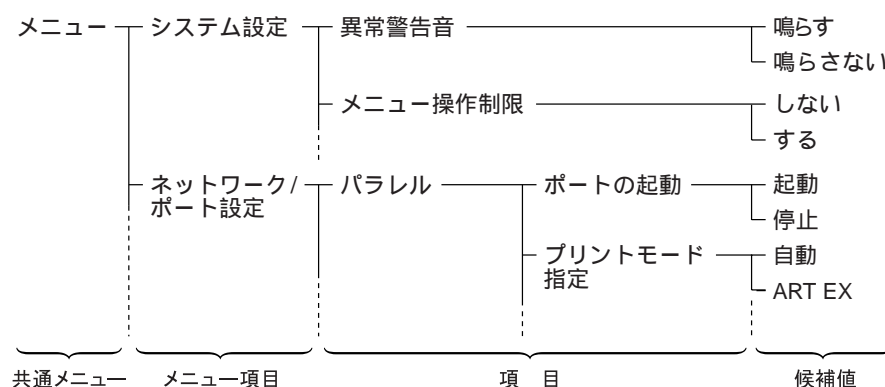
メニューには、「共通メニュー」と「モードメニュー」があります。

参照

モードメニューは、オプションのART IV/エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。モードメニューについて詳しくは、『ART IV/エミュレーションキット取扱説明書』を参照してください。

共通メニューの設定

8

8.1.2 共通メニューについて

共通メニューは、メーター確認、クイックセットアップ、レポート/リスト、システム設定、ネットワーク/ポート設定、メモリー設定、初期化/データ削除、プリント設定、階調補正から構成されています。すべてのプリントモードに共通の項目を設定する画面です。
共通メニューは、次のような階層で構成されています。
• 共通メニュー＞メニュー項目＞項目＞候補値
下の図は、共通メニューの階層の一部を示したものです。

メーター確認

メーター確認メニューは、印刷した枚数をディスプレイに表示するメニューです。

参照
メーター確認の操作は、「6.4　総印刷枚数を確認する」(P.167)を参照してください。

クイックセットアップ

クイックセットアップメニューは、一連の流れに従って、プリンターを使うための必要最低限の設定をするためのメニューです。

参照
クイックセットアップについては、「1.2　プリンター本体を簡単にセットアップする」(P.6)を参照してください。また、詳細な設定をする場合は、「8.2　共通メニューの設定を変更する」(P.228)を参照してください。

レポート/リスト

レポート/リストメニューは、オプションのエミュレーションモードの設定内容、プリンターの設定情報、エラー履歴、ジョブ履歴、フォントに関する情報、出力の集計など本機内部の情報を印刷し、確認するためのメニューです。

参照

レポート/リストメニューについて詳しくは、「6.3 レポート/リストを印刷する」(P.149)を参照してください。

システム設定

システム設定メニューは、警告音、節電モード、システム時計など本機の動作設定を行うためのメニューです。

参照

システム設定メニューで設定できる項目および操作は、「8.2 共通メニューの設定を変更する」(P.228)を参照してください。

ネットワーク/ポート設定

ネットワーク/ポート設定メニューは、クライアントに接続されている本機のインターフェイスの種類、およびその通信に必要な条件を設定するためのメニューです。

補足

「停止」に設定されているポートの各種設定はできません。

参照

ネットワーク/ポート設定メニューで設定できる項目および操作は、「8.2 共通メニューの設定を変更する」(P.228)を参照してください。

メモリー設定

メモリー設定メニューは、各インターフェイスのメモリーや、フォームメモリーの容量の変更などを行うためのメニューです。

補足

「停止」に設定されているポートの各種設定はできません。

参照

メモリー設定メニューで設定できる項目および操作は、「8.2 共通メニューの設定を変更する」(P.228)を参照してください。

初期化/データ削除

初期化/データ削除メニューは、プリンター設定値、ハードディスクなどの初期化やフォームデータなどを削除するためのメニューです。

参照

初期化/データ削除メニューで設定できる項目および操作は、「8.2　共通メニューの設定を変更する」(P.228)を参照してください。

プリント設定

プリント設定メニューは、用紙や用紙トレイについて設定するためのメニューです。

参照

プリント設定メニューで設定できる項目および操作は、「8.2　共通メニューの設定を変更する」(P.228)を参照してください。

階調補正

印刷画質の色階調がずれた場合に、階調を補正するためのメニューです。

参照

階調補正については、「6.5　階調を補正する」(P.172)を参照してください。

8.2 共通メニューの設定を変更する

ここでは、共通メニューで設定できる項目と、その操作方法について説明します。

8.2.1 共通メニューの項目一覧

共通メニューで設定できる項目について、システム設定、ネットワーク/ポート設定、メモリー設定、初期化/データ削除、プリント設定に分けて説明します。

参照

上記のメニューの設定方法については、「8.2.2　共通メニューの設定を変更する」(P.245)を参照してください。また、上記以外のメーター確認メニューについては「6.4　総印刷枚数を確認する」(P.167)、クイックセットアップメニューについては「1.2　プリンター本体を簡単にセットアップする」(P.6)、レポート/リストメニューについては「6.3　レポート/リストを印刷する」(P.149)、階調補正については、「6.5　階調を補正する」(P.172)を参照してください。

補足

CentreWare Internet Servicesを使用すると、さらに詳細な設定ができます。詳しくは、「5.1　クライアントからプリンターを設定する(CentreWare Internet Services)」(P.110)を参照してください。

システム設定一覧

システム設定メニューは、警告音、節電モード、システム時計など、本機の動作設定を行うためのメニューです。

異常警告音

本機に異常が発生したときに、警告音を鳴らすかどうかを設定します。初期値は【ナラサナイ】です。音量の調整はできません。

操作パネル制限　*補足(1)

メニュー操作とモードメニュー操作に、パスワードによる制限をかけるかどうかを設定します。【スル】に設定すると、メニュー操作時とモードメニュー操作時にパスワードの入力が必要になります。初期値は【シナイ】です。なお、モードメニューは、オプションのART IV/エミュレーションキットが装着されている場合に使用できます。

補足

【スル】に設定したときにパスワードが設定されていないと、パスワード設定画面が表示されます。パスワードを4桁の数字で入力してください。

パスワードの変更　*補足(1)

操作パネル制限を設定している場合のパスワードを変更できます。パスワードを4桁の数字で入力してください。

補足

操作パネル制限を【スル】に設定しないと、パスワードを変更できません。

ポーズ自動解除 *補足(1)

ポーズ状態を自動的に解除するかどうかを設定します。解除しないか、解除する時間を1分後、2分後、または3〜30分の間で1分単位に設定します。初期値は【シナイ】です。

節電モード

節電モード(スリープモード)は、一定の時間が経過すると、自動的に機械の消費電力を節約する機能です。この機能を使用するかどうかを設定します。初期値は【ユウコウ】です。

補足

節電モードについては、「3.3 節電機能を利用する」(P.59)を参照してください。

節電モード移行時間 *補足(1)

節電モード(スリープモード)に移行するまでの時間を15〜240分の間で1分単位に設定します。節電モードになると、節電が点灯します。初期値は【30フンゴ】です。

補足

節電モードについては、「3.3 節電機能を利用する」(P.59)を参照してください。

システム時計 *補足(1)

本機のシステム時計の日付(年/月/日)と時刻(時/分)を、西暦(4桁、2000〜2099年の範囲)・24時間表示で設定します。ここで設定された日付/時刻がリストやレポートに印刷されます。
日付：2001年01月01日のように、YYYY/MM/DDの形式で設定します。
時刻：12時02分のように、HH/MMの形式で設定します。

自動ジョブ履歴

処理を行ったプリントジョブに関する情報(ジョブ履歴レポート)を、自動的に印刷するかどうかを設定します。
【シュツリョクスル】に設定すると、過去に自動で排出されていないジョブ履歴が、記憶領域いっぱいになった時点(50件)で、古いものから自動的に印刷されます。実行中や実行待ちのプリントジョブは記録されません。
初期値は【シュツリョクシナイ】です。

レポート両面プリント

本機が両面印刷機能付きの場合で、レポート/リストを印刷するときに、片面に印刷するか両面に印刷するかを設定します。初期値は【カタメン】です。

ART EXの起動

メモリー不足が発生して、PostScript(オプション)で印刷できないときに、ART EXを停止して、PostScriptファイル格納用メモリーを増やすことができます。初期値は【キドウ】です。この項目は、PostScript®ソフトウェアキットが装着されている場合に表示されます。

プリント可能領域

プリント可能領域を拡張するかどうかを設定します。オプションのエミュレーション(ESC/Pは除く)やPostScriptで印刷する場合に有効です。初期値は【ヒョウジュン】です。

ネットワーク/ポート設定一覧

ネットワーク/ポート設定メニューは、クライアントに接続されている本機のインターフェイスの種類、およびその通信に必要な条件を設定するためのメニューです。

パラレル

パラレルインターフェイスを使う場合に設定します。

■ポートの起動

電源を入れたときに、パラレルインターフェイスの状態を「起動」にするか「停止」にするかを設定します。初期値は【キドウ】で、パラレルインターフェイスを使う設定になっています。

注記

ポートを【キドウ】にしたときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に【テイシ】に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートのポート状態を【テイシ】にするか、メモリー割り当て容量を変更してください。

■プリントモード指定　*注記(1)

印刷データの処理方法(使用するプリント言語)を設定します。
候補値は、以下のとおりです。
【ジドウ】（初期値）
クライアントから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。
【ART EX】【PS】【ART4】【HP-GL/2】【ESC/P】
クライアントから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。【ＰＳ】は、PostScript®ソフトウェアキットが装着されている場合に表示されます。【ART4】【HP-GL/2】【ESC/P】は、ART IV/エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。
【HexDump】　*補足(2)
クライアントから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを16進表記形式と対応するASCIIコードで印刷します。この項目は、PostScript®ソフトウェアキット、またはART IV/エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。

■JCL　*注記(2)

本機では、どのプリント言語にも依存しないJCLコマンドが使えます。JCLコマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、クライアントから送られてくるJCLコマンドを有効にするか無効にするかを設定します。JCLコマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は【ユウコウ】にします。初期値は【ユウコウ】です。

■Adobe通信プロトコル

PostScriptの通信プロトコルを設定します。この項目は、PostScript®ソフトウェアキットが装着されている場合に表示されます。
候補値は、以下のとおりです。
【ヒョウジュン】（初期値）
通信プロトコルがASCII形式のときに設定します。
【バイナリー】
通信プロトコルがバイナリー形式のときに設定します。データによっては印刷処理が【ヒョウジュン】に比べて速くなることがあります。
↓次ページへ

パラレル

↓前ページより

【TBCP】
通信プロトコルにASCII形式とバイナリー形式が混在し、それらを特定の制御コードによって切り替えるときに設定します。

補足

- クライアントのプリンタードライバーが出力するデータの形式に合わせて設定してください。
- 通常は、初期値の【ヒョウジュン】で使用してください。
- ここでの設定は、パラレルのプリントモード指定が【PS】の場合にだけ有効です。

■ **自動排出時間**　*補足(1)
データが受信されない状態が継続したとき、本機内に残っているデータを自動的に印刷して排出する時間を設定します。
時間は5～1275秒の間で、5秒単位に設定します。初期値は【30ビョウ】です。また、最後のデータを受信してから、ここで設定した時間内に次のデータが受信されない場合は、ジョブの終了と判断されます。

■ **双方向通信**
パラレルインターフェイスの双方向送信(IEEE1284)を有効にするか無効にするかを設定します。初期値は【ユウコウ】です。

■ **インプットプライム**
INPUT_PRIME制御(ハードウェアリセット)を有効にするか無効にするかを設定します。INPUT_PRIME信号を受信すると、リセット処理が行われます。初期値は【ユウコウ】です。

補足

この設定は、エミュレーションで使います。

注記

クライアントによっては、印刷するたびにINPUT_PRIME信号が出力されてリセット処理が行われるので、操作パネルから指定したメニュー操作の内容が印刷結果に反映されないことがあります。このような場合は【ムコウ】を指定することによって、メニュー操作の内容を反映できます。

lpd

lpdを使う場合に設定します。

■ **ポートの起動**
電源を入れたときに、lpdポートの状態を「起動」にするか「停止」にするかを設定します。初期値は【キドウ】で、lpdを使う設定になっています。

補足

lpdポートを起動するには、IPアドレスの設定が必要です。

注記

ポートを【キドウ】にしたときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に【テイシ】に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートのポート状態を【テイシ】にするか、メモリー割り当て容量を変更してください。

↓次ページへ

lpd　　↓前ページより

■ **プリントモード指定**　*注記(1)
印刷データの処理方法(使用するプリント言語)を設定します。
候補値は、以下のとおりです。
【ジドウ】(初期値)
クライアントから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。
【ART EX】【PS】【ART4】【HP-GL/2】【ESC/P】
クライアントから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。【ＰＳ】は、PostScript®ソフトウェアキットが装着されている場合に表示されます。【ART4】【HP-GL/2】【ESC/P】は、ART Ⅳ/エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。
【HexDump】　*補足(2)
クライアントから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを16進表記形式と対応するASCIIコードで印刷します。この項目は、PostScript®ソフトウェアキット、またはART Ⅳ/エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。

■ **JCL**　*注記(2)
本機では、どのプリント言語にも依存しないJCLコマンドが使えます。JCLコマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、クライアントから送られてくるJCLコマンドを有効にするか無効にするかを設定します。JCLコマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は【ユウコウ】にします。初期値は【ユウコウ】です。

■ **コネクションタイムアウト**　*補足(1)
印刷データの受信中に、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を、2～3600秒の間で、1秒単位に設定します。初期値は【16ビョウ】です。

■ **TBCPフィルター**
PostScriptデータを処理するときに、TBCPフィルターを有効にするか無効にするかを設定します。この項目は、PostScript®ソフトウェアキットが装着されている場合に表示されます。初期値は【ムコウ】です。

■ **受け付けIPの制限**
印刷を受け付けるIPアドレスを制限するかしないかを設定します。【スル】に設定すると、登録されているＩＰアドレス以外からの印刷を受け付けません。初期値は【シナイ】です。

補足

【スル】に設定しても、登録されているIPアドレスがすべて000.000.000.000の場合は、無効となります。

■ **受け付けIPの登録**　*補足(1)
受け付けIPの制限機能を使う場合に、印刷を受け付けるＩＰアドレスを登録します。ＩＰアドレスは、10個まで登録できます。登録したIPアドレスには、アドレスマスクを設定します。IPアドレス、アドレスマスクは、xxx.xxx.xxx.xxxの形式で入力します。xxxは0～255までの数値です。

NetWare

NetWareを使う場合に設定します。

■ **ポートの起動**
電源を入れたときに、NetWareポートの状態を「起動」にするか「停止」にするかを設定します。初期値は【テイシ】です。NetWareを使う場合、【キドウ】に設定してください。

注記

ポートを【キドウ】にしたときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に【テイシ】に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートのポート状態を【テイシ】にするか、メモリー割り当て容量を変更してください。

■ **トランスポートプロトコル**
NetWareで使うトランスポート層のプロトコルを設定します。IPX/SPX、TCP/IPのどちらか、または両方が使えます。初期値は【TCP/IP,IPX/SPX】です。

補足

TCP/IPを使う場合は、クライアント側、本機側ともにIPアドレスが必要です。

■ **プリントモード指定**　*注記(1)
印刷データの処理方法(使用するプリント言語)を設定します。
候補値は、以下のとおりです。
【ジドウ】（初期値）
クライアントから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。
【ART EX】【PS】【ART4】【HP-GL/2】【ESC/P】
クライアントから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。【ＰＳ】は、PostScript®ソフトウェアキットが装着されている場合に表示されます。【ART4】【HP-GL/2】【ESC/P】は、ART IV/エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。
【HexDump】　*補足(2)
クライアントから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを16進表記形式と対応するASCIIコードで印刷します。この項目は、PostScript®ソフトウェアキット、またはART IV/エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。

■ **JCL**　*注記(2)
本機では、どのプリント言語にも依存しないJCLコマンドが使えます。JCLコマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、クライアントから送られてくるJCLコマンドを有効にするか無効にするかを設定します。JCLコマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は【ユウコウ】にします。初期値は【ユウコウ】です。

■ **検索回数**　*補足(1)
ファイルサーバーを検索する回数を設定します。
1〜100回の間で1回単位、または上限なしを設定します。検索間隔は、1分です。初期値は【ジョウゲンナシ】です。

■ **TBCPフィルター**
PostScriptデータを処理するときに、TBCPフィルターを有効にするか無効にするかを設定します。この項目は、PostScript®ソフトウェアキットが装着されている場合に表示されます。
初期値は【ムコウ】です。

SMB

SMBを使う場合に設定します。

■ポートの起動

電源を入れたときに、SMBポートの状態を「起動」にするか「停止」にするかを設定します。初期値は【キドウ】で、SMBを使う設定になっています。

注記

ポートを【キドウ】にしたときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に【テイシ】に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートのポート状態を【テイシ】にするか、メモリー割り当て容量を変更してください。

■トランスポートプロトコル

SMBで使うトランスポート層のプロトコルを設定します。NetBEUI、TCP/IPのどちらか、または両方が使えます。初期値は【TCP/IP,NetBEUI】です。

補足

TCP/IPを使う場合は、クライアント側、本機側ともにIPアドレスが必要です。

■プリントモード指定 *注記(1)

印刷データの処理方法(使用するプリント言語)を設定します。
候補値は、以下のとおりです。
【ジドウ】(初期値)
クライアントから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。
【ART EX】【PS】【ART4】【HP-GL/2】【ESC/P】
クライアントから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。【PS】は、PostScript®ソフトウェアキットが装着されている場合に表示されます。【ART4】【HP-GL/2】【ESC/P】は、ART IV/エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。
【HexDump】 *補足(2)
クライアントから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを16進表記形式と対応するASCIIコードで印刷します。この項目は、PostScript®ソフトウェアキット、またはART IV/エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。

■JCL *注記(2)

本機では、どのプリント言語にも依存しないJCLコマンドが使えます。JCLコマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、クライアントから送られてくるJCLコマンドを有効にするか無効にするかを設定します。JCLコマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は【ユウコウ】にします。初期値は【ユウコウ】です。

■TBCPフィルター

PostScriptデータを処理するときに、TBCPフィルターを有効にするか無効にするかを設定します。この項目は、PostScript®ソフトウェアキットが装着されている場合に表示されます。
初期値は【ムコウ】です。

IPP

IPPを使う場合に設定します。

■ **ポートの起動**
電源を入れたときに、IPPポートの状態を「起動」にするか「停止」にするかを設定します。初期値は【テイシ】です。IPPを使う場合、【キドウ】に設定してください。

補足

IPPポートを起動するには、IPアドレスの設定が必要です。

注記

ポートを【キドウ】にしたときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に【テイシ】に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートのポート状態を【テイシ】にするか、メモリー割り当て容量を変更してください。

■ **プリントモード指定**　*注記(1)
印刷データの処理方法(使用するプリント言語)を設定します。
候補値は、以下のとおりです。
【ジドウ】（初期値）
クライアントから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。
【ART EX】【PS】【ART4】【HP-GL/2】【ESC/P】
クライアントから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。【ＰＳ】は、PostScript®ソフトウェアキットが装着されている場合に表示されます。【ART4】【HP-GL/2】【ESC/P】は、ART Ⅳ/エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。
【HexDump】　*補足(2)
クライアントから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを16進表記形式と対応するASCIIコードで印刷します。この項目は、PostScript®ソフトウェアキット、またはART Ⅳ/エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。

■ **JCL**　*注記(2)
本機では、どのプリント言語にも依存しないJCLコマンドが使えます。JCLコマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、クライアントから送られてくるJCLコマンドを有効にするか無効にするかを設定します。JCLコマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は【ユウコウ】にします。初期値は【ユウコウ】です。

■ **TBCPフィルター**
PostScriptデータを処理するときに、TBCPフィルターを有効にするか無効にするかを設定します。この項目は、PostScript®ソフトウェアキットが装着されている場合に表示されます。
初期値は【ムコウ】です。

■ **アクセス権制御**
印刷ジョブの中止や削除、本機をポーズ状態にするときやポーズ状態の解除をするときに、アクセス権制御を有効にするか無効にするかを設定します。初期値は【ムコウ】です。

■ **DNS使用**
本機を認識するときに、DNS(Domain Name System)に登録した名前を使うかどうかを設定します。初期値は【ユウコウ】で、DNS名を使用するようになっています。【ムコウ】にすると、IPアドレスを使って本機を認識します。
↓次ページへ

IPP　↓前ページより

■**追加ポート番号**　*補足(1)
追加ポート番号を0、80、または8000～9999の間で設定します。初期値は【80】です。

■**タイムアウト**
印刷データの受信中、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を、0～65535秒の間で1秒単位に設定します。初期値は【60ビョウ】です。

Port9100

Port9100を使う場合に設定します。この項目は、PostScript®ソフトウェアキットが装着されている場合に表示されます。

■**ポートの起動**
電源を入れたときに、Port9100ポートの状態を「起動」にするか「停止」にするかを設定します。初期値は【テイシ】です。Port9100を使う場合、【キドウ】を設定してください。

EtherTalk

EtherTalkを使う場合に設定します。この項目は、PostScript®ソフトウェアキットが装着されている場合に表示されます。

■**ポートの起動**
電源を入れたときに、EtherTalkポートの状態を「起動」にするか「停止」にするかを設定します。初期値は【テイシ】です。EtherTalkを使う場合、【キドウ】を設定してください。

注記
ポートを【キドウ】にしたときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に【テイシ】に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートのポート状態を【テイシ】にするか、メモリー割り当て容量を変更してください。

■**JCL**　*注記(2)
本機では、どのプリント言語にも依存しないJCLコマンドが使えます。JCLコマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、クライアントから送られてくるJCLコマンドを有効にするか無効にするかを設定します。JCLコマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は【ユウコウ】にします。初期値は【ユウコウ】です。

SNMP設定

SNMPを使う場合に設定します。SNMPの設定は、複数台のプリンターをリモートで管理するアプリケーションを使う場合に必要です。プリンターの情報はSNMPで管理されていて、アプリケーションはSNMPからプリンターの情報を収集します。

■**ポートの起動**
電源を入れたときに、SNMPポートの状態を「起動」にするか「停止」にするかを設定します。初期値は【キドウ】で、SNMPを使う設定になっています。

注記
ポートを【キドウ】にしたときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に【テイシ】に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートのポート状態を【テイシ】にするか、メモリー割り当て容量を変更してください。
↓次ページへ

SNMP設定 ↓前ページより

■ **トランスポートプロトコル**
SNMPで使うトランスポート層のプロトコルを設定します。IPX、UDPのどちらか、または両方が使えます。初期値は【UDP】です。

補足
- UDPを使う場合は、クライアント側、本機側ともにIPアドレスが必要です。
- IPX、UDPどちらのプロトコルを使うかは、アプリケーションの説明書を参照してください。

SNMP設定

■ **コミュニティ登録(R)**
プリンターの管理情報(MIB)を読み出すためのコミュニティ名を、英数/半角カタカナ文字を使って、1～12文字の間で設定します。初期値は【ミトウロク】です。

■ **コミュニティ登録(R/W)**
プリンターの管理情報(MIB)を読み書きするためのコミュニティ名を、英数/半角カタカナ文字を使って、1～12文字の間で設定します。初期値は【ミトウロク】です。

■ **コミュニティ登録(Trap)**
トラップで使用するコミュニティ名を、英数/半角カタカナ文字を使って、1～12文字の間で設定します。初期値は【ミトウロク】です。

インターネットサービス

インターネットサービスを使うかどうかを設定します。
【キドウ】に設定すると、「CentreWare Internet Services」を利用し、Webブラウザーを介して本機の状態やジョブの状態を表示したり、本機の設定を変更したりできます。初期値は【キドウ】です。

補足
インターネットサービスを起動する場合は、クライアント側、本機側ともにIPアドレスの設定が必要です。

TCP/IP設定

■ **IPアドレス取得方法**
TCP/IPを使うために必要な情報(IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス)をDHCP(Dynamic Host Configuration Protcol)サーバー、またはBOOTPから自動的に取得するか、手動で指定するかを設定します。手動で設定するアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。初期値は【DHCP】です。

補足
【DHCP】または【BOOTP】から、【シュドウ】に変更すると、IPアドレスの設定画面が表示されるので、手動でIPアドレスを設定してください。

■ **IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス** *補足(1)
これらの項目は、自動で取得されたアドレスを確認する場合や手動でアドレスを設定する場合に使用します。アドレスをxxx.xxx.xxx.xxxの形式で入力します。xxxは0～255までの数値です。
↓次ページへ

TCP/IP設定↓前ページより

注記

- 誤ったIPアドレスを設定すると、ネットワーク全体に悪影響を及ぼすことがあります。
- サブネットマスクの設定では、正しい値を入力しなかった場合(途中のビットを"0"に設定した場合など)、数値の設定後に[メニュー]を押しても、前回の設定値に戻ります。正しい値が設定されるまで、ほかの項目設定へ移行できません。
- 明示的にゲートウェイアドレスを指定する必要があるときだけ設定してください。動的にゲートウェイアドレスが設定できる環境では、設定する必要はありません。

WINSサーバー設定

■DHCPからアドレス取得

WINS(Windows Internet Name Service)を利用するために必要な、WINSサーバーのIPアドレスをDHCPサーバーから自動的に取得するか、手動で取得するかを指定します。手動で設定するアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。初期値は【スル】です。

補足

【スル】から【シナイ】に変更すると、IPアドレスの設定画面が表示されるので、手動でIPアドレスを設定してください。

■プライマリーIPアドレス、セカンダリーIPアドレス　*補足(1)

これらの項目は、自動で取得されたアドレスを確認する場合や手動でアドレスを設定する場合に使用します。アドレスをxxx.xxx.xxx.xxxの形式で入力します。xxxは0～255までの数値です。プライマリーIPアドレスが無効の場合、セカンダリーIPアドレスも無効になります。

注記

誤ったIPアドレスを設定すると、ネットワーク全体に悪影響を及ぼすことがあります。

IPX/SPXフレームタイプ

IPX/SPXの動作フレームタイプを設定します。
候補値は、以下のとおりです。
【ジドウ】（初期値）
フレームタイプを自動で設定します。
【Ethernet Ⅱ】
Ethernet仕様のフレームタイプを使います。
【Ethernet 802.3】
IEEE802.3仕様のフレームタイプを使います。
【Ethernet 802.2】
IEEE802.3/IEEE802.2仕様のフレームタイプを使います。
【Ethernet SNAP】
IEEE802.3/IEEE802.2/SNAP仕様のフレームタイプを使います。\

Ethernet設定

Ethernetインターフェイスの通信速度/コネクターの種類を設定します。
候補値は、以下のとおりです。
【ジドウ】（初期値）
100BASE-TXと10BASE-Tを自動的に切り替えます。
【100BASE-TX】
100BASE-TXに固定して使う場合に選択します。
【10BASE-T】
10BASE-Tに固定して使う場合に選択します。

メモリー設定一覧　*補足(1)

メモリー設定メニューは、各インターフェイスのメモリーや、フォームメモリーの容量の変更などを行うためのメニューです。

注記

- メモリー容量を変更すると、メモリーがリセットされるので、各メモリー領域に格納されているデータは、すべて消去されます。
- メモリーの全体量を超えた割り振りはできません。電源を入れたときに、設定値が搭載メモリー容量を超えた場合は、システムによって自動的に調整されます。メモリーの割り振りについて詳しくは、「1.6 メモリーの割り当てについて」(P.19)を参照してください。

PS使用メモリー

PostScriptの使用メモリー容量を指定します。この項目は、PostScript®ソフトウェアキットが装着されている場合に表示されます。
8.00〜32.00MBの間で、0.25MB単位にメモリー容量を設定します。初期値は【16.00M】です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。

ART EXフォームメモリー

ART EXプリンタードライバー用フォームのメモリー容量を指定します。
32〜2048KBの間で、32KB単位にメモリー容量を設定します。初期値は【128K】です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。
内蔵増設ハードディスク装置が装着されている場合は、フォーム用のメモリーはハードディスクが使用されます。容量は変更できません。ディスプレイには【ハードディスク】と表示されます。

ART4フォームメモリー

ARTIV用フォームのメモリー容量を指定します。この項目は、ART IV/エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。
32〜2048KBの間で、32KB単位にメモリー容量を設定します。初期値は【128K】です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。
内蔵増設ハードディスク装置が装着されている場合は、フォーム用のメモリーはハードディスクが使用されます。容量は変更できません。ディスプレイには【ハードディスク】と表示されます。

ART4ユーザー定義メモリー

ARTIVのユーザー定義で使うメモリー容量を指定します。この項目は、ART IV/エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。
32〜2048KBの間で、32KB単位にメモリー容量を設定します。初期値は【32K】です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。

HPGLオートレイアウトメモリー

HP-GL/2オートレイアウトで使うメモリー容量を指定します。この項目は、ART IV/エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。
64〜5120KBの間で、32KB単位にメモリー容量を設定します。初期値は【64K】です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。
内蔵増設ハードディスク装置が装着されている場合は、オートレイアウト用のメモリーはハードディスクが使用されます。容量は変更できません。ディスプレイには【ハードディスク】と表示されます。

受信バッファ容量

インターフェイスごとに、受信バッファ(クライアントから送信されるデータを一時的に蓄えておく場所)のメモリー容量を設定します。lpd、SMB、IPPの場合は、スプール処理の有無、配置場所、メモリー容量をそれぞれ設定します。
受信バッファ容量は、使用状況と目的に応じて変更できます。受信バッファ容量を増やすと、各インターフェイスに対応するクライアントの解放が早くなることがあります。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。

補足

- ポート状態が【テイシ】に設定されている場合は、対応する各項目は表示されません。
- クライアントから送信されるデータ量によっては、メモリーの容量を増やしてもクライアントの解放時間が変わらない場合があります。

候補値は、以下のとおりです。

■ パラレルメモリー、NetWareメモリー、lPPメモリー、EtherTalkメモリー

64～1024KBの間で、32KB単位にメモリー容量を設定します。初期値はパラレルは【64K】、そのほかは【256K】です。【EtherTalk】は、PostScript®ソフトウェアキットが装着されている場合に表示されます。

■ lpdスプール、SMBスプール

【スプールシナイ】（初期値）
スプール処理は行われません。あるクライアントからのlpd、SMBの印刷処理をしている間は、ほかのクライアントからの同じインターフェイスでのデータを受信できません。
lpd、SMB専用の受信バッファのメモリー容量を、64～1024KBの間で32KB単位に設定します。初期値は【256K】です。
【ハードディスクスプール】
スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、ハードディスクが使用されます。この項目は、内蔵増設ハードディスク装置が装着されている場合に表示されます。
【メモリースプール】
スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、メモリーが使用されます。
この候補値を選択したときは、スプール処理用の受信バッファのメモリー容量を、0.25～32.00MBの間で0.25MB単位に設定します。初期値は【1.00M】です。なお、設定したメモリー容量よりも大きい印刷データは、受信できません。このようなときは、【ハードディスクスプール】、または【スプールシナイ】を選択してください。

■ lPPスプール

この項目は、内蔵増設ハードディスク装置が装着されている場合に表示されます。
【スプールシナイ】（初期値）
スプール処理は行われません。あるクライアントからのIPPの印刷処理をしている間は、ほかのクライアントからの同じインターフェイスでのデータを受信できません。
IPP専用の受信バッファのメモリー容量を、64～1024KBの間で32KB単位に設定します。初期値は【256K】です。
【ハードディスクスプール】
スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、ハードディスクが使用されます。

初期化/データ削除一覧

NVメモリーに記憶されているプリンター設定値、ハードディスク、集計レポートの初期化、および本機に登録されているフォームなどのデータを削除できます。

補足

初期化によってそれぞれの設定は、初期値に戻ります。初期値については、「8.3 共通メニュー一覧」(P.246)を参照してください。

NVメモリー初期化

NVメモリーを初期化します。NVメモリーとは、電源を切っても本機の設定内容を保持しておくことができる不揮発性のメモリーのことです。
NVメモリーを初期化すると、各種項目の候補値は初期値に戻ります。

ハードディスク初期化

内蔵増設ハードディスク装置を初期化します。初期化によって消去されるデータは、追加フォント、ART EX、ART IV (オプション)、HP-GL/2(オプション)の各フォーム、ARTIVユーザー定義データ、SMBフォルダーです。セキュリティープリント文書、各ログは、消去されません。この項目は、内蔵増設ハードディスク装置が装着されている場合に表示されます。

集計レポート初期化

出力集計レポートの初期化を行います。初期化を行うと、集計値が0になります。

フォームの削除

登録されているフォームがない場合は、【フォームトウロクハアリマセン】と表示されます。

■ ART EXフォーム削除

ART EXプリンタードライバー用フォームを削除します。

■ ART4フォーム削除

ART IV用フォームを削除します。この項目は、ART IV/エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。

■ ESC/Pフォーム削除

エミュレーションのESC/P用フォームを削除します。この項目は、ART IV/エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。

セキュリティ文書削除

セキュリティープリントとして蓄積されている文書を削除します。文書がない場合は、【ユーザーIDミトウロク】と表示されます。
この項目は、内蔵増設ハードディスク装置が装着されている場合に表示されます。

プリント設定一覧

プリント設定メニューは、自動トレイ選択や用紙トレイについて設定するためのメニューです。

参照

自動トレイ選択について詳しくは、「6.1.2 用紙をセットする」の「自動トレイ選択について」(P.128)を参照してください。

用紙の置き換え

自動トレイ選択によって選択された用紙トレイに用紙がない場合に、ほかの用紙トレイにセットされている用紙に置き換えて印刷をするかどうかを設定します。置き換えをする場合は、サイズを指定します。候補値は、以下のとおりです。
【シナイ】(初期値)
置き換えはしないで、用紙補給のメッセージを表示します。
【スル(オオキイサイズ)】
選択されている用紙サイズの次に大きなサイズの用紙に置き換えて、等倍で印刷します。
【スル(チカイサイズ)】
選択されている用紙サイズに最も近いサイズの用紙に置き換えて印刷します。必要に応じて、自動的にイメージを縮小することがあります。

補足

クライアント側から指定があった場合は、クライアント側の指定が優先されます。

トレイの用紙種類

用紙トレイにセットする用紙の種類を設定します。初期値はすべての用紙トレイで【フツウシ】です。ユーザー1〜5には、【用紙名称設定】で指定した名称が表示されます。

■ **トレイ1〜4**
普通紙、再生紙、上質紙、ユーザー1〜5から選択します。

■ **トレイ5**
普通紙、再生紙、上質紙、ラベル紙、OHPフィルム、薄紙、厚紙1、厚紙1うら、厚紙2、厚紙2うら、ユーザー1〜5から選択します。ここでの設定は、クライアントから用紙の種類が通知されないときに有効となります。

用紙の優先順位

自動トレイ選択によって選択される用紙トレイにセットされている用紙の種類の優先順位を設定します。ユーザー1〜5には、【用紙名称設定】で指定した名称が表示されます。

■ **普通紙、再生紙、上質紙、ユーザー1〜5**
それぞれの用紙種類について、優先順位を【シナイ】、【1】〜【8】から選択します。異なる用紙種類に同じ優先順位の設定もできます。その場合に選択される用紙トレイは、【トレイの優先順位】によって決定します。【シナイ】に設定すると、その用紙種類が設定されている用紙トレイは、自動トレイ選択の対象となりません。初期値は普通紙【1】、再生紙【2】、上質紙【3】、ユーザー1〜5【シナイ】です。

トレイの優先順位

用紙トレイ1〜4について、自動トレイ選択によって選択される用紙トレイの優先順位を設定します。用紙トレイ5(手差し)は、自動トレイ選択の対象外です。

■ 1〜3

優先順位1〜3を、【トレイ1】〜【トレイ4】から選択します。各優先順位に同じ用紙トレイは設定できません。優先順位2が設定できる用紙トレイは、優先順位1で設定した用紙トレイ以外で、優先順位3が設定できる用紙トレイは、優先順位1と2で設定した用紙トレイ以外になります。残りの用紙トレイが優先順位4になります。初期値の優先順位は【トレイ1】〜【トレイ4】の順番です。

用紙の画質処理

用紙に応じた画質処理の設定ができます。セットする用紙に合わせて、画質処理を設定してください。上質紙、普通紙、再生紙、ユーザー1〜5の用紙に対して、画質の処理方法が設定できます。ユーザー1〜5には、【用紙名称設定】で指定した名称が表示されます。

■ 普通紙、再生紙、上質紙、ユーザー1〜5

それぞれの用紙種類に、画質の処理方法を設定します。候補は、以下のとおりです。
【フツウシA】
J紙(82g/m²)など、カラー専用の上質紙に適した画質です。
【フツウシB】
一般的に使われているオフィス用紙(P紙、C²(シーツー)紙など)に適した画質です。
【フツウシC】
再生紙(C²r(シーツーアール)紙、WR100紙など)に適した画質です。
【フツウシD】
地合が悪い用紙*で、印刷時に画質のムラが発生する場合に選択します。
【フツウシE】
【フツウシD】の画質処理に加えて、低線数で処理します。【フツウシD】で印刷しても、画質のムラが目立つときに選択します。ただし、この画質処理は、[印刷モード]を[速度優先]にした場合と、[印刷モード]が[標準]、[画質調整モード]が[おすすめ]の場合で、[おすすめ画質タイプ]を[写真]、または[プレゼンテーション]を選択して印刷した場合にだけ有効です。
【フツウシF】
地合が悪く*、重さが90g/m²の用紙で、印刷時に画質のムラが発生する場合に選択します。
【フツウシG】
【フツウシF】の画質処理に加えて、低線数で処理します。【フツウシF】で印刷しても、画質のムラが目立つときに選択します。ただし、この画質処理は、[印刷モード]を[速度優先]にした場合と、[印刷モード]が[標準]、[画質調整モード]が[おすすめ]の場合で、[おすすめ画質タイプ]を[写真]、または[プレゼンテーション]を選択して印刷した場合にだけ有効です。
【フツウシS】
99〜105g/m²の普通紙でも厚手の用紙に適した画質です。

*地合が悪い用紙とは、光に透かして見たときに、表面の透過度にムラが目立つ用紙です。

用紙名称設定

用紙の名称を5種類まで登録できます。登録できる用紙の種類は、普通紙、上質紙、再生紙です。

■ ユーザー1〜5

英数/半角カタカナ文字を使って、1〜12文字の間で設定します。

センタートレイのオフセット

オフセット排出機能を使う場合の用紙の排出方法を設定します。【セットタンイ】、【ジョブタンイ】、【シナイ】から選択します。ここでの設定は、クライアント側からオフセット排出の指定がないときに有効となります。初期値は【セットタンイ】です。

*注記（1）【ジドウ】設定時、自動判別の結果が本機に実装されていないプリント言語だった場合や、対象になるプリント言語に該当しない場合、そのデータは消去されます。

（2）
- 【ユウコウ】の設定時、プリントモード指定が【HexDump】に設定されている場合、JCLコマンドも【HexDump】で出力されます。
- JCLコマンドで本機に実装されていないプリント言語が指定された場合、データは消去されます。

*補足（1）▼または▲で候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続的に表示を変えることができます。また、▼と▲を同時に押すと、初期値が表示されます。

（2）ダンププリントの各列は、次の項目が印刷されます。

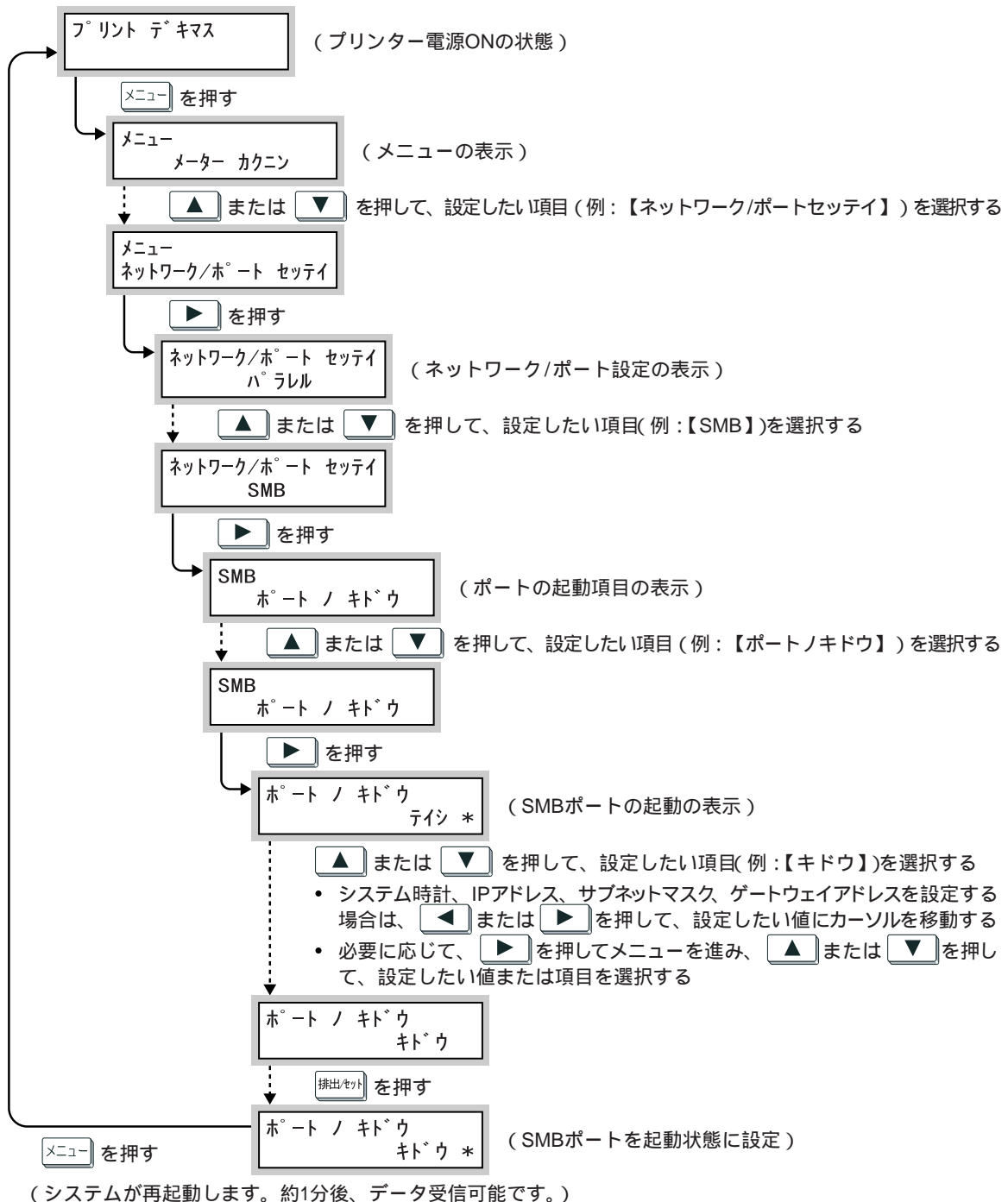
Count　ジョブの先頭データからのバイト数が印刷されます。
16進数表記コード　印刷データを4バイトごとに区切り、16進表記形式で印刷されます。
ASCIIコード　印刷データをJIS X0201の8単位符号を使用して印刷されます。JIS X0201で定義されていない文字は、「UD」と印刷されます。

共通メニューの設定
8

8.2.2 共通メニューの設定を変更する

共通メニューの設定方法について、SMBポートを「起動」に設定する場合を例に説明します。

共通メニューの設定

8

8.3 共通メニュー一覧

共通メニューの構成は、次のとおりです。

次ページへ

前ページより

次ページへ

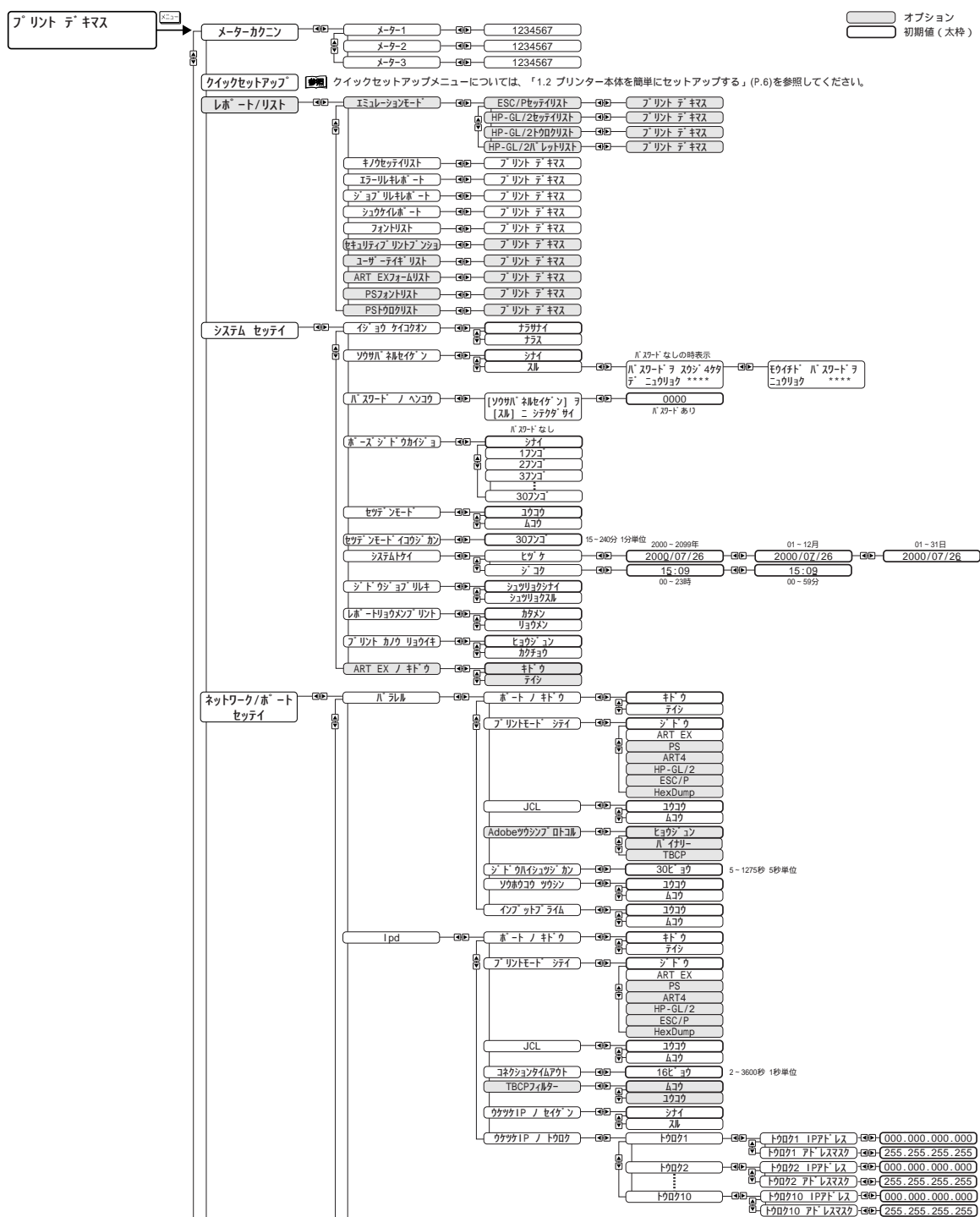
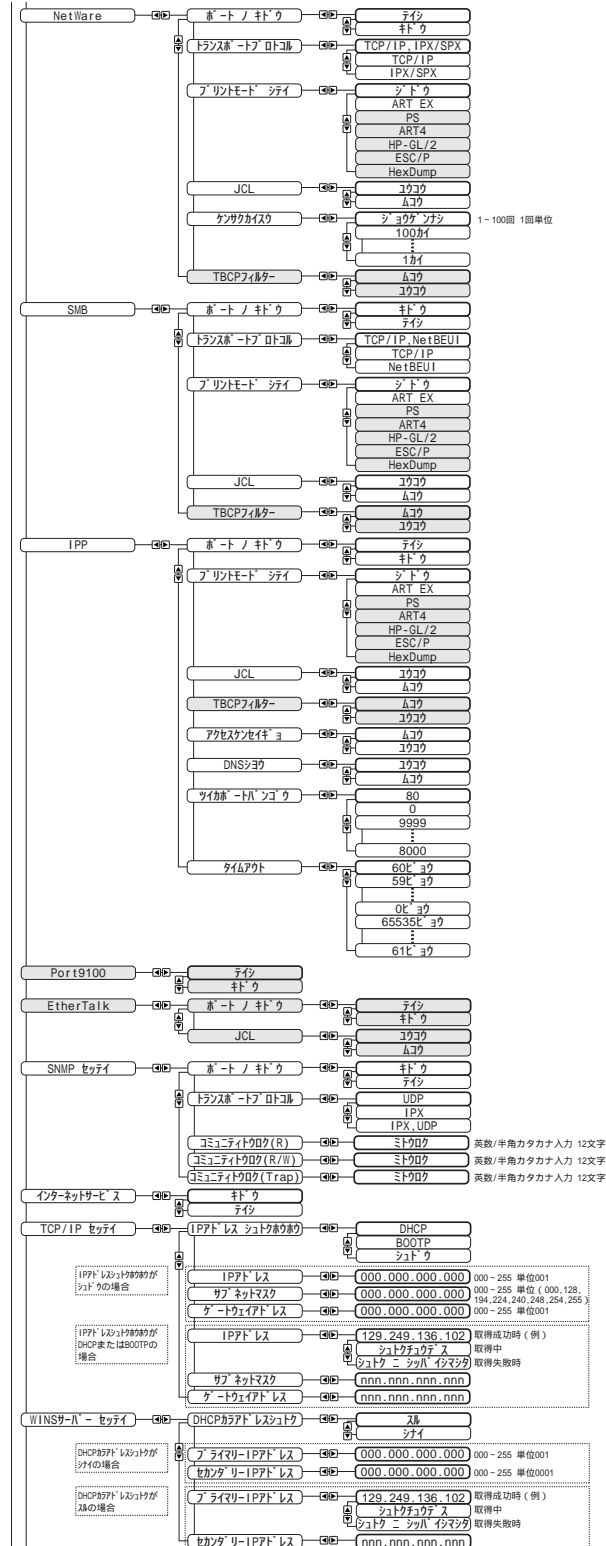
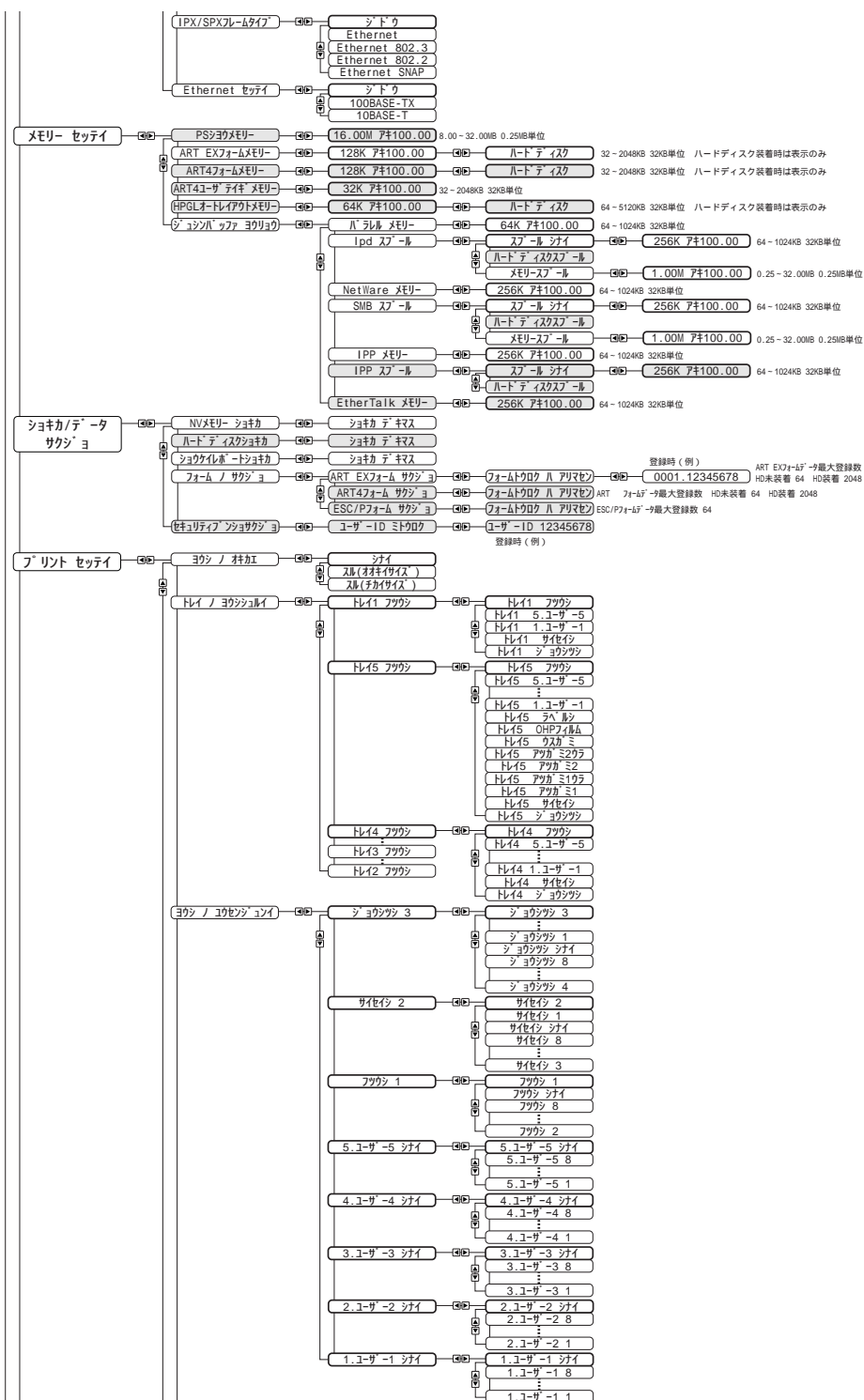
共通メニューの設定 8

前ページより

次ページへ

前ページより

共通メニューの設定

8

ネットワーク環境の設定について

9.1 Windows®ネットワーク(SMB)環境での設定について

ここでは、本機をWindows®ネットワーク(SMB)環境で使用するための設定の流れと、設定の変更、プリンタードライバーの自動ダウンロードについて説明します。

参照

Windows®ネットワーク(SMB)の環境については、「1.1 使用できる環境について」(P.2)を参照してください。

9.1.1 SMBの設定の流れ

Windows®ネットワーク(SMB)環境に、プリンターを設定する場合の設定手順と、その他の設定項目について説明します。

設定の流れ

Windows®ネットワーク(SMB)環境に、プリンターを設定する手順は次のとおりです。

設定手順

1 プリンター側のポートと、トランスポートプロトコルの設定をします。

■NetBEUIを使用する場合

操作パネルで、SMBインターフェイス用のポートを【キドウ】(工場出荷時:起動)に、トランスポートプロトコルを【NetBEUI】、または【TCP/IP,NetBEUI】(工場出荷時:TCP/IP,NetBEUI)に設定します。

補足

- NetBEUIを使用するときは、クライアントに「NetBEUI」がインストールされていることを確認してください。
- この設定は、「CentreWare Internet Services」でもできます。「CentreWare Internet Services」については、「5.1 クライアントからプリンターの設定をする(CentreWare Internet Services)」(P.110)を参照してください。

参照

「1.5.3 SMBのポート、プロトコルを起動する」(P.17)を参照してください。

■TCP/IPを使用する場合

操作パネルで、SMBインターフェイス用のポートを【キドウ】(工場出荷時:起動)に、トランスポートプロトコルを【TCP/IP】、または【TCP/IP,NetBEUI】(工場出荷時:TCP/IP,NetBEUI)に設定します。

補足

- TCP/IPを使用する場合は、クライアント側、プリンター側ともにIPアドレスが必要です。
- この設定は、「CentreWare Internet Services」でもできます。「CentreWare Internet Services」については、「5.1 クライアントからプリンターの設定をする(CentreWare Internet Services)」(P.110)を参照してください。

参照

「1.5.3 SMBのポート、プロトコルを起動する」(P.17)を参照してください。

❷ プリンター名やワークグループ名などを変更します。

必要に応じて、SMBの設定ファイル「config.txt」を書き換え、プリンター名やワークグループ名などを変更します。設定はクライアント側から行います。

参照

「9.1.2 SMBの設定の変更」(P.255)を参照してください。

補足

この設定は、「CentreWare Internet Services」でもできます。「CentreWare Internet Services」については、「5.1 クライアントからプリンターの設定をする(CentreWare Internet Services)」(P.110)を参照してください。

❸ プリンタードライバーを、クライアントにインストールします。

参照

- 「2.2.2 SMBを使用して印刷する場合」(P.32)を参照してください。
- 本機からプリンタードライバーを自動ダウンロードすることもできます。詳細については、「9.1.3 プリンタードライバーの自動ダウンロード」(P.259)を参照してください。

その他の設定項目について

必要に応じて、以下の項目も設定してください。ただし、これらの項目は、通常の使用では工場出荷時の設定を変更する必要はありません。

- **SMBのプリントモード指定　(工場出荷時:【ジドウ】)**
- **SMBのJCL　(工場出荷時:【ユウコウ】)**
- **SMBのTBCPフィルター　(工場出荷時:【ムコウ】)**
- **SMBの受信バッファ容量　(工場出荷時:【スプールシナイ/256K】)**

補足

TBCPフィルターは、オプションのPostScript®ソフトウェアキット装着時にだけ設定できます。

参照

設定項目の詳細は、「第8章 共通メニューの設定」(P.223)を参照してください。

補足

SMBの受信バッファ容量の設定は変更できます。詳細については、「8.2 共通メニューの設定を変更する」(P.228)を参照してください。

「CentreWare Internet Services」を使用すると、さらに以下の項目が設定できます。

- **ワークグループ名　(工場出荷時: WORKGROUP)**
- **ホスト名**
- **管理者名　(工場出荷時: ADMIN)**
- **管理者パスワード　(工場出荷時: ADMIN)**
- **最大セッション数　(工場出荷時: 5)**
- **TBCPフィルター　(工場出荷時: OFF)**
- **自動ドライバーロード　(工場出荷時: 有効)**
- **Unicodeサポート　(工場出荷時: 無効)**
- **自動マスターモード　(工場出荷時: する)**
- **パスワード暗号化　(工場出荷時: する)**

参照

「CentreWare Internet Services」の操作については、「5.1 クライアントからプリンターの設定をする(CentreWare Internet Services)」(P.110)を参照してください。

補足

TBCPフィルターは、オプションのPostScript®ソフトウェアキット装着時にだけ設定できます。

9.1.2 SMBの設定の変更

SMBのプリンター名や、ワークグループ名などを、必要に応じて変更できます。ただし、SMBのプリンター名やワークグループ名は、プリンターの操作パネルでは設定できません。「CentreWare Internet Services」、またはWindows®クライアントから変更します。ここでは、Windows®クライアントから変更する手順を説明します。

参照

「CentreWare Internet Services」で変更する場合は、「5.1 クライアントからプリンターの設定をする(CentreWare Internet Services)」(P.110)を参照してください。

Windows®ネットワーク経由の変更方法

クライアント側から、Windows®ネットワーク経由で本機上のファイルにアクセスして情報を書き換えることで、SMBの設定を変更できます。ただし、この操作ができるのは管理者だけです。
以下に、設定ファイル「config.txt」をはじめて書き換えるときの操作方法を説明します。2度め以降の手順では、すでに設定してあるSMBのプリンター名、ワークグループ名、管理者名、管理者パスワードが必要になります。

補足

「config.txt」には、管理者名に「ADMIN」、パスワードに「ADMIN」が、工場出荷時の値として登録されています。

操作手順

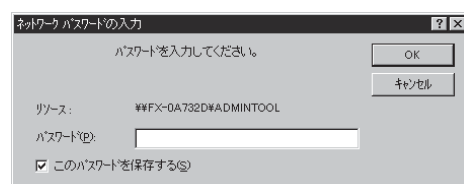
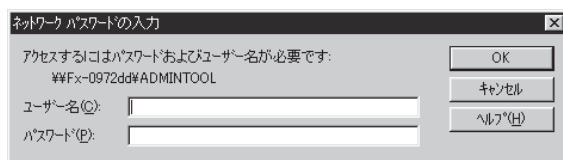
❶ Windows® クライアント上で、[ネットワークコンピュータ]、[プリンターが所属するワークグループ(工場出荷時は「WORKGROUP」)]、[本機]の順に開きます。

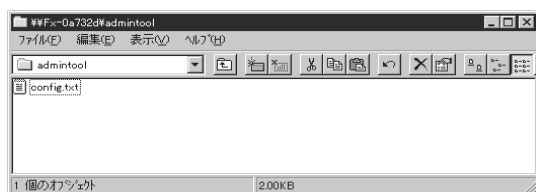
補足

本機の工場出荷時のホスト名は、「FX-xxxxxx」(xxxxxx:プリンターのEthernetアドレスの下位6桁)です。「機能設定リスト」の「SMB」の「ホスト名」で確認できます。

❷ 「Admintool」フォルダーをダブルクリックします。

以下のようなダイアログボックスが表示されます。

- **Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meの場合**

• **Windows NT® 4.0、Windows® 2000の場合**

❸ **Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meの場合はパスワード(SMB管理者パスワード)だけ、Windows NT® 4.0、Windows® 2000の場合はユーザー名(SMB管理者名)とパスワード(SMB管理者パスワード)を入力して、[OK]をクリックします。**

「Admintool」フォルダーが開きます。

補足

工場出荷時には、管理者名に「ADMIN」、パスワード「ADMIN」が登録されています。

❹ **メモ帳などのテキストエディターを使用して、「config.txt」を開きます。**

❺ **必要に応じて、ワークグループ名とホスト名などを変更し、「config.txt」を上書き保存して、閉じます。**

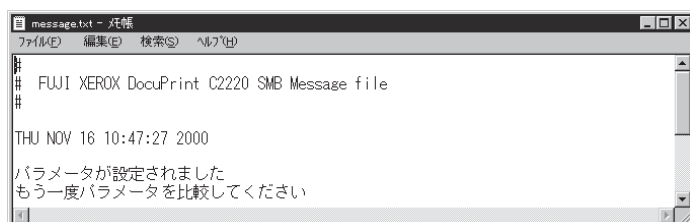
「message.txt」が、「Admintool」フォルダー内に作成されます。

補足

- ワークグループ名、ホスト名は、最大15バイト設定できます。
- 「config.txt」の詳細は、後述の「config.txtの設定形式」(P.257)を参照してください。

❻ **「message.txt」を開いて、以下のように表示されていることを確認します。**

補足

「message.txt」が表示されていない場合は、[表示]メニューの[最新の情報に更新]を選択してください。エラーメッセージが表示されている場合には、再設定をした内容の範囲などを確認してください。

❼ 「message.txt」を閉じます。

❽ プリンターの電源スイッチを切り、5秒以上待ってから電源を入れ直します。

config.txtの設定形式

設定項目	説　明	設定値	初期値
PrinterLanguage	使用する言語を設定します。	JAPANESE/ENGLISH	JAPANESE
ホスト名	プリンターのホスト名を設定します。	最大15バイト	FX-xxxxxx (xxxxxx：プリンターのMACアドレス下位6桁)
ワークグループ名	プリンターが属するワークグループ名を設定します。	最大15バイト	WORKGROUP
NETBEUI	NetBEUIプロトコル起動の設定です。	ON/OFF	ON
TCP/IP	TCP/IPプロトコル起動の設定です。	ON/OFF	ON
スプール	スプール機能の起動設定です。 ハードディスク、メモリー、ノンスプールから選択できます。 ハードディスクを選択した場合で、ハードディスクが認識できないときは、ノンスプールになります。	DISK/MEMORY/OFF	OFF
最大スプールサイズ	スプールモード時の最大受信容量を設定します。256kbyte単位で設定できます。	512～32768 (単位はkbyte)	1024Kbyte
最大受信サイズ	ノンスプールモード時の最大受信容量を設定します。32Kbyte単位で設定できます。	64～1024 (単位はkbyte)	256Kbyte
自動ドライバロード	プリンタードライバーの自動ダウンロードの起動設定です。	ON/OFF	HDDありON HDDなしOFF
JCL	JCLの起動設定です。	ON/OFF	ON
プリントモード	プリント言語を設定します。　PS、ART EX、HP-GL2、ダンプモード、自動切り替えから選択できます。	PS/ART EX/HP-GL2/DUMP/AUTO (オプションの装着状態による)	AUTO
自動マスタモード	自動ブラウズマスタ機能の起動設定です。	ON/OFF	ON
パスワード暗号化	パスワード暗号化機能の起動設定です。	ON/OFF	ON
タイムゾーン	タイムゾーンを分単位で設定します。	-720～720 (単位は分)	540分 (日本)

設定項目	説　明	設定値	初期値
最大コネクション数	プリンターの最大コネクション数です。	3〜10	5
ユニコード	ローカルコード(シフトJIS)を使用するかどうかを設定します。INVALID=シフトJISです。	INVALID/VALID	INVALID
DHCP	DHCP起動の設定です。	ON/OFF	OFF
WINS DHCP解決	WINS DHCP解決起動の設定です。	ON/OFF	OFF
IPアドレス	IPアドレスを設定します。(DHCPが起動されているときだけ変更できます)	―――	0.0.0.0
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。(DHCPが起動されているときだけ変更できます)	―――	0.0.0.0
ゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを設定します。(DHCPが起動されているときだけ変更できます)	―――	0.0.0.0
WINS 1stサーバ	WINS 1stサーバを設定します。	―――	0.0.0.0
WINS 2stサーバ	WINS 2stサーバを設定します。	―――	0.0.0.0
管理者名	管理者名です。	最大20バイトまで	ADMIN
パスワード	管理者のパスワードです。現在の設定は表示されません。	最大14バイトまで	admin
設置場所	設定フロアなど、本機の設置されている場所についてコメントを記入します。	最大48バイト	(なし)
リブート	ONに設定すると、パラメーター設定ファイル「config.txt」の編集作業の終了後にプリンターがリセットされます。起動時は常にOFFです。ただし、設定に誤りがある場合は、ONでもプリンターがリセットされません。	ON/OFF	OFF

config.txtの例

```
config.txt - メモ帳
ファイル(F)  編集(E)  検索(S)  ヘルプ(H)
#
#  FUJI XEROX DocuPrint C2220 SMB config file
#

Printer Language      :JAPANESE        : JAPANESE/ENGLISH (*)
ホスト名              :FX-0A732D       : 最大15バイト (*)
ワークグループ名      :WORKGROUP       : 最大15バイト (*)
NETBEUI               :ON              : ON or OFF (*)
TCP/IP                :ON              : ON or OFF (*)
スプール              :DISK            : DISK/MEMORY/OFF (*)
最大スプールサイズ    :1024            : MEMORYスプールのみ有効 (512～32768Kbyte) (*)
最大受信サイズ        :256             : スプールOFFのみ有効 (64～1024Kbyte) (*)
自動ドライバロード    :ON              : ON or OFF
JCL                   :ON              : ON or OFF
プリント モード       :AUTO            : AUTO/ART EX/
自動マスタモード      :ON              : ON or OFF (*)
パスワード暗号化      :ON              : ON or OFF (*)
タイムゾーン          :540             : 日本(540)/英国(0)/ハワイ(-600)  (min)
最大コネクション数    :5               : 最小 3 最大 10 (*)
ユニコード            :INVALID         : INVALID(シフトJIS)/VALID (*)
DHCP                  :OFF             : ON or OFF (*)
WINS DHCP 解決        :OFF             : ON or OFF (*)
IPアドレス            :129.249.242.181: ex 128.0.0.1 (*) (-)
サブネットマスク      :255.255.255.0   : ex 255.255.255.0 (*) (-)
ゲートウェイ          :129.249.242.254: ex 128.0.0.1 (*) (-)
WINS 1st サーバ       :0.0.0.0         : ex 128.0.0.1 (*) (-)
WINS 2nd サーバ       :0.0.0.0         : ex 128.0.0.1 (*) (-)
管理者名              :ADMIN           : 最大20バイト (*)
パスワード            :                : 管理者パスワード最大14バイト (*)
設置場所              :                : 最大48バイト (*)
リブート              :OFF             : ON or OFF

                                       (*)再起動後有効
                                       (-)DHCP起動設定時は設定無効

                          (*)項目を変更後リブートせずに他のツールで設定すると値が正しく
                             反映されない場合がありますのですみやかにリブートして下さい。
```

9.1.3 プリンタードライバーの自動ダウンロード

Windows® 95、Windows® 98、またはWindows® Meのクライアントにプリンタードライバーをインストールするときに、自動ダウンロードができるように設定できます。

補足

- Windows NT® 4.0、Windows® 2000の場合、自動ダウンロードができません。
- 自動ダウンロードには、オプションの内蔵増設ハードディスク装置が必要です。

参照

設定手順については、CentreWareのCD-ROMに入っている電子マニュアルをごらんください。

9.2 NetWare®環境での設定について

ここでは、本機をNovell社製NetWare®のネットワークに接続した場合の動作環境と、設定手順について説明します。

参照
NetWare®の環境については、「1.1　使用できる環境について」(P.2)を参照してください。

コンピューター環境

NetWare®ネットワークを使用して印刷する場合の環境は、次のとおりです。

- **適応するファイルサーバー**
  Novell NetWare® 3.12J/3.2J/4.11J/4.2/5/5.1
- **適応するクライアントOS**
  Microsoft® Windows® 95 Operating System日本語版*
  *Service Pack 1以上、またはMicrosoft Internet Explorer4.0以上が必要です。
  Microsoft® Windows® 98 Operating System日本語版
  Microsoft® Windows® Me Operating System日本語版
  Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0日本語版(Service Pack 4以上)
  Microsoft® Windows® 2000 Professional日本語版(Service Pack 1以上)
- **適応するNetWareクライアント**

＜Windows® 95、Windows® 98の場合＞

・Novell Client for Windows® 95、Windows® 98 ver3.1、ver3.21
・NetWareネットワーククライアント

＜Windows NT® 4.0の場合＞

・Novell Client for Windows NT® 4.0 ver4.6
・Novell Client for Windows NT/2000 ver4.71

＜Windows® 2000の場合＞

・Novell Client for Windows NT/2000 ver4.71

＜Windows® Meの場合＞

・Microsoft Netware Client

インターフェイス

サポートするフレームタイプは、次のとおりです。

- **Ethernet II仕様**
- **IEEE802.3仕様**
- **IEEE802.3/802.2仕様**
- **IEEE802.3/802.2/SNAP仕様**

IPX/SPXの場合、本機は、接続されているネットワーク上に各フレームタイプのパケットを送出し、最初に応答したフレームタイプで自動的に起動します。（工場出荷時の場合）

ただし、同一ネットワーク上にほかのプロトコルが同時に存在する場合は、EthernetIIを使用してください。
TCP/IPの場合、自動的にEthernetIIが起動します。

補足

ネットワーク構成機器(HUBなど)が、フレームタイプの自動設定に適合していない場合があります。ネットワーク構成機器の、本機が接続されたポートのデータリンクランプが点灯しない場合は、本機のフレームタイプの設定(IPX/SPX設定)を、 NetWareサーバーのフレームタイプに合わせてください。設定方法については、「第8章 共通メニューの設定」(P.223)を参照してください。

設定の流れ

本機をNetWare®の環境に接続する設定手順は次のとおりです。

設定手順

❶ 「6.3 レポート/リストを印刷する」(P.149)を参照して、機能設定リストを印刷します。
「機能設定リスト」で、ネットワークアドレスと、装置名を確認してください。

❷ CentreWareからNetWareのプリンターを検索するために、NetWareで使用するトランスポートプロトコルと同じSNMPのトランスポートプロトコルを起動します。

❸ CentreWareドライバー&ネットワークユーティリティのCD-ROMを使用して本機を設定します。

CentreWareドライバー&ネットワークユーティリティのCD-ROMを使用すると、あからじめ本機側でNetWareポートを「起動」に設定しておく必要はありません。

参照

CentreWareのCD-ROMに入っている電子マニュアルをごらんください。

補足

- ファイルサーバーの設定は、「PCONSOLE」または「NWADMIN」でもできます。詳しくは、NetWare®に付属のマニュアルを参照してください。
- プリンターの設定は、「CentreWare Internet Services」でもできます。詳細については、「その他の設定項目について」(P.262)を参照してください。

❹ プリンタードライバーをインストールします。

本機に対応したプリンタードライバーを、コンピューターにインストールします。プリンタードライバーは、使用するOSによって異なります。

参照

「第2章 プリンタードライバーのインストール」(P.23)を参照してください。

その他の設定項目について

必要に応じて、以下の項目も設定してください。ただし、これらの項目は、通常の使用では工場出荷時の設定を変更する必要はありません。

- **プリントモード指定　（工場出荷時：【自動切り替え】）**
- **JCLスイッチ　（工場出荷時：【有効】）**
- **NetWare受信バッファ　（工場出荷時：【256KB】）**
- **トランスポートプロトコル　（工場出荷時：【TCP/IP、IPX/SPX】）**
- **NetWareの受信バッファ　（工場出荷時：【256K】）**

参照

設定項目の詳細は、「第8章 共通メニューの設定」(P.223)を参照してください。

CentreWare Internet Servicesを使用して、さらに以下の項目を設定できます。

- **装置名　（工場出荷時：FXxxxxxx）**
- **動作モード　（工場出荷時：ディレクトリ-PServerモード）**
- **ツリー名**
- **コンテキスト名**
- **ファイルサーバー名**
- **通知言語　（工場出荷時：日本語）**
- **キュー探索間隔　（工場出荷時：4秒）**
- **サーバーの検索回数　（工場出荷時：上限なし）**
- **パスワード**
- **フレームタイプ　（工場出荷時：自動）**
- **アクティブディスカバリー　（工場出荷時：有効）**
- **TBCPフィルター　（工場出荷時：OFF）**

参照

CentreWare Internet Servicesの操作については、「第5章　便利なツールを使用する」(P.109)を参照してください。

補足

TBCPフィルターは、オプションのPostScript®ソフトウェアキット装着時にだけ設定できます。

注記

コンテキスト名は、以下の形式のようにタイプ付きで入力してください。
OU=部門名.O=組織名.C=カントリー名

9.3 UNIX環境での設定について

ここでは、本機をUNIXのネットワーク環境で使用するための対象クライアントと、設定の流れについて説明します。

対象クライアント

本機のlpdが対象とするクライアントは、次のとおりです。

- **SunOS 4.1.4を実装するSunワークステーション**
- **HP-UX11.0を実装するHP9000シリーズワークステーション**
- **Solaris 2.Xを実装するSunワークステーション**

設定の流れ

本機をUNIXのネットワーク環境で使用する手順は次のとおりです。

参照

設定は、「CentreWare Internet Services」でもできます。詳細については、「5.1　クライアントからプリンターの設定をする(CentreWare Internet Services)」(P.110)を参照してください。

設定手順

1 IPアドレスが設定されていない場合は、IPアドレスを設定します。

参照

- 「1.4　IPアドレスを設定する」(P.9)を参照してください。
- 使用環境に応じて、サブネットマスクやゲートウェイの設定が必要になります。必要に応じて設定をしてください。「8.2　共通メニューの設定を変更する」(P.228)を参照してください。

2 lpdポートを【キドウ】(工場出荷時:起動)に設定します。

参照

「1.5.1　ポートを起動する」(P.14)を参照してください。

3 使用環境に応じて、「プリントモード指定」(初期値：自動)、「JCL」(初期値：有効)、「lpdスプール」を設定してください。

参照

「8.2　共通メニューの設定を変更する」(P.228)を参照してください。

9.4 インターネット印刷での設定について

ここでは、IPP(Internet Printing Protcol)を使って、Windows® 2000、またはWindows® Meからインターネット印刷を利用する場合の設定の流れと、プリンター側の設定について説明します。

参照
インターネット印刷の環境については、「1.1　使用できる環境について」(P.2)を参照してください。

9.4.1 インターネット印刷の設定の流れ

インターネット印刷の設定の流れと、その他の設定できる項目について説明します。

設定の流れ

IPP環境にプリンターを設定する手順は次のとおりです。

設定手順

1 プリンターの操作パネル、または「CentreWare Internet Services」を使って、IPアドレスを設定して、IPP用のポートを【キドウ】(工場出荷時:停止)にします。

参照
設定方法については、「9.4.2　プリンター側の設定」(P.265)を参照してください。

2 クライアント側で、印刷先の設定とプリンタードライバーをインストールします。

参照
設定方法については、CentreWareのCD-ROMに入っている電子マニュアルをごらんください。

その他の設定項目について

必要に応じて、以下の項目も設定してください。ただし、これらの項目は、通常の使用では、工場出荷時の設定を変更する必要はありません。

- IPPのプリントモード指定　(工場出荷時:【ジドウ】)
- IPPのJCL　(工場出荷時:【ユウコウ】)
- IPPのTBCPフィルター　(工場出荷時:【ムコウ】)
- IPPのアクセス権制御　(工場出荷時:【ムコウ】)
- IPPのDNS使用　(工場出荷時:【ユウコウ】)
- IPPの追加ポート番号　(工場出荷時:【80】)

- **IPPのタイムアウト　　　　　　　　（工場出荷時:【60ビョウ】）**
- **IPPの受信バッファ容量　　　　　　（工場出荷時:【スプールシナイ/256K】）**

参照

設定項目の詳細は、「第8章　共通メニューの設定」(P.223)を参照してください。また、「CentreWare Internet Services」を使うと、さらに詳細な設定ができます。詳細については、「5.1 クライアントからプリンターの設定をする(CentreWare Internet Services)」(P.110)を参照してください。

補足

IPPの受信バッファ容量の設定は変更できます。「8.2 共通メニューの設定を変更する」(P.228)を参照してください。

9.4.2 プリンター側の設定

IPPを使う場合は、操作パネルで以下の項目を設定する必要があります。

- **lPアドレス、および必要に応じて、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定する**
- **IPP用のポートを【キドウ】（工場出荷時:停止）にする**

参照

設定は、「CentreWare Internet Services」でもできます。詳しくは、「5.1 クライアントからプリンターの設定をする(CentreWare Internet Services)」(P.110)を参照してください。

IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定

ネットワーク環境によっては、IPアドレスに加えて、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定が必要な場合があります。ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な項目を設定してください。

アドレスの指定方法には、DHCPサーバーから自動的に取得する方法と手動で指定する方法があります。設置環境に合わせて指定してください。

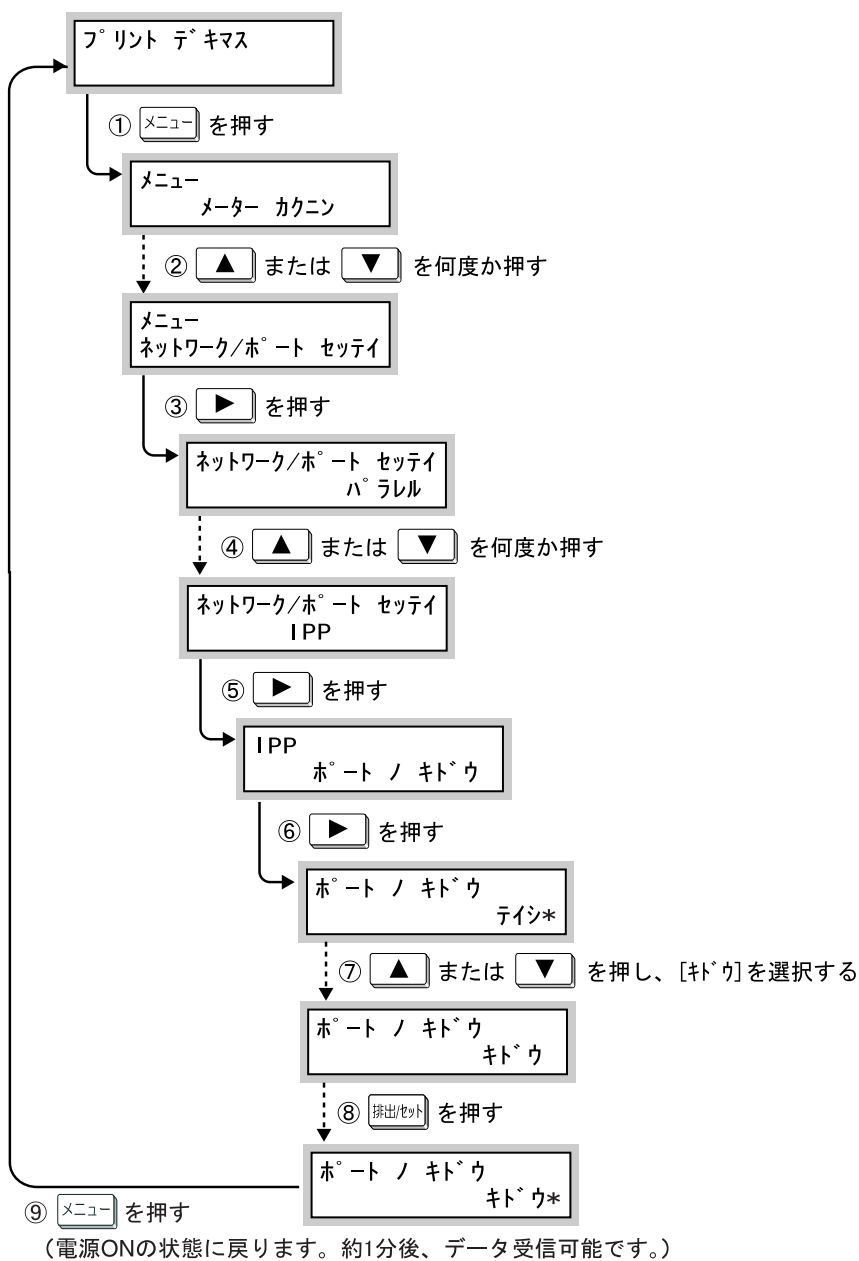
参照

IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定については、「1.4 IPアドレスを設定する」(P.9)を参照してください。

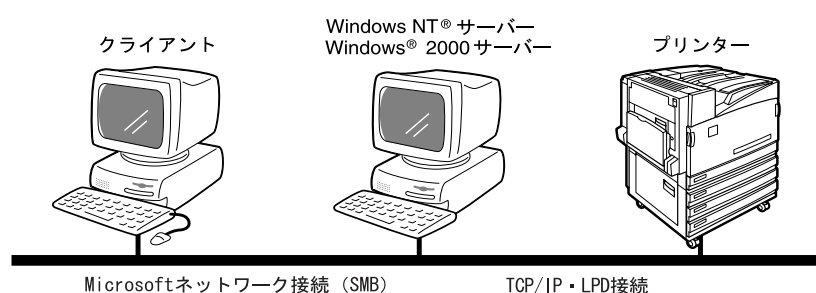
ポートを起動する

以下の手順に従って、IPP用のポートを起動します。

注記

IPP用のポートを【キドウ】にしたときに、メモリーが不足すると、IPP用のポートが自動的に【テイシ】に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートを【テイシ】にするか、メモリー割り当て容量を変更してください。メモリー割り当てについては、「第8章 共通メニューの設定」(P.223)を参照してください。

9.5 共有プリンターの設定について

本機は、ネットワーク上のWindows NT®、またはWindows® 2000上に追加して、共有プリンターとして設定することができます。共有プリンターとして設定すると、ネットワーク上のほかのWindows NT®、Windows® 2000クライアントや、Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meクライアントからも印刷できます。また、各クライアントは、プリンタードライバーをネットワーク経由でインストールできるようになります。

ここでは、本機を共有プリンターとして使用する場合の設定について説明します。

プリンターを共有に設定する

共有プリンターの設定は、プリンタードライバーのインストールが完了したときの画面からできます。[共有]を押して、プリンターを共有に設定します。

参照

プリンターを共有に設定する手順については、CentreWareのCD-ROMに入っている電子マニュアルをごらんください。

ネットワークサービス補助ツール（プリンタネームサービス）をWindows NT®、Windows® 2000にインストールする

ネットワーク上のWindows® 95、Windows® 98、Windows® Meクライアントから、共有プリンターを使用する場合は、同じドメイン、またはワークグループ内のWindows NT®、またはWindows® 2000クライアントに、弊社製の「プリンタネームサービス」をインストールします。「プリンタネームサービス」は、必ずWindows NT®、またはWindows® 2000にインストールしてください。Windows® 95、Windows® 98、またはWindows® Meにはインストールできません。

また、必ず管理者の権限を持ったユーザーがインストールしてください。

Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meクライアントは、lprで接続された共有プリンターのポート/キュー情報を自動で取得できます。

参照

「プリンタネームサービス」のインストール手順については、CentreWareのCD-ROMに入っている電子マニュアルをごらんください。

付　録

主な仕様

A.1　製品の仕様

本体

項　目	内　　容
形式	デスクトップタイプ
プリント方式	マイクロタンデムレーザーゼログラフィー
ウオームアップタイム	45秒以内
連続プリント速度 （白黒/カラー）	用紙トレイ1から給紙 片面：22枚/分(A4 □)、16枚/分(A4 ▭)、13枚/分(B4)、11枚/分(A3) 両面：18枚/分(A4 □)、10枚/分(A4 ▭)、9枚/分(B4)、8枚/分(A3)
	用紙トレイ5（手差し）から給紙 普通紙： 片面16枚/分（A4 □）、11枚/分（A3） 両面16枚/分（A4 □）、8枚/分（A3） OHPフィルム：8枚/分（A4 □） 厚紙1/厚紙2/ラベル紙：8枚/分（A4 □）、5枚/分（A3） はがき（▭）：8枚/分
解像度	23.6ドット/㎜（600dpi）
用紙サイズ	用紙トレイ1～4： A3～A5
	用紙トレイ5（手差し）： はがき～A3、幅12インチ（305㎜）（ガイド移動時） 長尺：297×900㎜ 非定形：短辺：100～305㎜、長辺：140～483㎜
給紙容量 （用紙はすべてP紙）	標準モデル： 用紙トレイ1（560枚）、用紙トレイ5（手差し）（100枚）
	標準＋1トレイキャビネットモデル： 用紙トレイ1、2（各560枚）、用紙トレイ5（手差し）（100枚）
	標準＋3トレイキャビネットモデル： 用紙トレイ1～4（各560枚）、用紙トレイ5（手差し）（100枚）
	標準＋大容量給紙キャビネットモデル： 用紙トレイ1、2（各560枚）、用紙トレイ3（大容量）（980枚）、 用紙トレイ4（大容量）（1,280枚）、用紙トレイ5（手差し）（100枚）
最大給紙容量	3,480枚（560＋560＋980＋1,280＋100） ※標準＋大容量給紙キャビネットモデルの場合
出力トレイ容量	標準排出トレイ：約400枚（A4 □）
	オフセット排出トレイ：約200枚（A4 □）

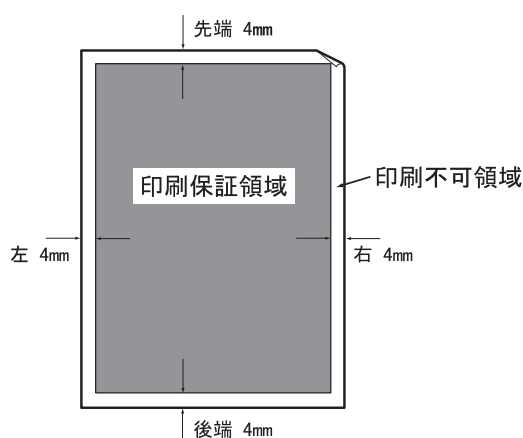
付録

項　目	内　容
両面印刷	あり（両面印刷機能付きの場合）
メモリー容量	標準：32MB
	オプション：128MB増設メモリー（DocuPrint C2220だけ）、 256MB増設メモリー（DocuPrint C2221だけ）
搭載フォント	標準：アウトラインフォント（平成明朝体W3、平成角ゴシック体W5、欧文15書体）
PDL	標準：ART EX
	オプション：PostScript3、ART Ⅳ、ESC/P、HP-GL/2
エミュレーション	ESC/P、HPGL、HP-GL/2
インターフェイス	標準：Ethernet（100Base-TX/10Base-T） 双方向パラレル（IEEE1284-B）
対応プロトコル	セントロ：Compatible.Nibble、ECP Ethernet：TCP/IP、NetWare、EtherTalk、SMB、DHCP、IPX/SPX、NetBEUI、UDP/IP、Port9100
ドライバー対応OS	Windows® 95/98/Me、Windows NT® 4.0、Windows® 2000
稼動音	稼動時：66.5db（フルシステム69.0db）、待機時：41db
電源	100V・15A、50/60Hz共用
消費電力	最大：1,050W以下、稼動時平均：485W以下 スリープモード時：5W以下
大きさ	標準モデル： 幅632×奥行682×高さ493㎜
	標準＋1トレイキャビネットモデル： 幅632×奥行682×高さ857㎜
	標準＋3トレイキャビネットモデル： 幅632×奥行682×高さ857㎜
	標準＋大容量給紙キャビネットモデル： 幅632×奥行682×高さ857㎜
機械占有寸法	標準モデル： 幅632×奥行682㎜ （用紙トレイ5（手差し）含まず） 632 682 単位：㎜
質量 （用紙、オプションを除く）	標準モデル：82kg
	標準＋1トレイキャビネットモデル：102kg
	標準＋3トレイキャビネットモデル：112kg
	標準＋大容量給紙キャビネットモデル：121kg

付録

A.2 印刷できる領域

標準印字エリア(ART EXプリンタードライバーの場合)

用紙の各端より、約4㎜を除く領域が印刷できる領域です。なお、実際の印字できる領域は、各プリンター(プロッター)制御言語によって異なることがあります。

A.3 内蔵フォント

標準で以下のフォントを使用できます。

参照

オプションのPostScriptフォントについては、『PostScript®ソフトウェアキット取扱説明書』を参照してください。

ストロークフォント(HP-GL/2専用)

- 欧文＋カタカナストロークフォント
- 日本語ストロークフォント

アウトラインフォント

搭載されているアウトラインフォントと使用できるページ記述言語またはエミュレーションモードとの関係は、次のとおりです。なお、標準で搭載されているアウトラインフォントは、PostScriptでは使用できません。

	書体	ART EX	ART IV	ESC/P	HP-GL/2
和文	平成明朝[Wt.3]	●	●	●	●
	平成角ゴシック [Wt.5]	●	●	●	●
欧文	平成明朝(ローマン)	●	●	●	
	平成角ゴシック(サンセリフ)	●	●	●	●
	平成角ゴシック(FMT)		●		
	Enhanced Classic	●	●		
	Enhanced Modern	●	●		
	CS Times Roman	●	●		
	CS Times Italic	●	●		
	CS Times Bold	●	●		
	CS Times Bold Italic	●	●		
	CS Triumvirate Regular	●	●		
	CS Triumvirate Italic	●	●		
	CS Triumvirate Bold	●	●		
	CS Triumvirate Bold Italic	●	●		
	CS Courier	●	●		
	CS Courier Oblique	●	●		
	CS Courier Bold	●	●		
	CS Courier Bold Oblique	●	●		
	CS Symbol	●	●		

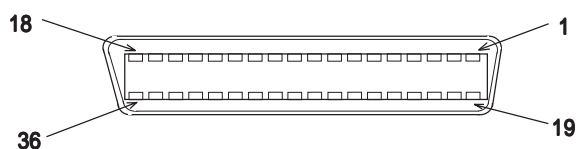
●：標準装備

付録

A.4 パラレルインターフェイス

本機に標準で装備されているパラレルインターフェイス(セントロニクス準拠インターフェイス/IEEE1284規格準拠)について説明します。

コネクターの形状

プリンターには、IEEE1284-Bタイプのコネクターが装備されています。コネクターの形状は、次のようになっています。

ピン配置

双方向がOFFのとき、各信号のピン配置は、次のようになっています。

Pin No.	Signal Name	I/O	Pin No.	Signal Name	I/O
1	nStrobe	I	19	Signal Ground	—
2	Data1	I	20	Signal Ground	—
3	Data2	I	21	Signal Ground	—
4	Data3	I	22	Signal Ground	—
5	Data4	I	23	Signal Ground	—
6	Data5	I	24	Signal Ground	—
7	Data6	I	25	Signal Ground	—
8	Data7	I	26	Signal Ground	—
9	Data8	I	27	Signal Ground	—
10	nAck	O	28	Signal Ground	—
11	Busy	O	29	Signal Ground	—
12	PError	O	30	Signal Ground	—
13	Select	O	31	nInit	I
14	nAutoFd	I	32	nFault	O
15	(RESERVED)	—	33	(RESERVED)	—
16	Logic GND	—	34	(RESERVED)	—
17	Chassis Gnd	—	35	(RESERVED)	—
18	Peripheral Logic High	O	36	nSelectIn	I

補足

- I/OはプリンターからみてIが入力信号、Oが出力信号、—は信号でないことを表しています。
- 双方向がONのときの結線は、IEEE1284-Bタイプコネクターの規格に準拠しています。

付録

信号の意味

双方向がOFFのとき

- nStrobe(Pin No.1)
  Data1〜8を読み込むための同期信号、LOWアクティブのパルスが必要です。
- Data1〜8(Pin No.2〜9)
  8 bits パラレルのData入力でData1がLSB（最下位bit ）、Data8がMSB（最上位bit ）です。
- nAck(Pin No.10)
  受信DATAの取り込み完了を表すLOWアクティブのパルス信号です。
- Busy(Pin No.11)
  プリンターがDATA受信不可能であることを表すHIGHアクティブの信号です。
- PError(Pin No.12)
  用紙がなくなったことを表すHIGHアクティブの信号です。
- Select(Pin No.13)
  データ受信可能であることを表すHIGHアクティブの信号です。
- nAutoFd(Pin No.14)
  双方向がONのときのための信号です。
- Chassic Gnd(Pin No.17)
  フレームグランドに接続されます。
- Peripheral Logic High(Pin No.18)
  プリンター側の+5V電圧です。
- Signal Ground(Pin No.19〜30)
  各信号用グランドに接続されます。
- nInit(Pin No.31)
  プリンターの初期化を要求するLOWアクティブのパルス信号です。
- nFault(Pin No.32)
  プリンターに紙づまりなどの障害が発生したことを表すLOWアクティブの信号です。
- nSelectIn(Pin No.36)
  双方向がONのときのための信号です。

双方向がONのとき

各信号線はIEEE 1284の規格に準拠しています。

付録

B オプション製品一覧

主なオプション製品は以下のとおりです。お買い求めの際は、販売店までご連絡ください。

商　品　名	商品区分	商品コード
内蔵増設ハードディスク装置	オプション製品	EC100032
増設128MBメモリー	オプション製品	EC100033
増設256MBメモリー	オプション製品	EC100141
1トレイキャビネット	オプション製品	EC100089
3トレイキャビネット	オプション製品	EC100090
大容量給紙キャビネット	オプション製品	EC100091
パラレルインターフェイスケーブル		
(PC98用 14Pin)	オプション製品	VD12
(PC98用 20Pin)	オプション製品	VD13
(PC98用 36Pin)	オプション製品	VD14
(PC-98 MATE用 36Pin)	オプション製品	YH57
(IBM PC/AT 25Pin用)	オプション製品	VD15

補足

- 商品の種類や商品コードは2001年6月現在のものです。
- 商品の種類や商品コードは変更されることがあります。
- 最新の情報については、弊社のテレフォンセンター、または販売店にお問い合わせください。

PostScript®ソフトウェアキット

PostScript®ソフトウェアキットを装着すると、本機をPostScript対応プリンターとして利用できます。また、Macintoshから印刷できます。

ART IV/エミュレーションキット

ART IV/エミュレーションキットを装着すると、ART IVや、エミュレーションのESC/P、HP-GL/2で印刷できます。ESC/P、HP-GL/2で印刷するときは、本機をエミュレーションモードにします。本機には、複数のエミュレーションモードがあります。エミュレーションモードと、エミュレートするプリンターの対応は、次のとおりです。

エミュレーションモード	エミュレートするプリンター
ESC/Pエミュレーションモード	VP-1000
HP-GLエミュレーションモード	HP DesignJet 750C PlusまたはHP7586B
HP-GL/2エミュレーションモード	HP DesignJet 750C Plus

補足

PostScript®ソフトウェアキットとART IV/エミュレーションキットは、同時に装着できません。

C 注意/制限事項について

C.1 本体の注意と制限

ここでは、本機を使用するうえでの注意、および制限について説明します。

内蔵増設ハードディスク装置(オプション)について

- 内蔵増設ハードディスク装置を装着した場合、lpd、SMB、IPPからの印刷データの格納先として、ハードディスクが指定できます。また、ART EX、ART IV(オプション)、HP-GL/2(オプション)それぞれのフォームの格納先は、ハードディスク固定になります。ほかの領域には変更できません。
- ハードディスクの初期化によって消去されるデータは、追加フォント、ART EX、ART IV(オプション)、HP-GL/2(オプション)の各フォーム、ARTIVユーザー定義データ、SMBフォルダーです。セキュリティプリント文書、各ログは、消去されません。

印刷結果が設定と異なるとき

プリントページバッファの容量不足が原因で、次のように、設定と異なる結果となることがあります。この場合、メモリーの増設をお勧めします。

- 両面印刷の指定が片面印刷で印刷される
- ジョブが中止される(プリントページバッファに展開できない場合、そのページを含むジョブが中止されます)

オプションについて

- セキュリティープリント、ページ印刷モードを使用する場合は、オプションの内蔵増設ハードディスク装置が必要です。
- DocuPrint C2221で、長尺サイズの用紙に印刷する場合は、オプションの増設256MBメモリーが必要です。
- 本機をPostScript対応プリンターとして使用する場合は、オプションのPostScript®ソフトウェアキットの設置が必要です。
- ART IV対応、および、ESC/P、HP-GL/2をエミュレートする場合は、オプションのART IV/エミュレーションキットの設置が必要です。

補足

PostScript®ソフトウェアキットとART IV/エミュレーションキットは、同時に装着できません。

両面プリントでのメーターのカウントについて

両面プリントで出力する場合、お客様が利用されるアプリケーションによっては、部数を指定する際の条件などにより、自動的にページ調整の白紙を挿入することがあります。この場合、アプリケーションが挿入する白紙出力はカウントアップの対象となります。

C.2 TCP/IP(lpd)

TCP/IP(lpd)での注意/制限事項は、次のとおりです。

本機側の設定について

- IPアドレスの設定には十分注意してください。IPアドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- ネットワーク環境によっては、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定が必要になります。ネットワーク管理者に相談のうえ、必要な項目を設定をしてください。
- ポート状態を「起動」に設定したとき、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に「停止」に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートを「停止」にするか、メモリー割り当て容量を変更するか、メモリーを増設してください。
- 使用環境に応じて、受信バッファ容量【lpdスプール】のサイズを設定してください。送信されたデータより、受信バッファ容量【lpdスプール】のサイズが小さい場合、受信できないことがあります。

クライアント側の設定について

- IPアドレスの設定には十分注意してください。IPアドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- NIS(Network Information Service)の管理下で使用されているクライアントで、ネットワーク(IPアドレスなど)の設定を行う場合は、NISの管理者に相談してください。

電源を切るとき

本機の電源を切るときは、次の点に注意してください。

【lpdスプール】の設定が【メモリースプール】のとき

印刷中のデータを含め、本機のメモリーにスプールされた印刷データはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、印刷データは存在しません。
ただし、印刷指示の直後に電源を切った場合、印刷データがクライアント上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。

【lpdスプール】の設定が【ハードディスクスプール】のとき

印刷中のデータを含め、本機のハードディスクにスプールされた印刷データはすべて保存されます。再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。

【lpdスプール】の設定が【スプールシナイ】のとき

印刷中のデータを含め、本機の受信バッファにスプールされた印刷データはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、印刷データは存在しません。
ただし、印刷指示の直後に電源を切った場合、印刷データがクライアント上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。

印刷するとき

【lpdスプール】の設定が【ハードディスクスプール】、または【メモリースプール】のとき

印刷データの受信を開始したときに、印刷データのサイズがハードディスク、またはメモリーの残り容量より大きい場合、その印刷データは受信できません。

補足

印刷データが受信容量を超えた場合、クライアントによってはすぐに再送信することがあります。このときクライアントがハングアップしたように見えます。対処として、クライアント側でその印刷データの送信を中止してください。

【lpdスプール】の設定が【スプールシナイ】のとき

あるクライアントから印刷要求を受け付けていた場合、別のクライアントからの印刷要求を受け付けることができません。

クライアントのIPアドレスやコンピューター名を変更した場合

クライアントのIPアドレスやコンピューター名を変更した場合、本機側からの問い合わせ処理や取り消し処理が正常に行われなくなります。本機の受信バッファに印刷データがない状態で、本機の電源を切/入してください。

補足

本機の受信バッファにある印刷データの印刷中止/強制排出は、操作パネルから操作できます。操作方法は、「4.3 印刷を中止する/印刷を指示したジョブの状態を確認する」(P.77)、「7.6 印刷データを強制的に排出させる」(P.221)を参照してください。

D 用語集

【A3】
420×297ミリメートルの用紙のことです。

【A4】
297×210ミリメートルの用紙のことです。

【A5】
210×148ミリメートルの用紙のことです。

【ART】
Advanced Rendering Toolの略で、弊社がページプリンター用に開発したプリンター制御言語です。

【ART EX】
弊社製のページ記述言語です。

【B4】
364×257ミリメートルの用紙のことです。

【B5】
257×182ミリメートルの用紙のことです。

【CMYK】
カラー印刷などでの色の表現方法です。
C(シアン)、M(マゼンタ)、Y(イエロー)、K(ブラック)の4色に分解し、その4種類の色を重ね合わせて印刷します。

【DPI】
Dot Per Inchの略で、1インチ幅に印字できるドット数を表す単位です。解像度を示す単位として使います。

【ICM】
Image Color Matchingの略で、Windows® 98、Windows® Me、Windows® 2000で採用されている色管理用ソフトウェアです。デバイスによる色の違いを補正し、画面とプリンターによる印刷結果の色を一致させます。

【Image Enhancement(イメージエンハンスメント)】
白黒の境目を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。

【NVメモリー】
電源を切ってもプリンターの設定内容を保持しておくことが可能な、不揮発性のメモリーです。

【RAM】
Random Access Memoryの略で、情報の読み出しと書き込みができる記憶装置(メモリー)です。

【ROM】
Read Only Memoryの略で、情報の読み出し専用の記憶装置(メモリー)です。

【印字領域】
用紙に対して実際に印字可能な領域です。

【エミュレーション】
他社のプリンターで印刷した場合と同等の印字結果を得ることができるように、プリンターを動作させることです。このモードをエミュレーションモードと呼びます。

【解像度】
画像の細かさを表します。通常1インチあたりのドット数(単位はdpi)で表し、この数値が大きいほど解像度が高い(細部まで表現できる)といいます。

【階調】
色と色のなめらかさをいいます。グラデーションのステップ数で階調数を表し、その数値が大きいほどなめらかになります。

【カット紙】
A4、B5などの定型サイズの用紙のことです。

【共通メニュー】
メーター確認、クイックセットアップ、レポート/リスト、システム設定、ネットワーク/ポート設定、メモリー設定、初期化/データ削除、プリント設定、階調補正から構成され、すべてのプリントモードに共通の設定をするためのメニューです。

【グラデーション】
写真やイラストなどに見られる、連続した色の濃さの変化をいいます。

【受信バッファ】
バッファとはクライアントから送信されたデータを、一時的に蓄えておく場所です。受信バッファのメモリー容量を増やすことによって、クライアントの解放を早くすることができます。

【初期値】
工場出荷時、およびNVメモリー初期化時の設定です。

【ジョブ】
ひとまとまりの印刷データのことです。印刷の中止や排出はジョブ単位で行われます。

【スクリーン】
プリンターなどで、印刷物の濃さを表すための点を網点といい、印刷するときの網点の列、または線の数をスクリーン線数といいます。スクリーン線数によって、表現できる階調が変化します。

【プロトコル】
データ通信を行うために必要な通信規約です。

【プリントページバッファ】
印刷データを実際に展開し、蓄えておく場所です。

【プリンタードライバー】
アプリケーションで作成したデータを、プリンターが解釈できるデータに変換するソフトウェアです。

【モードメニュー】
ESC/Pエミュレーションモード、HP-GL/2エミュレーションモードで構成され、エミュレーションモードごとにその処理に固有な条件を設定するためのメニューです。

Q & A

ここでは、よくある質問とその解決方法について説明します。
本機をご使用される場合に、参考にしてください。

プリンターの設定状況を確認したい

機能設定リストを見ると、現在のプリンターの設定状況が確認できます。

参照
機能設定リストについては、「6.3　レポート/リストを印刷する」(P.149)を参照してください。

どんな印刷機能があるか知りたい

本機専用のART EXプリンタードライバーでは、まとめて1枚、両面機能、拡大連写、小冊子作成など、様々な印刷機能が使用できます。

参照
各機能については、「4.2　主な印刷機能一覧」(P.63)を参照してください。

用紙トレイの用紙サイズを変えたい

用紙トレイ1〜4にセットされている用紙以外のサイズの用紙を一時的に使用する場合は、用紙トレイ5(手差し)を使用すると便利です。
また、用紙トレイ1〜4の用紙サイズを変えることもできます。

参照
用紙トレイ5(手差し)への用紙セット方法や、用紙トレイ1〜4の用紙サイズ変更については、「6.1　用紙をセットする」(P.120)を参照してください。

はがきや封筒や長尺サイズの用紙に印刷したい

本機では、用紙トレイ5(手差し)を使用して、官製はがきや封筒(定型長3号封筒)や長尺サイズの用紙に印刷できます。

参照
印刷方法については、「4.5　はがき/封筒/長尺サイズの用紙に印刷する」(P.82)を参照してください。

白黒印刷したい

白黒原稿は、自動的に判断して白黒印刷されます。カラー原稿を白黒印刷したい場合は、プリンタードライバーのプロパティで[カラーモード]を[白黒]に設定します。

参照

カラーモードの設定については、「4.2　主な印刷機能一覧」(P.63)を参照してください。

特殊用紙に印刷したい

用紙トレイ5(手差し)を使用して、特殊用紙(厚紙、OHPフィルム、うす紙)などに印刷できます。特殊用紙は、用紙トレイ1〜4からは印刷できません。

参照

印刷方法については、「4.4　特殊用紙に印刷する」(P.80)を参照してください。

原稿に合わせた画質で印刷したい

原稿の種類(写真、文字、プレゼンテーション、Webなど)に合わせて印刷したり、細かいカラーに関しての設定ができます。

参照

原稿の種類に合わせて印刷する場合は、「4.10　印刷モードを設定する」(P.100)を、細かいカラーの印刷設定については「4.11　画質を調整して印刷する」(P.103)を参照してください。

複数のクライアントにプリンタードライバーをインストールしたい

セットアップディスク作成ツールを使用すると、同じ設定(印刷機能や、ポート)のプリンタードライバーを複数の人にインストールする場合に、便利です。

参照

セットアップディスク作成ツールについては、CentreWareのCD-ROMに入っている電子マニュアルをごらんください。

印刷指示したのに印刷されない

ジョブ履歴レポート、またはエラー履歴レポートを印刷して、印刷を指示した印刷ジョブを確認してください。

参照

ジョブ履歴レポート、エラー履歴レポートについては、「6.3　レポート/リストを印刷する」(P.149)を参照してください。

OSをバージョンアップして、本機を使用したい

プリンタードライバーは、各OS専用のものがあります。新しいOSに対応したプリンタードライバーをインストールし直してください。

参照

プリンタードライバーのインストール方法については、「第2章　プリンタードライバーのインストール」(P.23)を参照してください。

印刷指示した印刷ジョブが出力されたか確認したい

CD-ROMに入っているCentreWareネットワークサービスのプリンターモニターを使用すると、お使いのコンピューター上で印刷指示した印刷ジョブの処理状態を確認できます。また、CentreWare Internet Servicesを使用すると、お使いのコンピューターから印刷ジョブの削除もできます。

参照

CentreWare Internet Servicesについては、「5.1　クライアントからプリンターを設定する(CentreWare Internet Services)」(P.110)を、プリンターモニターについては、CentreWareのCD-ROMに入っている電子マニュアルをごらんください。

印刷枚数を確認したい

操作パネルのディスプレイで、印刷枚数を確認できます。また、プリンター出力集計レポートを印刷すると、クライアント別(ジョブオーナー別)に印刷枚数を確認できます。

参照

印刷枚数の確認については、「6.4　総印刷枚数を確認する」(P.167)を参照してください。

印刷に時間がかける

印刷指示してもなかなか出力されない場合(目安として5分程度)は、以下の方法をお試しください。印刷時間が短縮される場合があります。

- **[印刷モード]を[速度優先]にする**
- **[ページ印刷モード]を[する]にする(イメージや文字の点数の多い複雑なファイルに有効です)**
- **[イメージ圧縮]を最適な方法に変更する**
- **[プリンタドライバの解像度]を下げる**

参照

- 印刷モードの設定の仕方については、「4.10　印刷モードを設定する」(P.100)を参照してください。
- ページ印刷モードについては、「4.2.3　主な印刷機能一覧　●●●[初期設定]ダブ　■ページ印刷モード」(P.75)を、参照してください。
- イメージ圧縮については、「4.2.3　主な印刷機能一覧　●●●[グラフィックス]ダブ　■写真」(P.71)を参照してください。
- プリンタドライバの解像度については、「4.2.3　主な印刷機能一覧　●●●[グラフィックス]ダブ　■プリンタドライバの解像度」(P.71)を参照してください。

F プリンター本体のソフトウェアのバージョンアップについて

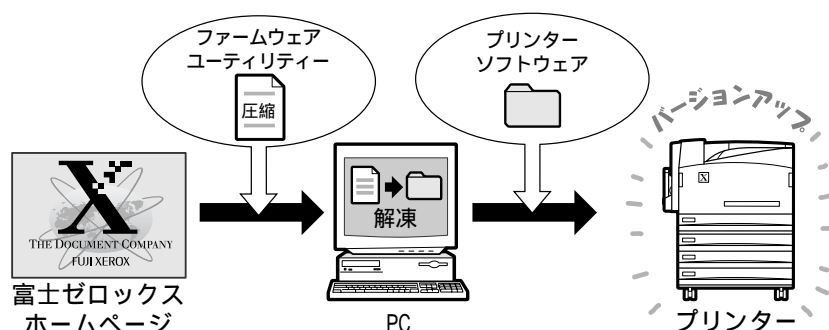
富士ゼロックスでは、プリンター本体に組み込まれたソフトウェア(以下、「プリンターソフトウェア」と呼びます)を、パーソナルコンピューターからバージョンアップするツールを提供しています。

このツールを、ファームウェアユーティリティーと呼びます。

このファームウェアユーティリティーは、富士ゼロックスのホームページから取り出すことができます。

DocuPrint C2220/2221では、このファームウェアユーティリティーを使用して、プリンターソフトウェアをバージョンアップすることができます。

ファームウェアユーティリティーを入手するホームページのアドレス(URL)

http://download.fujixerox.co.jp/

プリンターソフトウェアのバージョンアップの流れ

バージョンアップする操作の流れは、次のとおりです。詳細な手順は、ファームウェアユーティリティーに付属するRead Meファイルを参照してください。

1. 富士ゼロックスのホームページから、該当製品(DocuPrint C2220/2221)のファームウェアユーティリティーをコンピューターに取り出します。
2. ファームウェアユーティリティーを解凍します。
3. ファームウェアユーティリティーを実行して、プリンターソフトウエアのバージョンアップをします。

G 消耗品と定期交換部品の寿命について

消耗品の寿命について

商品名	印刷可能ページ数
トナーカートリッジ(ブラック)	約12,000ページ
トナーカートリッジ(シアン)	約10,000ページ
トナーカートリッジ(イエロー)	約10,000ページ
トナーカートリッジ(マゼンタ)	約10,000ページ
ドラムカートリッジ	約24,000ページ
トナー回収ボトル	約10,000ページ
フューザーカートリッジ	約100,000ページ

補足

- 印刷可能ページ数は、A4□の用紙を使用した場合の枚数です。
- 印刷可能ページ数は、印刷内容や用紙のサイズ、種類、使用環境などによって異なりますので、あくまでも目安としてお考えください。

定期交換部品の寿命について

商品名	交換寿命	備考
セカンドBTR	約100,000枚	ー
IBTクリーナー	約100,000枚	ー
現像器キット(K色)	約300,000枚	DocuPrint C2221のみ。
現像器キット(Y色)	約300,000枚	DocuPrint C2221のみ。
現像器キット(M色)	約300,000枚	DocuPrint C2221のみ。
現像器キット(C色)	約300,000枚	DocuPrint C2221のみ。
用紙搬送ロールキット	約300,000枚	DocuPrint C2221のみ。
IBTベルト交換キット	約300,000枚	DocuPrint C2221のみ。
手差し用紙送りロールキット	約50,000枚	手差しトレイを使用した場合の枚数です。 DocuPrint C2221のみ。
オフセット排出トレイキット	約300,000枚	DocuPrint C2221のみ。

補足

- 交換寿命の枚数は、A4□の用紙を使用した場合の枚数です。
- 交換寿命は、印刷内容や用紙のサイズ、種類、使用環境などによって異なりますので、あくまでも目安としてお考えください。
- 定期交換部品は弊社エンジニアが交換いたします。

索　引

記号

A

C

D

E

H

I

J

L

N

O

P

ソ

タ

チ

ツ

テ

ト

ナ

ニ

ネ

ハ

ヒ

フ

ヘ

ホ

マ

メ

モ

ユ

ヨ

索引

リ

レ

ロ

マニュアルコメント用紙

本書をより使いやすいものとするために、皆様からの貴重なご意見(説明不足、間違い、誤字、誤植、ご要望など)をお待ちいたしております。ご記入に際しましては、マニュアルに関することのみ具体的にご指摘くださるようお願いいたします。

• マニュアルの名称	DocuPrint C2220/2221 取扱説明書	• 管理番号	DE-1394

• ご 芳 名		• 貴 社 名	
• 所属部門		• 電話番号	[内線]
• 所 在 地			

• ペ ー ジ	• 行	• 内容へのご指摘/ご要望

• 富士ゼロックス記入欄		
• 記事	• 受付No.	• 受付担当印

3版

［折り込み線］

富士ゼロックス（株）社内メール扱い

［送付先］

HID開発部

マニュアルデザイン グループ（KSP） 行

担当社員

事業部　営業所　課　G

氏名

［折り込み線］

切り取り線

- ご記入くださいましたら点線の部分で折り込みホチキスなどでとめたうえ、お買い求めの販売店にお渡しください。
- このままで郵便物として投函なさらないようにご注意ください。

保守・操作のお問い合わせは

●この商品の保守・操作については、プリンター本体に貼られている保守サポートの問い合わせ先シールのあて先へ。

●プリンター本体に問い合わせ先シールが貼られていない場合は、下記の富士ゼロックスプリンターサポートデスクへ。

フリーダイヤル　0120-66-2209
FAX　03-3342-1552

（フリーダイヤル受付時間：土、日、祝日を除く9時30分〜12時、13〜17時、東京でお受けします。ただし、通話地域制限がある内線電話機、および携帯電話機からはご利用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。表記の窓口は日本国内のお客様に限らせていただきます。）

各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトメーカーの問い合わせ窓口へお問い合わせください。

富士ゼロックスに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターにご連絡ください。

フリーダイヤル　0120-27-4100

（フリーダイヤル受付時間：土、日、祝日を除く9〜12時、13〜17時、東京でお受けします。ただし、通話地域制限がある内線電話機、および携帯電話機からはご利用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。）

DocuPrint C2220/2221 取扱説明書

著作者 ― 富士ゼロックス株式会社
発行者 ― 富士ゼロックス株式会社
ドキュメント プロダクト＆サプライ カンパニー
ヒューマンインターフェイスデザイン開発部

発行年月 ― 2001年　11月　第1版
2003年　3月　第3版

（帳票No: DE-1394）
Printed in Japan